

三菱電機 空調冷熱総合管理システム
AE-200J 技術マニュアル
業務用ヒートポンプ給湯機編

2017 三菱電機

空調冷熱総合管理システム

AE-200J 技術マニュアル 業務用ヒートポンプ給湯機編

三菱電機株式会社

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

お問い合わせは下記へどうぞ

三菱電機住環境システムズ株式会社	北海道支社	(011)893-1342
三菱電機住環境システムズ株式会社	東北支社	(022)742-3020
三菱電機住環境システムズ株式会社	東京支社	(03)3847-4339
三菱電機住環境システムズ株式会社	中部支社	(052)725-2045
	北陸営業部	(076)252-9935
三菱電機住環境システムズ株式会社	関西支社	(06)6310-5061
三菱電機住環境システムズ株式会社	中四国支社	(082)504-7362
	四国営業本部	(087)879-1066
三菱電機住環境システムズ株式会社	九州支社	(092)476-7104
沖縄三菱電機販売 (株)		(098)898-1111

暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

製品のカatalog・技術情報等はこちら
www.MitsubishiElectric.co.jp/wink

三菱電機WIN2K

検索

三菱電機空調ワンコールシステム

空調 24時間 365日

0120-9-24365 (フリーコール)

「修理依頼」「サービス部品注文」(365日・24時間受付)

「技術相談」(平日 9:00~19:00、土・日・祝 9:00~17:00)

役に立つサービス情報を発信するITツール
携帯電話から空調機の簡易点検内容が検索できます。

http://www.MitsubishiElectric.co.jp/wink/doc/tc/

検索対象

スリムエアコン

ビル用マルチエアコン

冷凍機

QRコードで
カンタンアクセス!

QRコードは (株)デンソーウェーブの登録商標です。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224 (フリーボイス) / 073-427-2224 (携帯・IP電話対応)

(平日 9:00~19:00、土・日・祝 9:00~17:00)

FAX (365日・24時間受付) 0037-80-2229 (フリーボイス) / 073-428-2229 (通常FAX)



目次

安全のために必ず守ること

I 仕様編

[1]各部の名称	4
[2]製品仕様	5
[3]ご使用の前に	6
<1> はじめに	6
<2> 給湯機の系統構成について	6
<3> 給湯機で使用される用語について	9
<4> 製品の機能	11

II システム編

[1]システム構成	13
<1> 接続図	13
<2> システムコントローラの接続可能機器	15
[2]M-NET 伝送線の仕様・制限	17
<1> M-NET 伝送線の線種・サイズ・配線長	17
<2> M-NET 伝送線の配線長制限	18
<3> 給湯機の接続台数・アドレス範囲	20

III 設定編

[1]使用方法（液晶画面）	21
<1> 監視 / 操作	21
<2> 異常状態の確認	37
<3> スケジュール（開放型、密閉型 6 センサ）	41
<4> スケジュール（密閉型 3 センサ）	50
[2]使用方法（統合管理ブラウザ）	59
<1> 監視 / 操作	59
<2> 異常状態の確認	75
<3> スケジュール（開放型、密閉型 6 センサ）	79
<4> スケジュール（密閉型 3 センサ）	90
[3]使用方法（応用・CSV 出力）	104
<1> USB メモリへの設定データバックアップ	104
<2> USB メモリへの運用データの CSV 出力	104
<3> タッチパネル補正	112
<4> ソフトウェアのアップデート手順	112
[4]製品の据付け時・移設時の設定	113
<1> 最初の電源投入時の設定方法	113
<2> 機器の運転確認	115
<3> 初期設定	115
<4> ユーザー情報	132
<5> 統合管理ブラウザの環境設定	135

IV サービス編

[1]修理を依頼する前に	138
[2]環境関連の表示	142
[3]お手入れ	142
<1> ディスプレイのお手入れ方法	142
<2> カバーのお手入れ方法	142
[4]定期点検のお願い	142

V 工事編

[1]使用部品	143
<1> 同梱部品	143
<2> 別売部品	144
<3> 一般市販部品	145
<4> 製品概要	146
<5> SD カードに関するお知らせ	148
<6> 製品の運搬と開梱	148
[2]使用箇所（据付工事の概要）	149
<1> 使用部品の取付位置	149
<2> 一般市販部品の仕様	150
[3]据付場所の選定	151
<1> 法規制・条例の遵守事項	151
<2> 公害・環境汚染への配慮事項	151
<3> 製品の機能性能を発揮するための事項	151
<4> 取付寸法	152
<5> 保守・点検に関する事項	153
[4]据付工事	153
<1> 建物工事の進行と施工内容	153
<2> 届出・報告事項	156
[5]電気工事	157
<1> サービスカバーの取外し / 取付け	158
<2> 電源線と M-NET 伝送線	158
<3> ネットワーク接続配線	161
[6]据付工事後の確認	164
<1> 据付工事のチェックリスト	164
[7]初期設定	165
<1> 初期設定	165
[8]試運転	166
<1> 試運転の準備	166
<2> 試運転の方法	166
[9]お客様への説明	166
[10]安全に長くお使いいただくために	166
<1> 日常の保守	166
<2> 点検時の交換部品と保有期間	166
<3> ソフトウェアのアップデート手順	167
<4> ソフトウェア詳細確認手順	169
[11]法令関連の表示	169
<1> 標準的な使用条件	169
[12]環境関連の表示	169

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(感電注意)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

油・蒸気・有機溶剤・腐食ガスの多いところ、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところにコントローラを据え付けないこと。

- ◆電気部品腐食による感電・性能低下・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

コントローラの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認し、子どもを近づけないこと。

- ◆工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、USBメモリ・タッチパネルを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- ◆薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



感電注意

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

コントローラのカバーを取り付けること。

- ◆ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行



注意

コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ◆感電・故障のおそれあり。



使用禁止

ガラス部品に損傷するような力を加えないこと。

- ♦ ガラス損傷によるけがのおそれあり。



禁止

コントローラの廃棄は販売店に依頼すること。

- ♦ 環境破壊のおそれあり。



指示を実行

部品端面に触れないこと。

- ♦ けが・感電・故障のおそれあり。



接触禁止

移設・修理をするときに

⚠ 警告

コントローラの分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ♦ けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

お願い

ベンジンやシンナー、化学雑巾などでコントローラに触れないでください。

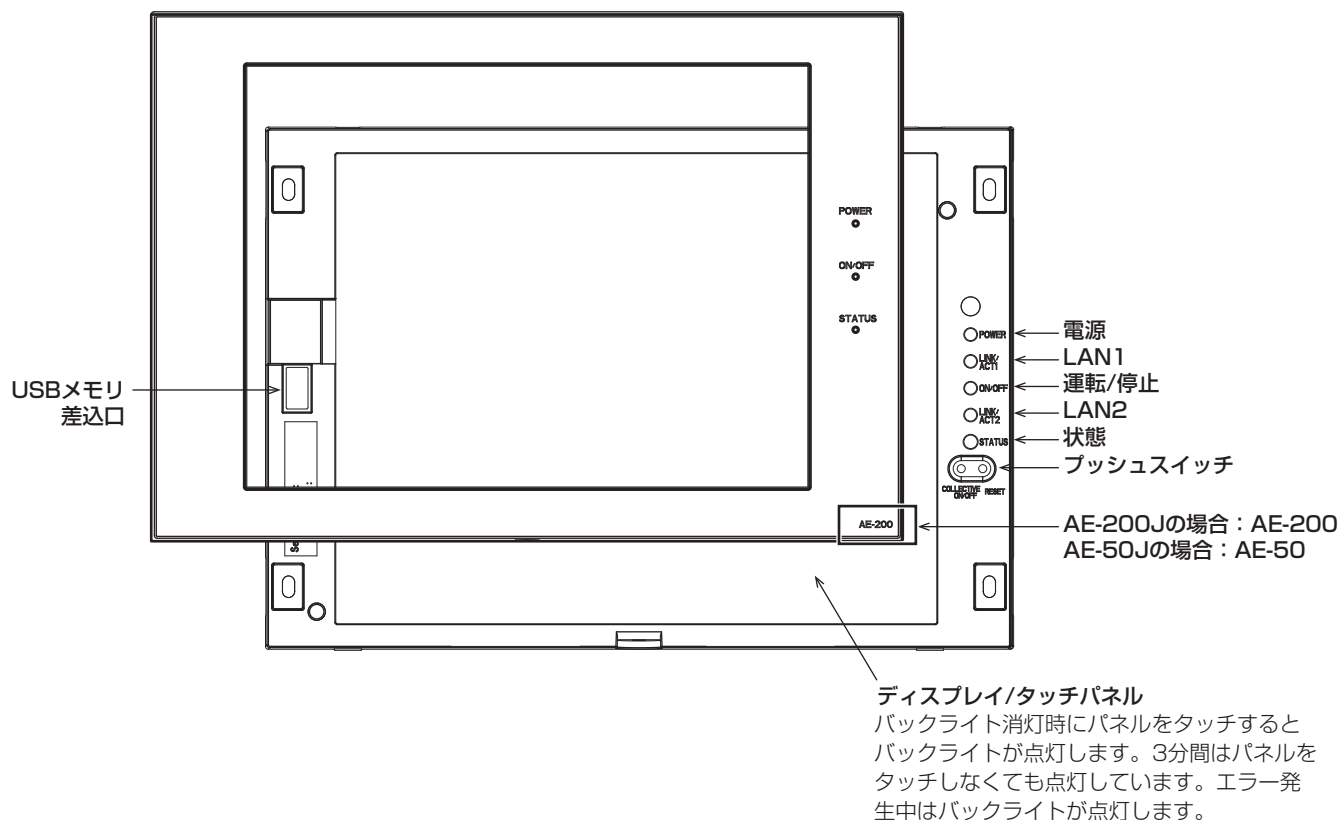
- ♦ 汚れがひどい場合、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげること。
- ♦ 変色のおそれあり。

I 仕様編

[1] 各部の名称

お願い

- 初めて使用される場合、表面カバーの保護シートを剥がしてご使用ください。保護シートをつけたままご使用されますと、液晶にシートが貼りつき、誤動作の原因となります。
- カバーの取付け、取外しには、付属の六角レンチを使用してください。



項目		内容
電源 (POWER)	緑点灯	電源オン
	消灯	電源オフ
運転 / 停止 (ON/OFF) ※1	緑点灯	1 台以上の空調機が運転中※2
	緑点滅	1 台以上の空調機、低温機器、除湿機、空冷ヒートポンプチラー DT-R、業務用ヒートポンプ給湯機およびその他の関連機器がエラー発生中※3
	消灯	すべての空調機が停止※2
状態 (STATUS)	橙点滅	立ち上げエラー
	青点滅	ソフトウェア アップデート中
	ピンク点滅	ソフトウェア アップデート失敗
LINK/ACT1 ※5	橙点滅	データ送信中 (LAN1)
LINK/ACT2 ※5	橙点滅	BACnet® データ送信中 (LAN2) ※4

※1 AE-200J の場合は AE-50J/EW-50J に接続された機器を含めた、システム全体の表示となります。AE-50J の場合は AE-50J に接続された機器の表示となります。

※2 その他の関連機器の状態は表示されません。

※3 低温機器、除湿機、空冷ヒートポンプチラー DT-R、および業務用ヒートポンプ給湯機を使用する場合は別途ライセンスが必要です。

※4 BACnet® は、米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) の登録商標です。BACnet® 接続の場合、別途ライセンスが必要です。

※5 カバーを取り外した状態で確認することができます。

項目		内容
プッシュスイッチ	ON/OFF	押すごとに接続している空調機及び、その他の関連機器を一括で ON → OFF → ON…の順に切り替えます。
	リセット	AE-200J/AE-50J を再起動します。(空調機の運転状態には影響しません)
USB メモリ差込口		設定データのバックアップ、読み込みおよび CSV データの取出しの際に使用します。

[2] 製品仕様

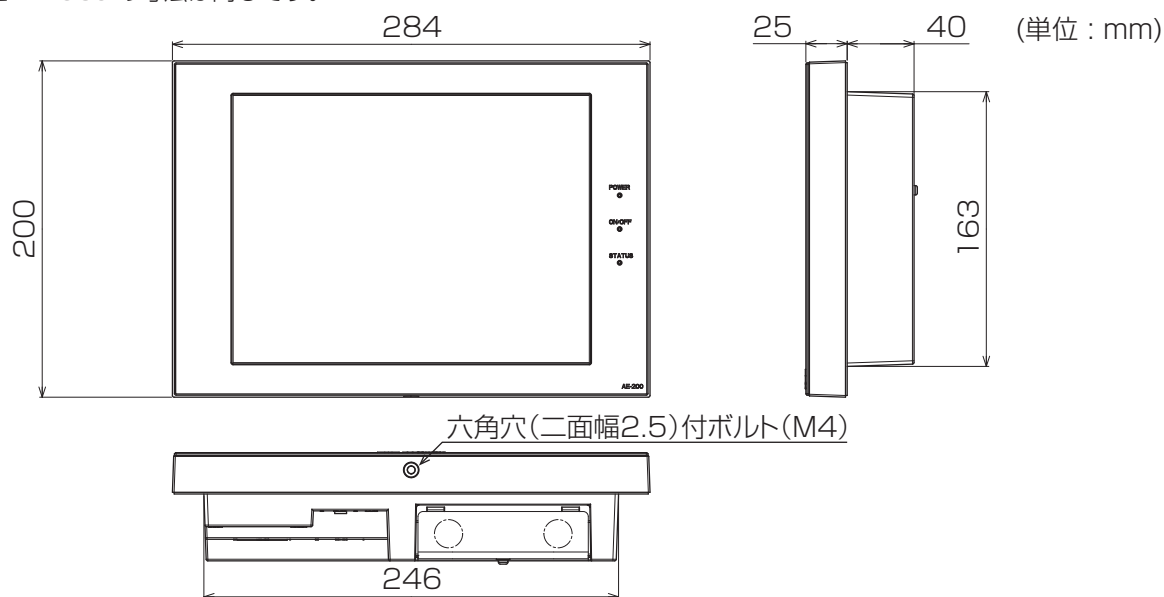
AE-200J/AE-50J は、Web 対応総合管理システムです。接続された業務用ヒートポンプ給湯機、空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器を監視操作できます。

AE-200J/AE-50J 共通仕様

項目		仕様
電源		AC 100/200V ± 10% 50/60Hz 単相
消費電力		12W
M-NET 給電能力係数		3
消費電力係数		0
L 係数		0
通信インターフェース (LAN1、LAN2)		100BASE-TX
環境条件	使用温度範囲	0° C ~ +40° C
	保存温度範囲	-20° C ~ +60° C
	湿度	30% ~ 90% RH (結露なきこと)
質量		2.3kg
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		284 × 200 × 65mm 埋め込み時、AE-200J/AE-50J の壁または金属製制御盤よりの突出は、25.0 mm です。
設置環境		室内のみ ・ この製品はビジネスオフィス環境または同等の環境でご使用ください。

お知らせ

AE-200J と AE-50J の寸法は同じです。






[3] ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「据付工事説明書の据付工事後の確認」の事項をお客様自身でご確認ください。
- 専門業者による据付工事が終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。
- 据付工事説明書のチェックリストを受け取ってください。

<1> はじめに

AE-200J は空調冷熱総合管理システムであり、給湯機を接続し、監視・操作ができます。
また、給湯機の機種をタンク形式、センサ方式ごとに開放型、密閉型 6 センサ、密閉型 3 センサと分類して表記します。
それぞれの機種と形名の対応は、以下の表の通りとなります。

開放型		密閉型 6 センサ		密閉型 3 センサ	
					
機種	熱源機形名 : QAHV-N560D	機種	熱源機形名 : QAHV-N560D-HWP	機種	熱源機形名 : QAHV-N560D-HWP
構成	貯湯槽 : 開放型 水温センサ数: 1 個	構成	(2 台以上) 貯湯槽 : 密閉型 水温センサ数: 6 個	構成	貯湯槽 : 密閉型 水温センサ数: 3 個

お知らせ

- 給湯機が開放型ペアタンクシステムの場合、タンク毎の系統となるため 2 系統を使用します。
- ホットウォーターヒートポンプ、排熱回収型 水熱源ヒートポンプは接続対象外です。

<2> 給湯機の系統構成について

給湯機では、水配管の括りおよび同時に制御するユニットの集合を「系統」と呼びます。
1 系統は最大 16 台で構成され、全体で最大 24 系統、最大 24 台の給湯機を監視 / 操作することができます。
詳細は P13 「システム編」を参照願います。

お知らせ

- 給湯機は AE-50J/EW-50J に接続することはできません。
- 空調機、低温機器、除湿機、空冷ヒートポンプチラー DT-R(以下、DT-R と称す) との混在接続が可能です。
- AE-200J に最大 50 台の空調機室内ユニットを接続できます。但し、他の機器と混在接続する際には通信量の制約により、接続台数は次の範囲内に制約されます。

接続台数制限

$$(\text{給湯機台数} \times 2) + (\text{DT-R 台数} \times 3) + \text{その他機器台数} \leq 50 \text{ 台}$$

機器 1 台あたりの空調機室内ユニット換算台数

接続機器	機器 1 台あたりの空調機室内ユニット換算台数
給湯機	2
DT-R	3
その他機器	1

[給湯機接続台数制約]

制御系統数が1 系統の例

制御系統 No.	給湯機接続台数
1	16 ※ 1
総接続台数	16

※1 16 台は 1 制御系統に接続できる給湯機の最大台数です。

制御系統数が2 系統の例

制御系統 No.	給湯機接続台数
1	16 ※ 1
2	8
総接続台数	24 ※ 2

※1 16 台は 1 つの制御系統に接続できる給湯機の最大台数です。

※2 24 台は AE-200J × 1 台に接続できる給湯機の最大台数です。

[接続可能台数の例]

DT-R と混在接続の場合

給湯機台数	DT-R 接続可能台数
0	24 ※ 1
4	14
8	11
16	6
24	0

その他機器と混在接続の場合

給湯機台数	その他機器接続可能台数
0	50
4	42
8	34
16	18
24	2

※1 DT-R のみの接続の場合は、最大 24 台接続が可能です。

次ページ以降に給湯機のシステム構成図の一例を示します。

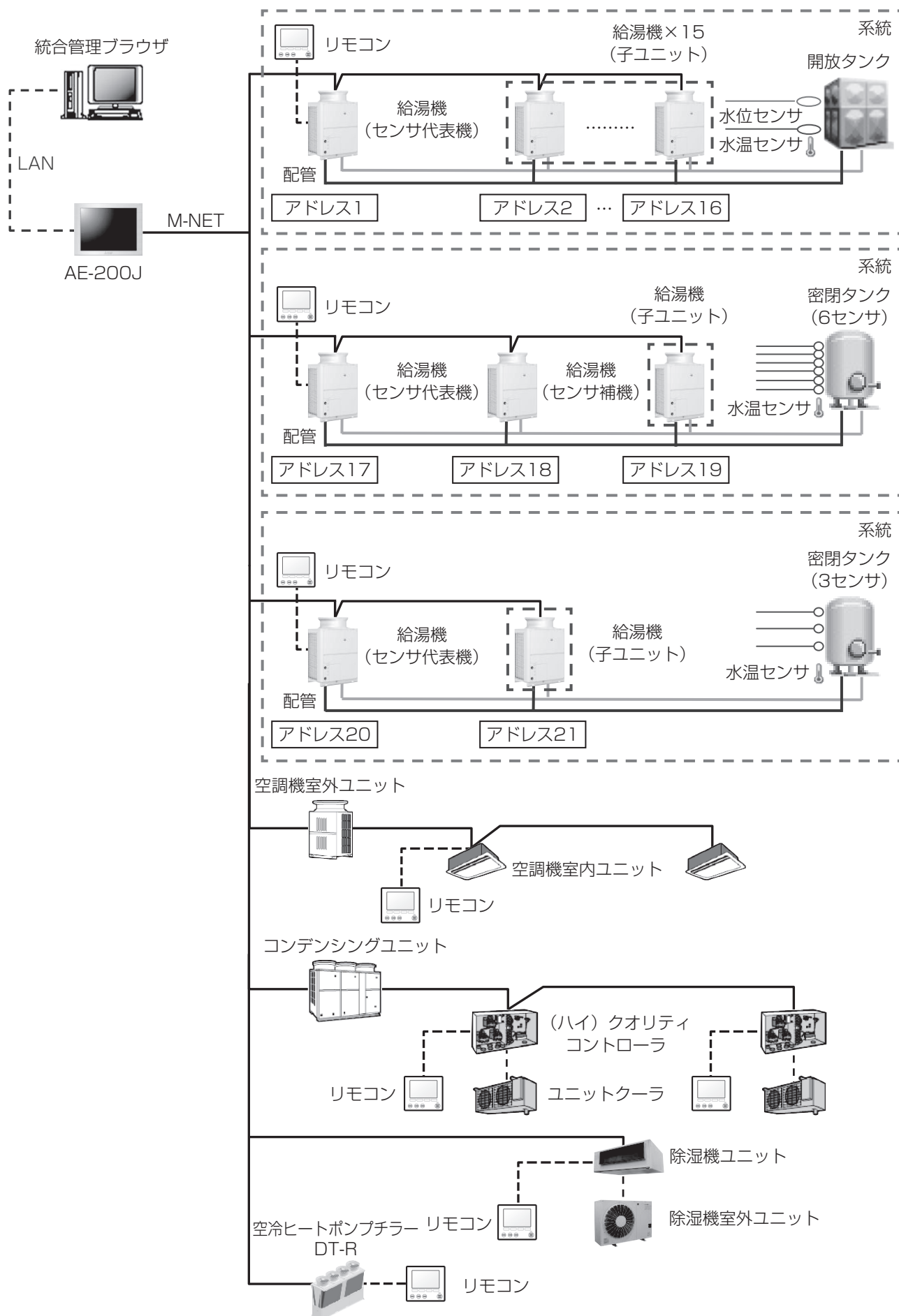
システム構成図に使用される給湯機の語句の説明および M-NET アドレスの範囲は、以下の通りです。

語句	説明
系統	水配管の括りおよび同時に制御するユニットで、操作は系統単位で行われます（リモコンは系統単位で接続します）。
センサ代表機	開放型貯湯槽システムでは水位センサと水温センサを有し、密閉型貯湯槽システムでは水温センサ（3 センサ）を有し、系統内におけるタンク内の水温等を系統内のユニットや AE-200J と共有するユニットです。
センサ補機	給湯機が密閉型 6 センサの場合において、センサ代表機以外に水温センサを保持するユニットです。上記の動作以外では子ユニットとして動作し、センサ代表機からの水温等の情報を元に運転します。
子ユニット	センサ代表機からの、水温等の情報をもとに運転するユニットです。

給湯機 / リモコン	M-NET アドレス 設定範囲	M-NET アドレス決定範囲
給湯機	1 ~ 50	同一系統内のセンサ代表機にしたい給湯機を最も若いアドレスに、また、同一系統内の給湯機アドレスを連番に設定してください。 お願い ・ 他の給湯機系統、機器のアドレスと重ならないように設定してください。
リモコン	給湯機リモコンのアドレス設定は不要です。	

給湯機の配線、設置およびシステム設定については、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 据付工事説明書」を参照してください。

給湯機のシステム構成図（例）

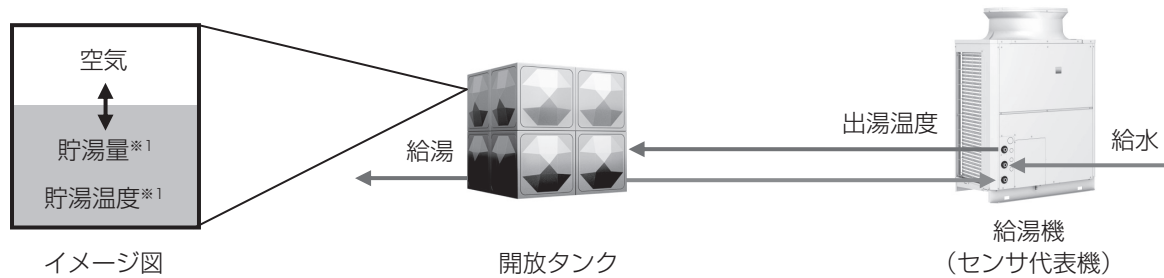


<3> 給湯機で使用する用語について

① 給湯機システム

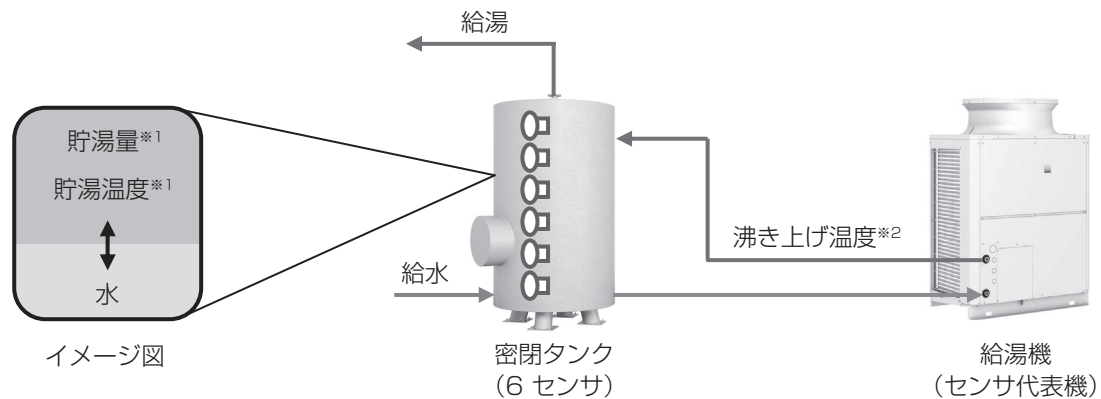
AE-200J の監視画面、設定画面に表示される語句と各給湯機システムの部位の関係を以下に示します。

[給湯機システム（開放型）]



※1 水温センサ・水位センサから演算されるお湯の量と温度を示します。

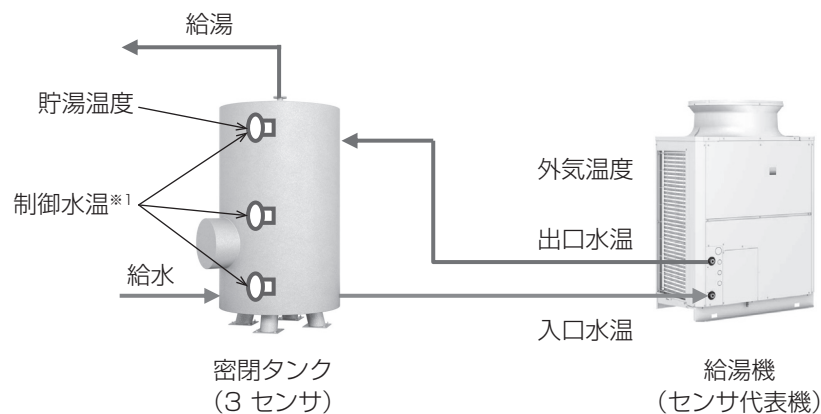
[給湯機システム（密閉型 6 センサ）]



※1 6 つの水温センサから演算されるお湯の量と温度を示します。

※2 貯湯運転時の目標出湯温度を示します。

[給湯機システム（密閉型 3 センサ）]



※1 制御水温は、運転 OFF センサ（貯湯運転終了制御用センサ）の検知温度を示します。
 運転 OFF センサは、運転モードごとに 3 つの水温センサのうちのいずれか 1 つを初期設定画面にて設定します。
 設定方法については、「III 設定編 [4] <3> (7) ⑥ 詳細設定（密閉型 3 センサ）」を参照してください。

② 日区切り時刻

日区切り時刻は、給湯機システムの 1 日の区切りを決める時刻のことです。

給湯機システム（開放型、密閉型 6 センサ）では実際の時刻ではなく日区切り時刻によって下図の通りに日付、曜日が変わります。例えば、22：00～8：00 まで貯湯をしたい場合、日を跨いでしまうため前日・当日の 2 パターン設定をする必要があります。22：00 を日区切り時刻とすることで、当日の 1 パターンのみ設定をすることが可能です。

（例 1）日区切り時刻が 00：00 の場合

実際の 日付	7/31												8/1											
時刻 [時]	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	0	2	4	6	8	10	12	14	16			
日区切り 時刻に よる日付	7/31												8/1											

（例 2）日区切り時刻が 12：00 の場合

実際の 日付	7/31												8/1											
時刻 [時]	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	0	2	4	6	8	10	12	14	16			
日区切り 時刻に よる日付	7/30						7/31														8/1			

（例 3）日区切り時刻が 22：00 の場合

実際の 日付	7/31												8/1											
時刻 [時]	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	0	2	4	6	8	10	12	14	16			
日区切り 時刻に よる日付	7/31												8/1											

<4> 製品の機能

以下の表に AE-200J での給湯機に関する機能を示します。給湯機の機種によって操作・設定可能な機能が異なります。

機能			内容	開放型	密閉型 6 センサ	密閉型 3 センサ
通常 機能	監視 / 操作	運転 / 停止	系統ごとに、運転 / 停止の操作ができます。	○	○	○
		運転モード	系統ごとに、運転モードの操作ができます。 運転モードの動作については、「III 設定編 [4] <3> (7) ⑥ 詳細設定 (密閉型 3 センサ)」を参照してください。	—	—	○
		モード設定	系統ごとに、運転モードの設定内容の確認ができます。 運転モードの設定方法については、「III 設定編 [4] <3> (7) ⑥ 詳細設定 (密閉型 3 センサ)」を参照してください。	—	—	○
		緊急沸き増し	系統ごとに、緊急沸き増し (通常 / 沸き増し) の操作ができます。	○	○	—
		沸き増し 目標貯湯量	系統ごとに、沸き増し目標貯湯量の操作ができます。	○	○	—
		設定温度	系統ごとに、設定温度の操作ができます。	—	—	○
		ファンモード	系統ごとに、ファンモード (常時 / 降雪) の操作ができます。	○	○	○
		リモコン操作 禁止設定	系統ごとに、リモコンからの運転 / 停止の操作禁止 / 許可が行えます。	○	○	○
		給湯機 運転状況	給湯機の運転状況 (目標貯湯量、実績貯湯量) を 1 時間単位でグラフ表示することができます。 また、本日のデータと指定した日のグラフを比較表示することも可能です。	○	○	—
	異常	発生中異常の 表示	異常発生中ユニットのアドレスと異常コード、異常内容が表示されます。	○	○	○
		異常リセット	系統ごとに、異常のリセットが行えます。	○	○	○
		異常履歴の 表示	現在発生中および過去に発生したユニット異常、通信異常が表示されます。	○	○	○
		異常履歴の クリア	異常履歴の消去ができます。	○	○	○
通常 機能	スケジュール	週間スケジュール 設定	【開放型または密閉型 6 センサ】 <ul style="list-style-type: none"> 系統ごとに、スケジュールを 1 日に 8 回設定することができます。 スケジュールは、曜日単位でのみ設定が可能です。 【密閉型 3 センサ】 <ul style="list-style-type: none"> 系統ごとに、スケジュールを 1 日に 24 回設定することができます。 スケジュールは、曜日単位での設定に加え、5 種類の季節スケジュールの設定が可能です。 	○	○	○

機能			内容	開放型	密閉型 6 センサ	密閉型 3 センサ
通常 機能	スケジュール	年間スケジュール 設定	【共通】 <ul style="list-style-type: none"> 年間スケジュールは、祝日や夏季休暇など週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを、24 ヶ月先までの範囲で 50 日分設定できます。系統ごとに 5 種類の運転パターンを設定できます。 【開放型または密閉型 6 センサ】 <ul style="list-style-type: none"> 系統ごとに、スケジュールを 1 日に 8 回設定することができます。 【密閉型 3 センサ】 <ul style="list-style-type: none"> 系統ごとに、スケジュールを 1 日に 24 回設定することができます。 	○	○	○
		当日スケジュール 設定	週間や年間スケジュールを変更することなく、当日のみ有効なスケジュールを設定することができます。	—	—	○
		スケジュール 有効／無効	系統ごとに、スケジュール設定を有効／無効にできます。ただし、季節スケジュールの有効／無効は AE-200J ごとの設定となります。	—	—	○
初期 設定 機能	初期設定	現在日時設定	現在日時の設定ができます。	○	○	○
		ライセンス 登録	購入したライセンス（業務用ヒートポンプ給湯機ライセンス）の登録ができます。	○	○	○
		ユニット情報	本体の基本設定（ボリューム調節、表示形式などの設定）ができます。	○	○	○
		ネットワーク 設定	ネットワークに関する設定ができます。	○	○	○
		給湯機設定※ ¹	給湯機の系統登録と詳細設定ができます。	○	○	○
	ユーザー情報	保守ユーザー	「保守ユーザー名」「パスワード」の設定ができます。	○	○	○
		ビル管理者	「ビル管理者のユーザー名」「パスワード」「利用可能機能」の設定ができます。	○	○	○
	メンテナンス	データバック アップ	設定データを USB メモリに保存できます。	○	○	○
		データ 読み込み	設定データを USB メモリから読み込むことができます。	○	○	○
		運用データの CSV 出力※ ¹	USB メモリに給湯機の運用データを CSV 形式出力することができます。	○	○	—
		タッチパネル 補正	タッチパネルのタッチ位置を補正することができます。	○	○	○
		アップデート	ソフトウェアアップデートができます。	○	○	○

※¹ AE-200J の液晶画面でのみ設定可能な機能です。

お知らせ

- 液晶画面、初期設定ツール、初期設定用 Web ブラウザを併用して設定を行う場合、それぞれの方法で設定可能な機能が異なります。詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
- AE-200J では給湯機のパワーセーブスケジュール機能には対応していません。

II システム編

[1] システム構成

<1> 接続図

(1) AE-200J 1 台で全ての給湯機とその他の機器を管理する場合

AE-200J 1 台に給湯機・空調機等を接続し、給湯機・空調機等合わせて以下の台数まで監視・操作することができます。

接続台数制限

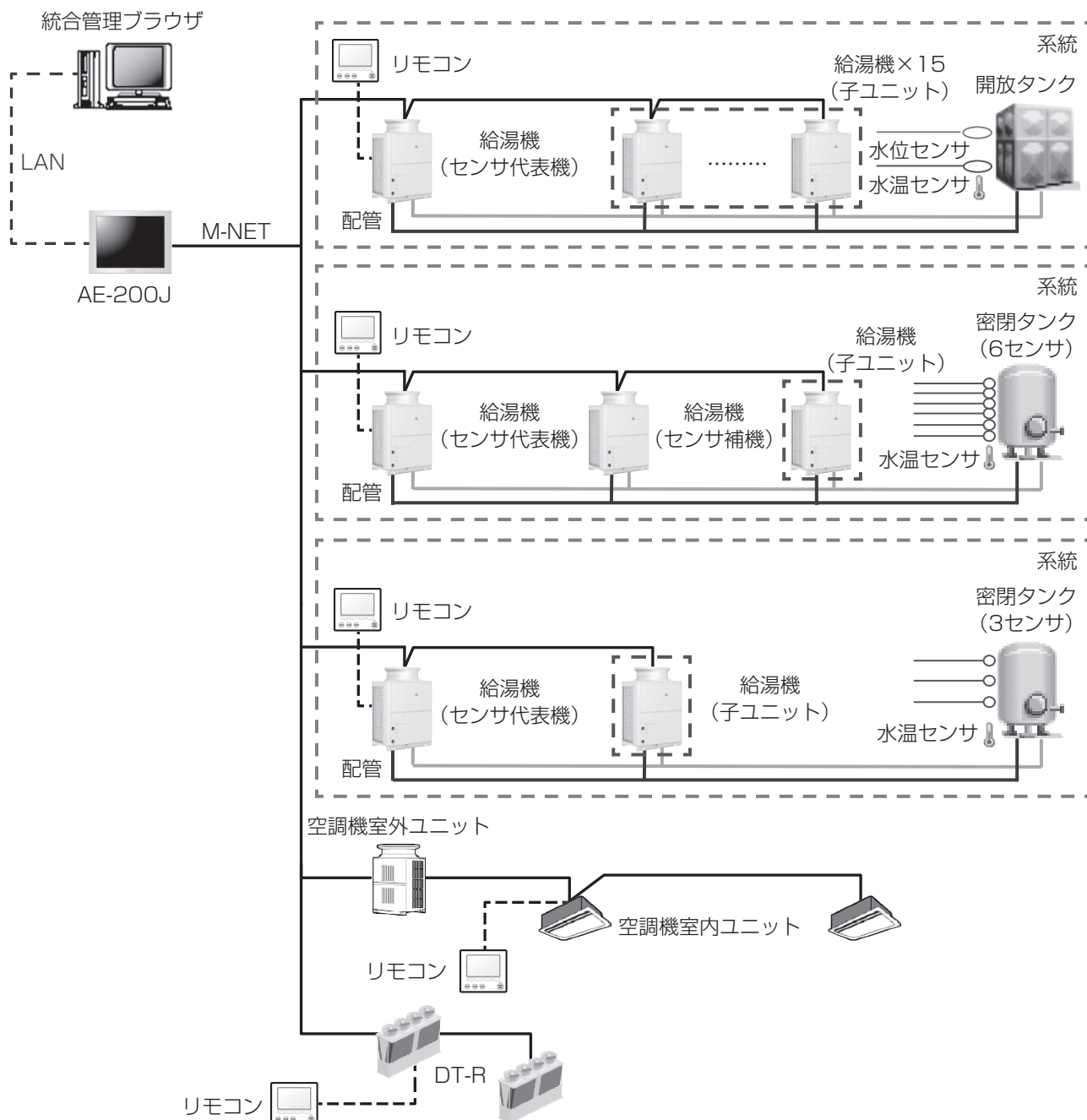
(給湯機台数 × 2) + (DT-R 台数 × 3) + その他機器台数 ≤ 50 台

下図の台数の場合 (例)

(給湯機 21 台 × 2) + (DT-R 2 台 × 3) + (空調機 2 台 × 1) = 42 + 6 + 2 = 50

お知らせ

- ・ 給湯機のみ管理する場合は、最大 24 台まで接続できます。
- ・ 集中管理伝送線 (M-NET) にシステムリモコンや計量 MC 等が接続されている場合、給電ユニット (PAC-SC51KU) が必要です。詳細は「AE-200J 空調冷熱ネットワーク設計マニュアル」を参照してください。
- ・ 給湯機を監視・操作をする場合は「業務用ヒートポンプ給湯機ライセンス」の登録が必要です。



(2) 複数の AE-200J/AE-50J /EW-50J で全ての給湯機とその他の機器を管理する場合

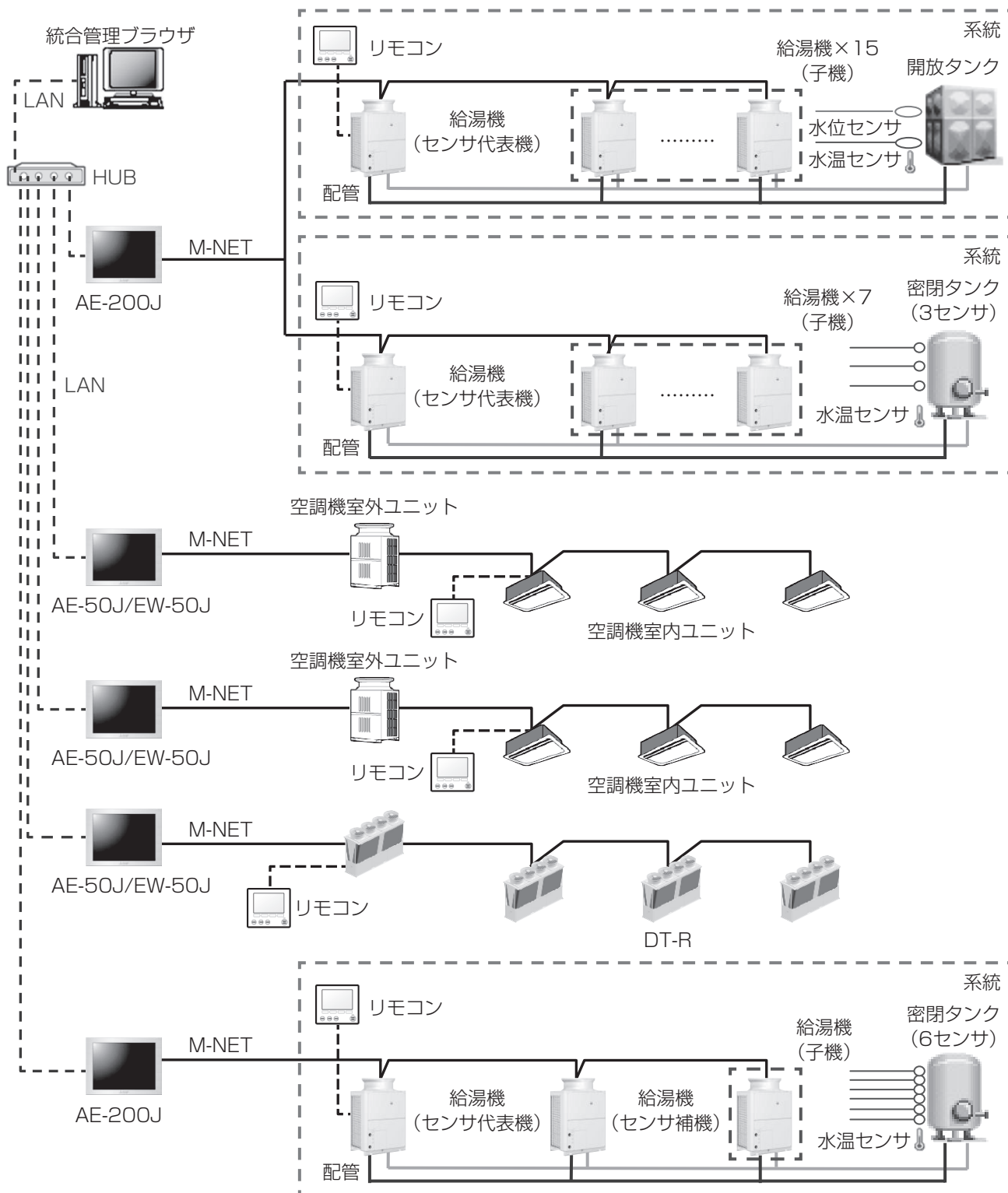
AE-200J に給湯機・空調機等を接続し、拡張コントローラ AE-50J/EW-50J を最大 3 台まで使用して空調機等を接続することで、給湯機・空調機等を合わせて以下の台数まで監視・操作することができます。

接続台数制限 (1 台の AE-200J/AE-50J/EW-50J あたり)

(給湯機台数 × 2) + (DT-R 台数 × 3) + その他機器台数 ≤ 50 台

お知らせ

- ・ 給湯機のみ管理する場合は、1 台の AE-200J/AE-50J/EW-50J で最大 24 台まで接続できます。
- ・ 給湯機は拡張コントローラ AE-50J /EW-50J に接続することはできません。
- ・ 25 台以上の給湯機を監視・操作したい場合は、AE-200J を増設してください。



<2> システムコントローラの接続可能機器

各システムコントローラが管理できる対象機器を示します。

○：使用可 △：機能限定で使用可 ×：使用不可

システムコントローラ (形名・最大台数・機能)		ON/OFF リモコン	システム リモコン	空調冷熱総合管理システム			BM アダ プター	電算室用BM アダプター
		PAC-YT40 ANR-W1※18	PAC-SF 50AT※18	AE-200J/AE-50J/EW-50J※11※12			PAC-YW 01BAC	PAC-YW 51BAC
		16G/ 50台	50G/ 50台	50G/50台 (拡張コントロー ラ使用時 200G/200台)		2000G/ 2000台	50G/ 50台	20G/ 20台
管理対象機器		監視・ 操作	監視・ 操作	監視・ 操作	電力按分課 金支援※13	BACnet® 管理	統合管理 ブラウザ	監視・ 操作
シティ マルチ	グランマルチ	○	○	○	○	○	○	×
	リブレースグランマルチ	○	○	○	○	○	○	×
	シティマルチ YGR※1	○	○	○	○	○	○	×
	シティマルチ Y※1	○	○	○	○	○	○	×
	ズバ暖マルチ Y※1	○	○	○	○	○	○	×
	スバ暖マルチ S	○	○	○	○	○	○	×
	ズバ暖マルチ F※1	○	○	○	○	○	○	×
	ズバ暖マルチ R2	○	○	○	○	○	○	×
	シティマルチ R2※1	○	○	○	○	○	○	×
	シティマルチ WR2※1	○	○	○	○	○	○	×
	シティマルチ WY※1	○	○	○	○	○	○	×
	シティマルチ S	○	○	○	○	○	○	×
設備用パッケージエアコン		○※2	○※2	○※2	○ ※2※14	○※2	○※2	○※2
設備用インバータエアコン		○	○	○	○※14	○	○	×
電算室用パッケージエアコン		△	△	△	×	×	△	×
A制御スリム機種 (同時タイプ)		○ ※3※4	○ ※3※4	○ ※3※4	○ ※3※4 ※14※15	○ ※3※4	○ ※3※4	○ ※3※4
スリム K シリーズ (個別マルチタイプ)		○	○	○	○	○	○	×
A制御スリム機種 (エコ・アイス mini)		○※4	○※4	○※4	△ ※4※8※14	○ ※4	○ ※4	○ ※4
ルームエアコン (RAC)		○※4	○※4	○※4	△※4※8	○※4	○※4	○※4
ハウジングエアコン (HAC)		○※4	○※4	○※4	△※4※8	○※4	○※4	○※4
業務用ロスナイ※17		○	○	○	○	○	○	○
外気処理ユニット※17 (加熱加湿付ロスナイ)		○	○	○	○	○	○	○
換気関連機器用フリープランアダプタ※17 エア搬送ファン (フリープランアダプタ付)		○	○	○	△※8	○	○	○
業務用エコキュート (QAHV)※16※19		×	×	○※7	×	×	○	×
K制御機種		×	×	×	×	×	×	×
低温 機器 ※16	R410A コンデン シングユニット及 びクールマルチ シリーズ	×	×	○※5※7	×	×	×	×
	R404A コンデンシング ユニット及びクールマルチ	×	×	○※6※7	×	×	×	×
産業用除湿機※16		×	×	○※7	×	×	×	×
空冷ヒートポンプチャラー DT-R		×	×	○	×	×	○	×
ファンコイルユニット		×	×	○※9	×	×	○※9	×
計量 MC※16		×	×	○	○	○	○	×
環境 MC※16		×	×	○	○	×	○	×
汎用 DC		△※10	○	○	△※8	×	○	×

- ※1 リプレースマルチも含まれます。
- ※2 M-NET 接続対応ユニット（受注対応）を選定願います。
- ※3 A制御スリムのジェットバーナー機種は、管理できません。
- ※4 別途、アダプターが必要になります。
 - ・ M-NET 接続アダプター（A 制御スリム機種）
 - ・ システム制御用インターフェイス（ルームエアコン、ハウジングエアコン）
- ※5 ECOV シリーズ／ECV シリーズは、2012 年 8 月以降販売の機器から接続できます。（2012 年 7 月以前販売の機器とは接続できません。）
- ※6 （ハイ）クオリティコントローラ経由の接続となります。
- ※7 AE-200J に接続できます。AE-50J/EW-50J には接続できません。
- ※8 電力量の按分はできません。電力量計の直読みのみ対応しています。
- ※9 ファンコイルユニットは、給湯機、空調機、DT-R、低温機器、除湿機と同一 M-NET 系統に接続することはできません。空調機とファンコイルユニットを接続する場合は、ファンコイルユニット専用の M-NET 系統を別に設定してください。別途、給電ユニット（PAC-SC51KU、CB-33KU-A、PAC-SF46EP 等）が必要になります。
- ※10 6 機器分の機器 1 つ目のみ操作できます。
- ※11 AE-50J は単独では使用できません。
- ※12 AE-200J で次の機器を管理、または機能を使用する場合は、ライセンス（オプション）の登録が必要です。
 - ・ DT-R、低温機器、除湿機、給湯機を接続する場合
 - ・ BACnet® により中央監視システムと接続する場合
 - ・ 省エネ制御、省エネピークカット制御、高顕熱制御、統合管理ブラウザ、電力按分課金支援機能を使用する場合
- ※13 電力按分課金支援機能を使用する場合は、AE-200J と拡張コントローラ AE-50J/EW-50J が必要です。AE-200J の M-NET 系統は使用できません。また、AE-50J/EW-50J には、空調機、DT-R 以外の機器は接続できません。詳細は、「AE-200J 空調冷熱ネットワーク設計マニュアル」を参照してください。
- ※14 設備用パッケージエアコン用の電力量計と A 制御スリム機種用の電力量計は、分けて設置してください。
- ※15 2010 年以降に発売された下記 M-NET 接続アダプターのみ、室外機使用電力按分モード「能力セーブ量」での按分が可能です。
 - ・ PAC-SJ10MA、PAC-SJ18MA、PAC-SJ31MA、PAC-SJ68MA、PAC-SJ69MA、PAC-SG98MA（2016 年 12 月現在）以外の形名の M-NET 接続アダプターがシステム構成に含まれている場合は、販売店にご相談ください。
- ※16 グループ登録はできません。
- ※17 対象機種の接続、および機能の詳細については、「ロスナイ技術資料」を参照してください。
- ※18 同一 M-NET 上に 6 台まで接続できます。
- ※19 給湯機は、QAHV-N560D（-HWP）（2016 年 12 月以降に発売）から接続できます。

[2] M-NET 伝送線の仕様・制限

M-NET 伝送線には、以下の仕様・制限があります。

- (1) 線種・サイズ
- (2) 配線長（最大給電距離・最遠端距離）
- (3) リピーター台数
- (4) 給電能力係数・消費電力係数・L 係数

それぞれの制限について、詳しく説明します。

<1> M-NET伝送線の線種・サイズ・配線長

M-NET 伝送線とリモコン線は、以下の仕様のものを使用してください。

M-NET 伝送線	種類	シールド線 CVVS・CPEVS・MVVS エコケーブル※ ¹ （参考）EM-CEES・EM-CPEES・EM-MEES
	線数	2 心ケーブル
	断面積または線径※ ⁶	1.25mm ² または ϕ 1.2mm 以上※ ⁸
	配線長	「<2> M-NET 伝送線の配線長制限」を参照してください

		10m 以下の場合	10m を超える場合
リモコン線 (ME リモコン)	種類	シールド線 CVVS・CPEVS・MVVS エコケーブル※ ¹ （参考）EM-CEES・EM-CPEES・EM-MEES	
	線数	2 心ケーブル	
	断面積または線径※ ⁶	0.3 ~ 1.25mm ² または ϕ 0.65 ~ ϕ 1.2mm ※ ³ ※ ⁸	1.25mm ² または ϕ 1.2mm 以上※ ⁸
	配線長	最大 10m	10m を超える部分は、室内外伝送線 最遠長の内数としてください

		MA スマート系リモコン※ ⁴	左記以外の MA リモコン
リモコン線 (MA リモコン※ ²)	種類	シース付ケーブル※ ⁷	VCTF・VCTFK・CVV・VVR・VVF・VCT
	線数	2 心ケーブル	
	断面積	0.3mm ²	0.3 ~ 1.25mm ² ※ ⁴
	配線長	最大 200m ※ ⁵ （ビル用マルチエアコンの場合）	

		10m 以下の場合	10m を超える場合
リモコン線 (給湯リモコン)	種類	シース付ケーブル※ ⁷	VCTF・VCTFK・CVV・VVR・VVF・VCT
	線数	2 心ケーブル	
	断面積	0.3mm ²	1.25mm ²
	配線長	最大 250m	

※¹ エコケーブルは、シースが黒色の耐燃性ケーブルを選定してください。

※² MA リモコンとは、MA スムースリモコン・MA スマートリモコン・MA コンパクトリモコン・ジーニアスリモコン・ロスナイコンパクトリモコン・受光アダプターを示します。

※³ 作業上、0.75mm² までの線径を推奨します。PAC-YT81HC(10m) の別売ケーブルも使用できます。

※⁴ 以下のリモコンを示します。

- ・ MA スマートリモコン (PAR-37MA)
- ・ MA コンパクトリモコン (PAC-YT52CR)
- ・ ジーニアスリモコン (PGL-61DR2)
- ・ ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2)

※⁵ MA リモコン (MA スマートリモコンを含む) をペアで接続する場合は、100m 以内としてください。機種により配線長が異なる場合があります。機種の据付工事説明書を参照してください。

※⁶ 断面積および線径の上限は機種により異なります。各機種の据付工事説明書を確認してください。

※⁷ PAC-YT81HC(10m)、PAC-YT82HC(20m) の別売ケーブルも使用できます。

※⁸ 製品により、断面積および線径を 1.25mm² または ϕ 1.2mm に限定している機種があります。各機種の据付工事説明書を参照してください。

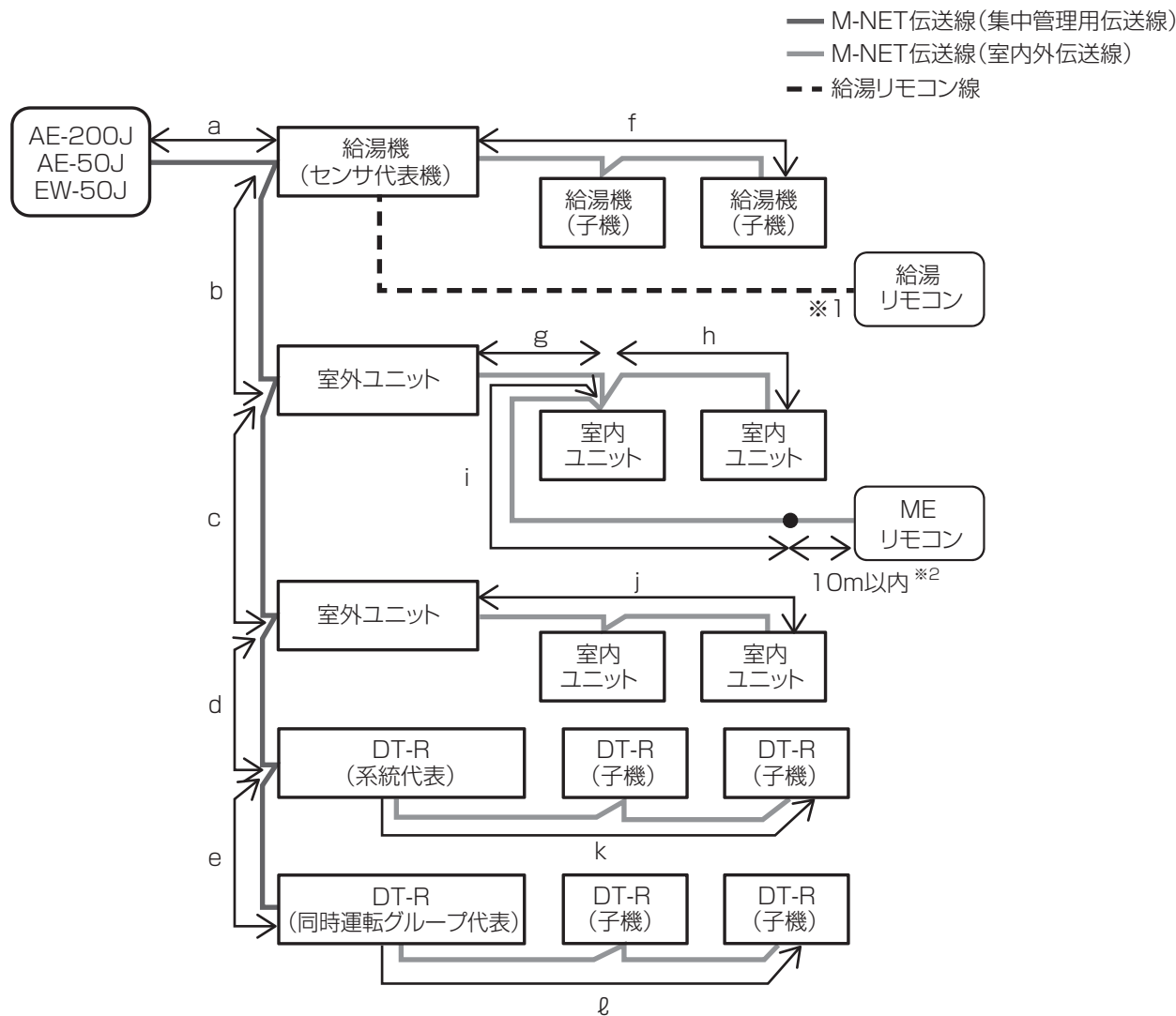
<2> M-NET伝送線の配線長制限

(1) 配線長制限の概要

M-NET 伝送線（集中管理用伝送線・室内外伝送線）の配線長は、以下の制限があります。制限が守られていない場合は、M-NET 伝送線の電圧降下などにより通信異常が発生することがあります。

制限の種類	最大配線長	
最大給電距離	最大 200m	集中管理用伝送線、および室内外伝送線において、「M-NET 伝送線に給電する装置」から最遠端の装置（もしくは伝送線用給電拡張ユニット PAC-SF46EP）までの伝送線長は 200m 以下にしてください。
最遠端距離	最大 1,000m (500m ※)	集中管理用伝送線、および室内外伝送線に接続する各末端の装置間の伝送線長は 1,000m (500m ※) 以下にしてください。

※ システムに最遠端距離 1,000m 非対応のユニット・リモコン・シスコンまたは M-NET 機器端末が 1 台でも含まれる場合は、最遠端距離は最大 500m となります。各ユニット・リモコンまたは M-NET 機器端末の最遠端距離 1,000m 対応状況は、添付資料、または最新のカatalogを確認してください。ご不明な点は販売窓口までお問い合わせください。



M-NET伝送線の配線長の制限

- ※1 給湯用リモコンの配線は最大 250m まで延長が可能です。
ただし、10m を超える場合は 1.25m² の電線を現地で手配してください。
- ※2 配線長が 10m を超える場合、10m を超える部分の配線長を給電距離、および最遠端距離に含めてください。
- ※3 集中管理用伝送線にシステムリモコンなどの給電を必要とする機器を接続する場合は、給電ユニットが必要になる場合があります。給電ユニットを接続する場合は、給電する機器の給電用コネクタを外す必要があります。詳細は、「AE-200J 空調冷熱ネットワーク設計マニュアル」を参照してください。
- ※4 給電する機器からの給電距離制限（200m）を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニット（PAC-SF46EP）が必要です。詳細は「AE-200J 空調冷熱ネットワーク設計マニュアル」を参照してください。

1) M-NET 伝送線の最大給電距離いずれも 200m 以下

① 集中管理用伝送線の最大給電距離

$$a + b + c + d + e$$

② 室内外伝送線の最大給電距離

- 給湯機（センサ代表機）～給湯機（子機）
f
- 室外ユニット～室内ユニット間
g + h
g + i
j
- DT-R（系統代表）～DT-R（子機）間
k
- DT-R（同時運転グループ代表）～DT-R（子機）間
ℓ

2) M-NET 伝送線の最遠端距離

いずれも 1,000m (500m ※) 以下

- AE-200J — 給湯機間
a + f
- AE-200J/AE-50J/EW-50J — 室内ユニット間
a + b + g + h
a + b + g + i
a + b + c + j
- AE-200J/AE-50J/EW-50J — DT-R（子機）間
a + b + c + d + k
a + b + c + d + e + ℓ
- 給湯機（子機） — 室内ユニット間
f + b + g + h
f + b + c + j
- 給湯機（子機） — DT-R（子機）間
f + b + c + d + k
f + b + c + d + e + ℓ
- 室内ユニット — 室内ユニット間
h + g + c + j
- 室内ユニット — DT-R（子機）間
h + g + c + d + k
h + g + c + d + e + ℓ
j + d + k
j + d + e + ℓ
- ME リモコン — 給湯機（子機）間
i + g + b + f
- ME リモコン — 室内ユニット間
i + g + c + j
- ME リモコン — DT-R（子機）間
i + g + c + d + k
i + g + c + d + e + ℓ
- DT-R（子機） — DT-R（子機）間
k + e + ℓ

※ システムに最遠端距離 1,000m 非対応のユニット・リモコン・シスコンまたは M-NET 機器端末が 1 台でも含まれる場合は、最遠端距離は最大 500m となります。各ユニット・リモコンまたは M-NET 機器端末の最遠端距離 1,000m 対応状況は、添付資料、または最新のカatalogを確認してください。ご不明な点は販売窓口までお問い合わせください。

<3> 給湯機の接続台数・アドレス範囲

給湯機の接続台数と M-NET アドレスの範囲を以下に示します。

ユニットまたは コントローラ	記号	最大 接続台数	M-NET アドレス 設定範囲	M-NET アドレス 決定方法
給湯機	CE	24	01 ~ 50	同一系統内のセンサ代表機にしたい給湯機を最も若いアドレスに、また、同一系統内の給湯機アドレスを連番に設定してください。(1 系統は最大 16 台まで)
リモコン	—	—	給湯リモコンのアドレス設定は不要です。	

お知らせ

- 給湯機のみ管理する場合は、AE-200J ごと（M-NET 1 系統ごと）に最大 24 台まで接続できます。
- 給湯機を管理する場合は、業務用ヒートポンプ給湯機ライセンスが必要です。
- 給湯機は、AE-200J にのみ接続することができます。

III 設定編

[1] 使用方法（液晶画面）

<1> 監視/操作

この章では、AE-200Jに接続された給湯機の状態監視、操作をAE-200Jの液晶画面で行う場合の使用方法を説明します。

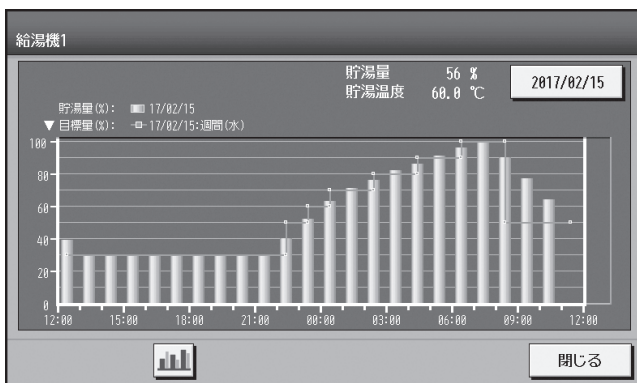
(1) 通常の監視

基本的な状態監視・操作を行うときは、以下の表に示す画面を使用します。給湯機の機種によって操作可能な画面が異なります。

画面	内容	開放型	密閉型 6 センサ	密閉型 3 センサ
給湯機一覧画面	給湯機の運転状態が一覧表示されます。 通常、本機はこの画面で運用します。	○	○	○
センサー一覧表示画面	センサ温度を表示します。 給湯機（密閉型 6 センサ）の場合には、タンクの貯湯状態も表示します。	—	○	○
貯湯量グラフ表示画面	給湯機の運転状況（目標貯湯量、実績貯湯量）のグラフを表示します。1 日表示では指定した日付のグラフを、指定日比較では本日のグラフを過去の指定日または翌日のグラフと重ねて表示できます。	○	○	—
表示日付選択画面	給湯機の運転状況が記録された日付をカレンダー形式で選択することができます。	○	○	—
給湯機操作画面	給湯機の操作を系統単位で行います。 操作項目は給湯機によって、以下の通りとなります。 【共通項目】 運転 / 停止、ファンモード、リモコン操作禁止設定、 異常リセット 【給湯機（開放型、密閉型 6 センサ）のみの項目】 緊急沸き増し、沸き増し目標貯湯量 【給湯機（密閉型 3 センサ）のみの項目】 運転モード、設定温度、モード設定の表示、 スケジュール有効 / 無効	○	○	○
異常発生中画面 異常履歴画面	異常発生時に異常状態が表示されます。	○	○	○

(2) 画面の遷移

① 給湯機が開放型、密閉型 6 センサの場合



貯湯量グラフ表示画面
(「(5) 貯湯量グラフ表示画面」参照)

表示機器	エラー発生アドレス	異常コード
給湯機5	017	7106
給湯機5	018	7106
給湯機5	019	7106
給湯機5	020	7106
給湯機5	021	7106
給湯機5	022	7106

異常発生中の画面
(「<2> (1) 異常発生中画面」参照)

表示機器	貯湯量	貯湯温度	ユニット状態
給湯機1	56 %	60.0°C	■ ■ ■ ■ ■
給湯機2	65 %	60.0°C	■ ■
給湯機3	70 %	55.7°C	■ ■ ■ ■
給湯機4	56 %	60.0°C	■ ■

給湯機の一覧画面
(「(4) 運転状態のモニター」参照)

給湯側	給水側	温度
1	1	74.3°C
2	2	72.0°C
3	3	71.4°C
4	4	45.1°C
5	5	40.7°C
6	6	30.6°C

センサー一覧表示画面
(「(6) センサー一覧表示画面」参照)

操作画面
(「(7) 操作画面」参照)

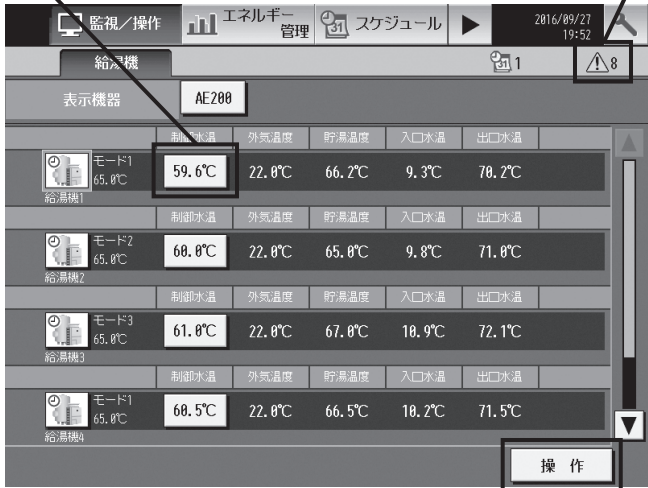
② 給湯機が密閉型 3 センサの場合



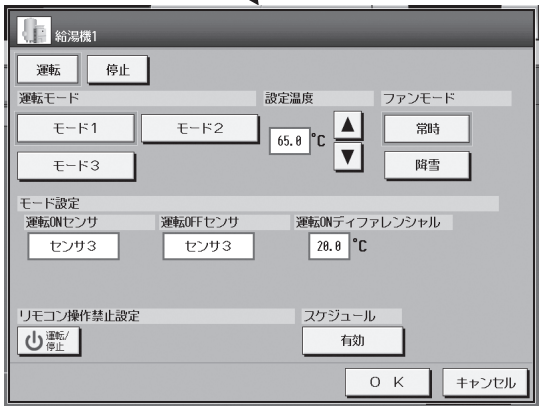
センサー一覧表示画面
(「(6) センサー一覧表示画面」 参照)



異常発生中の画面
(「<2> (1) 異常発生中画面」 参照)



給湯機の一覧画面
(「(4) 運転状態のモニター」 参照)



操作画面
(「(7) 操作画面」 参照)

(3) アイコンの表示

液晶画面の【監視／操作】の給湯機画面で、給湯機の運転状態がアイコンとして表示されます。
アイコンをタッチし、【操作】をタッチすると給湯機の操作画面が表示されます。

[給湯機が開放型または密閉型 6 センサの場合（アイコンは開放型の例を示す）]

運転	停止	異常発生中	スケジュールあり	機器不明※ ¹
パワーセーブ 運転中	清掃中※ ²			

[給湯機が密閉型 3 センサの場合]

運転	停止	異常発生中	スケジュールあり	スケジュール無効
機器不明※ ¹	パワーセーブ 運転中			

- ※¹ AE-200J の立ち上げ後、機器が認識できない場合、このアイコンが表示され続けますので、給湯機の接続と給湯機設定を確認してください。給湯機の設定については、「(7) 給湯機設定」を参照してください。
- ※² 清掃中（給湯機の清掃スイッチ入力中）のアイコンが表示されている間は、運転操作を行っても給湯機は運転しません。

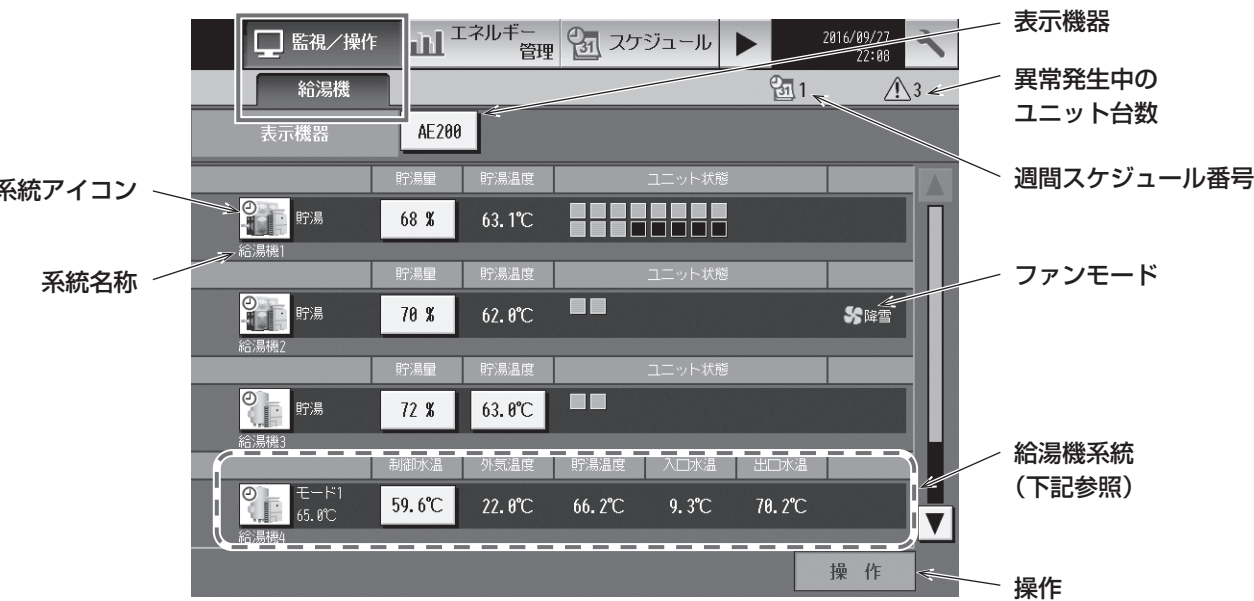
(4) 運転状態のモニター

給湯機の運転状態を系統単位で、運転 / 停止 / 異常発生中のいずれかが表示されます。
メニューの[監視 / 操作] - [給湯機] をタッチすると、給湯機の一覧画面が表示されます。
給湯機のアイコンが系統ごとに表示され、運転状態を確認することができます。
また、系統アイコンをタッチして選択後、[操作] をタッチすると、操作画面を表示させることができます。

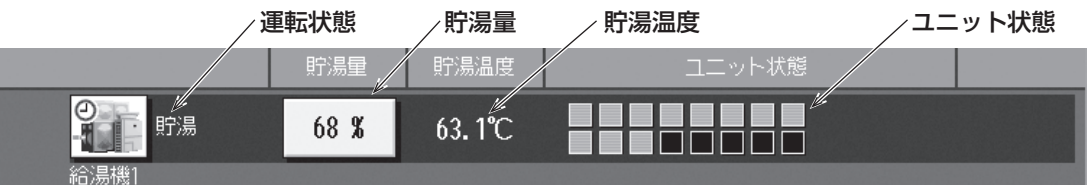
お願い

- ・ 系統アイコンは初期設定画面で設定した系統番号順に表示されます。
機種をそろえて表示したい場合は、機種に応じた表示順となるように設定を行ってください。
詳細な設定方法は、「(7) 給湯機設定」を参照してください。

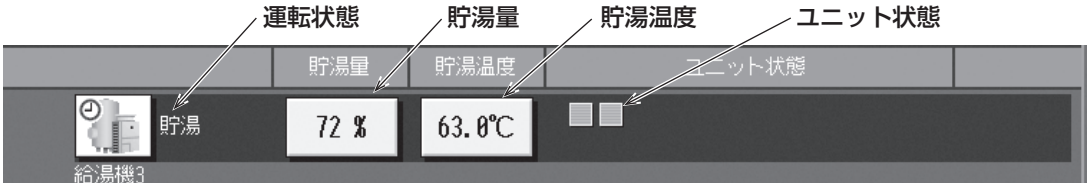
給湯機一覧画面（全体）



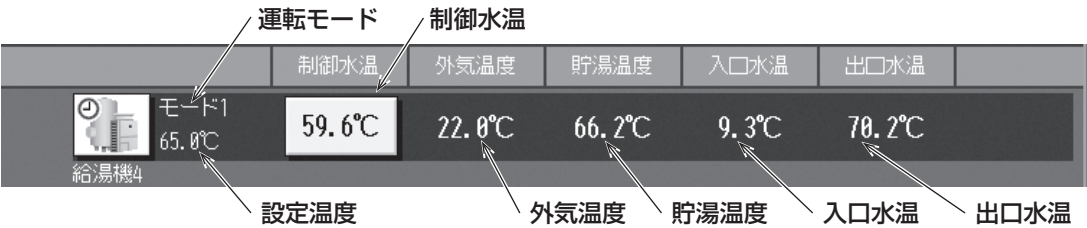
給湯機系統（開放型）













給湯機系統（密閉型 6 センサ）



給湯機系統（密閉型 3 センサ）



区分	項目	内容							
共通	系統アイコン	系統の運転／停止／異常の状態を表します。							
	系統名称	設定した系統の名称が表示されます。 <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">系統名称が設定されていない場合は、「給湯機」＋系統番号が表示されます。							
	操作	系統アイコンを選択した状態でタッチすると、操作画面が表示されます。							
	表示機器	[AE200]、[Exp1] ～ [Exp3] を切り替えて AE-200J と各 AE-50J/EW-50J の表示を切り替えます。 <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">AE-200J に「台数拡張」設定が [利用する] に設定されている場合に、「表示機器」が表示されます。給湯機は AE-200J でのみ接続可能なため、[Exp1] ～ [Exp3] に切り替えた場合には給湯機は表示されません。							
	週間スケジュール番号	現在有効な週間スケジュール番号が表示されます。							
	異常発生中のユニット台数	AE-200J の管理下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。 [] をタッチすると、異常発生中の画面が表示されます。（「(1) 異常発生中画面」を参照してください。） <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">異常が発生していない場合は表示されません。AE-200J の異常発生数は、接続されている AE-50J/EW-50J 系統の異常発生数を含みます。							
	ファンモード	 降雪：給湯機の冷却ファンへの積雪氷結を防止するため、圧縮機停止中でもファンを回転させている状態を示します。							
開放型 または 密閉型 6 センサ	運転状態	系統の運転状態を表示します。表示される文字は以下の通りです。 停止：停止中の状態です。 貯湯：スケジュール設定した量までお湯を作っている状態です。 保温：設定した湯温を保っている状態です。 沸増：緊急沸き増し操作により、操作画面で設定した沸き増し目標貯湯量まで貯湯している状態です。沸き増しが完了すると、スケジュール運転に戻ります。							
	貯湯量	現在タンクに入っているお湯の量を表示します。 ボタンをタッチすると、貯湯量グラフ表示画面が表示されます（詳細は、「(5) 貯湯量グラフ表示画面」を参照してください）。 <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">給湯機が開放型の場合、センサ異常時は -- と表示されます。給湯機が密閉型 6 センサの場合、6 つのセンサの内、センサ異常がある時、異常のセンサを除いて計算した値となります。6 つのセンサ全て異常時は、-- と表示されます。							
	貯湯温度	現在タンクに入っているお湯の温度を表示します。 給湯機が密閉型 6 センサの場合、ボタンをタッチすると、センサー一覧表示画面が表示されます。 <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">給湯機が開放型の場合、センサ異常時は、-- と表示されます。給湯機が密閉型 6 センサの場合、6 つのセンサの内、センサ異常がある時、異常のセンサを除いて計算した値となります。6 つのセンサ全て異常時は、-- と表示されます。							
	ユニット状態	タンクに接続されている全ての給湯機（左側、上側からアドレスの小さい順）の圧縮機運転状態を示します。 <table><tr><td></td><td>圧縮機運転中</td><td>圧縮機停止中</td><td>異常中</td></tr><tr><td>給湯機</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		圧縮機運転中	圧縮機停止中	異常中	給湯機		
	圧縮機運転中	圧縮機停止中	異常中						
給湯機									

お知らせ

- ・ 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。

区分	項目	内容
密閉型 3 センサ	運転モード	系統の運転モードを表示します。表示される文字は、操作画面で設定した [モード 1]、[モード 2]、[モード 3] のいずれかとなります。
	設定温度	タンクに入っているお湯の設定温度（貯湯運転終了温度）を表示します。
	制御水温	<p>運転しているモードの運転 OFF センサのセンサ値を表示します。 ボタンをタッチすると、センサー一覧表示画面が表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作画面で設定したモードの運転 OFF センサにセンサ異常がある場合、-- と表示されます。
	外気温度	外気温度を表示します。
	貯湯温度	タンク内にあるセンサの中で、一番上に位置するセンサの温度を表示します。
	入口水温	センサ代表機の給湯機入口水温を表示します。
	出口水温	センサ代表機の給湯機出口水温を表示します。

お知らせ

- 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。

(5) 貯湯量グラフ表示画面

貯湯量グラフ表示画面では、給湯機（開放型、密閉型 6 センサ）の実績貯湯量と目標貯湯量をグラフで表示します。また、当日のデータを過去 400 日分または翌日のデータと比較して見ることもできます。

お知らせ

- ・ 翌日のデータについては、目標貯湯量のみがグラフで表示されます。

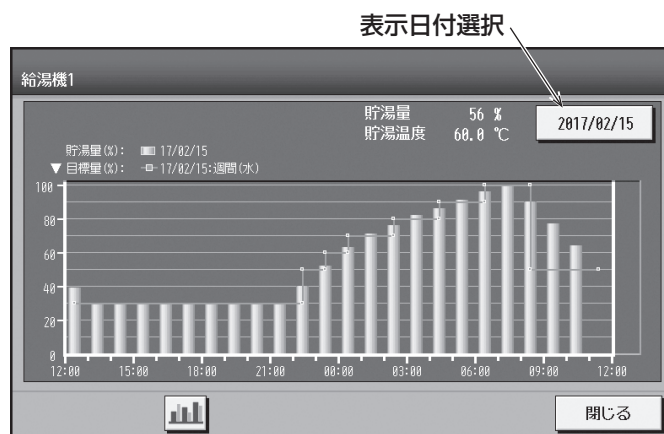
① 1 日の貯湯量を表示する場合

手順

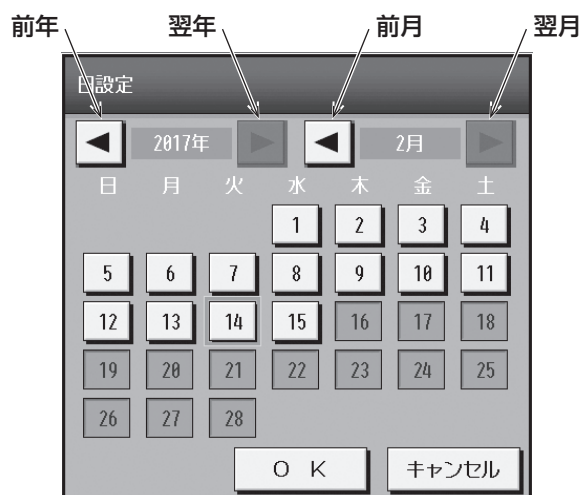
1. 貯湯量ボタンをタッチする。



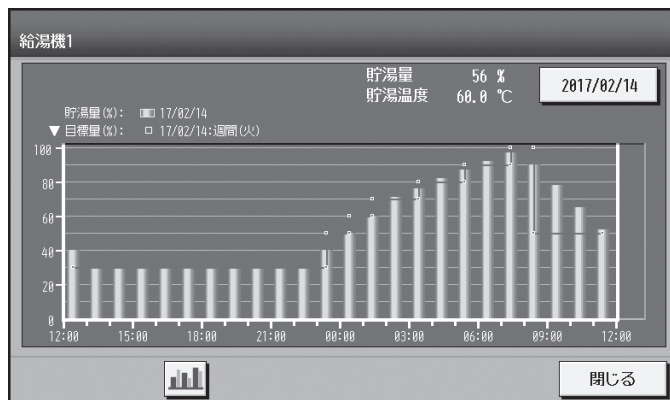
2. 1 日表示の貯湯量グラフ表示画面が表示される。
当日の貯湯量を黄色の棒グラフで、目標貯湯量をオレンジ色の折れ線で 1 時間単位で確認することができます。
3. 指定した日付の貯湯量を表示したい場合には、表示日付選択ボタンをタッチする。



4. 表示日付選択ボタンをタッチすると、日付選択画面が表示されるので、表示したい日付をタッチし、[OK] をタッチする。
表示したい日付が表示中の画面にない場合には、前年または翌年ボタンで該当年まで、前月または翌月ボタンで該当月まで移動してください。



5. 指定した日付の貯湯量が水色の棒グラフで、目標貯湯量が青色の折れ線で 1 時間単位で表示される。




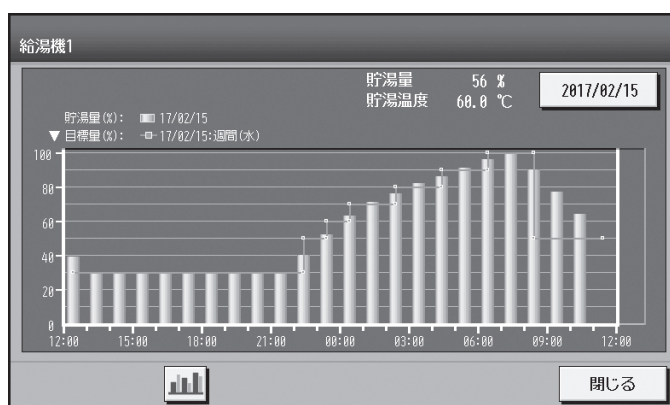
② 当日と指定した日付の貯湯量を比較表示する場合

手順

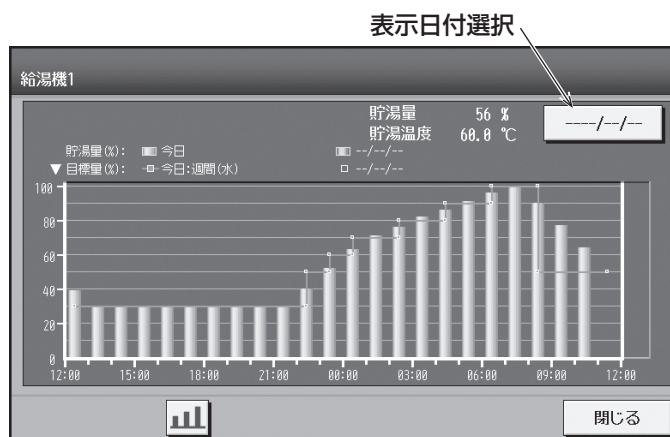
1. 貯湯量ボタンをタッチする。



2. 1 日表示の貯湯量グラフ表示画面が表示されるので、 をタッチする。



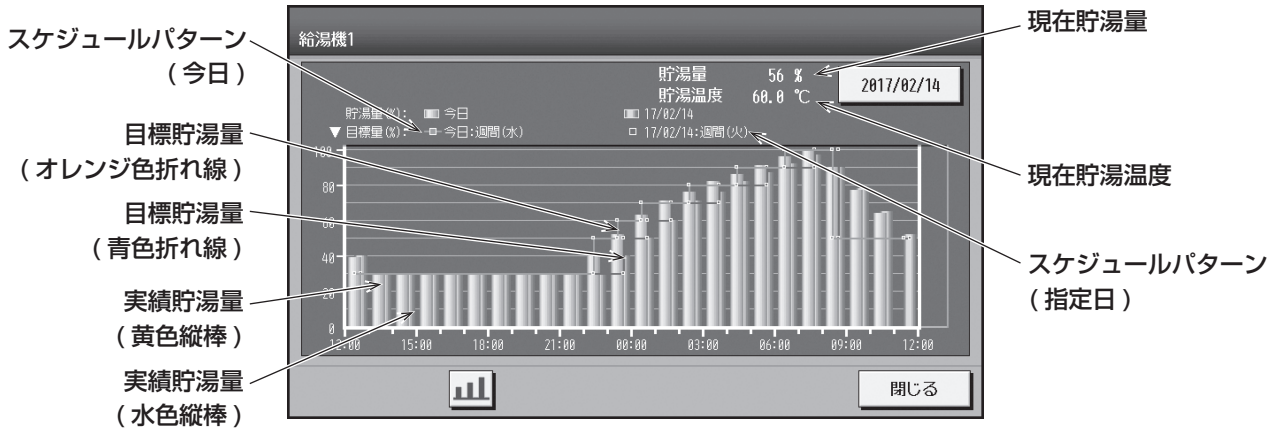
3. 指定日比較用の貯湯量グラフ表示画面が表示されるので、表示日付選択ボタンをタッチする。



4. 表示日付選択ボタンをタッチすると、日付選択画面が表示されるので、表示したい日付をタッチし、[OK] をタッチする。
表示したい日付が表示中の画面にない場合には、前年または翌年ボタンで該当年まで、前月または翌月ボタンで該当月まで移動してください。



5. 当日と指定した日付の貯湯量グラフが表示される。



項目	内容
目標貯湯量 (オレンジ色折れ線)	今日の目標貯湯量を折れ線グラフ(1時間単位)で表示します。
目標貯湯量 (青色折れ線)	指定した日付の目標貯湯量(給湯機で演算した値)を折れ線グラフ(1時間単位)で表示します。 お知らせ ・翌日を指定した場合、日量係数、学習レベルが考慮されていない値の目標貯湯量が表示されます。
実績貯湯量 (黄色縦棒)	今日の実績貯湯量を棒グラフ(1時間単位)で表示します。
実績貯湯量 (水色縦棒)	過去の指定した日付の実績貯湯量を棒グラフ(1時間単位)で表示します。

お知らせ

- 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。
- 目標貯湯量、実績貯湯量に関して、取得できていない時間帯については、表示されません。

項目	内容
現在貯湯量	<p>現在タンクに入っているお湯の量を表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 給湯機が開放型の場合、センサ異常時は -- と表示されます。 給湯機が密閉型 6 センサの場合、6 つのセンサの内、センサ異常がある時、異常のセンサを除いて計算した値となります。6 つのセンサ全て異常時は、-- と表示されます。
現在貯湯温度	<p>現在タンクに入っているお湯の温度を表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 給湯機が開放型の場合、センサ異常時は、-- と表示されます。 給湯機が密閉型 6 センサの場合、6 つのセンサの内、センサ異常がある時、異常のセンサを除いて計算した値となります。6 つのセンサ全て異常時は、-- と表示されます。
スケジュールパターン (指定日)	指定日に最終的に動作していたスケジュール (年間 (A) ~ (E) または週間 (日) ~ (土) のいずれか) を示します。
スケジュールパターン (今日)	現在、動作しているスケジュール (年間 (A) ~ (E) または週間 (日) ~ (土) のいずれか) を示します。

お知らせ

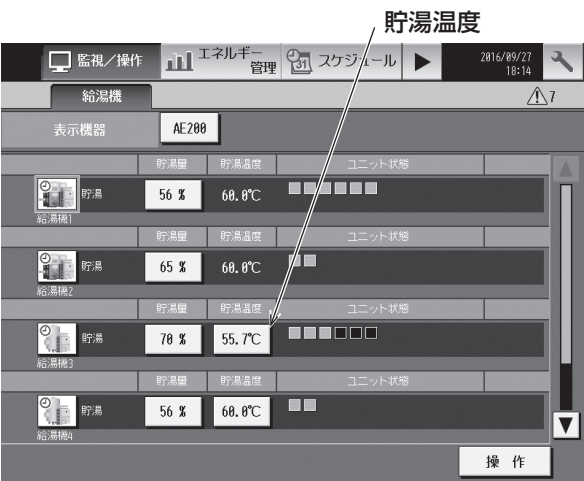
- 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。

(6) センサー一覧表示画面

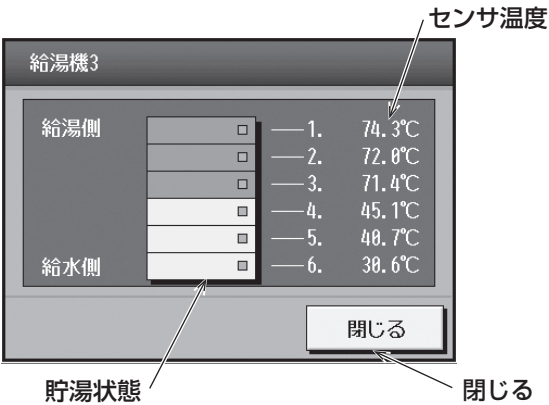
① 給湯機が密閉型 6 センサの場合

手順

1. 貯湯温度ボタンをタッチする。



2. センサー一覧表示画面が表示される。
タンク内にある 6 つのセンサ毎の温度と貯湯状態を確認することができます。



項目	内容						
センサ温度	タンク内にある 6 つのセンサ毎の温度を表示します。 上からセンサ位置が高い（給湯側）～低い（給水側）の順にそれぞれの温度を表示します。 お知らせ ・ センサ異常時は、-- と表示されます。						
貯湯状態	タンク内における「お湯」、「水」の量を表示します。 有効貯湯温度（「[4] <3> (7) ⑤ 詳細設定（密閉型 6 センサ）」参照）以上となった位置から高い位置を「お湯」として、それより低い位置を「水」として表示します。 <table><tr><td>お湯</td><td>水</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>オレンジ色</td><td>薄いオレンジ色</td></tr></table>	お湯	水			オレンジ色	薄いオレンジ色
お湯	水						
オレンジ色	薄いオレンジ色						
閉じる	タッチするとセンサー一覧表示画面を閉じます。						

お知らせ

- 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。

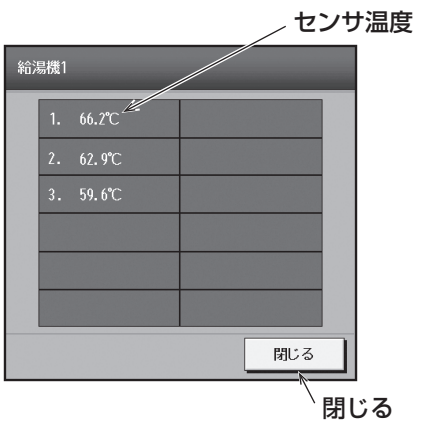
② 給湯機が密閉型 3 センサの場合

手順

1. 制御水温ボタンをタッチする。



2. センサー一覧表示画面が表示される。
タンク内にあるセンサ毎の温度を確認することができます。



項目	内容
センサ温度	タンク内にあるセンサ毎の温度を表示します。 お知らせ ・ センサ異常時は、-- と表示されます。
閉じる	閉じるボタンをタッチするとセンサー一覧表示画面を閉じます。

お知らせ

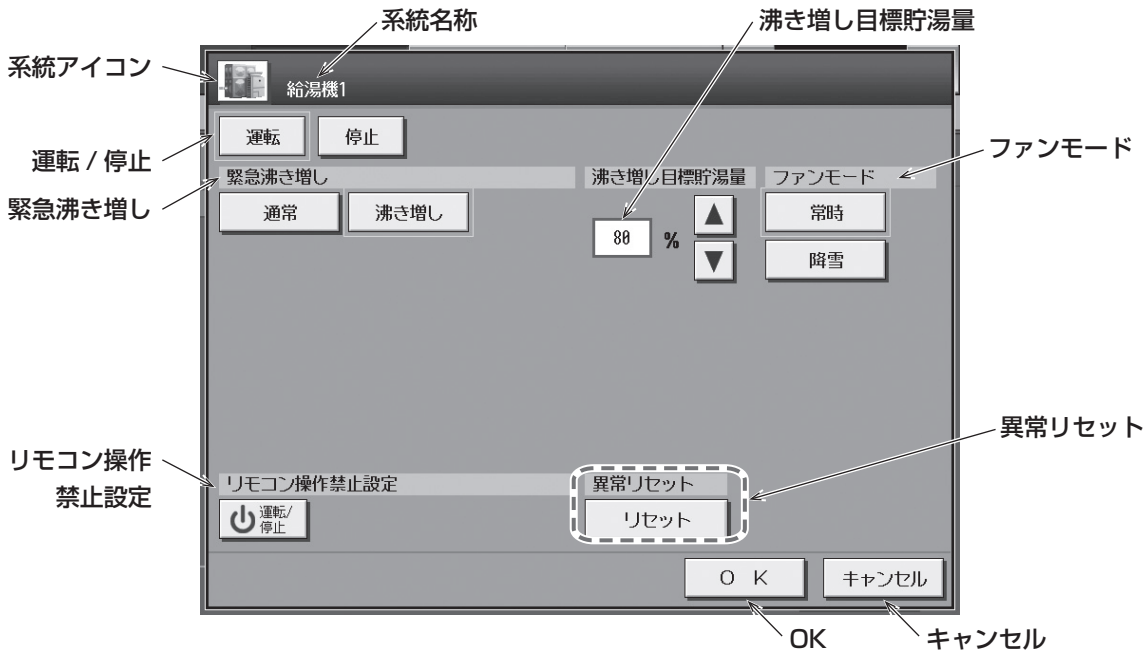
- 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。

(7) 操作画面




操作したい給湯機の系統アイコンをタッチし、**【操作】** をタッチすると、操作画面が表示されます。
操作したい設定を変更し、**【OK】** をタッチして変更内容を決定します。設定を変更せずに前の画面に戻る場合は、**【キャンセル】** をタッチします。



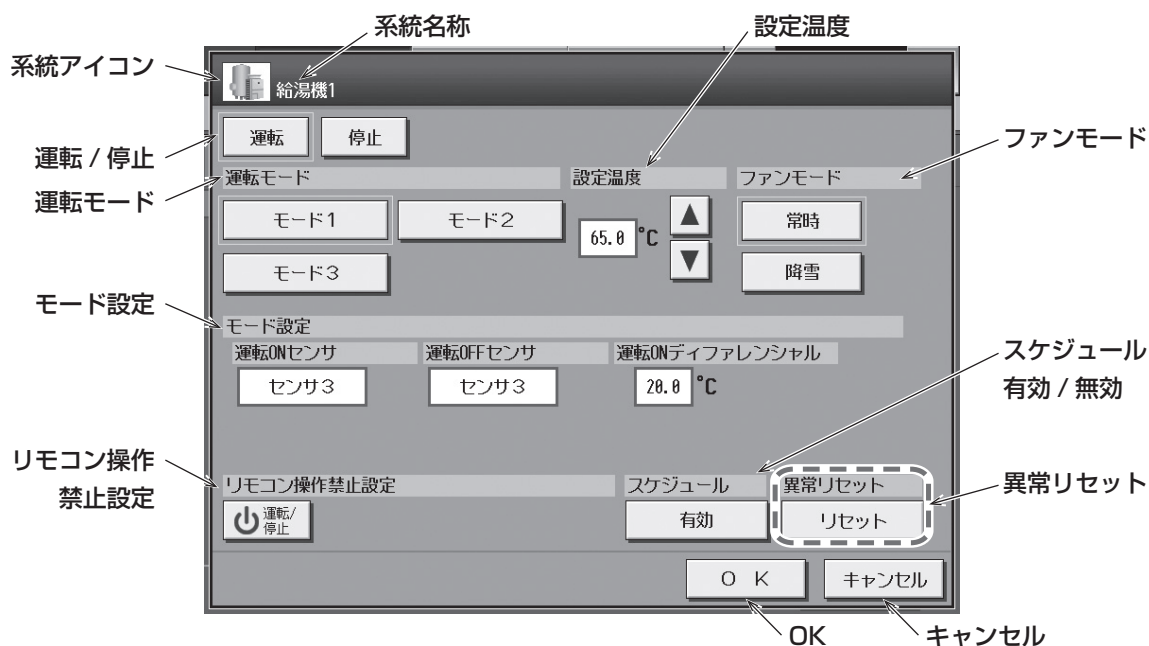
① 操作画面（開放型、密閉型 6 センサ）



項目	内容
系統アイコン	系統の運転状態や異常状態等が表示されます。
系統名称	系統名称が表示されます。 【お知らせ】 ・ 系統名称が設定されていない場合は、「給湯機」＋系統番号で表示されます。
運転 / 停止	【運転】 または 【停止】 をタッチして、対象の系統に対して運転 / 停止を切り替えます。

項目	内容
緊急沸き増し	<p>当日、予定以上のお湯が使用された場合、沸き増し操作を行うと、本画面で設定した沸き増し目標貯湯量まで貯湯します。沸き増しが完了するとスケジュール運転に戻ります。</p> <p>通常：スケジュールで計画した目標貯湯量で運転します。</p> <p>沸き増し：沸き増し目標貯湯量で運転します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転 / 停止が [運転] の場合のみ操作できます。
沸き増し目標貯湯量	<p>緊急沸き増し時の目標貯湯量を設定します。</p> <p>▲ または ▼ をタッチすることで、最低確保湯量～100%まで設定可能です。</p> <p>※ 最低確保湯量については「[4] <3> (7) ④ 詳細設定（開放型）」または「[4] <3> (7) ⑤ 詳細設定（密閉型6センサ）」を参照してください。</p>
ファンモード	<p>[常時] または [降雪] をタッチすることで、対象の系統に対してファンモードの常時 / 降雪を切り替えます。</p>
リモコン操作禁止設定	<p>タッチすることで運転 / 停止の操作許可  と操作禁止  が切り替わります。</p> <p>操作禁止に設定すると、リモコンからの運転 / 停止操作が無効になります。</p>
異常リセット	<p>異常が発生している給湯機に対して、異常リセットを送信します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタン  は異常発生時のみ表示されます。
OK	<p>[OK] をタッチすると、設定を確定し、給湯機の一覧画面に戻ります。</p>
キャンセル	<p>[キャンセル] をタッチすると、設定を設定前の状態に戻し、給湯機の一覧画面に戻ります。</p>

② 操作画面（密閉型 3 センサ）



項目	内容
系統アイコン	系統の運転状態や異常状態等が表示されます。
系統名称	系統名称が表示されます。 お知らせ ・ 系統名称が設定されていない場合は、「給湯機」 + 系統番号で表示されます。
運転 / 停止	【運転】 または 【停止】 をタッチして、対象の系統に対して運転 / 停止を切り替えます。
運転モード	【モード 1】 、 【モード 2】 または 【モード 3】 をタッチして、対象の系統の運転モードを切り替えます。運転モードの動作の詳細は、「[4] <3> (7) ⑥ 詳細設定（密閉型 3 センサ）」を参照してください。 お知らせ ・ 給湯機により操作可能なモードは異なります。
設定温度	タンクに入っているお湯の設定温度を表示します。 ▲ または ▼ をタッチすることで、40.0 ～ 沸き上げ温度 -3.0℃ まで設定可能です。 ※ 沸き上げ温度については、「[4] <3> (7) ⑥ 詳細設定（密閉型 3 センサ）」を参照してください。
ファンモード	【常時】 または 【降雪】 をタッチすることで、対象の系統に対してファンモードの常時 / 降雪を切り替えます。
モード設定	運転モードで選択したモードの 【運転 ON センサ】 、 【運転 OFF センサ】 および 【運転 ON ディファレンシャル】 を表示します。 【運転 ON センサ】 、 【運転 OFF センサ】 および 【運転 ON ディファレンシャル】 の設定は、「[4] <3> (7) ⑥ 詳細設定（密閉型 3 センサ）」を参照してください。
リモコン操作禁止設定	タッチすることで運転 / 停止の操作許可 ㊤ と操作禁止 ㊦ が切り替わります。 操作禁止に設定すると、リモコンからの運転 / 停止操作が無効になります。
スケジュール有効 / 無効	ボタンをタッチするたびに、スケジュールの 【有効】 と 【無効】 が切り替わります。 必ず 【有効】 に設定してください。 お知らせ ・ 【無効】 とした場合、スケジュールが設定されていても動作しません。
異常リセット	異常が発生している給湯機に対して、異常リセットを送信します。 お知らせ ・ ボタン リセット は異常発生時のみ表示されます。
OK	【OK】 をタッチすると、設定を確定し、給湯機の一覧画面に戻ります。
キャンセル	【キャンセル】 をタッチすると、設定を設定前の状態に戻し、給湯機の一覧画面に戻ります。

<2> 異常状態の確認

AE-200J の管理下の機器（給湯機以外を含む）で異常が発生すると、画面の右上に [⚠] が表示されます。

(1) 異常発生中画面

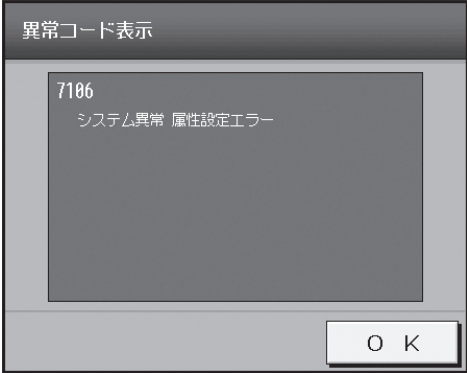
[⚠] をタッチ、またはメニューの [状態リスト] – [異常発生中] をタッチして異常内容表示画面を開きます。現在、異常が発生しているユニットの一覧が表示されます。

お願い

- ・ 異常が発生した場合、異常発生ユニットアドレスおよび、異常コード、異常内容を確認の上、お買い上げいただいた販売店、もしくはお近くのサービスセンターへお問い合わせください。

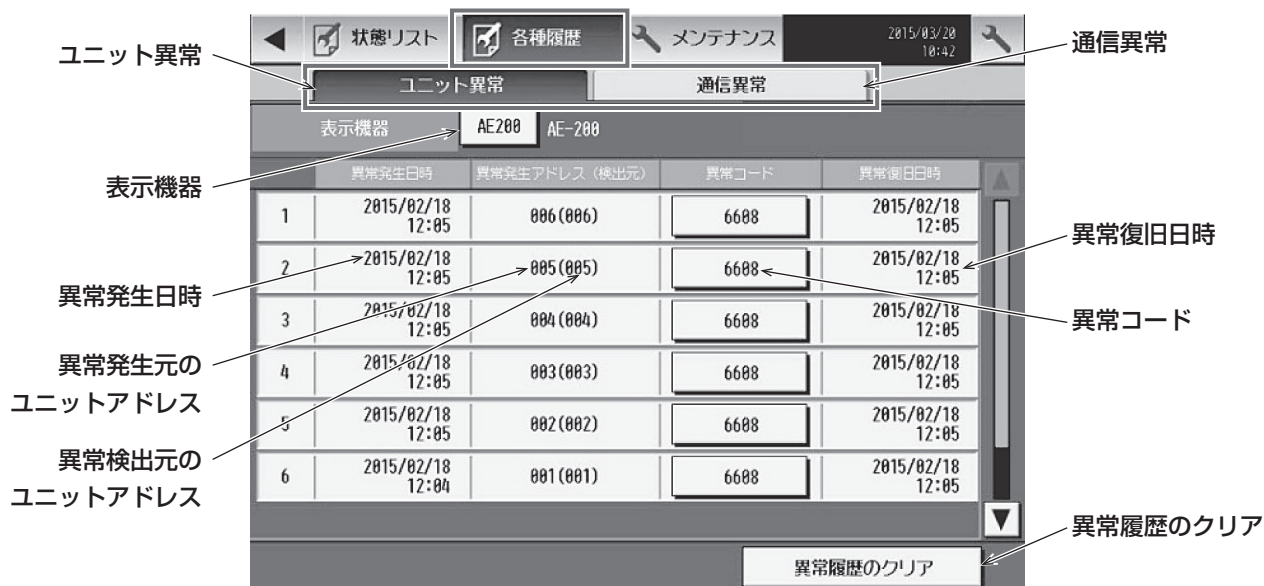


項目	内容
表示機器	<p>[AE200]、[Exp1] ～ [Exp3] を切り替えて AE-200J と各 AE-50J/EW-50J に接続された機器のエラー表示を切り替えます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">・ AE-200J に「台数拡張」設定が [利用する] に設定されている場合に、「表示機器」が表示されます。・ 異常内容は AE-200J/AE-50J/EW-50J 個別に表示されます。
グループ（系統）名称	<p>異常が発生しているユニットが属するグループの名称または系統の名称が表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 室外ユニットやシステムリモコンなどは、空欄で表示されます。
ユニットアドレス	<p>異常が発生しているユニットの M-NET アドレスが表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 表示機器で選択した、AE-50J/EW-50J の番号とユニットアドレスが表示されます。（例：AE-50J/EW-50J 番号が 1、ユニットアドレスが 012 の場合 1-012）AE-200J の場合は、ユニットアドレスのみ表示されます。（例：001）
異常発生中のユニットの台数	<p>異常が発生しているユニットの台数が表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 異常が発生していない場合は表示されません。


項目	内容
異常コード	<p>発生している異常の異常コードが表示されます。 ボタンをタッチすると、異常コードの内容が表示されます。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 異常コードの詳細は、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書 操作（詳細）編」および「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。
一括リセット	<p>タッチすると、異常が発生しているすべての機器の異常がリセットされます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「表示機器」で表示されている AE-200J/AE-50J/EW-50J に対してリセットを行います。 給湯機以外のユニットで異常が発生している場合、ユニットが停止する場合があります。停止しても良いか確認のうえ、リセットしてください。

(2) 異常履歴

メニューの[各種履歴]－[ユニット異常]をタッチすると、ユニット異常の履歴が表示されます。
また、[通信異常]をタッチすると、M-NET 通信異常の履歴が表示されます。



項目	内容
ユニット異常	タッチすると、ユニット異常履歴が表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> AE-200Jおよび各AE-50J/EW-50Jそれぞれに最大64件。先頭に最新の異常履歴が表示されます。
通信異常	タッチすると、通信異常履歴が表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> AE-200Jおよび各AE-50J/EW-50Jそれぞれに最大64件。先頭に最新の異常履歴が表示されます。
表示機器	[AE200]、[Exp1]～[Exp3] を切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jに接続された機器のユニット異常や通信異常の履歴表示を切り替えます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> AE-200Jに「台数拡張」設定が[利用する]に設定されている場合に、「表示機器」が表示されます。 異常履歴の内容はAE-200J/AE-50J/EW-50J個別に表示されます。 AE-50Jの画面では、AE-200Jや他のAE-50J/EW-50Jの異常は表示できません。
異常発生日時	異常が発生した日時が表示されます。
異常復旧日時	異常が復旧した日時が表示されます。
異常発生元のユニットアドレス	異常が発生したユニットのアドレスが表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 表示機器で選択した、AE-50J/EW-50Jの番号とユニットアドレスが表示されます。(例：1-012) AE-200Jの場合は、ユニットアドレスのみ表示されます。(例：001)
異常検出元のユニットアドレス	異常を検出したユニットのアドレスが表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 表示機器で選択した、AE-50J/EW-50Jの番号とユニットアドレスが表示されます。(例：1-012) AE-200Jの場合は、ユニットアドレスのみ表示されます。(例：001)

項目	内容
異常コード	<p>発生している異常の異常コードが表示されます。 ボタンをタッチすると、異常コードの内容が表示されます。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 異常コードの詳細は、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書 操作（詳細）編」および「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。
異常履歴のクリア	<p>タッチすると、異常履歴が消去されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニット異常履歴の消去はユニット異常の表示画面で、通信異常履歴の消去は通信異常の表示画面で行います。

<3> スケジュール（開放型、密閉型6センサ）

（1）概要

週間スケジュール、年間スケジュールの設定ができます。当日スケジュールの設定はできません。

接続している給湯機の系統ごとに、週間スケジュール（1種類、日曜～土曜）、年間スケジュール（5パターン、50日分）の設定ができます。また、1日に8回の運転スケジュールを設定できます。

スケジュールの優先度は、高い方から、年間スケジュール＞週間スケジュールの順となります。

お知らせ

- ・スケジュールが設定されていない時間帯は、貯湯量が最低確保湯量となるように運転を行います。
- ・開放型、密閉型6センサの週間スケジュールでは、期間（季節）ごとのスケジュール設定はできません。

（2）週間スケジュールの設定

週間スケジュール設定では、曜日ごとにスケジュールを設定できます。

① 週間スケジュールパターンを設定する

手順

1. メニューの【スケジュール】をタッチする。
必要に応じて▶をタッチして、サブメニューの【給湯機】をタッチする。
2. 【週間】をタッチして、週間スケジュール一覧画面を開く。
3. 週間スケジュール一覧画面の週間選択をタッチし、【週間1】のスケジュールパターンを選択する。

お知らせ

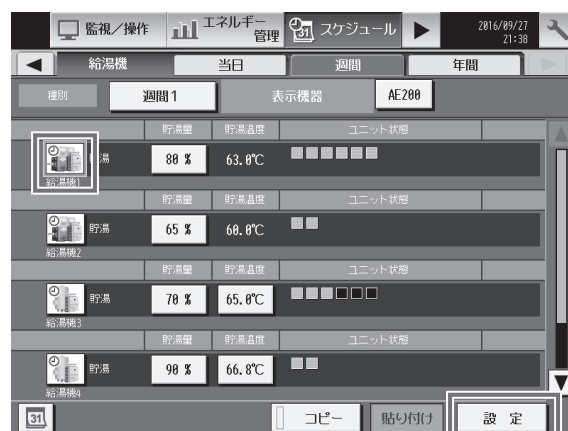
- ・給湯機（開放型、密閉型6センサ）の週間スケジュールは【週間1】のみです。



② 設定対象を選択する

手順

1. スケジュール一覧画面の【週間】表示で、スケジュールを設定する系統アイコンをタッチし、【設定】をタッチする。



③ 曜日を選択する

手順

1. スケジュールを設定したい曜日をタッチする。
スケジュール内容ボタンをタッチすると、スケジュール内容設定画面が表示されます。

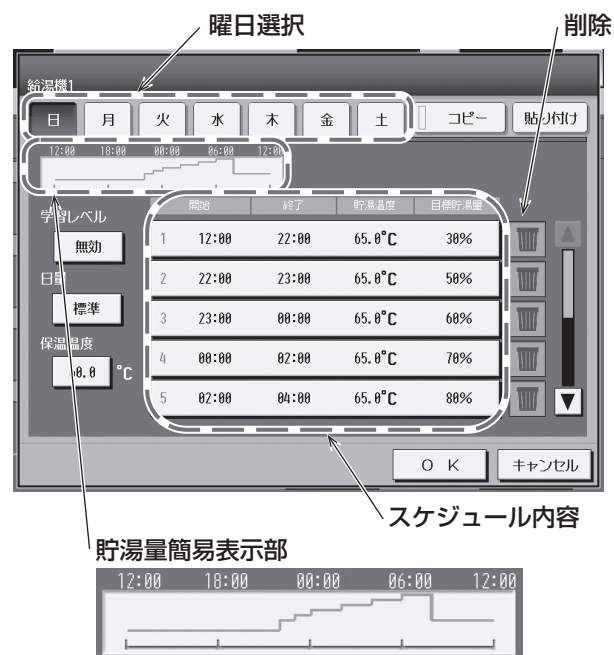
貯湯量簡易表示部には、スケジュール内容ボタンで設定した貯湯量の変化がオレンジ色の折れ線で表示されます。

お知らせ

- 別リモコンでパワーセーブスケジュールを設定している場合には、スケジュール設定画面の左下に赤字でパワーセーブスケジュールメッセージが表示されません。
- 別リモコンで設定したパワーセーブスケジュールの設定内容によっては、AE-200J で設定した目標貯湯量に到達できない場合があります。
- パワーセーブスケジュール設定については、「QAHV-N560D(-BS.-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS.-BSG) 取扱説明書」を参照してください。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [削除] を下の行から順にタッチしてください。



パワーセーブスケジュールメッセージ
別リモコンでパワーセーブスケジュールが設定されている場合に表示されます。

④ 学習レベル、日量および保温温度を設定する

手順

1. 学習レベルボタンをタッチし、[無効]、[低い]、[普通]、[高い] のいずれかを設定する(初期値は [無効])。学習レベルは、給湯機の学習機能により貯湯量の目標値修正を行うための設定です。
曜日毎に過去の貯湯量履歴を基に目標貯湯量を調整します。

- ①湯切れ防止
最低残湯量履歴が最低確保湯量を下回った場合、最低湯量時刻の前 2 時間の目標貯湯量を調整します。
- ②過剰残湯防止
22 時直前の貯湯量履歴を基に 22 時～8 時の目標貯湯量を調整します。

お願い

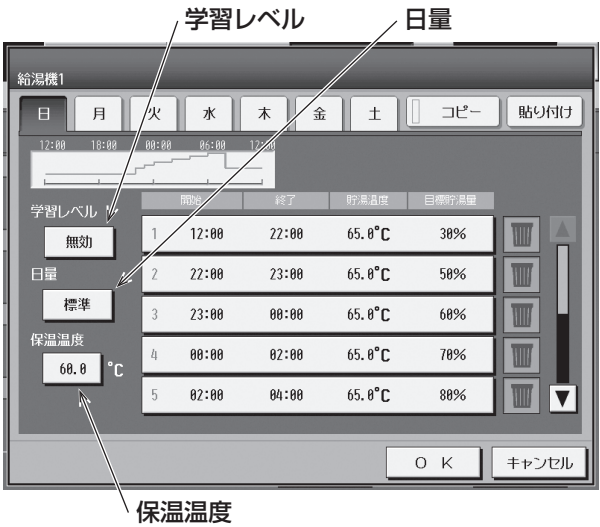
- 密閉型 6 センサ方式では [無効] 設定で使用してください。
2. 日量ボタンをタッチし、給湯機の貯湯量を [極少]、[少ない]、[標準]、[多い] のいずれかの日量に設定する(初期値は [標準])。日量は、給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための設定です。
[極少]、[少ない]、[標準]、[多い] に関する設定は、「[4] <3> (7) ④ 詳細設定 (開放型)」または「[4] <3> (7) ⑤ 詳細設定 (密閉型 6 センサ)」を参照してください。
初期値は以下のようになっています。(標準は 1.0 固定です)

意味	極小	少ない	標準	多い
貯湯量割合	0.3	0.8	1	1.2

3. 保温温度ボタンをタッチし、保温温度を 40.0 ～ 61.0℃の範囲で設定する(初期値は 60.0℃)。
保温温度まで貯湯温度が低下すると、給湯機が循環加温(保温運転)を行います。

お知らせ

- 保温温度ボタンは、給湯機が開放型の場合でのみ表示されます。
- 保温温度は貯湯温度より低い温度の設定となります。



⑤ スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール内容ボタンで、設定するスケジュールの行をタッチし、スケジュール内容設定画面を表示する。

お願い

- ・スケジュールは時刻通りに順番に設定してください。

	開始	終了	貯湯温度	目標貯湯量
1	12:00	22:00	65.0°C	30%
2	22:00	23:00	65.0°C	50%
3	23:00	00:00	65.0°C	60%
4	00:00	02:00	65.0°C	70%
5	02:00	04:00	65.0°C	80%

2. 給湯機が開放型の場合はスケジュール運用終了時刻、貯湯温度および目標貯湯量を設定し、[OK] をタッチする。

お知らせ

- ・スケジュール運用開始時刻には、日区切り時刻または1行上のスケジュール運用終了時刻が表示されるため、設定できません。
- ・日区切り時刻をまたぐ、または他のスケジュールの行と時間帯が重なるスケジュール運用終了時刻の設定はできません。
- ・スケジュール設定後、スケジュールを削除しない限りスケジュール運用終了時刻の再設定ができなくなります(1番下に設定されたスケジュールの行を除く)。
- ・貯湯温度は保温温度より高い温度の設定となります。
- ・実際の貯湯温度は、貯湯運転開始時のタンク内残湯量、残湯温度、および配管、貯湯槽の放熱などの影響により変化しますので、設定値通りにならない場合があります。

お願い

- ・対象給湯システムが火傷の恐れのある仕様の場合、65°Cを超える貯湯温度の設定はしないでください。

3. 給湯機が密閉型6センサの場合はスケジュール運用終了時刻、沸き上げ温度および目標貯湯量を設定し、[OK] をタッチする。

お知らせ

- ・スケジュール運用開始時刻には、日区切り時刻または1行上のスケジュール運用終了時刻が表示されるため、設定できません。
- ・日区切り時刻をまたぐ、または他のスケジュールの行と時間帯が重なるスケジュール運用終了時刻の設定はできません。
- ・スケジュール設定後、スケジュールを削除しない限りスケジュール運用終了時刻の再設定ができなくなります(1番下に設定されたスケジュールの行を除く)。
- ・沸き上げ温度は有効貯湯温度より高い温度の設定となります。有効貯湯温度の設定は、「[4] <3> (7) ⑤ 詳細設定(密閉型6センサ)」を参照してください。
- ・実際の貯湯温度は、給湯機の保護制御の影響により設定値通りにならない場合があります。

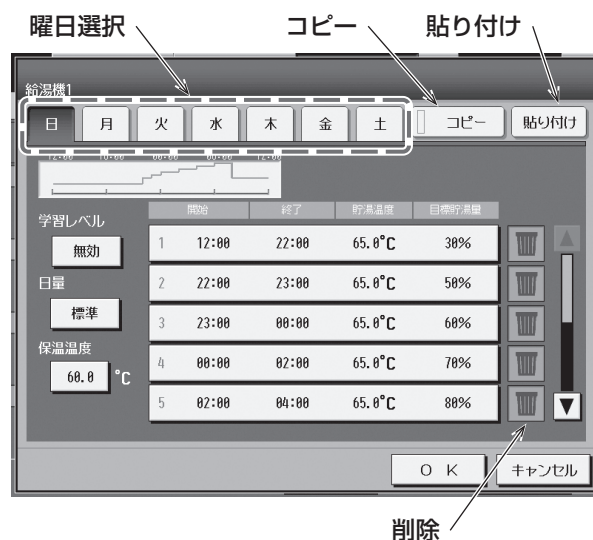
⑥ スケジュールを別の曜日にコピーする

手順

1. 曜日間でスケジュール内容をコピーする場合は、曜日選択からコピーしたい曜日をタッチし、[コピー]をタッチして選択状態とし、他の曜日で[貼り付け]をタッチする。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [] を下の行から順にタッチしてください。



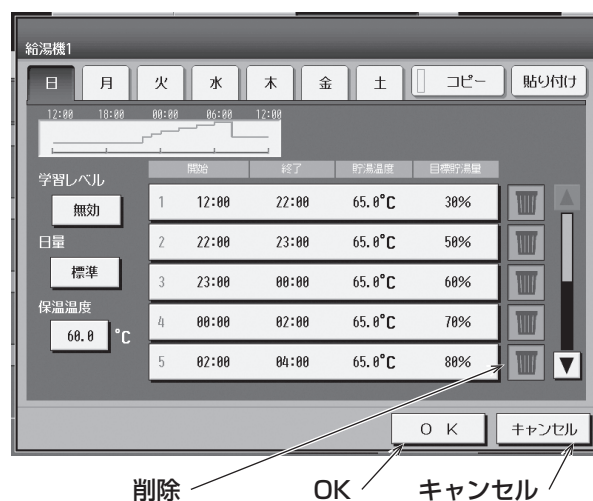
⑦ スケジュールを保存する

手順

1. スケジュール内容をすべて設定した後、[OK]をタッチしてスケジュール設定を保存する。
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル]をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [] を下の行から順にタッチしてください。



⑧ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする場合は、週間スケジュール一覧画面から系統アイコンをタッチして、[コピー]をタッチし選択状態とし、他の系統アイコンを選択してから[貼り付け]をタッチする。

お知らせ

- ・ 機種異なる系統間でのスケジュールのコピーはできません。
- ・ 日区切り時刻の異なる系統間でのコピーはできません。



(3) 年間スケジュールの設定

年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを系統ごとに、24 ヶ月先（今月含む）までの範囲で 50 日分設定できます（前日以前の年間スケジュールは自動的に削除されます）。

① 設定対象を選択する

手順

1. メニューの [スケジュール] をタッチする。
2. 必要に応じて [] をタッチして、サブメニューの [給湯機] をタッチする。
3. [年間] をタッチして、年間スケジュール一覧画面を開く。
4. 年間スケジュール一覧画面の [年間] 表示で、スケジュールを設定するアイコンをタッチし、[設定] をタッチする。




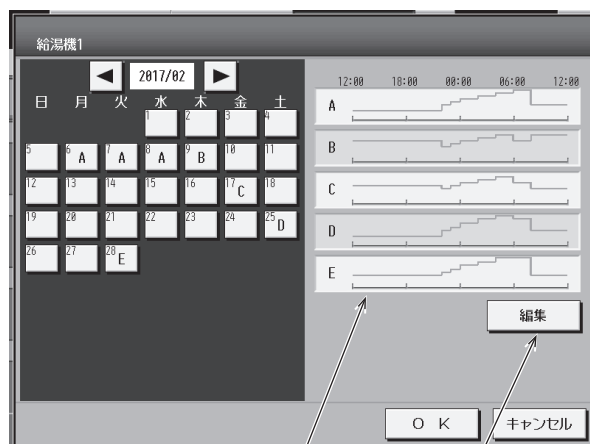
② パターンを選択する

手順

1. パターン設定画面で、パターン（A～E）をタッチするか、【編集】をタッチしてスケジュール設定画面を表示する。

お知らせ

- ・ 別リモコンでパワーセーブスケジュールを設定している場合には、パターン設定画面の左下に赤字でパワーセーブスケジュールメッセージが表示されます。別リモコンで設定した【】のマークがついた該当日のパワーセーブスケジュールの設定内容によっては、AE-200Jで設定した目標貯湯量に到達できない場合があります。
パワーセーブスケジュール設定については、「QAHV-N560D(-BS.-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS.-BSG) 取扱説明書」を参照してください。



パターン（A～E）


編集

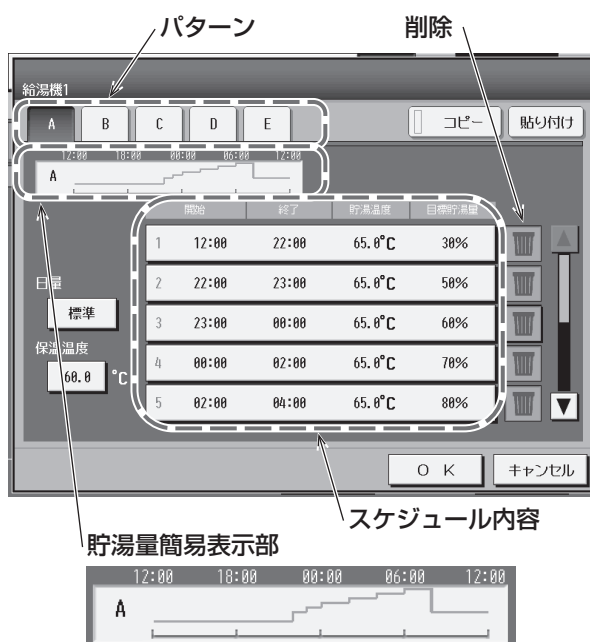


パワーセーブスケジュールメッセージ
別リモコンでパワーセーブスケジュールが設定されている場合に表示されます。

2. スケジュールを設定したいパターンをタッチする。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除【】を下の方から順にタッチしてください。



貯湯量簡易表示部

スケジュール内容

③ 日量および保温温度を設定する

手順

1. 日量ボタンをタッチし、給湯機の貯湯量を [極少]、[少ない]、[標準]、[多い] のいずれかの日量に設定する (初期値は [標準])。日量は、給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための設定です。

[極少]、[少ない]、[標準]、[多い] に関する設定は、「[4] <3> (7) ④ 詳細設定 (開放型)」または「[4] <3> (7) ⑤ 詳細設定 (密閉型 6 センサ)」を参照してください。

初期値は以下のようになっています。(標準は 1.0 固定です)

意味	極小	少ない	標準	多い
貯湯割合	0.3	0.8	1	1.2

2. 保温温度ボタンをタッチし、保温温度を 40.0 ~ 61.0℃ の範囲で設定する (初期値は 50.0℃)。保温温度まで貯湯温度が低下すると、給湯機が循環加温 (保温運転) を行います。

お知らせ

- ・ 保温温度ボタンは、給湯機が開放型の場合でのみ表示されます。
- ・ 保温温度は貯湯温度より低い温度の設定となります。

④ スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール内容の設定したいスケジュールの行をタッチする。
スケジュール内容設定画面が表示されます。
2. スケジュール運用終了時刻、貯湯温度 (給湯機が開放型の場合)、沸き上げ温度 (給湯機が密閉型 6 センサの場合) および目標貯湯量を設定し、[OK] をタッチする。
「(2) ⑤ スケジュール内容を設定する」を参照してください。

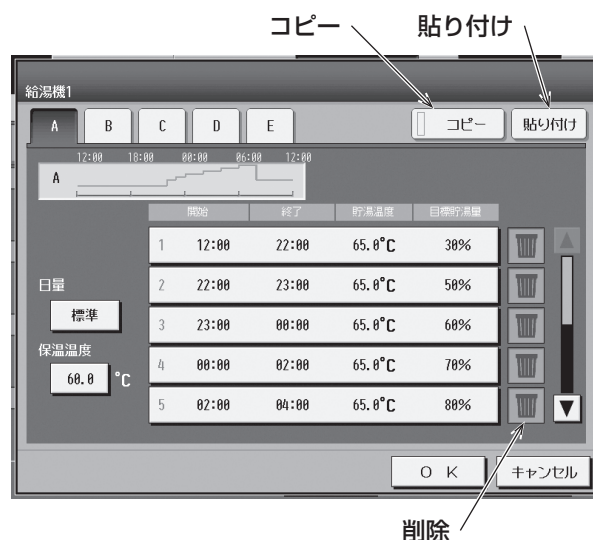
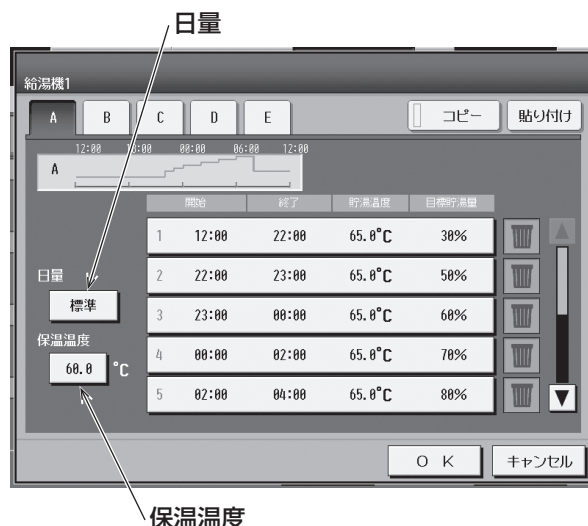
⑤ スケジュールを別のパターンにコピーする

手順

1. パターン間でスケジュール内容をコピーする場合は、コピーしたいパターンをタッチしてから [コピー] をタッチし、コピー先のパターンをタッチして [貼り付け] をタッチする。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [] を下の行から順にタッチしてください。

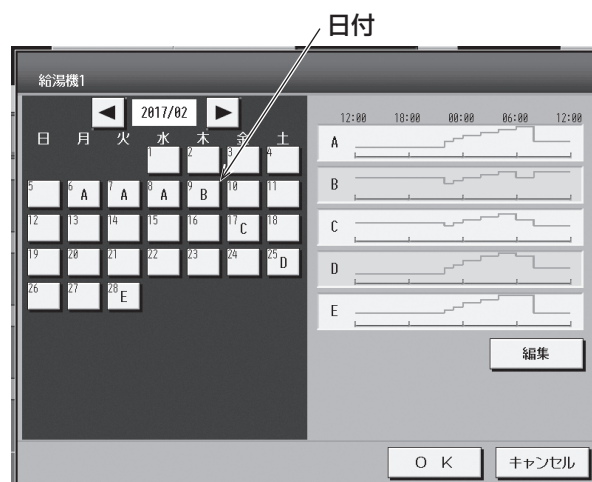


⑥ パターン割り当て日を設定する

設定したスケジュールパターンを、祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

手順

1. パターンを割り当てるには、カレンダーの日付ボタンをタッチすると、日付ボタンにパターンが表示されるので、割り当てたいパターンが表示されるまでタッチする。
(パターンの表示は、A → B → C → D → E → 空白 → A → … の順です。解除したい場合は、空白を選択します。)



⑦ スケジュールを保存する

手順

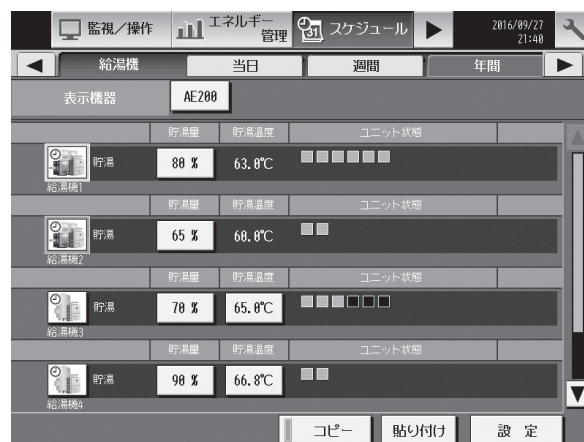
1. スケジュール内容をすべて設定した後、[OK] をタッチしてスケジュール設定を保存する。
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル] をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。



⑧ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする。
「(2) ⑧ スケジュールを別の系統にコピーする」を参照してください。



<4> スケジュール（密閉型3センサ）

(1) 概要

週間スケジュール、年間スケジュール、当日スケジュールの設定ができます。

接続している給湯機の系統ごとに、週間スケジュール（5 種類、日曜～土曜）、年間スケジュール（5 パターン、50 日分）、当日スケジュール（当日のみ有効）の設定ができます。また、1 日に 24 回の運転スケジュールを設定できます。

週間スケジュールでは、以下のように最大 5 つのスケジュール期間（季節）「週間スケジュール 1」～「週間スケジュール 5」を設定することができ、期間（季節）ごとの週間スケジュールの設定ができます。

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
						週間スケジュール 1 (特別)					
						週間スケジュール 2 (夏期)					
週間スケジュール 4 (冬期)										週間スケジュール 4 (冬期)	
								週間スケジュール 3 (秋期)			
週間スケジュール 5 (全期間)											

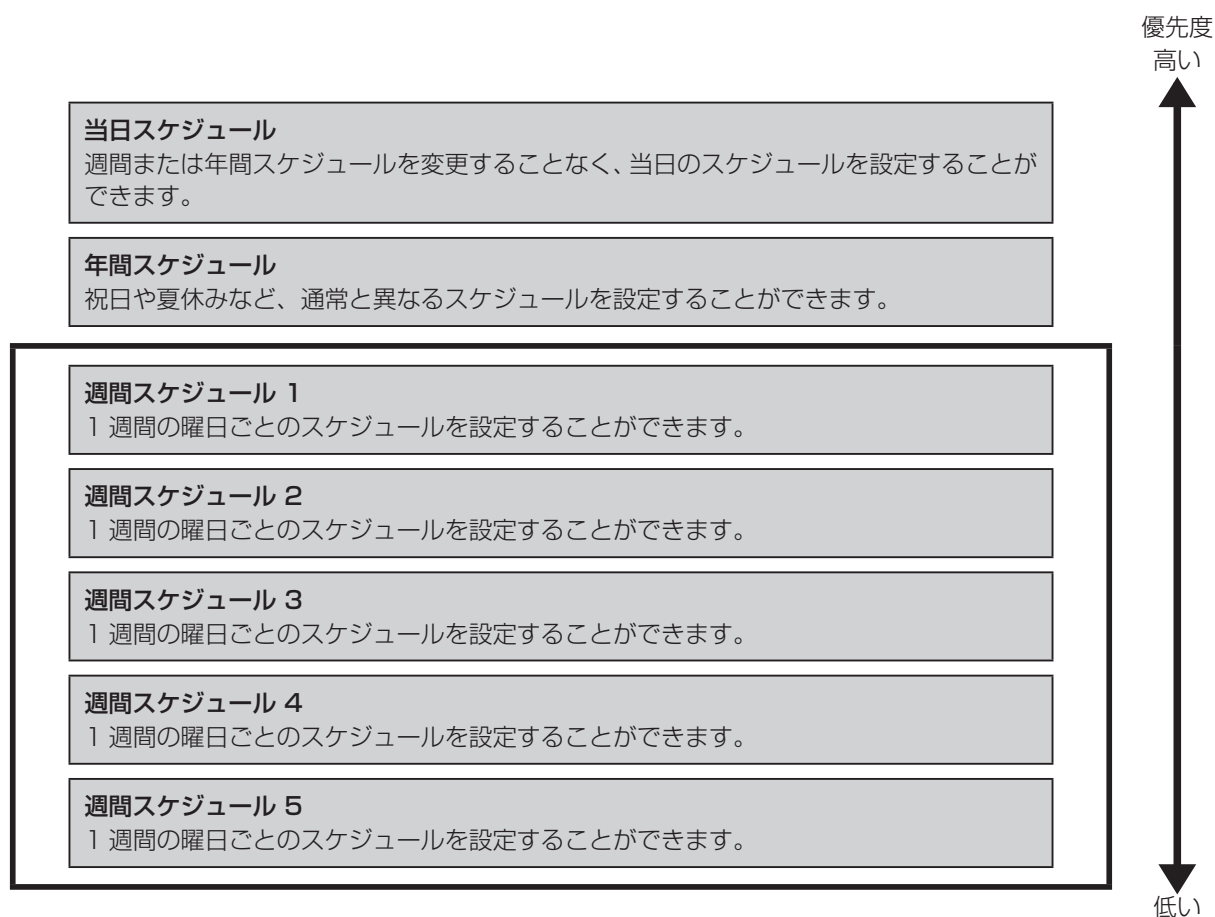
お知らせ

- 上記の図は、各週間スケジュールの設定期間が以下の日付に設定されている場合の例を示したものです。
 週間スケジュール 1：7 月 16 日～8 月 20 日
 週間スケジュール 2：6 月 16 日～9 月 15 日
 週間スケジュール 3：9 月 16 日～11 月 15 日
 週間スケジュール 4：11 月 16 日～3 月 15 日
 週間スケジュール 5：1 月 1 日～12 月 31 日
- 週間スケジュール 1～5 のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。例えば、週間スケジュール 1 と週間スケジュール 2 が重なる場合は、週間スケジュール 1 が優先されます。
- 操作設定画面の「スケジュール」設定が【無効】に設定されている場合、スケジュールは実行されません。必ずいずれかのスケジュールを【有効】に設定してください。
- （「(7) 操作画面」を参照してください。）
- スケジュールが設定されていない時間帯は、その直前の運転状態で運転が行われます。

お願い

- 密閉型 3 センサの給湯機においては、スケジュールの設定されていない日を設けないよう、365 日いずれかのスケジュール設定を行ってください。
- 週間スケジュールの季節設定は、AE-200J 内で共通の設定です。
 したがって、AE-200J に給湯機と他の空調機、低温機器、DT-R が接続されている場合、季節設定での週間スケジュール期間は同じ設定になるため、**週間スケジュール 5 を全期間**でかつ【有効】に設定してください。また、AE-200J に給湯機のみが接続されている場合は、週間スケジュール 1 を全期間に設定してください。
 例えば、空調機の場合は夏期、冬期のみの運転となるため、上記の図では週間スケジュール 1、2、4 のみが設定されます。週間スケジュール 5 を全期間でかつ【有効】に設定しておくことで、空調機のスケジュール設定で週間スケジュール 2、4 を【無効】に設定した場合でも、給湯機を全期間でスケジュール運転させることが可能です。

- スケジュールの期間が重なる場合は下図の通り、優先度の最も高いスケジュールが実行されます。



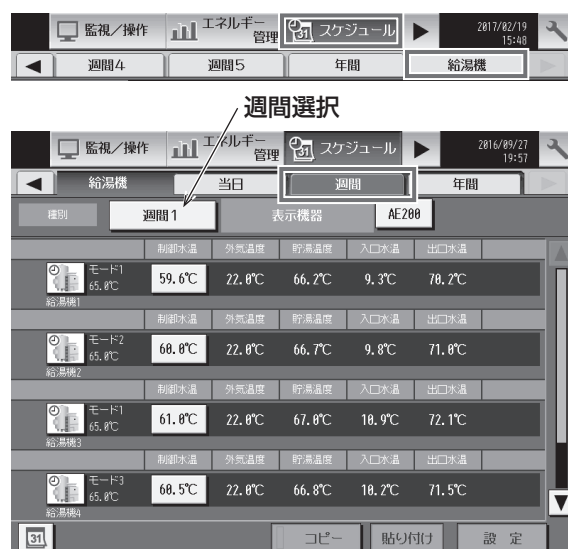
(2) 週間スケジュールの設定

週間スケジュール設定では、曜日ごと、期間（季節）ごとにスケジュールを設定できます。

① 週間スケジュールパターンを設定する

手順

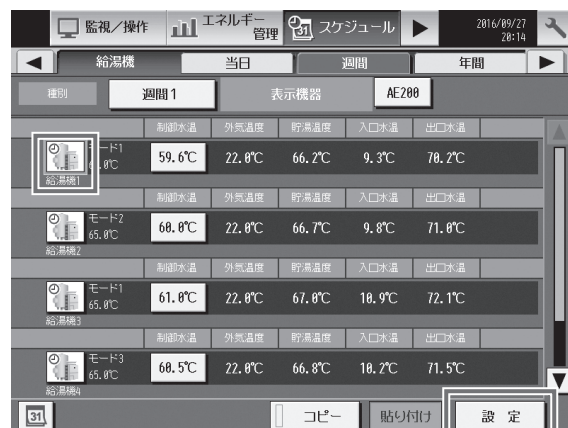
- メニューの [スケジュール] をタッチする。
必要に応じて [] をタッチして、サブメニューの [給湯機] をタッチする。
- [週間] をタッチして、週間スケジュール一覧画面を開く。
- 週間スケジュール一覧画面の週間選択をタッチし、[週間 1]、[週間 2]、[週間 3]、[週間 4]、[週間 5] のいずれかのスケジュールパターンを選択する。



② 設定対象を選択する

手順

1. 週間スケジュール一覧画面で、スケジュールを設定する系統アイコンをタッチし、[設定]をタッチする。



③ 曜日を選択する

手順

1. スケジュールを設定したい曜日をタッチする。
スケジュール内容ボタンをタッチすると、スケジュール内容設定画面が表示されます。

スケジュール簡易表示部のアイコン

- ⏮ : 運転
- ⏸ : 停止
- 🔑 : その他のイベント

お願い

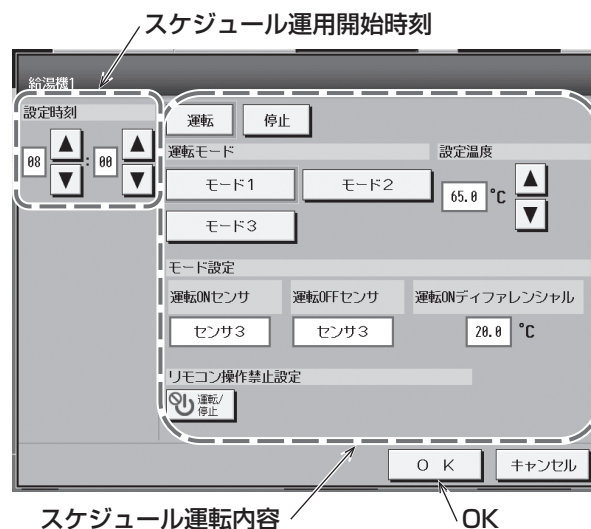
- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑] をタッチしてください。



④ スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール内容欄で、設定するスケジュールの行をタッチし、スケジュール設定画面を表示する。
2. スケジュール運用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、[OK]をタッチする。
スケジュール運転内容における運転モードの詳細は、「[4] <3> (7) ⑥ 詳細設定 (密閉型3センサ)」を参照してください。



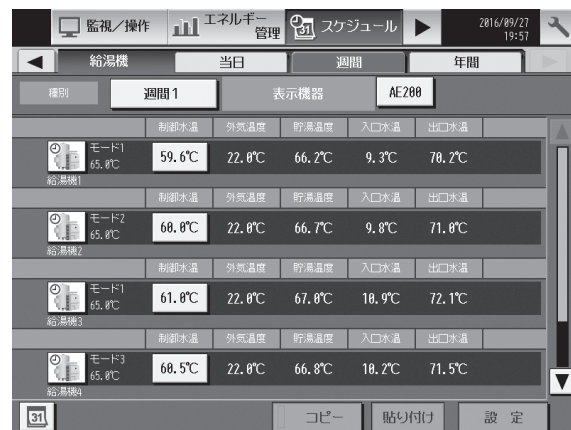
⑤ 適用期間を設定する（季節設定）

手順

1. 週間スケジュール一覧画面で、季節設定 [31] をタッチする。

お知らせ

- ・「スケジュール 季節設定」が [無効] に設定されている場合は、季節設定 [31] は非表示となり、季節設定は使用できません。



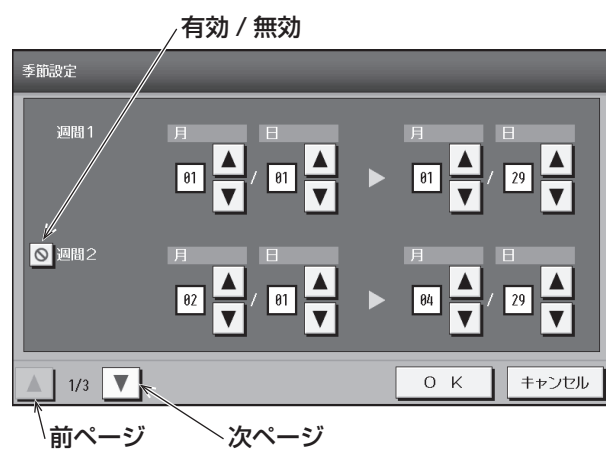
季節設定

2. 各週間スケジュールを有効とする期間を入力する。
画面左の有効 / 無効ボタンをタッチすることで、その週間スケジュール設定の有効、無効を切り替えられます。

- ☐ : 有効
☒ : 無効（初期値）

お知らせ

- ・ 11/01 ~ 03/31 のように、年をまたいだ期間を設定することもできます。



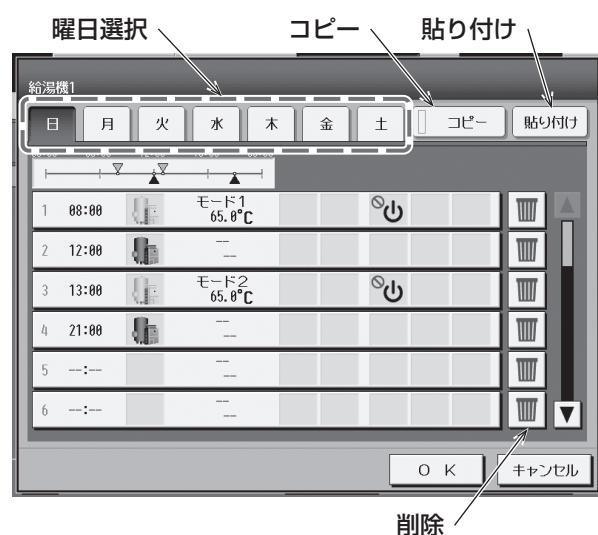
⑥ スケジュールを別の曜日にコピーする

手順

1. 曜日でスケジュール内容をコピーする場合は、曜日選択からコピーしたい曜日をタッチし、[コピー] をタッチして選択状態とし、他の曜日で [貼り付け] をタッチする。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [削除] をタッチしてください。



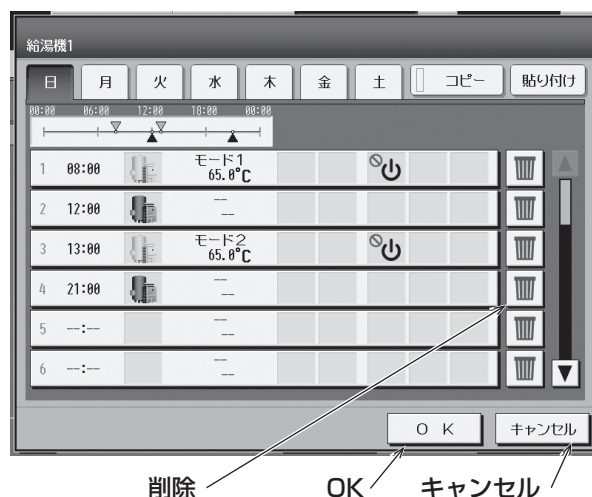
⑦ スケジュールを保存する

手順

1. スケジュール内容をすべて設定した後、[OK] をタッチしてスケジュール設定を保存する。
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル] をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [] をタッチしてください。



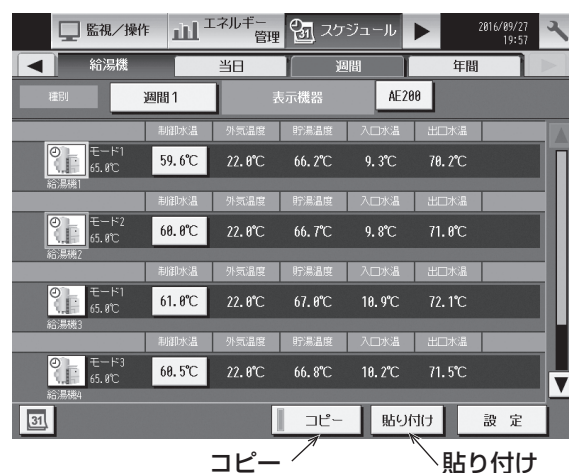
⑧ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする場合は、週間スケジュール一覧画面から系統アイコンをタッチして、[コピー] をタッチし選択状態とし、他の系統アイコンをタッチしてから [貼り付け] をタッチする。

お知らせ

- ・ [週間 1] ~ [週間 5] の異なるスケジュール間でのコピーはできません。
- ・ 機種に異なる系統間でのスケジュールのコピーはできません。



(3) 年間スケジュールの設定

年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを系統ごとに、24 ヶ月先（今月含む）までの範囲で 50 日分設定できます（前日以前の年間スケジュールは自動的に削除されます）。

① 設定対象を選択する

手順

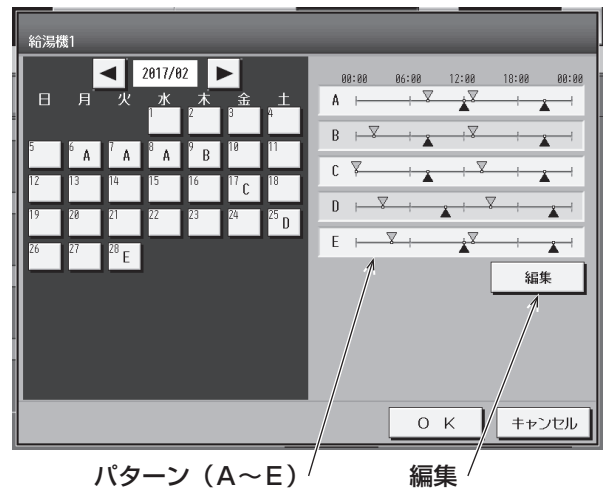
1. メニューの [スケジュール] をタッチする。
必要に応じて [] をタッチして、サブメニューの [給湯機] をタッチする。
2. [年間] をタッチして、年間スケジュール一覧画面を開く。
3. 年間スケジュール一覧画面で、スケジュールを設定するアイコンをタッチし、[設定] をタッチする。



② パターンを選択する

手順

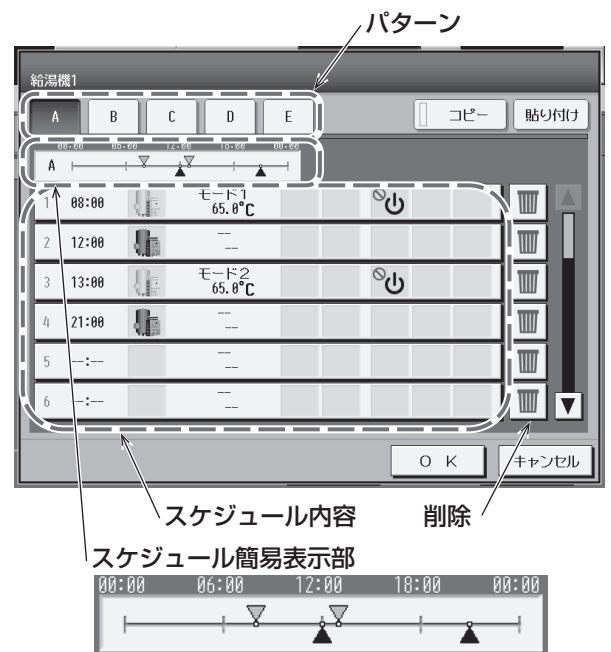
1. パターン設定画面で、パターン（A～E）をタッチするか、**【編集】** をタッチしてスケジュール設定画面を表示する。



2. スケジュールを設定したいパターンをタッチする。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 **【🗑️】** をタッチしてください。



③ スケジュール内容を設定する

手順


1. スケジュール内容の設定したいスケジュールの行をタッチする。
スケジュール内容設定画面が表示されます。
2. スケジュール運用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、**【OK】** をタッチする。
「(2) ④ スケジュール内容を設定する」を参照してください。

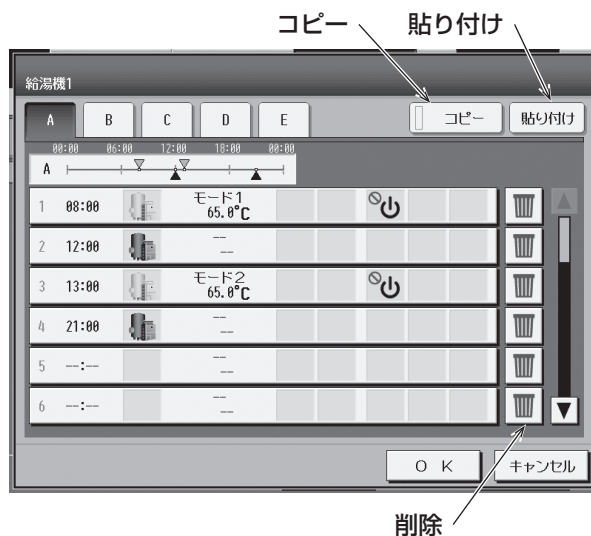
④ スケジュールを別のパターンにコピーする

手順

1. パターン間でスケジュール内容をコピーする場合は、コピーしたいパターンをタッチしてから【コピー】をタッチし、コピー先のパターンをタッチして【貼り付け】をタッチする。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除【】をタッチしてください。



⑤ パターン割り当て日を設定する

設定したスケジュールパターンを、祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

手順

1. パターンを割り当てるには、カレンダーの日付ボタンをタッチすると、日付ボタンにパターンが表示されるので、割り当てたいパターンが表示されるまでタッチする。
(パターンの表示は、A → B → C → D → E → 空白 → A → … の順です。解除したい場合は、空白を選択します。)



⑥ スケジュールを保存する

手順

1. スケジュール内容をすべて設定した後、【OK】をタッチしてスケジュール設定を保存する。
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、【キャンセル】をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。



⑦ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする。
「(2) ⑧ スケジュールを別の系統にコピーする」を参照してください。



(4) 当日スケジュールの設定

当日スケジュール設定では、週間スケジュールや年間スケジュールを変更せずに、当日のみ有効なスケジュールに設定することができます。

お知らせ

- ・ 当日スケジュールを設定した後に、当日スケジュール設定内容をすべて削除した場合、当日スケジュールは設定なしの状態として残ります。この場合、スケジュールの最優先は当日スケジュールであるため、年間スケジュール、週間スケジュールは実施されません。

お願い

- ・ スケジュールを設定する際は、その内容が翌日の運転に影響しないように設定してください。

① 設定対象を選択する

手順

1. メニューの【スケジュール】をタッチする。
必要に応じて▶をタッチして、サブメニューの【給湯機】をタッチする。
2. 【当日】をタッチして、当日スケジュール一覧画面を開く。
3. 当日スケジュール一覧画面で、スケジュールを設定するアイコンをタッチし、【設定】をタッチする。



② スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール内容の設定したいスケジュールの行をタッチする。
スケジュール内容設定画面が表示されます。
2. スケジュール運用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、**[OK]** をタッチする。
「(2) ④ スケジュール内容を設定する」を参照してください。

③ スケジュールを保存する

手順

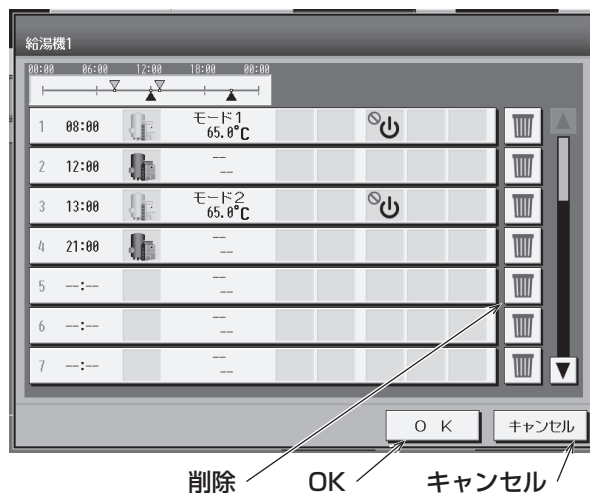
1. スケジュール内容をすべて設定した後、**[OK]** をタッチしてスケジュール設定を保存する。
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、**[キャンセル]** をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お知らせ

- ・スケジュール未設定で **[OK]** をタッチした場合、空のスケジュールが保存されます。

お願い

- ・設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 **[削除]** をタッチしてください。



④ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする。
「(2) ⑧ スケジュールを別の系統にコピーする」を参照してください。



[2] 使用方法（統合管理ブラウザ）

<1> 監視/操作

この章では、AE-200Jに接続された給湯機の状態監視、操作を統合管理ブラウザ画面で行う場合の使用方法を説明します。給湯機の状態監視・操作は管理者権限でログインした場合のみ行えます。統合管理ブラウザの起動・ログイン方法およびユーザー管理については、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 統合管理ブラウザ編」を参照してください。

(1) 通常の監視

基本的な状態監視・操作を行うときは、以下の表に示す画面を使用します。給湯機の機種によって操作可能な画面が異なります。

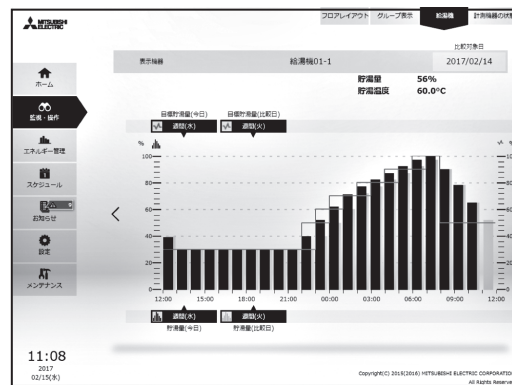
画面	内容	開放型	密閉型 6 センサ	密閉型 3 センサ
給湯機一覧画面	給湯機の運転状態が一覧表示されます。 通常、本機はこの画面で運用します。	○	○	○
センサー一覧表示画面	センサ温度を表示します。 給湯機（密閉型 6 センサ）の場合には、タンクの貯湯状態も表示します。	—	○	○
貯湯量グラフ表示画面	給湯機の運転状況（目標貯湯量、実績貯湯量）のグラフを表示します。1 日表示では指定した日付のグラフを、指定日比較では本日のグラフを過去の指定日または翌日のグラフと重ねて表示できます。	○	○	—
表示日付選択画面	給湯機の運転状況が記録された日付をカレンダー形式で選択することができます。	○	○	—
給湯機操作画面	給湯機の操作を系統単位で行います。 操作項目は給湯機によって、以下の通りとなります。 【共通項目】 運転 / 停止、ファンモード、リモコン操作禁止設定、異常リセット 【給湯機（開放型、密閉型 6 センサ）のみの項目】 緊急沸き増し、沸き増し目標貯湯量 【給湯機（密閉型 3 センサ）のみの項目】 運転モード、設定温度、モード設定の表示、スケジュール有効 / 無効	○	○	○
異常発生中画面 異常履歴画面	異常発生時に異常状態が表示されます。	○	○	○

(2) 画面の遷移

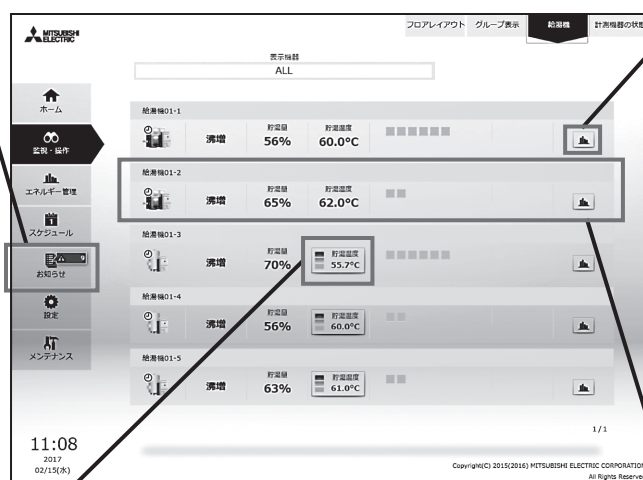
① 給湯機が開放型、密閉型 6 センサの場合



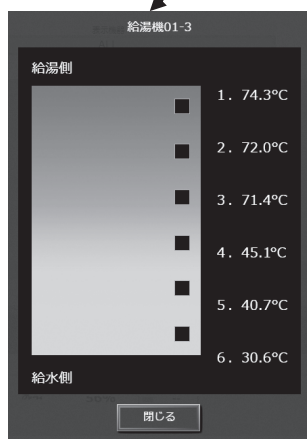
異常発生中の画面
(「(1) 異常発生中画面」参照)



貯湯量グラフ表示画面
(「(5) 貯湯量グラフ表示画面」参照)



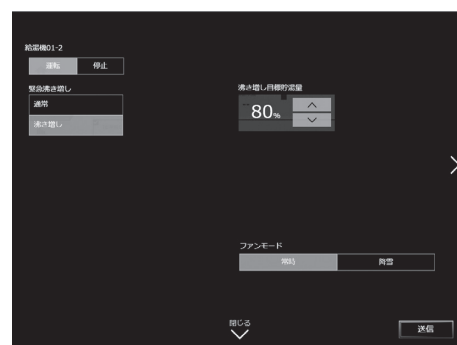
給湯機の一覧画面
(「(4) 運転状態のモニター」参照)



センサー一覧表示画面
(「(6) センサー一覧表示画面」参照)

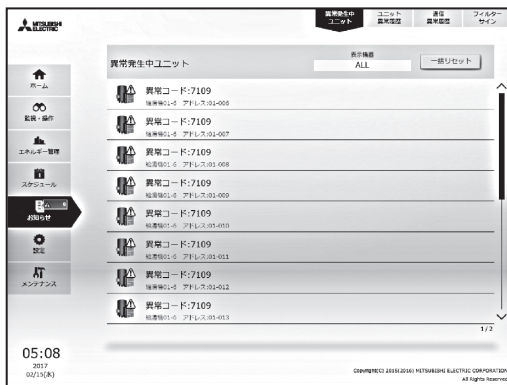


給湯機の一覧画面 (タスクバー表示)

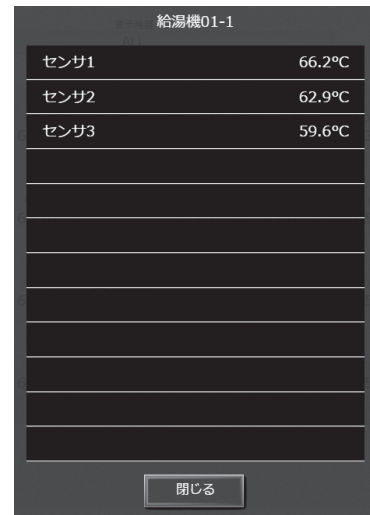


操作画面
(「(7) 操作画面」参照)

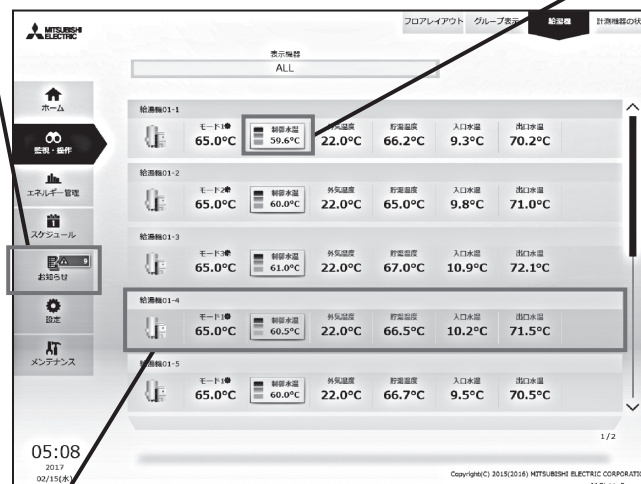
② 給湯機が密閉型 3 センサの場合



異常発生中の画面
 (「(1) 異常発生中画面」参照)



センサー一覧表示画面
 (「(6) センサー一覧表示画面」参照)



給湯機の一覧画面
 (「(4) 運転状態のモニター」参照)



給湯機の一覧画面 (タスクバー表示)










操作画面
 (「(7) 操作画面」参照)








(3) アイコンの表示

統合管理ブラウザ画面の【監視／操作】の給湯機画面で、給湯機の運転状態がアイコンとして表示されます。
アイコンをクリックした後、【詳細設定】をクリックすると給湯機の実操作画面が表示されます。

[給湯機が開放型または密閉型 6 センサの場合（アイコンは開放型の例を示す）]

運転	停止	異常発生中	スケジュールあり	機器不明※ ¹
				
パワーセーブ 運転中	清掃中※ ²			
				

[給湯機が密閉型 3 センサの場合]

運転	停止	異常発生中	スケジュールあり	スケジュール無効
				
機器不明※ ¹	パワーセーブ 運転中			
				

- ※¹ AE-200J の立ち上げ後、機器が認識できない場合、このアイコンが表示され続けますので、給湯機の接続と給湯機設定を確認してください。給湯機の設定については、「(7) 給湯機設定」を参照してください。
- ※² 清掃中（給湯機の清掃スイッチ入力中）のアイコンが表示されている間は、運転操作を行っても給湯機は運転しません。

(4) 運転状態のモニター

給湯機の運転状態をシステム単位で、運転 / 停止 / 異常発生中のいずれかが表示されます。

メニューの[監視 / 操作] - [給湯機]をクリックすると、給湯機の一覧画面が表示されます。

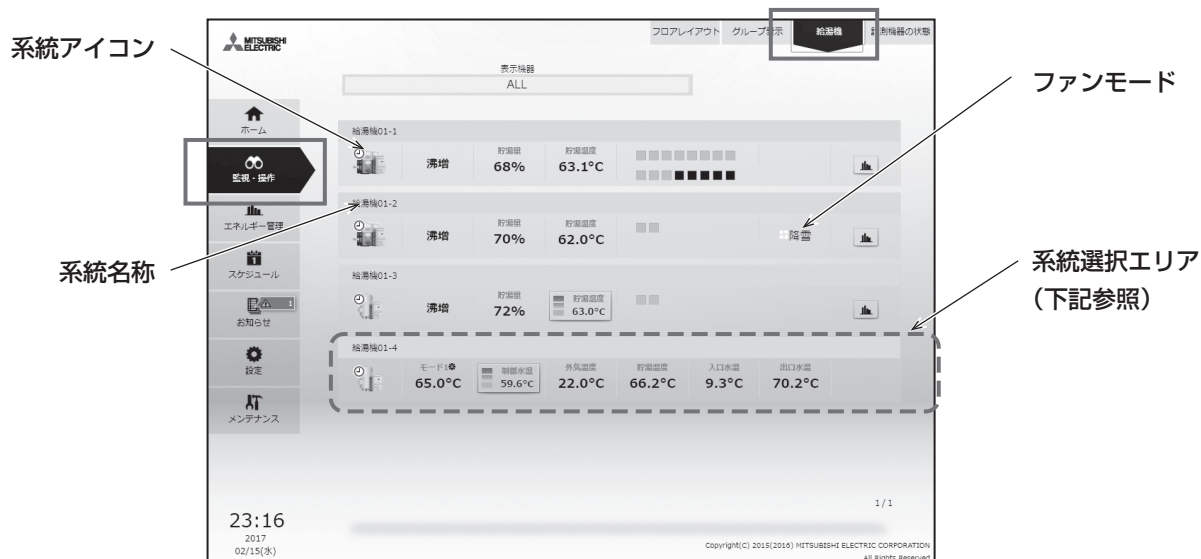
給湯機のアイコンがシステムごとに表示され、運転状態を確認することができます。

また、システム選択エリアをクリックした後に表示される画面下部のタスクバーの[詳細設定]をクリックすると、操作画面を表示させることができます。操作画面の詳細は、「(7) 操作画面」を参照してください。

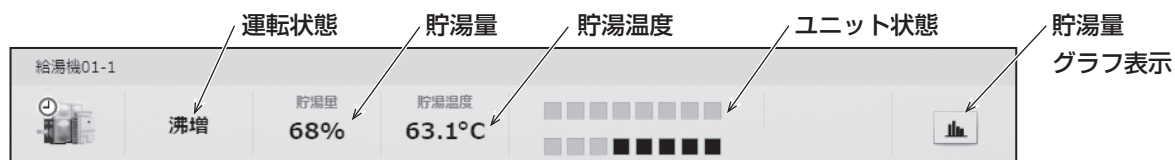
お願い

- システムアイコンは AE-200J の液晶画面の初期設定画面で設定したシステム番号順に表示されます。機種をそろえて表示したい場合は、機種に応じた表示順となるように設定を行ってください。詳細な設定方法は、「(7) 給湯機設定」を参照してください。

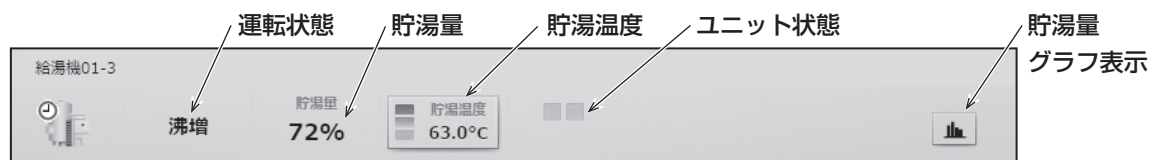
給湯機一覧画面（全体）



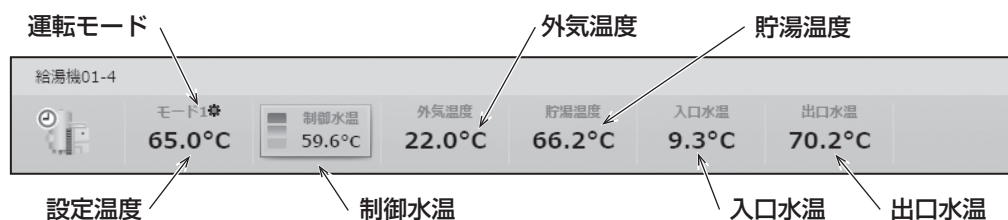
システム選択エリア（開放型）













システム選択エリア（密閉型 6 センサ）



システム選択エリア（密閉型 3 センサ）



区分	項目	内容								
共通	系統アイコン	系統の運転／停止／異常の状態を表します。								
	系統名称	設定した系統の名称が表示されます。 お知らせ ・ 系統名称が設定されていない場合は、「給湯機」＋ 系統番号が表示されます。								
	ファンモード	 降雪： 給湯機の冷却ファンへの積雪氷結を防止するため、圧縮機停止中でもファンを回転させている状態を示します。								
	系統選択エリア	クリックすると、給湯機一覧画面の下部にタスクバーが表示されます。 タスクバー内の [詳細設定] をクリックすると、操作画面が表示されます。								
開放型 または 密閉型 6 センサ	運転状態	系統の運転状態を表示します。表示される文字は以下の通りです。 停止： 停止中の状態です。 貯湯： スケジュール設定した量までお湯を作っている状態です。 保温： 設定した湯温を保っている状態です。 沸増： 緊急沸き増し操作により、操作画面で設定した沸き増し目標貯湯量まで貯湯している状態です。沸き増しが完了すると、スケジュール運転に戻ります。								
	貯湯量	現在タンクに入っているお湯の量を表示します。 お知らせ ・ 給湯機が開放型の場合、センサ異常時は -- と表示されます。 ・ 給湯機が密閉型 6 センサの場合、6 つのセンサの内、センサ異常がある時、異常のセンサを除いて計算した値となります。6 つのセンサ全て異常時は、-- と表示されます。								
	貯湯温度	現在タンクに入っているお湯の温度を表示します。 給湯機が密閉型 6 センサの場合、ボタンをタッチすると、センサー一覧表示画面が表示されます。 お知らせ ・ 給湯機が開放型の場合、センサ異常時は、-- と表示されます。 ・ 給湯機が密閉型 6 センサの場合、6 つのセンサの内、センサ異常がある時、異常のセンサを除いて計算した値となります。6 つのセンサ全て異常時は、-- と表示されます。								
	貯湯量グラフ表示	ボタンをクリックすると、貯湯量グラフ表示画面が表示されます（詳細は、「(5) 貯湯量グラフ表示画面」を参照してください）。								
	ユニット状態	タンクに接続されている全ての給湯機（左側、上側からアドレスの小さい順）の圧縮機運転状態を示します。 <table border="1"><tr><td></td><td>圧縮機運転中</td><td>圧縮機停止中</td><td>異常中</td></tr><tr><td>給湯機</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		圧縮機運転中	圧縮機停止中	異常中	給湯機			
		圧縮機運転中	圧縮機停止中	異常中						
給湯機										
密閉型 3 センサ	運転モード	系統の運転モードを表示します。表示される文字は、操作画面で設定した [モード 1] 、 [モード 2] 、 [モード 3] のいずれかとなります。								
	設定温度	タンクに入っているお湯の設定温度を表示します。								
	制御水温	運転しているモードの運転 OFF センサのセンサ値を表示します。 ボタンをタッチすると、センサー一覧表示画面が表示されます。 お知らせ ・ 操作画面で設定したモードの運転 OFF センサにセンサ異常がある場合、-- と表示されます。								
	外気温度	外気温度を表示します。								
	貯湯温度	タンク内にあるセンサの中で、一番上に位置するセンサの温度を表示します。								
	入口水温	センサ代表機の給湯機入口水温を表示します。								
	出口水温	センサ代表機の給湯機出口水温を表示します。								

お知らせ

- ・ 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。

(5) 貯湯量グラフ表示画面

貯湯量グラフ表示画面では、給湯機（開放型、密閉型 6 センサ）の実績貯湯量と目標貯湯量をグラフで表示します。また、当日のデータを過去 400 日分または翌日のデータと比較して見ることもできます。

お知らせ

- ・ 翌日のデータについては、目標貯湯量のみがグラフで表示されます。

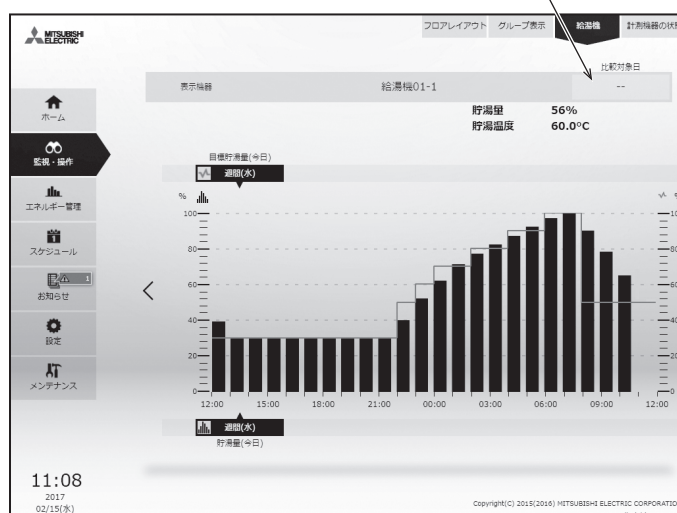
手順



1. 給湯機系統の  をクリックする。



2. 貯湯量グラフ表示画面が表示される。
当日の貯湯量を棒グラフで目標貯湯量を1時間単位で確認することができます。
3. 当日の貯湯量と指定した日付の貯湯量を比較して見たい場合には、表示日付選択ボタンをクリックする。

表示日付選択



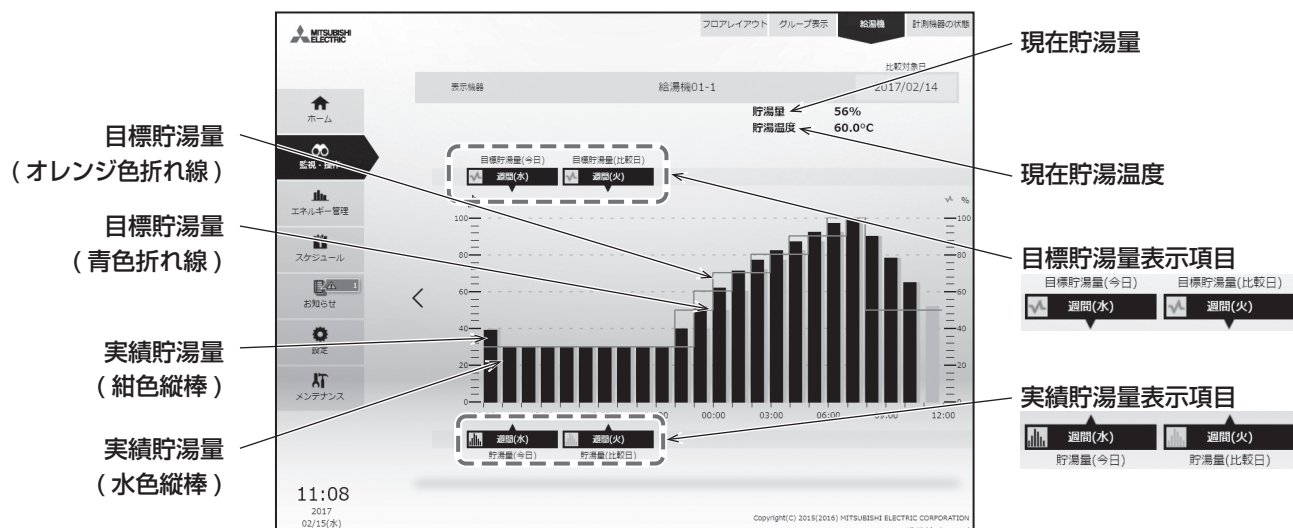
4. 表示日付選択ボタンをクリックすると、日付選択画面が表示される。
 または  をクリックし、表示したい日付に設定し、[OK] をクリックする。

日付の選択

2016	1月	12
2017	2月	13
	3月	14
	4月	15
		16

キャンセル OK

5. 指定した日付を含む貯湯量グラフが表示される。



項目	内容
目標貯湯量 (オレンジ色折れ線)	当日の目標貯湯量を折れ線グラフ (1 時間単位) で表示します。
目標貯湯量 (青色折れ線)	指定した日付の目標貯湯量を折れ線グラフ (1 時間単位) で表示します。 お知らせ ・翌日を指定した場合、日量係数、学習レベルが考慮されていない値の目標貯湯量が表示されます。
実績貯湯量 (紺色縦棒)	当日の実績貯湯量を棒グラフ (1 時間単位) で表示します。
実績貯湯量 (水色縦棒)	過去の指定した日付の実績貯湯量を棒グラフ (1 時間単位) で表示します。
現在貯湯量	現在タンクに入っているお湯の量を表示します。 お知らせ ・給湯機が開放型の場合、センサ異常時は -- と表示されます。 ・給湯機が密閉型 6 センサの場合、6 つのセンサの内、センサ異常がある時、異常のセンサを除いて計算した値となります。6 つのセンサ全て異常時は、-- と表示されます。
現在貯湯温度	現在タンクに入っているお湯の温度を表示します。 お知らせ ・給湯機が開放型の場合、センサ異常時は、-- と表示されます。 ・給湯機が密閉型 6 センサの場合、6 つのセンサの内、センサ異常がある時、異常のセンサを除いて計算した値となります。6 つのセンサ全て異常時は、-- と表示されます。
目標貯湯量表示項目	クリックすると目標貯湯量の折れ線グラフの表示 / 非表示を切り替えることができます。 お知らせ ・指定した日付の目標貯湯量のみを表示させたい場合、指定した日付の目標貯湯量表示項目のみを表示するように切り替えてください。
実績貯湯量表示項目	クリックすると実績貯湯量の棒グラフの表示 / 非表示を切り替えることができます。 お知らせ ・過去の指定した日付の実績貯湯量のみを表示させたい場合、過去の指定した日付の実績貯湯量表示項目のみを表示するように切り替えてください。

お知らせ

- ・通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。
- ・目標貯湯量、実績貯湯量に関して、取得できていない時間帯については、表示されません。

(6) センサー一覧表示画面

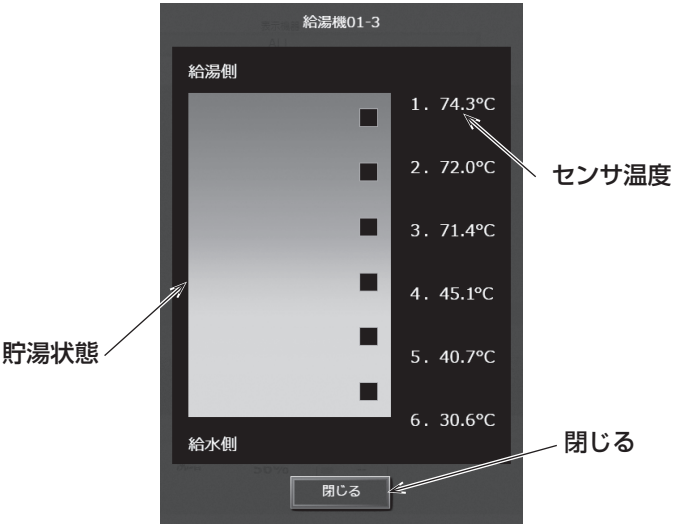
① 給湯機が密閉型6センサの場合

手順

1. 給湯機系統の [貯湯温度] のボタンをクリックする。



2. センサー一覧表示画面が表示される。
タンク内にある 6 つのセンサ毎の温度と貯湯状態を確認することができます。



項目	内容						
センサ温度	タンク内にある 6 つのセンサ毎の温度を表示します。 ■ は各センサの位置を示します。 上からセンサ位置が高い (給湯側) ～低い (給水側) の順にそれぞれの温度を表示します。 お知らせ ・ センサ異常時は、-- と表示されます。						
貯湯状態	タンク内における「お湯」、「水」の量を表示します。 有効貯湯温度 (「[4] <3> (7) ⑤ 詳細設定 (密閉型6センサ)」参照) 以上となった位置から高い位置を「お湯」として、それより低い位置を「水」として表示します。 <table><tr><td>お湯</td><td>水</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>赤色～オレンジ色</td><td>薄い青色</td></tr></table>	お湯	水			赤色～オレンジ色	薄い青色
お湯	水						
赤色～オレンジ色	薄い青色						
閉じる	タッチするとセンサー一覧表示画面を閉じます。						

お知らせ

- 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。

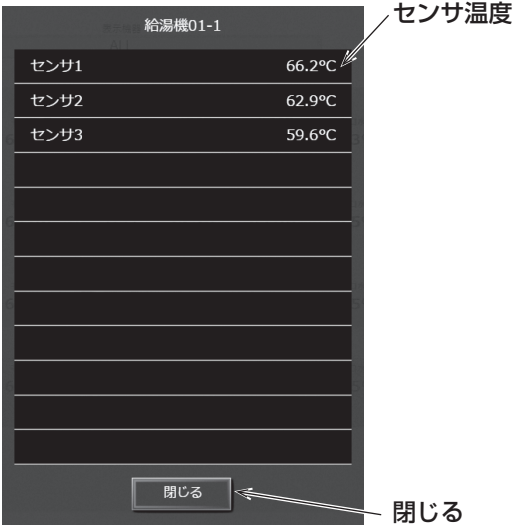
② 給湯機が密閉型 3 センサの場合

手順

1. 給湯機系統の [制御水温] のボタンをクリックする。



2. センサー一覧表示画面が表示される。
タンク内にあるセンサ毎の温度と貯湯状態を確認することができます。



項目	内容
センサ温度	タンク内にあるセンサ毎の温度を表示します。 お知らせ ・ センサ異常時は、-- と表示されます。
閉じる	クリックするとセンサー一覧表示画面を閉じます。

お知らせ

- 通信異常が起きた場合、青文字で表示されます。青文字で表示された場合、通信異常が起きる直前の状態、値が表示されます。

(7) 操作画面

給湯機の系統選択エリアをクリックすると、画面の下部にタスクバーが表示されます。
タスクバーの [詳細設定] をクリックすると、操作画面が表示されます。

[給湯機が開放型、密閉型 6 センサの場合]



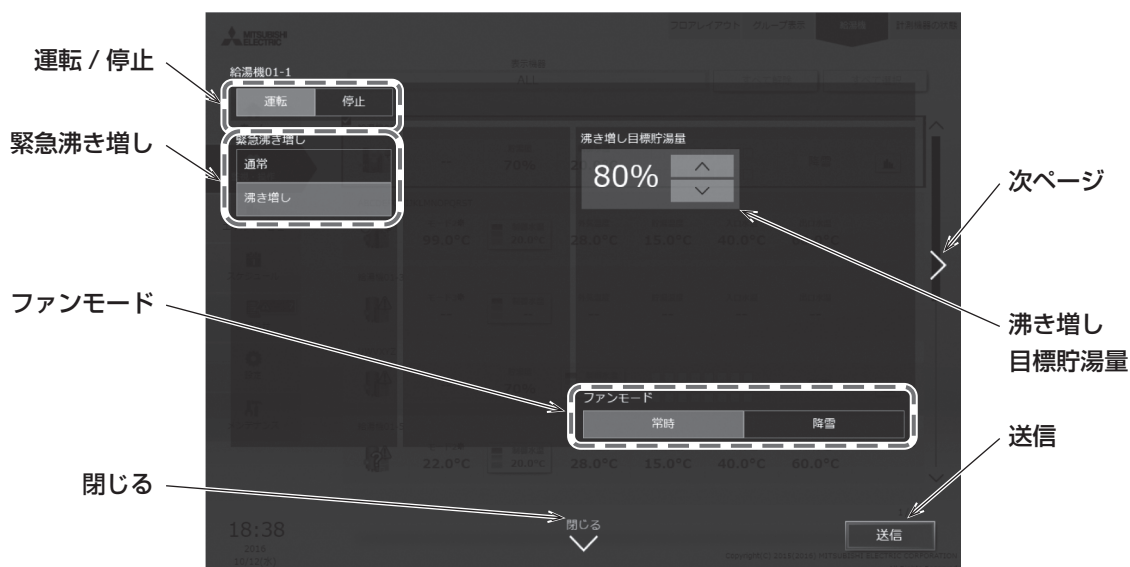
[給湯機が密閉型 3 センサの場合]



項目	内容
系統選択エリア	クリックすると、タスクバーが表示されます。
タスクバー	<p>給湯機が開放型、密閉型 6 センサの場合、【通常】または【沸増】をクリックして、対象の系統に対する緊急沸き増しの設定を切り替えます。</p> <p>給湯機が密閉型 3 センサの場合、【運転】または【停止】をクリックして、対象の系統に対して運転 / 停止を切り替えます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 給湯機（開放型、密閉型 6 センサ）の緊急沸き増しの設定の切り替えは、操作画面における運転 / 停止の設定が、【運転】の場合のみ行えます。
送信	【送信】 をクリックすると、設定を確定し、タスクバーの表示が消えます。
閉じる	【閉じる】 をクリックすると、設定を設定前の状態に戻し、タスクバーの表示が消えます。
詳細設定	<p>タスクバーの表示を消し、操作画面が表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の変更を操作画面で行えます。 <ul style="list-style-type: none"> 【給湯機が開放型、密閉型 6 センサの場合】 緊急沸き増し、沸き増し目標貯湯量、ファンモード、リモコン操作禁止設定、異常リセット 【給湯機が密閉型 3 センサの場合】 運転モード、設定温度、ファンモード、リモコン操作禁止設定、スケジュール有効 / 無効、異常リセット






① 操作画面（開放型、密閉型 6 センサ）

操作画面 1 ページ目



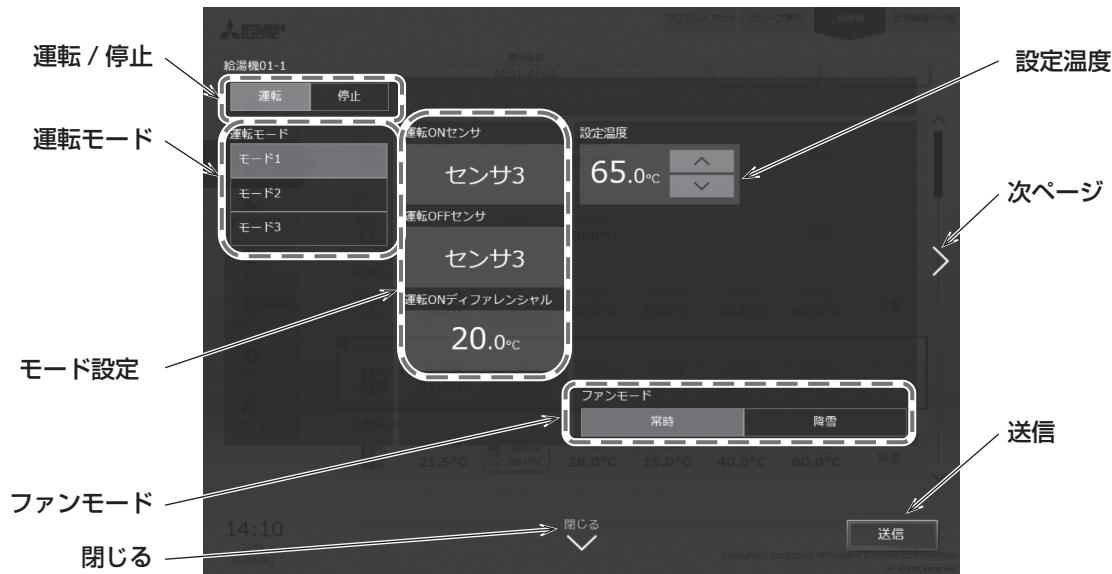
操作画面 2 ページ目



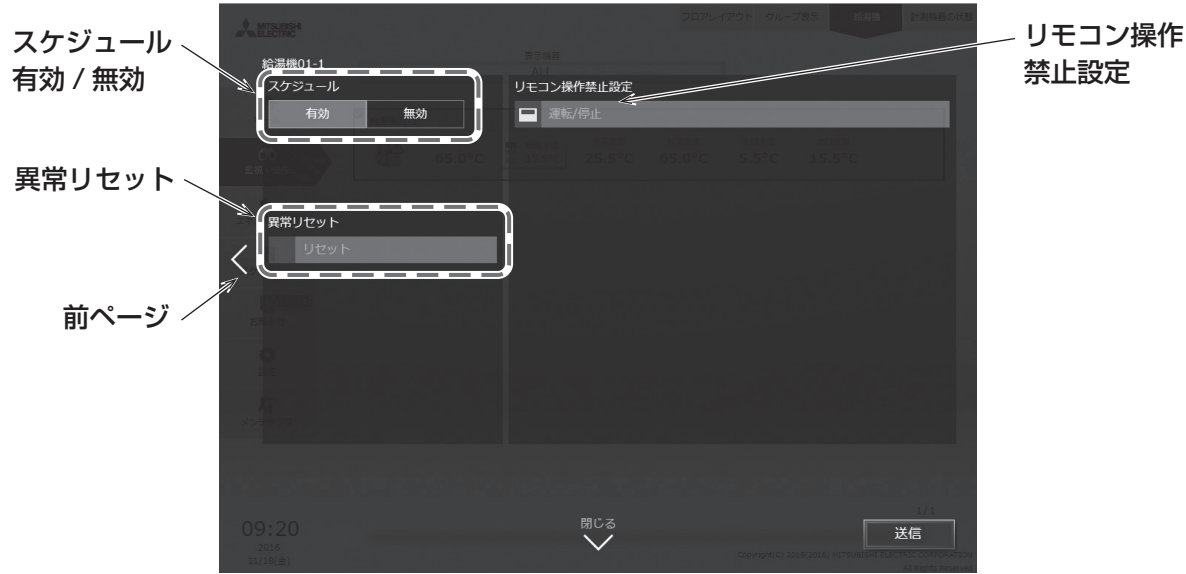
項目	内容
運転 / 停止	[運転] または [停止] をクリックして、対象の系統に対して運転 / 停止を切り替えます。
緊急沸き増し	<p>当日、予定以上のお湯の使用が見られた場合、沸き増し操作を行うと、本画面で設定した沸き増し目標貯湯量まで貯湯します。沸き増しが完了するとスケジュール運転に戻ります。</p> <p>通常 : スケジュールで計画した目標貯湯量で運転します。</p> <p>沸き増し : 沸き増し目標貯湯量で運転します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転 / 停止が [運転] の場合のみ操作できます。
沸き増し目標貯湯量	<p>緊急沸き増し時の目標貯湯量を設定します。</p> <p> または  をクリックすることで、最低確保湯量～100%まで設定可能です。</p> <p>※ 最低確保湯量については「[4] <3> (7) ④ 詳細設定 (開放型)」または「[4] <3> (7) ⑤ 詳細設定 (密閉型6センサ)」を参照してください。</p>
ファンモード	[常時] または [降雪] をクリックすることで、対象の系統に対してファンモードの常時 / 降雪を切り替えます。
リモコン操作禁止設定	<p>クリックすることで運転 / 停止の操作許可  と操作禁止  が切り替わります。</p> <p>操作禁止に設定すると、リモコンからの運転 / 停止操作が無効になります。</p>
異常リセット	<p>異常が発生している給湯機に対して、異常リセットを送信します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボタン  は異常発生時のみ表示されます。
次ページ	操作画面の2ページ目を表示することができます。
前ページ	操作画面の1ページ目を表示することができます。
送信	[送信] をクリックすると設定を確定し、給湯機の一覧画面に戻ります。
閉じる	[閉じる] をクリックすると、設定を設定前の状態に戻し、給湯機の一覧画面に戻ります。




② 操作画面（密閉型 3 センサ）

操作画面 1 ページ目



操作画面 2 ページ目



項目	内容
運転 / 停止	[運転] または [停止] をクリックして、対象の系統に対して運転 / 停止を切り替えます。
運転モード	<p>[モード 1]、[モード 2] または [モード 3] をクリックして、対象の系統の運転モードを切り替えます。運転モードの動作の詳細は、「[4] <3> (7) ⑥ 詳細設定 (密閉型 3 センサ)」を参照してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 給湯機により操作可能なモードは異なります。
設定温度	<p>タンクに入っているお湯の設定温度 (貯湯運転終了温度) を設定します。</p> <p>▲ または ▼ をクリックすることで、40.0 ~ 沸き上げ温度 -3.0℃まで設定可能です。</p> <p>※ 沸き上げ温度については、「(7) ⑥ 詳細設定 (密閉型 3 センサ)」を参照してください。</p>
ファンモード	[常時] または [降雪] をクリックすることで、対象の系統に対してファンモードの常時 / 降雪を切り替えます。
モード設定	<p>運転モードで選択したモードの [運転 ON センサ]、[運転 OFF センサ] および [運転 ON ディファレンシャル] を表示します。</p> <p>[運転 ON センサ]、[運転 OFF センサ] および [運転 ON ディファレンシャル] の設定は、「(7) ⑥ 詳細設定 (密閉型 3 センサ)」を参照してください。</p>
リモコン操作禁止設定	<p>タッチすることで運転 / 停止の操作許可  と操作禁止  が切り替わります。</p> <p>操作禁止に設定すると、リモコンからの運転 / 停止操作が無効になります。</p>
スケジュール有効 / 無効	<p>ボタンをタッチするたびに、スケジュールの [有効] と [無効] が切り替わります。</p> <p>必ず [有効] に設定してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> [無効] とした場合、スケジュールが設定されていても動作しません。
異常リセット	<p>異常が発生している給湯機に対して、異常リセットを送信します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ボタン  は異常発生時のみ表示されます。
次ページ	操作画面の 2 ページ目を表示することができます。
前ページ	操作画面の 1 ページ目を表示することができます。
送信	[送信] をクリックすると設定を確定し、給湯機の一覧画面に戻ります。
閉じる	[閉じる] をクリックすると、設定を設定前の状態に戻し、給湯機の一覧画面に戻ります。

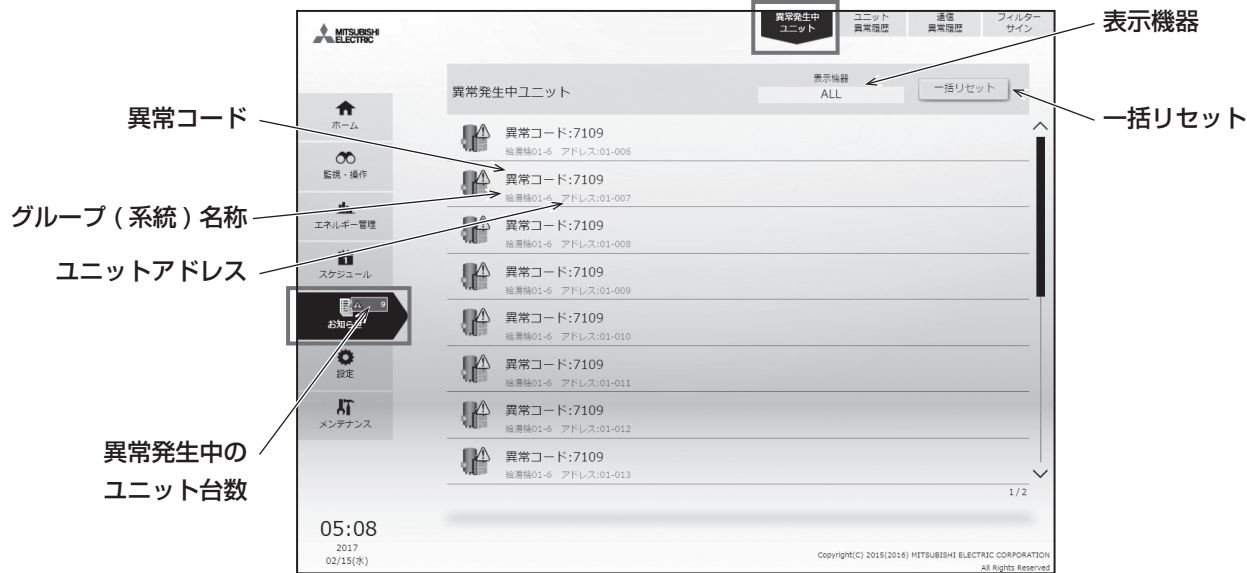
<2> 異常状態の確認

(1) 異常発生中画面

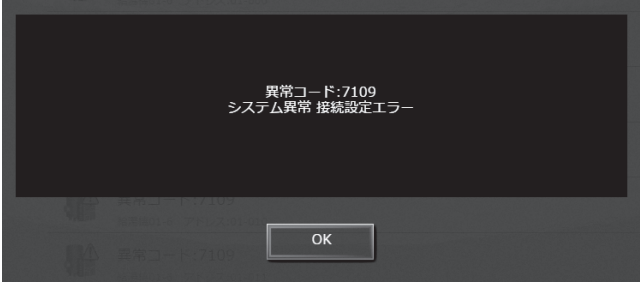
メニューの【お知らせ】－【異常発生中ユニット】をクリックして異常発生中ユニット画面を開きます。
現在、異常が発生しているユニットの一覧が表示されます。

お願い

- ・ 異常が発生した場合、異常発生ユニットアドレスおよび、異常コード、異常内容を確認の上、お買い上げいただいた販売店、もしくはお近くのサービスセンターへお問い合わせください。



項目	内容
表示機器	クリックすると、管理システム内に接続されているすべての AE-200J/AE-50J/ EW-50J が表示され、AE-200J/AE-50J/EW-50J 単位で異常発生しているユニットを絞り込むことができます。
異常発生中のユニット台数	AE-200J の管理下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。 お知らせ ・ 異常が発生していない場合は表示されません。
グループ (系統) 名称	異常が発生しているユニットが属するグループの名称または系統の名称が表示されます。 お知らせ ・ 室外ユニットやシステムリモコンなどは、空欄で表示されます。
ユニットアドレス	異常が発生しているユニットの AE-200J/AE-50J/EW-50J 番号と M-NET アドレスが表示されます。 お知らせ ・ AE-200J/AE-50J/EW-50J の番号とユニットアドレスが表示されます。 (例: AE-200J 番号が 01、AE-50J/EW-50J 番号が 1、ユニットアドレスが 012 の場合 01-1-012)

項目	内容
異常コード	<p>発生している異常の異常コードが表示されます。 タッチすると、異常コードの内容が表示されます。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常コードの詳細は、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書 操作（詳細）編」および「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。
一括リセット	<p>タッチすると、異常が発生しているすべての機器の異常がリセットされます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「表示機器」で表示されている AE-200J/AE-50J/EW-50J に対してリセットを行います。 ・給湯機以外のユニットで異常が発生している場合、ユニットが停止する場合があります。停止しても良いか確認のうえ、リセットしてください。

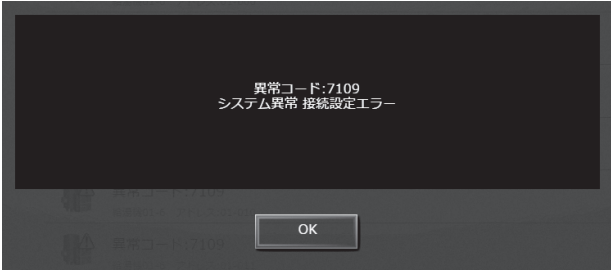
(2) 異常履歴

メニューの【お知らせ】－【ユニット異常履歴】をクリックしてユニット異常履歴画面を開きます。ユニットの異常履歴が表示されます。

または、メニューの【お知らせ】－【通信異常履歴】をクリックして通信異常履歴画面を開きます。通信異常履歴が表示されます。



項目	内容
ユニット異常履歴	クリックすると、ユニット異常履歴が表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">AE-200Jおよび各AE-50J/EW-50Jそれぞれに最大64件。先頭に最新の異常履歴が表示されます。
通信異常履歴	クリックすると、通信異常履歴が表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">AE-200Jおよび各AE-50J/EW-50Jそれぞれに最大64件。先頭に最新の異常履歴が表示されます。
表示機器	クリックすると、管理システム内に接続されているすべてのAE-200J/AE-50J/ EW-50J が表示され、AE-200J/AE-50J/EW-50J 単位で異常発生しているユニットを絞り込むことができます。
異常発生日時	異常が発生した日時が表示されます。
異常復旧日時	異常が復旧した日時が表示されます。
グループ(系統) 名称	異常が発生したユニットが属するグループの名称または系統の名称が表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">室外ユニットやシステムリモコンなどは、空欄で表示されます。
ユニットアドレス	異常が発生したユニットの AE-200J/AE-50J/EW-50J 番号とアドレスが表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">AE-200J/AE-50J/EW-50J の番号とユニットアドレスが表示されます。 (例: AE-200J 番号が 01、AE-50J/EW-50J 番号が 1、ユニットアドレスが 012 の場合 01-1-012)

項目	内容
異常コード	<p>発生している異常の異常コードが表示されます。 タッチすると、異常コードの内容が表示されます。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 異常コードの詳細は、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書 操作（詳細）編」および「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。
履歴クリア	<p>クリックすると、異常履歴が消去されます。</p>

<3> スケジュール（開放型、密閉型6センサ）

(1) 概要

週間スケジュール、年間スケジュールの設定ができます。当日スケジュールの設定はできません。

接続している給湯機の系統ごとに、週間スケジュール（1 種類、日曜～土曜）、年間スケジュール（5 パターン、50 日分）の設定ができます。また、1 日に 8 回の運転スケジュールを設定できます。

スケジュールの優先度は、高い方から、年間スケジュール＞週間スケジュールの順となります。

お知らせ

- スケジュール設定はPCの日時を基準に設定しますが、スケジュールの実行はAE-200Jが持つ時刻で実行されます。必ずPCとAE-200Jの時刻は一致させてから設定を行ってください。
一致させる方法は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 統合管理ブラウザ操作編」を参照してください。
- スケジュールが設定されていない時間帯は、貯湯量が最低確保湯量となるように運転を行います。
- 開放型、密閉型 6 センサの週間スケジュールでは、期間（季節）ごとのスケジュール設定はできません。

(2) 週間スケジュールの設定

週間スケジュール設定では、曜日ごとにスケジュールを設定できます。

① スケジュール設定対象の選択

手順

- メニューの【スケジュール】－【給湯機】をクリックし、スケジュール一覧画面を開く。
- スケジュール一覧画面で対象の系統をクリックし、タスクバーの【スケジュール設定】をクリックする。
その系統のスケジュール設定方法選択画面が表示されます。



- スケジュールを新規作成または編集する場合、【スケジュール内容編集】をクリックし、【OK】をクリックする。
別の系統の設定を流用する場合、【給湯機の設定内容を流用】をクリックし、流用元の系統を選択して【OK】をクリックする。
選択した系統に設定されているスケジュールの内容が設定対象系統のスケジュール設定画面に反映されます。

お知らせ

- 流用元にスケジュール設定がされていないときは、スケジュール内容は未設定の状態でスケジュール設定画面が表示されます。
- 機種異なる系統間でのスケジュール設定の流用はできません。
- 日区切り時刻異なる系統間でのスケジュール設定の流用はできません。




② 曜日を選択する

手順

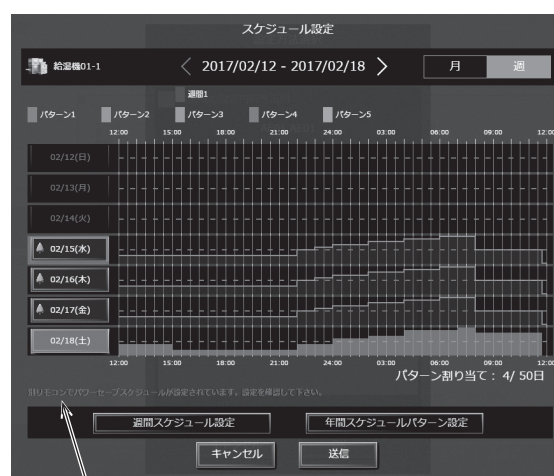
1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、[週間スケジュール設定] をクリックする。

お知らせ

- ・ 初期状態は、月表示で表示されます。週表示で表示したい場合には、**週** をクリックしてください。
- ・ 別リモコンでパワーセーブスケジュールを設定している場合、赤字でパワーセーブスケジュールメッセージが表示されます。

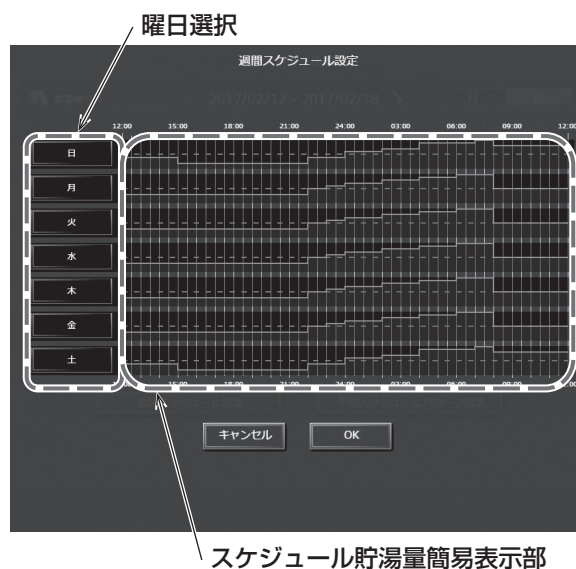
別リモコンで設定した【】のマークがついた該当日のパワーセーブスケジュールの設定内容によっては、AE-200J で設定した目標貯湯量に到達できない場合があります。

パワーセーブスケジュール設定については、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。



パワーセーブスケジュールメッセージ
別リモコンでパワーセーブスケジュールが設定されている場合に表示されます。

2. 週間スケジュール設定画面が表示されるので、スケジュール設定したい曜日をクリックすると、選択された週間スケジュールと曜日のスケジュール編集画面が表示される。



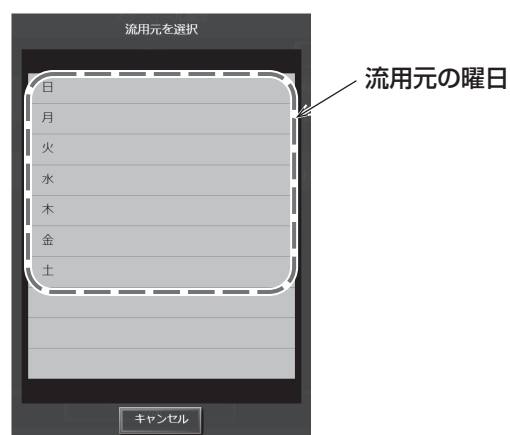
③ スケジュールを別の曜日に流用する

手順

1. スケジュール編集画面で [他の曜日を流用] をクリックする。



2. 流用元選択画面にて、流用元の曜日をクリックする。



3. スケジュール編集画面に流用元のスケジュール内容が反映される。



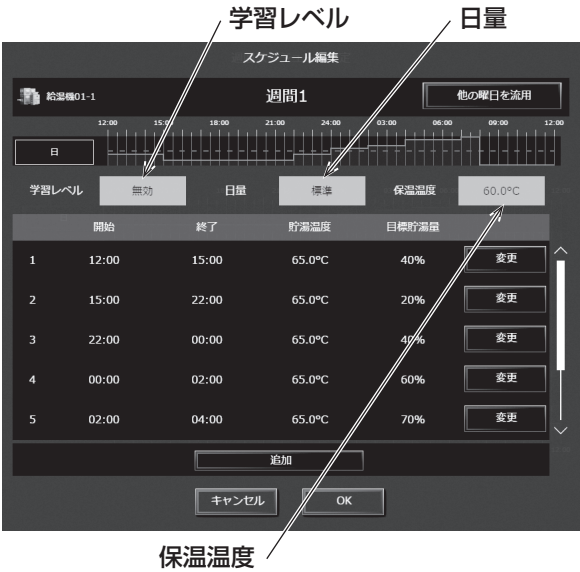
④ 学習レベル、日量および保温温度を設定する

手順

1. スケジュール編集画面で、学習レベル、日量、保温温度のそれぞれのボタンをクリックし、それぞれの設定画面を開く。

お知らせ

- ・ 学習レベルは、給湯機の学習機能により貯湯量の目標値修正を行うための設定です。
- ・ 日量は給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための設定です。
- ・ 保温温度まで貯湯温度が低下すると、給湯機が循環加温（保温運転）を行います。
- ・ 保温温度ボタンは、給湯機が開放型の場合でのみ表示されます。



2. 学習レベル選択画面で、[無効]、[低い]、[普通]、[高い]のいずれかをクリックする。

曜日毎に過去の貯湯履歴を基に目標貯湯量を調整します。

①湯切れ防止

最低残湯履歴が最低確保湯量を下回った場合、最低湯量時刻の前2時間の目標貯湯量を調整します。

②過剰残湯防止

22時直前の貯湯履歴を基に22時～8時の目標貯湯量を調整します。

お願い

- ・ 密閉型6センサ方式では[無効]設定で使用してください。

3. 日量選択画面で、[極少]、[少ない]、[標準]、[多い]のいずれかを設定する。

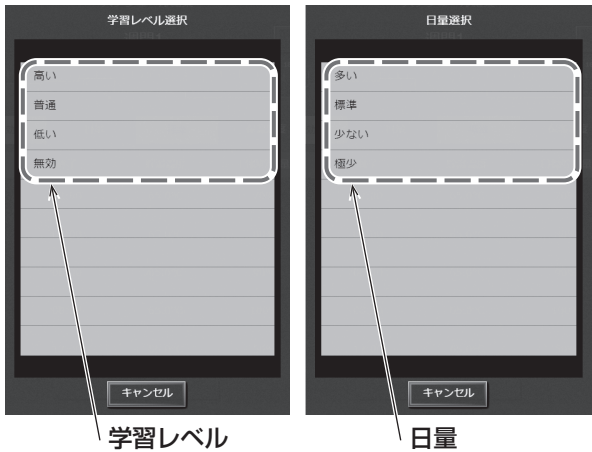
初期値は以下になっています。（標準は1.0固定です）

意味	極小	少ない	標準	多い
貯湯割合	0.3	0.8	1	1.2

4. 保温温度設定画面で、 または  をクリックして保温温度 40.0～61.0℃の範囲で設定し、[OK] をクリックする（初期値は 60.0℃）。

お知らせ

- ・ 保温温度は貯湯温度より低い温度の設定となります。



⑤ スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール編集画面で、スケジュールを新規に設定する場合は **[追加]** をクリック、設定されているスケジュールを変更する場合は **[変更]** をクリックして、スケジュール運転設定画面を表示する。

お知らせ

- スケジュールの削除は、一番下に設定されたスケジュールの行でのみ行えます。

お願い

- スケジュールは時刻通りに順番に設定してください。



追加

変更

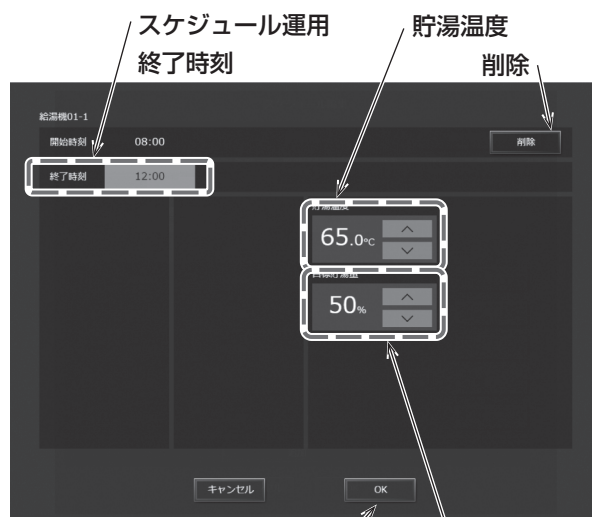
2. 給湯機が開放型の場合はスケジュール運転設定画面でスケジュール運用終了時刻、貯湯温度および目標貯湯量を設定し、**[OK]** をクリックする。

お知らせ

- スケジュール運用開始時刻には、日区切り時刻または1行上のスケジュール運用終了時刻が表示されるため、設定できません。
- 日区切り時刻をまたぐ、または他のスケジュールの行と時間帯が重なるスケジュール運用終了時刻の設定はできません。
- スケジュール設定後、スケジュールを削除しない限りスケジュール運用終了時刻の再設定ができなくなります（スケジュール編集画面で1番下に設定されたスケジュールの行を除く）。
- 貯湯温度は保温温度より高い温度の設定となります。
- 実際の貯湯温度は、貯湯運転開始時のタンク内残湯量、残湯温度、および配管、貯湯槽の放熱などの影響により変化しますので、設定値通りにならない場合があります。
- **[削除]** は、スケジュール編集画面で1番下に設定されたスケジュールの行でのみ表示されます。

お願い

- 対象給湯システムが火傷の恐れのある仕様の場合、65℃を超える貯湯温度の設定はしないでください。



OK

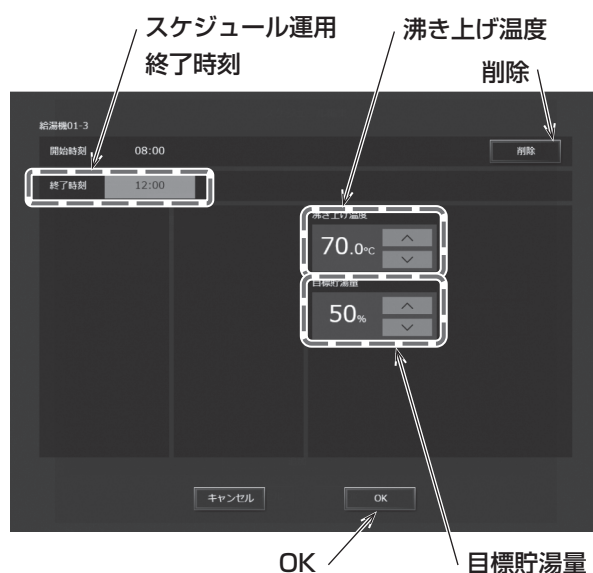
目標貯湯量

3. 給湯機が密閉型 6 センサの場合はスケジュール運転設定画面でスケジュール運用終了時刻、沸き上げ温度および目標貯湯量を設定し、[OK] をクリックする。

お知らせ

- スケジュール運用開始時刻には、日区切り時刻または 1 行上のスケジュール運用終了時刻が表示されるため、設定できません。
- 日区切り時刻をまたぐ、または他のスケジュールの行と時間帯が重なるスケジュール運用終了時刻の設定はできません。
- スケジュール設定後、スケジュールを削除しない限りスケジュール運用終了時刻の再設定ができなくなります（スケジュール編集画面で 1 番下に設定されたスケジュールの行を除く）。
- 沸き上げ温度は有効貯湯温度より高い温度の設定となります。
有効貯湯温度の設定は、「(7) ⑤ 詳細設定（密閉型 6 センサ）」を参照してください。
- 実際の貯湯温度は、給湯機の保護制御の影響により設定値通りにならない場合があります。
- [削除] は、スケジュール編集画面で 1 番下に設定されたスケジュールの行でのみ表示されます。

4. スケジュール設定を全て完了したら、スケジュール編集画面で [OK] をクリックする。



⑥ スケジュール設定内容を保存する

手順

1. スケジュール内容を設定後、スケジュール設定画面で **[送信]** をクリックして、スケジュール設定を集中コントローラに送信・保存する。
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、**[キャンセル]** をクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お知らせ

- ・ **[送信]** をクリックすると、スケジュール設定が AE-200J に送信されます。スケジュールの設定数によって、送信が完了するまでに数分かかることがあります。



キャンセル 送信

⑦ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする場合は、スケジュール画面からコピー元の系統アイコンをクリックして、**[設定内容コピー]** をクリックする。
2. コピー先となる系統アイコンをクリックし、**[コピー内容反映]** をクリックし、コピー元のスケジュール内容をコピーする。

お知らせ

- ・ 機種の異なる系統間でのスケジュールのコピーはできません。
- ・ 日区切り時刻が異なる系統間でのコピーはできません。
- ・ スケジュールのコピーを行うと、年間スケジュールの内容も併せてコピーされます。



設定内容コピー コピー内容反映

(3) 年間スケジュールの設定

年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを系統ごとに、24 ヶ月先（今月含む）までの範囲で 50 日分設定できます（前日以前の年間スケジュールは自動的に削除されます）。

① スケジュール設定対象の選択

手順

1. メニューの [スケジュール] - [給湯機] をクリックしてスケジュール一覧画面を開き、スケジュール一覧画面にてスケジュールを設定する系統対象を選択する。

「(2) ① スケジュール設定対象の選択」を参照してください。

② 年間スケジュールパターンを設定する

手順

1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、[年間スケジュールパターン設定] をクリックする。

お知らせ

- ・ 初期状態は、月表示で表示されます。週表示で表示したい場合には、**週** をクリックしてください。
- ・ 別リモコンでパワーセーブスケジュールを設定している場合、赤字でパワーセーブスケジュールメッセージが表示されます。

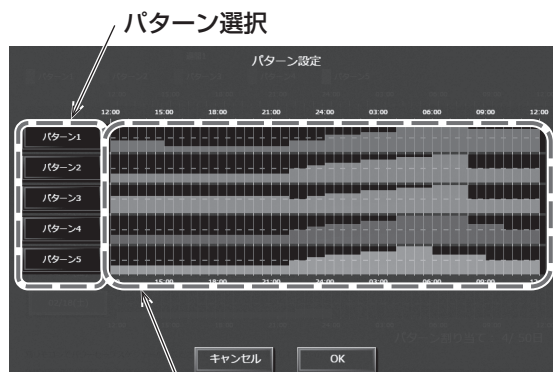
別リモコンで設定した [] のマークがついた該当日のパワーセーブスケジュールの設定内容によっては、AE-200J で設定した目標貯湯量に到達できない場合があります。

パワーセーブスケジュール設定については、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。



パワーセーブスケジュールメッセージ
別リモコンでパワーセーブスケジュールが設定されている場合に表示されます。

2. パターン設定画面で、スケジュールパターン設定を行うパターンをクリックし、スケジュール編集画面を表示する。



パターン選択

スケジュール貯湯量簡易表示部

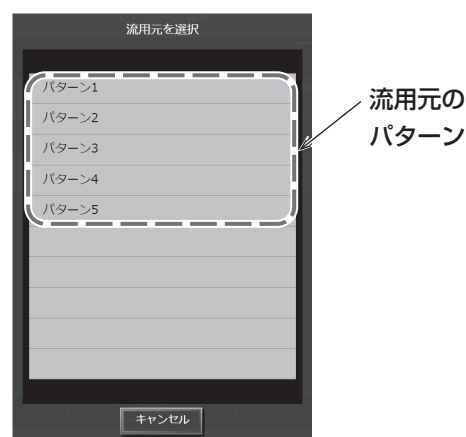
③ スケジュールを別のパターンに流用する

手順

1. スケジュール編集画面で [他のパターンを流用] をクリックする。



2. 流用元選択画面にて、流用元のパターンをクリックする。



3. スケジュール編集画面に流用元のスケジュール内容が反映される。



④ 日量および保温温度を設定する

手順

1. スケジュール編集画面で、日量、保温温度のそれぞれのボタンをクリックし、それぞれの設定画面を開く。

お知らせ

- ・日量は、給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための設定です。
- ・保温温度まで貯湯温度が低下すると、給湯機が循環加熱（保温運転）を行います。
- ・保温温度ボタンは、給湯機が開放型の場合でのみ表示されます。



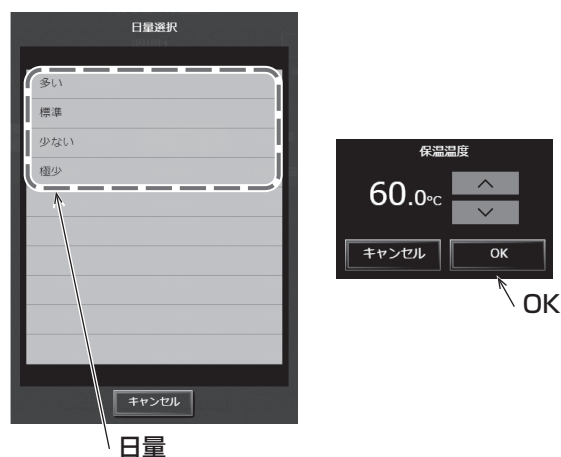
2. 日量選択画面で、[極少]、[少ない]、[標準]、[多い] のいずれかを設定する。
初期値は以下のようになっています。（標準は 1.0 固定です）

意味	極小	少ない	標準	多い
貯湯量割合	0.3	0.8	1	1.2

3. 保温温度設定画面で、 または をクリックして保温温度を 40.0 ～ 61.0℃ の範囲で設定し、[OK] をクリックする（初期値は 50.0℃）。

お知らせ

- ・保温温度は貯湯温度より低い温度の設定となります。



⑤ スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール編集画面でスケジュール内容を設定する。
「(2) ⑤ スケジュール内容を設定する」を参照してください。

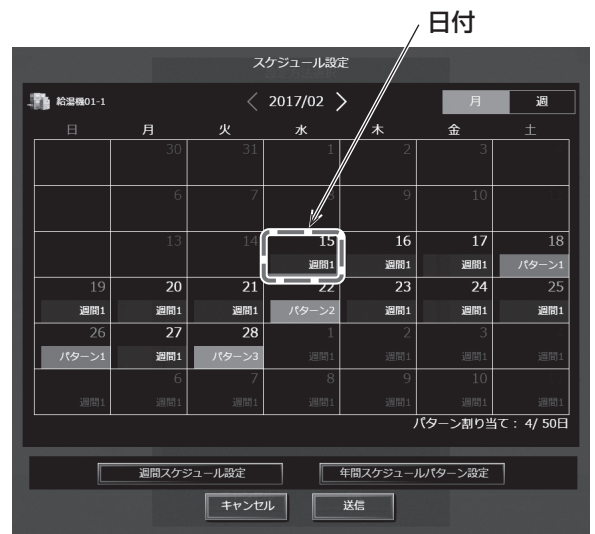


⑥ パターン割り当て日を設定する

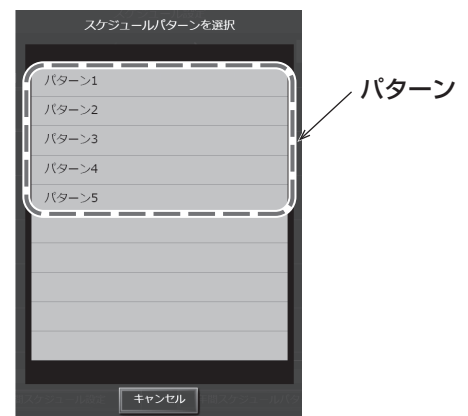
設定したスケジュールパターンを、祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

手順

1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、年間スケジュールパターンを設定する日付をクリックする。



2. 設定する年間スケジュールパターンをクリックする。



⑦ スケジュール設定内容を保存する

手順

1. スケジュール設定画面で [送信] をクリックして、スケジュール設定を AE-200J に送信・保存する。
「(2) ⑥ スケジュール設定内容を保存する」を参照してください。

⑧ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする。
「(2) ⑦ スケジュールを別の系統にコピーする」を参照してください。



<4> スケジュール（密閉型3センサ）

(1) 概要

週間スケジュール、年間スケジュール、当日スケジュールの設定ができます。
接続している給湯機の系統ごとに、週間スケジュール（5 種類、日曜～土曜）、年間スケジュール（5 パターン、50 日分）、当日スケジュール（当日のみ有効）の設定ができます。また、1 日に 24 回の運転スケジュールを設定できます。
週間スケジュールでは、以下のように最大 5 つのスケジュール期間（季節）「週間スケジュール 1」～「週間スケジュール 5」を設定することができ、期間（季節）ごとの週間スケジュールの設定ができます。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
						週間スケジュール 1(特別)					
週間スケジュール 4 (冬期)					週間スケジュール 2 (夏期)					週間スケジュール 4 (冬期)	
								週間スケジュール 3 (秋期)			
週間スケジュール 5 (全期間)											

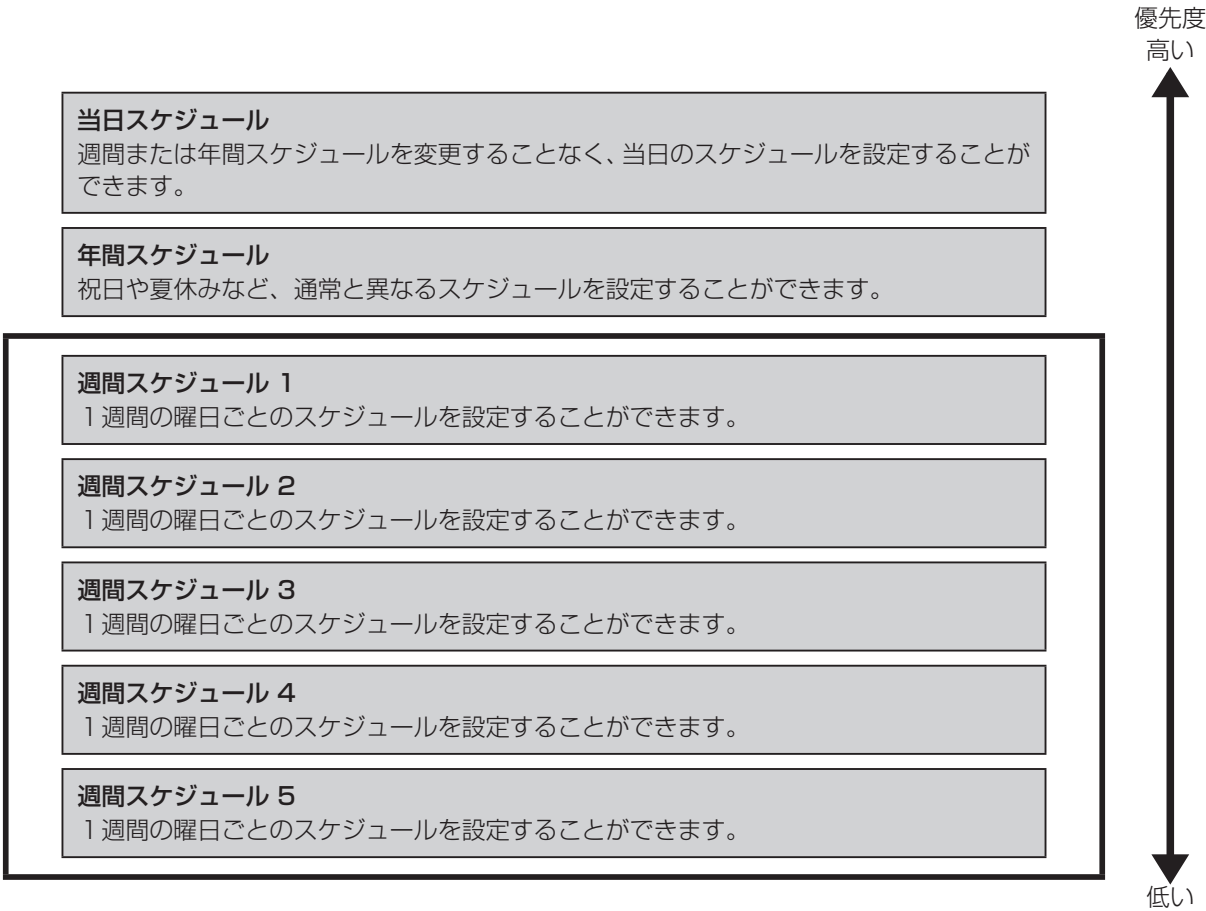
お知らせ

- 上記の図は、各週間スケジュールの設定期間が以下の日付に設定されている場合の例を示したものです。
週間スケジュール 1：7 月 16 日～8 月 20 日
週間スケジュール 2：6 月 16 日～9 月 15 日
週間スケジュール 3：9 月 16 日～11 月 15 日
週間スケジュール 4：11 月 16 日～3 月 15 日
週間スケジュール 5：1 月 1 日～12 月 31 日
- 週間スケジュール 1～5 のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。例えば、週間スケジュール 1 と週間スケジュール 2 が重なる場合は、週間スケジュール 1 が優先されます。
- 操作設定画面の「スケジュール」設定が【無効】に設定されている場合、スケジュールは実行されません。必ずいずれかのスケジュールを【有効】に設定してください。
（「(7) 操作画面」を参照してください。）
- スケジュールが設定されていない時間帯は、その直前の運転状態で運転が行われます。
- スケジュール設定は PC の日時を基準に設定しますが、スケジュールの実行は AE-200J が持つ時刻で行われます。必ず PC と AE-200J の時刻は一致させてから設定を行ってください。
一致させる方法は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 統合管理ブラウザ操作編」を参照してください。

お願い

- 密閉型 3 センサの給湯機においては、スケジュールの設定されていない日を設けないよう、365 日いずれかのスケジュール設定を行ってください。
- 週間スケジュールの季節設定は、AE-200J 内で共通の設定です。
したがって、AE-200J に給湯機と他の空調機、低温機器、DT-R が接続されている場合、季節設定での週間スケジュール期間は同じ設定になるため、**週間スケジュール 5 を全期間でかつ【有効】**に設定してください。また、AE-200J に給湯機のみが接続されている場合は、週間スケジュール 1 を全期間に設定してください。
例えば、空調機の場合は夏期、冬期のみの運転となるため、上記の図では週間スケジュール 1、2、4 のみが設定されます。週間スケジュール 5 を全期間でかつ**【有効】**に設定しておくことで、空調機のスケジュール設定で週間スケジュール 2、4 を**【無効】**に設定した場合でも、給湯機を全期間でスケジュール運転させることが可能です。

- スケジュールの期間が重なる場合は、下図のとおり、優先度が最も高いスケジュールが実行されます。



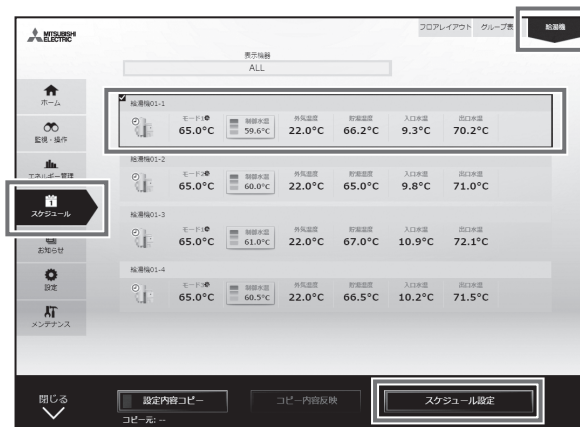
(2) 週間スケジュールの設定

週間スケジュール設定では、曜日ごと、期間（季節）ごとにスケジュールを設定できます。

① スケジュール設定対象の選択

手順

1. メニューの【スケジュール】－【給湯機】をクリックし、スケジュール一覧画面を開く。
2. スケジュール一覧画面で対象のシステムをクリックし、タスクバーの【スケジュール設定】をクリックすると、そのシステムのスケジュール設定方法選択画面が表示される。



3. スケジュールを新規作成または編集する場合、【スケジュール内容編集】をクリックし、【OK】をクリックする。
別の系統の設定を流用する場合、【給湯機の設定内容を流用】をクリックし、流用元のシステムを選択して【OK】をクリックする。
選択した系統に設定されているスケジュールの内容が設定対象システムのスケジュール設定画面に反映されます。

お知らせ

- ・ 流用元にスケジュール設定がされていないときは、スケジュール未設定の状態ですぐスケジュール設定画面が表示されます。
- ・ 機種異なる系統間でのスケジュール設定の流用はできません。



流用元を選択

② 曜日を選択する

手順

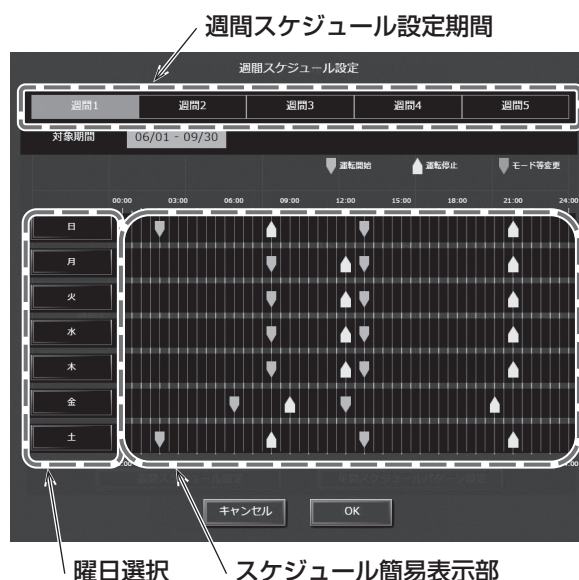
1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、【週間スケジュール設定】をクリックする。

お知らせ

- ・ 初期状態は、月表示で表示されます。週表示で表示したい場合には、**週** をクリックしてください。



2. 週間スケジュール設定画面で、設定する週間スケジュール期間設定（[週間 1]～[週間 5]）をクリックする。
3. スケジュールを設定したい曜日をクリックすると、選択された週間スケジュールと曜日のスケジュール編集画面が表示される。



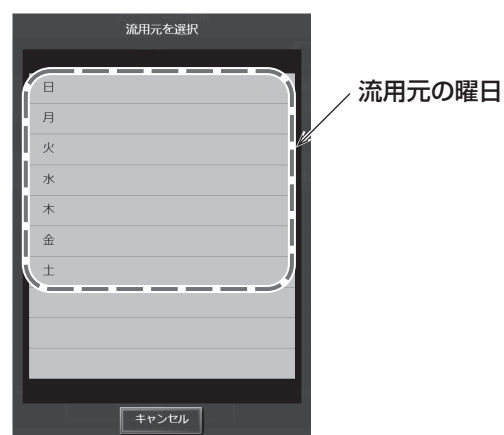
③ スケジュールを別の曜日に流用する

手順

1. スケジュール編集画面で [他の曜日を流用] をクリックする。



2. 流用元選択画面にて、流用元の曜日ををクリックする。



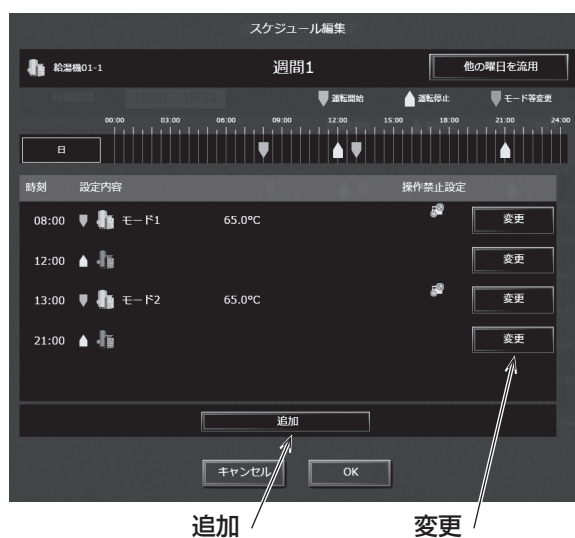
3. スケジュール編集画面に流用元のスケジュール内容が反映される。



④ スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール編集画面で、スケジュールを新規に設定する場合は **[追加]** をクリック、設定されているスケジュールを変更する場合は **[変更]** をクリックして、スケジュール運転設定画面を表示する。



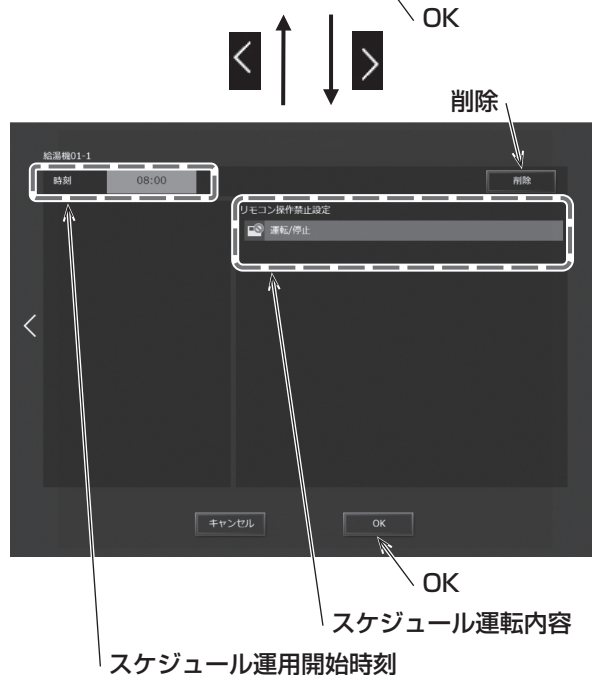
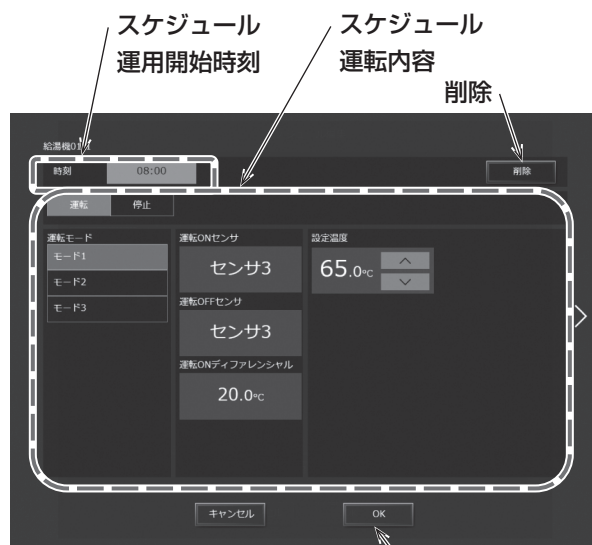
追加

変更

- スケジュール運転設定画面でスケジュール運用開始時刻およびスケジュール運転内容を設定し、[OK] をクリックする。
スケジュール運転内容における運転モードの詳細は、「(7) ⑥ 詳細設定 (密閉型3センサ)」を参照してください。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、[削除] をクリックしてください。



- スケジュール設定を全て完了したら、スケジュール編集画面で [OK] をクリックする。



⑤ スケジュールの対象期間を設定する

お知らせ

- スケジュールの対象期間は、AE-200J ごとに設定されます。
統合管理ブラウザでスケジュールの対象期間を設定した場合、管理対象の AE-200J すべてに同一の設定内容が送信されます。

手順

1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、[週間スケジュール設定] をクリックする。



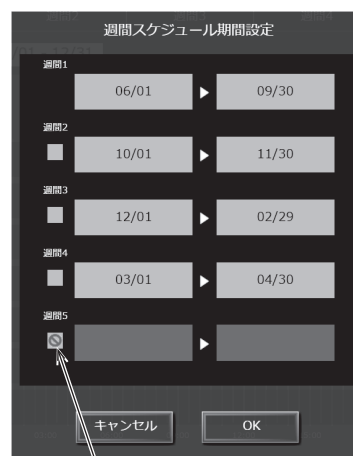
2. 週間スケジュール設定画面で、対象の [期間] をクリックする。



3. 週間スケジュール期間設定画面で、各週間スケジュールを有効とする期間を入力する。

お知らせ

- 週間スケジュール期間設定画面でチェックボックスにチェック [☒] を入れると、チェックされた週間スケジュールの期間設定は無効となります。



期間設定無効状態

⑥ スケジュール設定内容を保存する

手順

1. スケジュール内容を設定後、スケジュール設定画面で **[送信]** をクリックして、スケジュール設定を集中コントローラに送信・保存する。
 前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、**[キャンセル]** をクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お知らせ

- ・ **[送信]** をクリックすると、スケジュール設定が AE-200J に送信されます。
 スケジュールの設定数によって、送信が完了するまでに数分かかることがあります。



キャンセル 送信

⑦ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする場合は、スケジュール画面からコピー元の系統アイコンをクリックして、**[設定内容コピー]** をクリックする。
2. コピー先となる系統アイコンをクリックし、**[コピー内容反映]** をクリックし、コピー元のスケジュール内容をコピーする。

お知らせ

- ・ 機種異なる系統間でのスケジュールのコピーはできません。
- ・ スケジュールのコピーを行うと、年間および当日スケジュールの内容も併せてコピーされます。



設定内容
コピー

コピー内容
反映

(3) 年間スケジュールの設定

年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを系統ごとに、24 ヶ月先（今月含む）までの範囲で 50 日分設定できます（前日以前の年間スケジュールは自動的に削除されます）。

① スケジュール設定対象の選択

手順

1. メニューの [スケジュール] - 【給湯機】をクリックしてスケジュール一覧画面を開き、スケジュール一覧画面にてスケジュールを設定する系統対象を選択する。
「(2) ① スケジュール設定対象の選択」を参照してください。

② 年間スケジュールパターンを設定する

手順

1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、[年間スケジュールパターン設定]をクリックする。

お知らせ

- ・ 初期状態は、月表示で表示されます。週表示で表示したい場合には、**週** をクリックしてください。



2. パターン設定画面で、スケジュールパターン設定を行うパターンをクリックし、スケジュール編集画面を表示する。



パターン選択

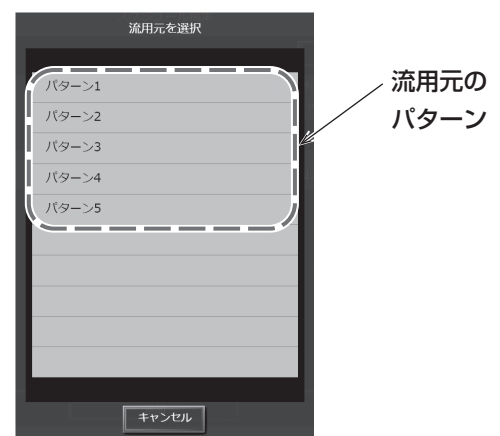
③ スケジュールを別のパターンに流用する

手順

1. スケジュール編集画面で「他のパターンを流用」をクリックする。



2. 流用元選択画面にて、流用元のパターンをクリックする。



3. スケジュール編集画面に流用元のスケジュール内容が反映される。



④ スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール編集画面でスケジュール内容を設定する。
「(2) ⑤ スケジュールの対象期間を設定する」を参照してください。



追加

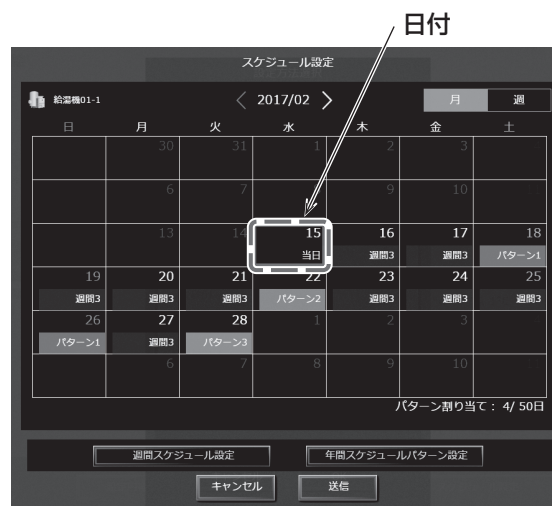
変更

⑤ パターン割り当て日を設定する

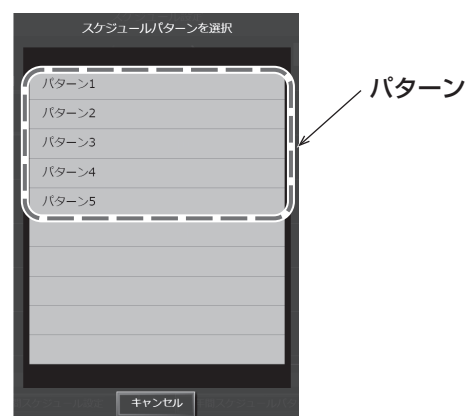
設定したスケジュールパターンを、祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

手順

1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、年間スケジュールパターンを設定する日付をクリックする。



2. 設定する年間スケジュールパターンをクリックする。



⑥ スケジュール設定内容を保存する

手順

1. スケジュール設定画面で【送信】をクリックして、スケジュール設定を AE-200J に送信・保存する。
「(2) ① 週間スケジュールパターンを設定する」を参照してください。

⑦ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする。
「(2) ⑦ スケジュールを別の系統にコピーする」を参照してください。



(4) 当日スケジュールの設定

当日スケジュール設定では、週間スケジュールや年間スケジュールを変更せずに、当日のみ有効なスケジュールに設定することができます。

お知らせ

- 当日スケジュールを設定した後に、当日スケジュール設定内容をすべて削除した場合、当日スケジュールは設定なしの状態として残ります。この場合、スケジュールの最優先は当日スケジュールであるため、年間スケジュール、週間スケジュールは実施されません。

お願い

- スケジュールを設定する際は、その内容が翌日の運転に影響しないように設定してください。

① スケジュール設定対象の選択

手順

- メニューの【スケジュール】－【給湯機】をクリックしてスケジュール一覧画面を開き、スケジュール一覧画面にてスケジュールを設定する系統対象を選択する。
「(2) ① スケジュール設定対象の選択」を参照してください。

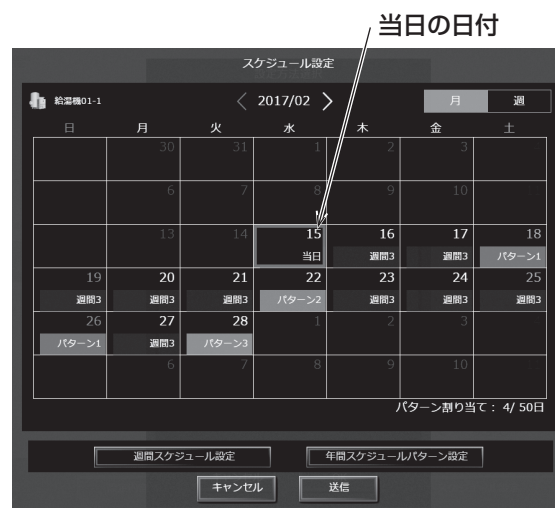
② スケジュール内容を設定する

手順

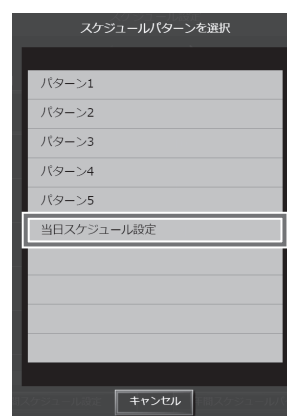
- スケジュール設定画面（月または週表示）で青色で囲われた当日の日付をクリックする。

お知らせ

- 初期状態は、月表示で表示されます。週表示で表示したい場合には、**週** をクリックしてください。



- 【当日スケジュール設定】をクリックする。



3. スケジュール編集画面でスケジュール内容を設定する。
「(2) ④ スケジュール内容を設定する」を参照してください。

お知らせ

- 当日スケジュールが設定されると、スケジュール設定画面の当日の日付に [当日] と表示されます。
- スケジュール未設定で [OK] をタッチしても、空のスケジュールが保存されます。



③ スケジュール設定内容を保存する

手順

1. スケジュール設定画面で [送信] をクリックして、スケジュール設定を AE-200J に送信・保存する。
「(2) ① 週間スケジュールパターンを設定する」を参照してください。

④ スケジュールを別の系統にコピーする

手順

1. 系統間でスケジュール内容をコピーする。
「(2) ⑦ スケジュールを別の系統にコピーする」を参照してください。



[3] 使用方法（応用・CSV 出力）

<1> USBメモリへの設定データバックアップ

「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」を参照してください。

<2> USBメモリへの運用データのCSV出力

USB メモリに給湯機の運用データを CSV 形式出力したい場合、メニューの [メンテナンス] - [CSV 出力] をタッチし、CSV 出力画面を表示します。

お知らせ

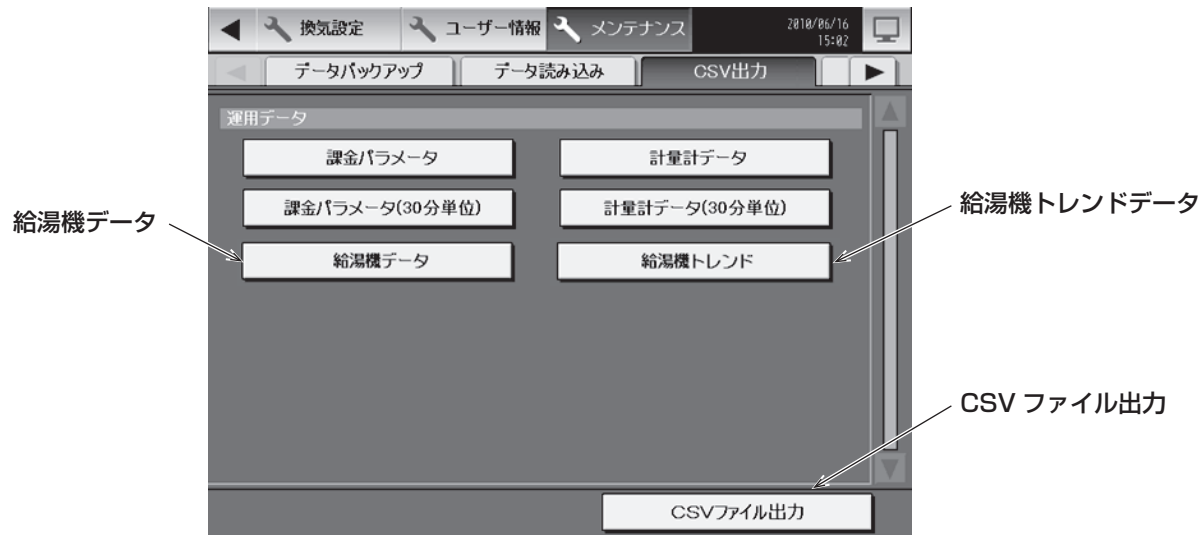
- USB メモリへの給湯機運用データの CSV 出力は、AE-200J の液晶画面でのみ行えます。
- 密閉型 3 センサの給湯機運用データは出力されません。
- CSV 出力されるファイル名やファイル内の日付形式、区切り文字は初期設定で設定された形式で出力されます。設定方法は「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
- USB メモリは、下表のものについて正常に動作することを確認しています（2017 年 1 月現在）。

No.	メーカー	型名	容量
1	Transcend	TS4GJF300	4GB
2	Transcend	TS16GJF300	16GB
3	Transcend	TS32GJF700	32GB
4	Sony	USM8GUB	8GB
5	Sony	USM16GRB	16GB
6	Sony	USM8X B	8GB
7	imation	Nano-f	16GB
8	BUFFALO	RUF3-K8G	8GB
9	BUFFALO	RUF3-K8GA	8GB
10	ELECOM	MF-KCU308GBU	8GB
11	TOSHIBA	TNU-C008GK	8GB
12	Princeton	PFU-XJ3S/4GK	4GB

- 上記の USB メモリが入手できない場合には下記条件を満たすものを選定し、運用前に正常に動作することを確認の上、使用してください。
 - 1) USB2.0 対応していること。
 - 2) FAT32、または FAT(FAT16) 形式でフォーマットされていること。
 - 3) セキュリティ機能がないもの。
(上記を満たす USB メモリでも、正しく動作しない可能性があります。データ書き込み異常が発生した後、別の USB メモリに変えても正常に書き込めないような場合は、AE-200J を再起動（電源切→入）してから最初に異常発生したもの以外の USB メモリで改めて出力を行ってください。）
- Microsoft は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Office Excel は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
- 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

お願い

- CSV ファイルは、Microsoft® Excel 2010 以降で読み込んでください。
CSV ファイルは、文字コードに UTF-8（ユニコード）を使用しているものや 256 列以上のものがあり、Microsoft® Excel 2007 以前の場合、データを正しく読み込むことができない場合があります。



手順

1. AE-200J のカバーを外し、USB メモリ差込口に USB メモリを差します。
2. [給湯機データ]、[給湯機トレンドデータ] のうち、出力するデータのボタンをタッチし、[CSV ファイル出力] をタッチします。

お知らせ

- データの容量によっては、出力完了までに数分かかる場合があります。

お願い

- USB メモリへ書き込んでいる間は、USB メモリを抜き差ししないでください。
- USB メモリを短い時間で抜き差しした場合、本体が USB メモリを認識しなくなる場合があります。その場合、本体の電源をリセットする必要があります。

項目	内容		
給湯機 データ	■ファイル名 HWSD_[yyyy]-[mm]-[dd]S[系統番号].csv 例：HWSD_2017-12-31S24.csv		
	■ファイル出力先 ¥[製造番号]¥[OperationalData]¥[HotWater]¥		
	■ファイル形式		
	行	項目	形式
	1 行目	ファイル区分	給湯機が開放型の場合

項目	内容																																								
給湯機データ	■ファイル例 【給湯機が開放型の場合】																																								
	305 2016/07/23-2016/07/23 Address04 日付, 基準貯湯容量, 貯湯加熱時間, 保温加熱時間, 最低貯湯量, 30 分貯湯量減少最大値, 外気温度, 給水温度, 出湯温度, 前日 22:00 貯湯温度, 前日 22:00 貯湯量, 8:00 貯湯温度, 8:00 貯湯量, 最低貯湯量時刻, 貯湯量減少最大時刻, 満蓄時刻, 積算電力量, 積算出湯量, 日区切り時刻, 最低確保湯量, 運転パターン, 学習レベル, 日量, 保温温度, 終了時刻 1, 目標貯湯温度 1, 目標貯湯量 1, 終了時刻 2, 目標貯湯温度 2, 目標貯湯量 2, 終了時刻 3, 目標貯湯温度 3, 目標貯湯量 3, 終了時刻 4, 目標貯湯温度 4, 目標貯湯量 4, 終了時刻 5, 目標貯湯温度 5, 目標貯湯量 5, 終了時刻 6, 目標貯湯温度 6, 目標貯湯量 6, 終了時刻 7, 目標貯湯温度 7, 目標貯湯量 7, 終了時刻 8, 目標貯湯温度 8, 目標貯湯量 8 ,m3,Hour,Hour,%,%, ° C, ° C, ° C, ° C, %, ° C, %, kWh, %, %, ° C, ° C, %, ° C, %, ° C, %, ° C, %, ° C, %, ° C, %, ° C, % 2016/7/23,80.0,10.0,14.0,30.0,5.0,31.2,23.4,75.0,45.0,30.0,60.0,100.0,19:00,17:30,07:00,300.6 8,150.0,00:00,15.0, 週間 (土), 普通, 標準, 60.0,14:00,65.0,100.0,17:00,60.0,80.0,20:00,60.0,70.0,00:0 0,65.0,100.0,,,,,,,,,,,,																																								
	【給湯機が密閉型 6 センサの場合】																																								
	306 2016/07/23-2016/07/23 Address04 日付, 基準貯湯容量, 貯湯加熱時間, 保温加熱時間, 最低貯湯量, 30 分貯湯量減少最大値, 外気温度, 給水温度, 出湯温度, 前日 22:00 貯湯温度, 前日 22:00 貯湯量, 8:00 貯湯温度, 8:00 貯湯量, 最低貯湯量時刻, 貯湯量減少最大時刻, 満蓄時刻, 積算電力量, 積算出湯量, 日区切り時刻, 最低確保湯量, 運転パターン, 学習レベル, 日量, 有効貯湯温度, 終了時刻 1, 沸き上げ温度 1, 目標貯湯量 1, 終了時刻 2, 沸き上げ温度 2, 目標貯湯量 2, 終了時刻 3, 沸き上げ温度 3, 目標貯湯量 3, 終了時刻 4, 沸き上げ温度 4, 目標貯湯量 4, 終了時刻 5, 沸き上げ温度 5, 目標貯湯量 5, 終了時刻 6, 沸き上げ温度 6, 目標貯湯量 6, 終了時刻 7, 沸き上げ温度 7, 目標貯湯量 7, 終了時刻 8, 沸き上げ温度 8, 目標貯湯量 8 ,m3,Hour,Hour,%,%, ° C, ° C, ° C, ° C, %, ° C, %, kWh, %, %, ° C, ° C, %, ° C, %, ° C, %, ° C, %, ° C, %, ° C, %, ° C, % 2016/7/23,80.0,10.0,14.0,30.0,5.0,31.2,23.4,75.0,45.0,30.0,60.0,100.0,19:00,17:30,07:00,300.6 8,150.0,00:00,15.0, 週間 (土), 普通, 標準, 55.0,14:00,65.0,100.0,17:00,60.0,80.0,20:00,60.0,70.0,00:0 0,65.0,100.0,,,,,,,,,,,,																																								
	<div>お知らせ</div> <div><div>・ 各数値は、運転開始時刻と運転終了時刻の間の累積値です。</div><div>・ 各ファイルには、最大 400 日分のデータが含まれます。</div></div>																																								
	■データ項目と出力列番号の一覧表 【給湯機が開放型の場合】																																								
	<table><tr><th>列</th><th>項目</th><th>単位</th><th>説明</th></tr><tr><td>1</td><td>日付</td><td>—</td><td>記録されたデータの日付</td></tr><tr><td>2</td><td>基準貯湯容量</td><td>m³</td><td>貯湯量が 100% のときのタンク内の湯量 (m³)</td></tr><tr><td>3</td><td>貯湯加熱時間</td><td>Hour</td><td>記録された日付において給湯機が貯湯運転した時間の系統内合計値</td></tr><tr><td>4</td><td>保温加熱時間</td><td>Hour</td><td>記録された日付において給湯機が保温運転した時間の系統内合計値</td></tr><tr><td>5</td><td>最低貯湯量</td><td>%※¹</td><td>記録された日付において最も少なかったときの貯湯量</td></tr><tr><td>6</td><td>30 分貯湯量減少最大値</td><td>%※¹</td><td>記録された日付において、30 分間での貯湯量の減少が最も大きいときの減少量</td></tr><tr><td>7</td><td>外気温度</td><td>℃、°F※²</td><td>記録された日付の圧縮機運転中の平均気温</td></tr><tr><td>8</td><td>給水温度</td><td>℃、°F※²</td><td>記録された日付の貯湯運転中の平均給水温度</td></tr><tr><td>9</td><td>出湯温度</td><td>℃、°F※²</td><td>記録された日付の貯湯運転中の平均出湯温度</td></tr></table>	列	項目	単位	説明	1	日付	—	記録されたデータの日付	2	基準貯湯容量	m ³	貯湯量が 100% のときのタンク内の湯量 (m ³)	3	貯湯加熱時間	Hour	記録された日付において給湯機が貯湯運転した時間の系統内合計値	4	保温加熱時間	Hour	記録された日付において給湯機が保温運転した時間の系統内合計値	5	最低貯湯量	%※ ¹	記録された日付において最も少なかったときの貯湯量	6	30 分貯湯量減少最大値	%※ ¹	記録された日付において、30 分間での貯湯量の減少が最も大きいときの減少量	7	外気温度	℃、°F※ ²	記録された日付の圧縮機運転中の平均気温	8	給水温度	℃、°F※ ²	記録された日付の貯湯運転中の平均給水温度	9	出湯温度	℃、°F※ ²	記録された日付の貯湯運転中の平均出湯温度
列	項目	単位	説明																																						
1	日付	—	記録されたデータの日付																																						
2	基準貯湯容量	m ³	貯湯量が 100% のときのタンク内の湯量 (m ³)																																						
3	貯湯加熱時間	Hour	記録された日付において給湯機が貯湯運転した時間の系統内合計値																																						
4	保温加熱時間	Hour	記録された日付において給湯機が保温運転した時間の系統内合計値																																						
5	最低貯湯量	%※ ¹	記録された日付において最も少なかったときの貯湯量																																						
6	30 分貯湯量減少最大値	%※ ¹	記録された日付において、30 分間での貯湯量の減少が最も大きいときの減少量																																						
7	外気温度	℃、°F※ ²	記録された日付の圧縮機運転中の平均気温																																						
8	給水温度	℃、°F※ ²	記録された日付の貯湯運転中の平均給水温度																																						
9	出湯温度	℃、°F※ ²	記録された日付の貯湯運転中の平均出湯温度																																						

項目	内容			
給湯機データ	列	項目	単位	説明
	10	前日 22:00 貯湯温度	℃、°F※2	記録された日付の前日の 22:00 における貯湯温度
	11	前日 22:00 貯湯量	%※1	記録された日付の前日の 22:00 における貯湯量
	12	8:00 貯湯温度	℃、°F※2	記録された日付の 8:00 における貯湯温度
	13	8:00 貯湯量	%※1	記録された日付の 8:00 における貯湯量
	14	最低貯湯量時刻	—	記録された日付において貯湯量が最も少ない時刻
	15	貯湯量減少最大時刻	—	記録された日付において、30 分間での貯湯量の減少量が最も大きい時刻
	16	満蓄時刻	—	記録された日付において、最後に貯湯量が 100% になったときの時刻
	17	積算電力量	kWh	給湯機の運転で消費した 1 日の電力量の系統内合計値
	18	積算出湯量	%※1	給湯機から出る 1 日の湯量の系統内合計値
	19	日区切り時刻	—	給湯機を制御する上での 1 日の開始・終了時間
	20	最低確保湯量	%※1	貯湯タンクに貯めておく最低限の湯量
	21	運転パターン	—	記録された日付の運転パターン（週間（日）～週間（土）または年間（A）～年間（E））を表示
	22	学習レベル	—	給湯機の学習機能により貯湯量の目標値修正を行うための項目。「無効」、「低い」、「普通」、「高い」のいずれかを表示。
	23	日量	—	給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための項目。「極少」、「少ない」、「標準」、「多い」のいずれかを表示。
	24	保温温度	℃、°F※2	給湯機が循環加温（保温運転）を開始する温度
	25	終了時刻 1※3	—	記録された日付の最初に設定したスケジュール運用終了時刻
	26	目標貯湯温度 1※3	℃、°F※2	記録された日付の最初に設定した目標貯湯温度
	27	目標貯湯量 1※3	%※1	記録された日付の最初に設定した目標貯湯量
	28	終了時刻 2※3	—	記録された日付の 2 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	29	目標貯湯温度 2※3	℃、°F※2	記録された日付の 2 番目に設定した目標貯湯温度
	30	目標貯湯量 2※3	%※1	記録された日付の 2 番目に設定した目標貯湯量
	31	終了時刻 3※3	—	記録された日付の 3 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	32	目標貯湯温度 3※3	℃、°F※2	記録された日付の 3 番目に設定した目標貯湯温度
	33	目標貯湯量 3※3	%※1	記録された日付の 3 番目に設定した目標貯湯量
	34	終了時刻 4※3	—	記録された日付の 4 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	35	目標貯湯温度 4※3	℃、°F※2	記録された日付の 4 番目に設定した目標貯湯温度
	36	目標貯湯量 4※3	%※1	記録された日付の 4 番目に設定した目標貯湯量
	37	終了時刻 5※3	—	記録された日付の 5 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	38	目標貯湯温度 5※3	℃、°F※2	記録された日付の 5 番目に設定した目標貯湯温度
	39	目標貯湯量 5※3	%※1	記録された日付の 5 番目に設定した目標貯湯量

項目	内容			
給湯機 データ	列	項目	単位	説明
	40	終了時刻 6※ ³	—	記録された日付の 6 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	41	目標貯湯温度 6※ ³	℃、°F※ ²	記録された日付の 6 番目に設定した目標貯湯温度
	42	目標貯湯量 6※ ³	%※ ¹	記録された日付の 6 番目に設定した目標貯湯量
	43	終了時刻 7※ ³	—	記録された日付の 7 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	44	目標貯湯温度 7※ ³	℃、°F※ ²	記録された日付の 7 番目に設定した目標貯湯温度
	45	目標貯湯量 7※ ³	%※ ¹	記録された日付の 7 番目に設定した目標貯湯量
	46	終了時刻 8※ ³	—	記録された日付の 8 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	47	目標貯湯温度 8※ ³	℃、°F※ ²	記録された日付の 8 番目に設定した目標貯湯温度
	48	目標貯湯量 8※ ³	%※ ¹	記録された日付の 8 番目に設定した目標貯湯量
	※1 基準貯湯容量を 100% とした時の割合を示します。			
	※2 温度表示単位 (℃、°F) は、初期設定画面で設定された形式で表示されます (詳細は、「III 設定編 (5) ユニット情報の設定」を参照してください)。			
	※3 記録された日付において実行された運転パターンでのデータが出力されます。			
	【給湯機が密閉型 6 センサの場合】			
	列	項目	単位	説明
	1	日付	—	記録されたデータの日付
	2	基準貯湯容量	m ³	貯湯量が 100% のときのタンク内の湯量 (m ³)
	3	貯湯加熱時間	Hour	記録された日付において給湯機が貯湯運転した時間の系統内合計値
	4	保温加熱時間	Hour	記録された日付において給湯機が保温運転した時間の系統内合計値
	5	最低貯湯量	%※ ¹	記録された日付において最も少なかったときの貯湯量
	6	30 分貯湯量減少最大値	%※ ¹	記録された日付において、30 分間での貯湯量の減少が最も大きいときの減少量
	7	外気温度	℃、°F※ ²	記録された日付の圧縮機運転中の平均気温
	8	給水温度	℃、°F※ ²	記録された日付の貯湯運転中の平均給水温度
	9	出湯温度	℃、°F※ ²	記録された日付の貯湯運転中の平均出湯温度
	10	前日 22:00 貯湯温度	℃、°F※ ²	記録された日付の前日の 22:00 における貯湯温度
	11	前日 22:00 貯湯量	%※ ¹	記録された日付の前日の 22:00 における貯湯量
	12	8:00 貯湯温度	℃、°F※ ²	記録された日付の 8:00 における貯湯温度
	13	8:00 貯湯量	%※ ¹	記録された日付の 8:00 における貯湯量
	14	最低貯湯量時刻	—	記録された日付において貯湯量が最も少ない時刻
	15	貯湯量減少最大時刻	—	記録された日付において、30 分間での貯湯量の減少量が最も大きい時刻
	16	満蓄時刻	—	記録された日付において、最後に貯湯量が 100% になったときの時刻
	17	積算電力量	kWh	給湯機の運転で消費した 1 日の電力量の系統内合計値

項目	内容			
給湯機データ	列	項目	単位	説明
	18	積算出湯量	%※1	給湯機から出る 1 日の湯量の系統内合計値
	19	日区切り時刻	—	給湯機を制御する上での 1 日の開始・終了時間
	20	最低確保湯量	%※1	貯湯タンクに貯めておく最低限の湯量
	21	運転パターン	—	記録された日付の運転パターン（週間（日）～週間（土）または年間（A）～年間（E））を表示
	22	学習レベル	—	給湯機の学習機能により貯湯量の目標値修正を行うための項目。「無効」、「低い」、「普通」、「高い」のいずれかを表示。
	23	日量		給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための項目。「極少」、「少ない」、「標準」、「多い」のいずれかを表示。
	24	有効貯湯温度	℃、℉※2	給湯機がこの温度以上の場合を「お湯」、この温度より低い場合を「水」とみなす温度
	25	終了時刻 1※3	—	記録された日付の最初に設定したスケジュール運用終了時刻
	26	沸き上げ温度 1※3	℃、℉※2	記録された日付の最初に設定した沸き上げ温度
	27	目標貯湯量 1※3	%※1	記録された日付の最初に設定した目標貯湯量
	28	終了時刻 2※3	—	記録された日付の 2 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	29	沸き上げ温度 2※3	℃、℉※2	記録された日付の 2 番目に設定した沸き上げ温度
	30	目標貯湯量 2※3	%※1	記録された日付の 2 番目に設定した目標貯湯量
	31	終了時刻 3※3	—	記録された日付の 3 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	32	沸き上げ温度 3※3	℃、℉※2	記録された日付の 3 番目に設定した沸き上げ温度
	33	目標貯湯量 3※3	%※1	記録された日付の 3 番目に設定した目標貯湯量
	34	終了時刻 4※3	—	記録された日付の 4 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	35	沸き上げ温度 4※3	℃、℉※2	記録された日付の 4 番目に設定した沸き上げ温度
	36	目標貯湯量 4※3	%※1	記録された日付の 4 番目に設定した目標貯湯量
	37	終了時刻 5※3	—	記録された日付の 5 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	38	沸き上げ温度 5※3	℃、℉※2	記録された日付の 5 番目に設定した沸き上げ温度
	39	目標貯湯量 5※3	%※1	記録された日付の 5 番目に設定した目標貯湯量
	40	終了時刻 6※3	—	記録された日付の 6 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	41	沸き上げ温度 6※3	℃、℉※2	記録された日付の 6 番目に設定した沸き上げ温度
	42	目標貯湯量 6※3	%※1	記録された日付の 6 番目に設定した目標貯湯量
	43	終了時刻 7※3	—	記録された日付の 7 番目に設定したスケジュール運用終了時刻
	44	沸き上げ温度 7※3	℃、℉※2	記録された日付の 7 番目に設定した沸き上げ温度
	45	目標貯湯量 7※3	%※1	記録された日付の 7 番目に設定した目標貯湯量
	46	終了時刻 8※3	—	記録された日付の 8 番目に設定したスケジュール運用終了時刻

項目	内容			
給湯機データ	列	項目	単位	説明
	47	沸き上げ温度 8※3	℃、°F※2	記録された日付の 8 番目に設定した沸き上げ温度
	48	目標貯湯量 8※3	%※1	記録された日付の 8 番目に設定した目標貯湯量
	※1 基準貯湯容量を 100% とした時の割合を示します。			
	※2 温度表示単位（℃、°F）は、初期設定画面で設定された形式で表示されます（詳細は、「III 設定編（5）ユニット情報の設定」を参照してください）。			
※3 記録された日付において実行された運転パターンでのデータが出力されます。				
<div>お知らせ</div> <div>・ 該当するデータが存在しない場合、数値は表示されません。</div>				
給湯機トレンドデータ	■ファイル名 HWSD_[yyyy]-[mm]-[dd]S[系統番号].csv 例：HWSD_2017-04-01S01.csv			
	■ファイル出力先 ¥[製造番号]¥[OperationalData]¥[HotWater]¥			
	■ファイル形式			
	行	項目	形式	
	1 行目	ファイル区分	給湯機が開放型の場合：303 給湯機が密閉型 6 センサの場合：304	
	2 行目	日付範囲	5 行目以降に出力されるデータの日付範囲を記載 開始日付+” - ” + 終了日付 ※ 年月日はユニット情報画面で設定されたフォーマットで記載されます。	
	3 行目	対象	” Address” + M-NET アドレス（系統代表のアドレス）	
	4 行目	項目タイトル	■ファイル例参照	
	5 ～ 19204（最大）行目	データ	yyyy/mm/dd,*,*,*,. . .（■ファイル例参照）	
	■ファイル例 【給湯機が開放型の場合】			
303 2016/04/01-2016/04/30 Address01 年月日時刻, 積算出湯量, 積算電力量, 30 分間給湯量, ユニット運転台数, 運転パターン, 学習レベル, 日量, 貯湯量, 貯湯温度, 目標貯湯量, 目標貯湯温度 %, kWh, %, 台, %, °C, %, °C '2016/04/01 12:00, 10.0, 45.05, 10.5, 3, 週間（金）, 高い, 少ない, 80.0, 65.0, 100.0, 65.0 '2016/04/01 12:30, 10.0, 45.05, 10.5, 3, 週間（金）, 高い, 少ない, 85.0, 65.0, 100.0, 65.0 ... '2016/04/30 11:30, 10.0, 45.05, 10.5, 3, 週間（土）, 高い, 少ない, 85.0, 65.0, 100.0, 65.0				

項目	内容																																																				
給湯機 トレンド データ	<div>【給湯機が密閉型 6 センサの場合】</div> <div>304 2016/04/01-2016/04/30 Address01 年月日時刻, 積算出湯量, 積算電力量, ユニット運転台数, センサ 1 温度 (TH14), センサ 2 温度 (TH15), センサ 3 温度 (TH14p), センサ 4 温度 (TH15p), センサ 5 温度 (TH16p), センサ 6 温度 (TH16), 運転パターン, 学習レベル, 日量, 貯湯量, 貯湯温度, 目標貯湯量, 沸き上げ温度 ,%, kWh, 台, °C, °C, °C, °C, °C, °C, %, °C, %, °C '2016/04/01 12:00,60.0,24.51,6,74.3,72.0,71.4,45.1,40.7,30.6,週間(金), 普通, 標準,90.0,65.0,100.0,70.0 '2016/04/01 12:30,20.0,14.07,2,74.3,72.0,71.4,45.1,40.7,30.6,週間(金), 普通, 標準,85.0,66.0,100.0,70.0 ... '2016/04/30 11:30,60.0,24.51,6,74.3,72.0,71.4,45.1,40.7,30.6,週間(土), 普通, 標準,90.0,65.0,100.0,70.0</div>																																																				
	<div><div>お知らせ</div><div><div>・ 各数値は、運転開始時刻と運転終了時刻の間の累積値です。</div><div>・ 各ファイルには、最大 400 日分のデータが含まれます。</div></div></div>																																																				
	<div>■データ項目と出力列番号の一覧表</div> <div>【給湯機が開放型の場合】</div> <table><tr><th>列</th><th>項目</th><th>単位</th><th>説明</th></tr><tr><td>1</td><td>年月日時刻</td><td>—</td><td>記録されたデータの日付および時刻を 30 分ごとに表示</td></tr><tr><td>2</td><td>積算出湯量</td><td>%</td><td>30 分間に給湯機から出る湯量の系統内合計値</td></tr><tr><td>3</td><td>積算電力量</td><td>kWh</td><td>30 分間に給湯機の運転で消費した電力量の系統内合計値</td></tr><tr><td>4</td><td>30 分間給湯量</td><td>%※1</td><td>30 分間に給湯機で作った湯量の系統内合計値</td></tr><tr><td>5</td><td>ユニット運転台数</td><td>台</td><td>記録された日付・時刻で運転している給湯機の台数</td></tr><tr><td>6</td><td>運転パターン</td><td>—</td><td>記録された日付・時刻での運転パターン(日～土または A～E)を表示</td></tr><tr><td>7</td><td>学習レベル</td><td>—</td><td>給湯機の学習機能により貯湯量の目標値修正を行うための項目。「無効」、「低い」、「普通」、「高い」のいずれかを表示。</td></tr><tr><td>8</td><td>日量</td><td>—</td><td>給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための項目。「極少」、「少ない」、「標準」、「多い」のいずれかを表示。</td></tr><tr><td>9</td><td>貯湯量</td><td>%※1</td><td>その時刻でタンクに貯められているお湯の量</td></tr><tr><td>10</td><td>貯湯温度</td><td>℃、°F※2</td><td>その時刻でタンクに貯められているお湯の温度</td></tr><tr><td>11</td><td>目標貯湯量</td><td>%※1</td><td>その時刻でタンクに貯めておきたいお湯の目標量</td></tr><tr><td>12</td><td>目標貯湯温度</td><td>℃、°F※2</td><td>その時刻でタンクに貯めておきたいお湯の目標温度</td></tr></table>	列	項目	単位	説明	1	年月日時刻	—	記録されたデータの日付および時刻を 30 分ごとに表示	2	積算出湯量	%	30 分間に給湯機から出る湯量の系統内合計値	3	積算電力量	kWh	30 分間に給湯機の運転で消費した電力量の系統内合計値	4	30 分間給湯量	%※1	30 分間に給湯機で作った湯量の系統内合計値	5	ユニット運転台数	台	記録された日付・時刻で運転している給湯機の台数	6	運転パターン	—	記録された日付・時刻での運転パターン(日～土または A～E)を表示	7	学習レベル	—	給湯機の学習機能により貯湯量の目標値修正を行うための項目。「無効」、「低い」、「普通」、「高い」のいずれかを表示。	8	日量	—	給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための項目。「極少」、「少ない」、「標準」、「多い」のいずれかを表示。	9	貯湯量	%※1	その時刻でタンクに貯められているお湯の量	10	貯湯温度	℃、°F※2	その時刻でタンクに貯められているお湯の温度	11	目標貯湯量	%※1	その時刻でタンクに貯めておきたいお湯の目標量	12	目標貯湯温度	℃、°F※2	その時刻でタンクに貯めておきたいお湯の目標温度
	列	項目	単位	説明																																																	
1	年月日時刻	—	記録されたデータの日付および時刻を 30 分ごとに表示																																																		
2	積算出湯量	%	30 分間に給湯機から出る湯量の系統内合計値																																																		
3	積算電力量	kWh	30 分間に給湯機の運転で消費した電力量の系統内合計値																																																		
4	30 分間給湯量	%※1	30 分間に給湯機で作った湯量の系統内合計値																																																		
5	ユニット運転台数	台	記録された日付・時刻で運転している給湯機の台数																																																		
6	運転パターン	—	記録された日付・時刻での運転パターン(日～土または A～E)を表示																																																		
7	学習レベル	—	給湯機の学習機能により貯湯量の目標値修正を行うための項目。「無効」、「低い」、「普通」、「高い」のいずれかを表示。																																																		
8	日量	—	給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための項目。「極少」、「少ない」、「標準」、「多い」のいずれかを表示。																																																		
9	貯湯量	%※1	その時刻でタンクに貯められているお湯の量																																																		
10	貯湯温度	℃、°F※2	その時刻でタンクに貯められているお湯の温度																																																		
11	目標貯湯量	%※1	その時刻でタンクに貯めておきたいお湯の目標量																																																		
12	目標貯湯温度	℃、°F※2	その時刻でタンクに貯めておきたいお湯の目標温度																																																		
	<div>※1 基準貯湯容量を 100% とした時の割合を示します。</div> <div>※2 温度表示単位(℃、°F)は、初期設定画面で設定された形式で表示されます(詳細は、「III 設定編(5) ユニット情報の設定」を参照してください)。</div>																																																				

項目	内容		
給湯機 トレンド データ	【給湯機が密閉型 6 センサの場合】		
	列	項目	単位
	1	年月日時刻	—
	2	積算出湯量	%※1
	3	積算電力量	kWh
	4	ユニット運転台数	台
	5	センサ 1 温度 (TH**)	℃、°F※2
	6	センサ 2 温度 (TH**)	℃、°F※2
	7	センサ 3 温度 (TH**)	℃、°F※2
	8	センサ 4 温度 (TH**)	℃、°F※2
	9	センサ 5 温度 (TH**)	℃、°F※2
	10	センサ 6 温度 (TH**)	℃、°F※2
	11	運転パターン	—
	12	学習レベル	—
	13	日量	—
	14	貯湯量	%※1
	15	貯湯温度	℃、°F※2
	16	目標貯湯量	%※1
	17	沸き上げ温度	℃、°F※2
説明 記録されたデータの日付および時刻を 30 分ごとに表示 30 分間に給湯機から出る湯量の系統内合計値 30 分間に給湯機の運転で消費した電力量の系統内合計値 その時刻で運転している給湯機の台数 貯湯槽における水温センサの温度 ** にはセンサ名称を以下のように表示 センサ代表機の TH14 ~ 16 場合 : TH14,TH15,TH16 センサ補機の TH14 ~ 16 場合 : TH14p,TH15p,TH16p 記録された日付・時刻での運転パターン (日～土または A～E) を表示 給湯機の学習機能により貯湯量の目標値修正を行うための項目。「無効」、「低い」、「普通」、「高い」のいずれかを表示。 給湯機の貯湯量を貯湯割合に応じて変化させるための項目。「極少」、「少ない」、「標準」、「多い」のいずれかを表示。 記録された日付・時刻でタンクに貯められているお湯の量 記録された日付・時刻でタンクに貯められているお湯の温度 記録された日付・時刻でタンクに貯めておきたいお湯の目標量 貯湯運転時の目標出湯温度			
※1 基準貯湯容量を 100% とした時の割合を示します。			
※2 温度表示単位 (℃、°F) は、初期設定画面で設定された形式で表示されます (詳細は、「III 設定編 (5) ユニット情報の設定」を参照してください)。			
お知らせ ・該当するデータが存在しない場合、数値は表示されません。			

<3> タッチパネル補正

「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」を参照してください。

<4> ソフトウェアのアップデート手順

「AE-200J/AE-50J 据付工事説明書」を参照してください。

[4] 製品の据付け時・移設時の設定

この章では、給湯機を接続する場合の AE-200J/AE-50J/EW-50J 据付け時・移設時の設定方法について説明します。据付けと設定が完了後、お客様立ち合いで試運転を行ってください。

給湯機以外も接続される場合は、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」および「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」も併せて参照してください。

<1> 最初の電源投入時の設定方法

手順

1. 電源投入後、言語選択画面が表示される。
表示に使用する言語を選択し、[OK] をタッチする。

お知らせ

- ・ 電源を入れてから画面が表示されるまでに約 1 分かかります。
- ・ 初期設定を一度行っている場合は、電源投入後、監視 / 操作画面が表示されます。

お願い

- ・ 画面が表示されるまで、画面をタッチしないでください。



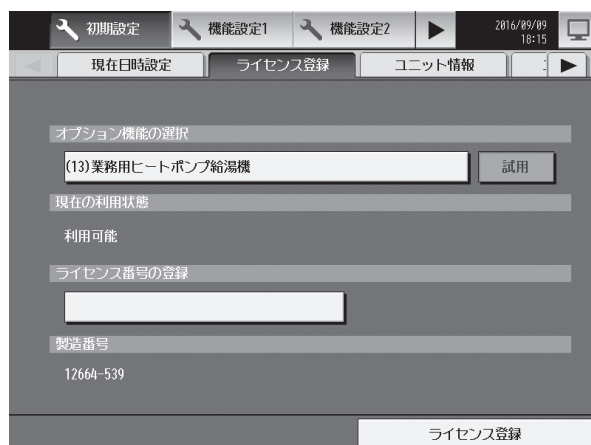
2. 現在日時設定画面が表示される。
現在日時を設定し、[設定保存] をタッチする。
「(3) 現在日時設定」を参照してください。

お願い

- ・ 初期立上げ時は、必ず時刻設定を行ってください。
- ・ [設定保存] をタッチするまでは、設定が保存されませんので、設定完了後、必ず [設定保存] をタッチし、設定を保存してください。



3. [ライセンス登録] をタッチする。
「業務用ヒートポンプ給湯機」ライセンスのライセンス番号を入力し、[ライセンス登録] をタッチする。
「(4) ライセンス登録」を参照してください。



4. [ユニット情報][ユニット情報2] をタッチする。
必要事項を設定し、[設定保存] をタッチすると、設定が保存される。
「(5) ユニット情報の設定」を参照してください。

お願い

- 「AE-200 M-NET」設定を必ず [利用する] に設定してください。

5. [給湯機設定] をタッチする。
給湯機の系統設定をし、[設定保存] をタッチする。
「(7) 給湯機設定」を参照してください。

お知らせ

- 設置した給湯機の系統構成の通りに、ユニットを登録します。
- 給湯機では 1 系統に最大 16 台まで設定できます。

6. [ネットワーク設定] をタッチする。
必要事項を設定し、[設定保存] をタッチする。
詳細は、「(6) ネットワークの設定」を参照してください。

お知らせ

- LAN 設定を変更し、[設定保存] をタッチした場合は、手順 7 の操作なしで、AE-200J が再起動されます。

7. 画面右上の [] をタッチすると、「監視 / 操作画面に戻ってもよろしいでしょうか？」が表示されるので、[はい] をタッチして、監視 / 操作画面に移動する。
これで、初期設定は完了です。

お知らせ

- 通信異常が発生していない場合は、2 ~ 3 分で立ち上がりますが、異常が発生している場合は、最大 5 分程度お待ちいただく場合があります。

8. 各ユニットの時刻合せのため、再度現在日時設定画面を表示させて、[設定保存] をタッチする。


<2> 機器の運転確認

給湯機の据付工事説明書に記載の試運転に従って運転確認を行ってください。

<3> 初期設定

(1) 初期設定画面へのログイン

手順

1. 画面右上の [] をタッチすると、ログイン画面が表示される。



2. ユーザー名とパスワードをキーボード画面で入力し、[ログイン] をタッチすると、初期設定画面が表示される。
下表に、保守ユーザーとビル管理者の初期ユーザー名、初期パスワード、および使用できる機能を示します。



ユーザー	初期ユーザー名	初期パスワード	使用できる機能
保守ユーザー	initial	init	すべての機能
ビル管理者	administrator	admin	保守ユーザーが [ユーザー情報] 画面でアクセス権を与えた項目が使用できます。

お知らせ

- 保守ユーザーは、ビル管理者が使用できる機能を指定できます。
詳細については、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
- 保守ユーザーおよびビル管理者以外のユーザーが設定を変更できないように、初期のユーザー名とパスワードを初期値から変更することを推奨します。
詳細については、「<4> ユーザー情報」を参照してください。

お知らせ

- ログインでのキーボード画面は、下図が表示されます。



① キーボード画面



項目	内容
表示領域	入力した文字が表示されます。
矢印	タッチすると、カーソルを移動します。
削除	タッチすると、カーソルの上の文字を削除します。
キーボード	入力用のキーボードです。タッチするとタッチした箇所に表示されている文字が入力されます。
空白	タッチすると、空白が入力されます。
英字（大文字）	タッチすると英字（大文字）入力用キーボードが表示されます。
英字（小文字）	タッチすると英字（小文字）入力用キーボードが表示されます。
数字・記号	タッチすると数字・記号入力用キーボードが表示されます。
手書き入力	タッチすると手書き入力用画面が表示されます。
OK	入力した文字を決定し、元の画面に戻ります。
キャンセル	入力した文字をキャンセルし、元の画面に戻ります。

② 手書き入力画面



項目	内容
表示領域	入力した文字が表示されます。 ※ 入力可能な文字数は、各種設定によって変わります。
矢印	タッチすると、カーソルを移動します。
削除	タッチすると、カーソルの上の文字を削除します。
手書き入力領域	<p>文字を入力する領域です。 領域内に入力したい文字を一文字手書きで入力してください。 文字を手書き入力していくと、入力候補文字ボタンに文字が表示されますので、その中から入力したい文字を選択し、タッチして入力してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 素早く入力した場合、正確に認識できない場合がありますので、ゆっくりと入力してください。 ・ 文字の書き順が違っている場合、正確に認識できない場合がありますので、正しい書き順で入力してください。 ・ タッチペンなどで文字を書く場合、先が鋭利でないものをご使用ください。
クリア	手書き入力領域をクリアします。
入力候補文字	<p>手書き入力領域に入力した文字を認識し、確度の高い5文字が表示されます。 入力したい文字が表示されているボタンをタッチすると、入力文字が確定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入力したい文字が表示されない場合は、[クリア]をタッチし、手書き入力領域をクリアし、再度ゆっくりと文字を書いてください。
過去入力単語	<p>過去に入力した単語が表示されます。 ボタンをタッチすると、タッチしたボタンに表示されている単語が、入力されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表示される単語は初期に登録されている単語および過去に入力して記憶された単語です。
空白	タッチすると、空白が入力されます。
英字 (大文字)	タッチすると英字 (大文字) 入力用キーボードが表示されます。
英字 (小文字)	タッチすると英字 (小文字) 入力用キーボードが表示されます。
数字・記号	タッチすると数字・記号入力用キーボードが表示されます。
OK	入力した文字を決定し、元の画面に戻ります。
キャンセル	入力した文字をキャンセルし、元の画面に戻ります。

(2) 画面のロック

保守ユーザー、ビル管理者以外のユーザーが操作できないようにするために、画面ロックを行います。

手順

1. ユニット情報画面の「画面ロック」設定を[利用する]に設定すると、バックライトが消灯した際に（3分間操作なしの場合）、画面ロック機能が働く。

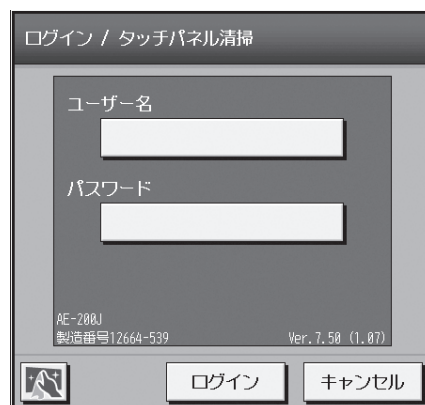


画面ロック

2. ログイン画面で、[] をタッチすると、すぐに画面ロックをかけることができる。
画面ロックを解除するには、ログイン時と同様のユーザー名・パスワードを入力する。

お知らせ

- ・ 保守ユーザー用・ビル管理者用どちらでもロック解除できます。

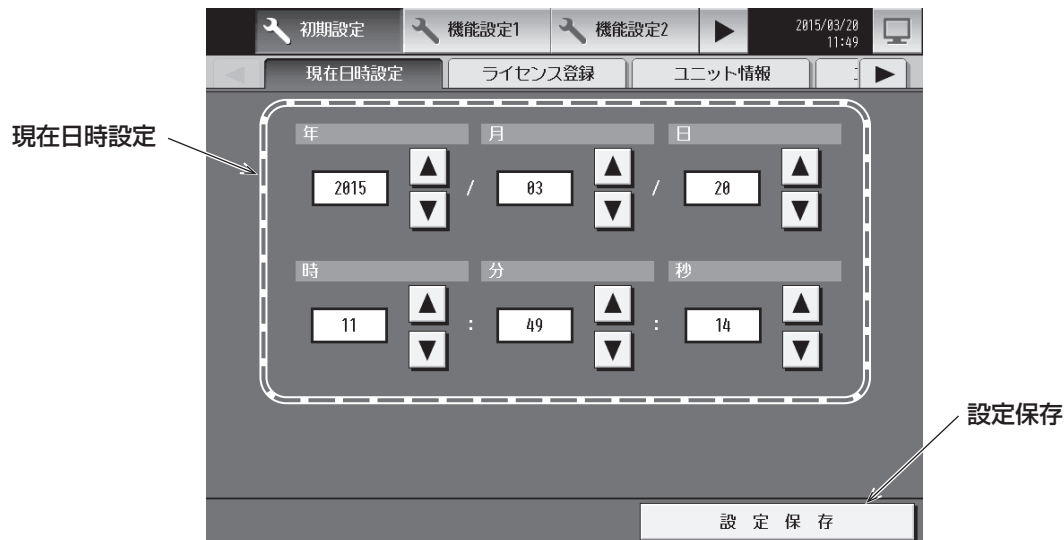


(3) 現在日時設定

メニューの[初期設定]－[現在日時設定]をタッチして現在日時設定画面を開きます。
現在日時を入力後、[設定保存]をタッチします。

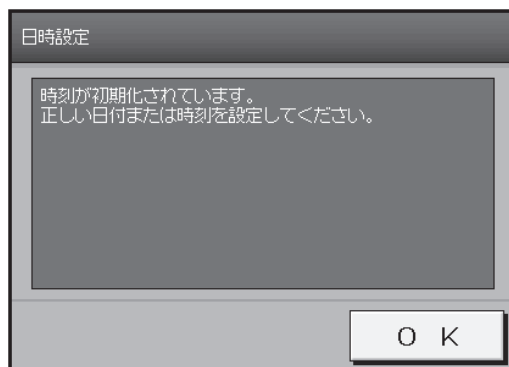
お知らせ

- ・ ビル管理者でログインした場合は、現在日時設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・ スケジュール運転を行っている場合に現在日時を進めると、飛ばされた時刻のスケジュールは実行されません。また、日をまたいだ変更を行うと、変更後の日のスケジュールが実行されない場合があります。



お知らせ

- 時刻が初期された時のメッセージ表示
停電などにより、長期間電源が供給されない状況が続いた場合、時刻がリセットされ、電源投入時に下記のメッセージポップアップが表示されます。メッセージが表示されましたら、時刻の設定を再度行ってください。



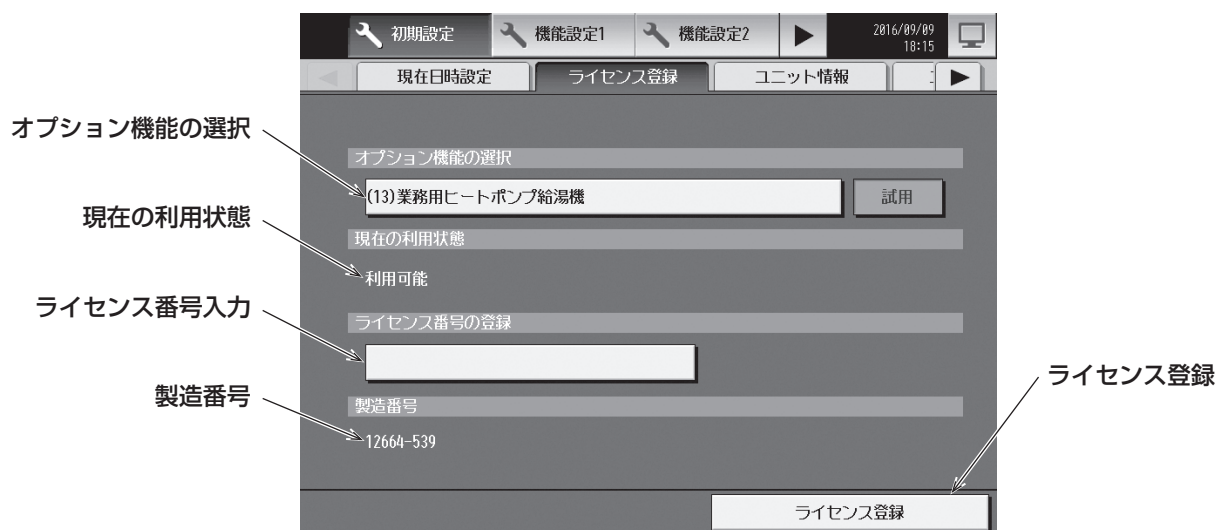
- この画面は時刻設定を行うまで定期的に表示されます。
- 時刻が初期化された状態で使用した場合、スケジュール機能が正常に動作しません。

(4) ライセンス登録

メニューの【初期設定】－【ライセンス登録】をタッチしてライセンス登録画面を開きます。
オプション機能とライセンス番号の購入方法については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お知らせ

- ライセンス登録には、現在日時設定が必要です。
現在日時設定については、「(3) 現在日時設定」を参照してください。

**手順**

- 「オプション機能の選択」で、登録するオプション機能を選択する。
現在の利用状況が「現在の利用状態」に表示される。
- 「ライセンス番号の登録」で、ライセンス番号を入力し、【ライセンス登録】をタッチする。
「現在の利用状態」に「利用可能」と表示される。
登録が失敗した場合は、オプション機能とライセンス番号が正しいか確認する。

お知らせ

- アルファベットの「O」と「I」は、ライセンス番号に使用されません。

(5) ユニット情報の設定

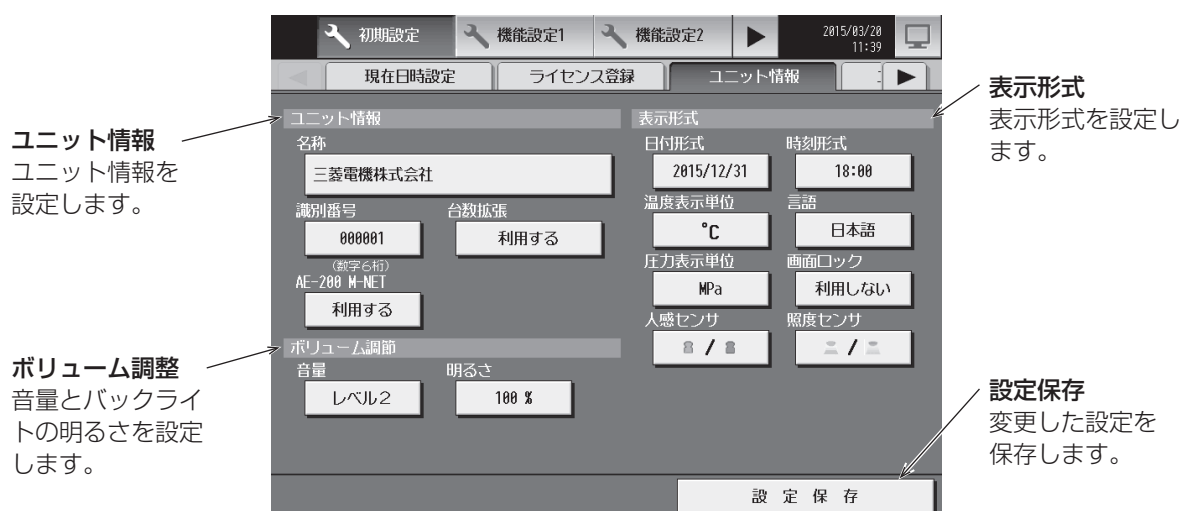
メニューの[初期設定]－[ユニット情報]をタッチします。ここでは本体の設定、表示形式、ボリューム調節の設定などの各種基本設定を行います。設定内容入力後は、[設定保存]をタッチします。

お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合は、ユニット情報設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・ユニット情報の設定の詳細については、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」または「AE-200J/AE-50J/ EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

お願い

- ・「AE-200 M-NET」設定を必ず[利用する]に設定してください。



(6) ネットワークの設定

メニューの[初期設定]－[ネットワーク設定]をタッチします。ここではAE-200Jと各AE-50J/各EW-50JのLAN設定、M-NET設定、外部入出力設定などの各種基本設定を行います。設定内容入力後は、[設定保存]をタッチします。AE-200J/AE-50J/EW-50Jの再起動を行う旨のメッセージが表示されますので、[OK]をタッチして再起動し、変更内容を反映させます。

お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合は、ネットワーク設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・ネットワーク設定の詳細については、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」または「AE-200J/AE-50J/ EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

お願い

- ・ユニット情報画面の「台数拡張」設定を[利用する]に設定する場合、AE-50J/EW-50JそれぞれでLAN1設定を行ってください。その際、AE-200J/AE-50J/EW-50Jは同一システムのネットワークになるようIPアドレスを設定してください。
- ・各AE-50J/EW-50JでLAN1設定を行った上で、AE-200Jで[Exp1]～[Exp4]を切り替えて、各AE-50J/EW-50Jを「接続先IPアドレス」で設定してください。
- ・AE-50J/EW-50J接続時は、正しく設定されるよう、AE-50J/EW-50Jが正しく接続されている状態でネットワーク設定を行ってください。AE-50J/EW-50Jを接続しないで行われた設定は反映されません。

表示機器
AE-200J の設定をするには [AE]、各 AE-50J/ EW-50J の設定をするには [1] ~ [3] を選択してください。

LAN1
IP アドレス、およびサブネットマスクを設定します。

LAN 共通項目設定
ゲートウェイを設定します。

M-NET の設定
M-NET アドレスおよび操作禁止範囲を設定します。

外部入力の設定
外部信号入力モードを設定します。

外部出力の設定
外部信号出力モードを設定します。

設定保存
変更した設定を保存します。

ページ送り

AE-50J/EW-50J の接続あり時のみ

通信異常検知設定を切り替えることにより、AE-200J と AE-50J/EW-50J 間の通信異常 (6920) を、AE-50J/ EW-50J で検知するか検知しないかを切り替えることができます。

IP アドレス
AE-200J の IP アドレス

通信異常検知
各 IP アドレスに対し、通信異常を [検知する] [検知しない] を選択します。

設定保存
変更した設定を保存します。

ページ送り

	IPアドレス	通信異常
1	192.168.1.1	検知する
2		
3		
4		
5		

お知らせ

- ・ AE-200J に AE-50J/EW-50J を接続した構成において、AE-200J の IP アドレスを変更した場合、変更前の IP アドレスを [検知しない] に変更してください。変更しない場合、「6920」異常が検知されます。

(7) 給湯機設定

設定変更画面のメニューバーの【初期設定】－【給湯機設定】をタッチして、給湯機設定画面を開き、AE-200J に接続される給湯機の各系統毎にアドレス設定、系統名称設定、詳細設定を行います。設定内容入力後は、【設定保存】をタッチします。

お知らせ

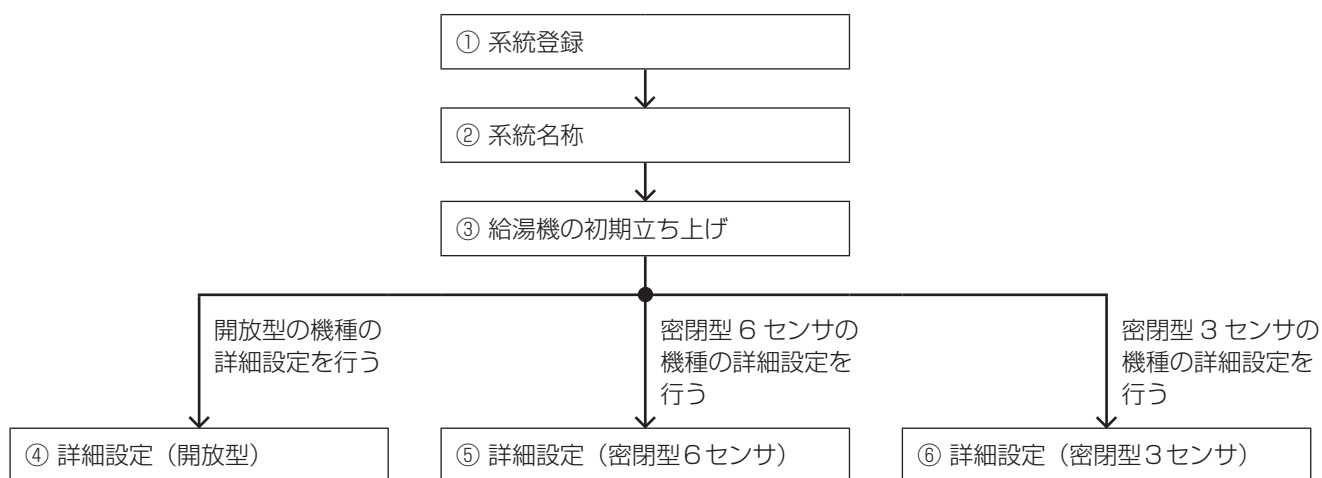
- ビル管理者でログインした場合は、ユニット情報設定の操作が禁止されている場合があります。
- 給湯機の設定は、初期設定ツールや初期設定 Web ブラウザからは行えません。



項目	操作方法	内容												
系統アイコン	—	<div>系統の正常／異常の状態を表します。</div> <table><tr><th>機種</th><th>正常</th><th>異常中</th></tr><tr><td>開放型</td><td></td><td></td></tr><tr><td>密閉型6センサ / 密閉型3センサ</td><td></td><td></td></tr></table> <div>アイコンの上に表示されるマークの意味</div> <table><tr><th>設定中</th><td rowspan="2">初期立ち上げがまだ行われていないことを表わします。 新規登録した系統に表示されます。 初期立上げが完了するとマークは消えます。</td></tr><tr><td></td></tr></table>	機種	正常	異常中	開放型			密閉型6センサ / 密閉型3センサ			設定中	初期立ち上げがまだ行われていないことを表わします。 新規登録した系統に表示されます。 初期立上げが完了するとマークは消えます。	
機種	正常	異常中												
開放型														
密閉型6センサ / 密閉型3センサ														
設定中	初期立ち上げがまだ行われていないことを表わします。 新規登録した系統に表示されます。 初期立上げが完了するとマークは消えます。													
系統名称	タッチすることで系統名称の設定を行うためキーボード画面が表示されます。 →② 系統名称へ <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">給湯機アドレスが未設定のときは操作できません。	設定した系統の名称が表示されます (最大 20 文字まで設定可能ですが、表示範囲を超える文字は表示されません)。												
給湯機アドレスボタン	タッチすることで給湯機選択画面が表示されます。 →① 系統登録へ	設定されている系統内の給湯機アドレスが表示されます。												

項目	操作方法	内容
詳細設定ボタン	タッチすることで給湯機詳細設定画面が表示されます。 →③ 給湯機の初期立ち上げへ お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 給湯機アドレスの設定とその保存が行えていない場合、操作できません。 系統アイコンが正常時のみ操作できます。 	モニタ値、設定値を表示します
設定保存ボタン	タッチすることで設定を保存します。	給湯機系統名称、給湯機アドレス、詳細設定を保存します。本設定ボタンタッチ後、給湯機に対して初期立ち上げ通信を実施します。

次ページより説明する給湯機の各種設定の流れは、以下の通りとなります。

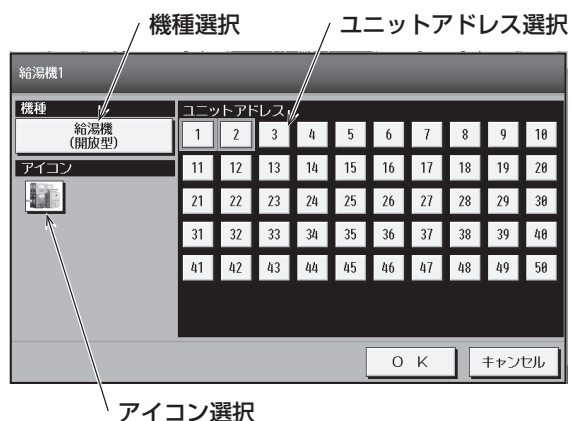


① 系統登録

手順

1. 給湯機を系統登録するには、対象系統名の右横の給湯機アドレスボタンをタッチすると、ユニットアドレスの選択画面が表示されます。

機種選択をタッチして登録したい機種（[給湯機（開放型）]、[給湯機（密閉型 6 センサ）]、[給湯機（密閉型 3 センサ）]）を選択し、ユニットアドレス選択で登録するユニットのアドレス番号を選択します。
選択したアドレスにはオレンジ枠が表示されます。
選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。



お知らせ

- ・ 設置した給湯機の系統構成の通りに、ユニットを登録します。
 - ・ 給湯機は1系統に最大 16 台登録できます。
2. アイコンを変更する場合はアイコン選択をタッチし、アイコン選択画面を表示して、使用するアイコンに変更してください。

[選択可能なアイコン一覧]



② 系統名称

手順

1. 系統名称ボタンをタッチすると、キーボード画面が表示されます。
系統名称を最大 20 文字で入力します。

お知らせ


- ・ 次の文字は使用できません：<、>、&、"、'

③ 給湯機の初期立ち上げ

手順

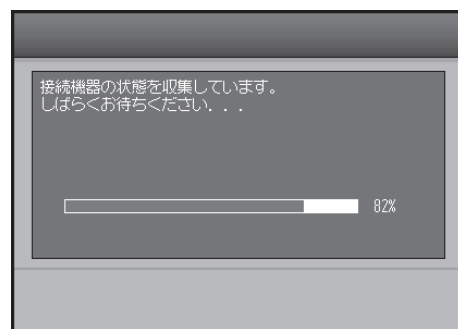
1. [設定保存] をタッチし、給湯機の初期立ち上げを行ってください。

お知らせ

- ・ 通信異常が発生していない場合は、2～3 分で立ち上がりますが、異常が発生している場合は、最大 5 分程度お待ちいただく場合があります。
2. 初期立ち上げが完了したら  をタッチし、詳細設定画面を表示してください。

お知らせ

- ・ ①にて系統登録した機種によって、表示される詳細設定画面が変わります。設定方法は④～⑥の各機種ごとの詳細設定を参照してください。



④ 詳細設定（開放型）

給湯機詳細設定画面では、系統内の給湯機に設定されている貯湯システム設定、タンク設定の確認と、日量係数と給湯制御設定の設定を行うことができます。

貯湯システム設定
給湯機本体で設定した貯湯システム設定の確認ができます。AE-200Jからの設定はできません。

日量係数
給湯機の貯湯量をスケジュールで設定した日量に応じて変化させますが、日量係数によりその割合の変更ができます。

タンク設定
給湯機本体で設定したタンク設定の確認ができます。AE-200Jからの設定はできません。

給湯機制御設定
給湯機制御の設定内容の確認、変更ができます。

給湯機1

貯湯システム設定

タンク形式	溢水高さ	満水高さ
開放	350 cm	300 cm
湯水高さ	死水高さ	センサ高さ
50 cm	10 cm	200 cm

タンク設定

有効貯湯量	加熱能力	熱源機台数
50.0 m ³	40.0 kW	2 台

日量係数

極少	少ない	標準	多い
0.2	0.7	1.0	1.2

OK キャンセル

給湯機1

給湯機制御設定

日区切り時刻	最低確保湯量	同時保温運転許可台数
12:00	20 %	5 台

OK キャンセル

手順

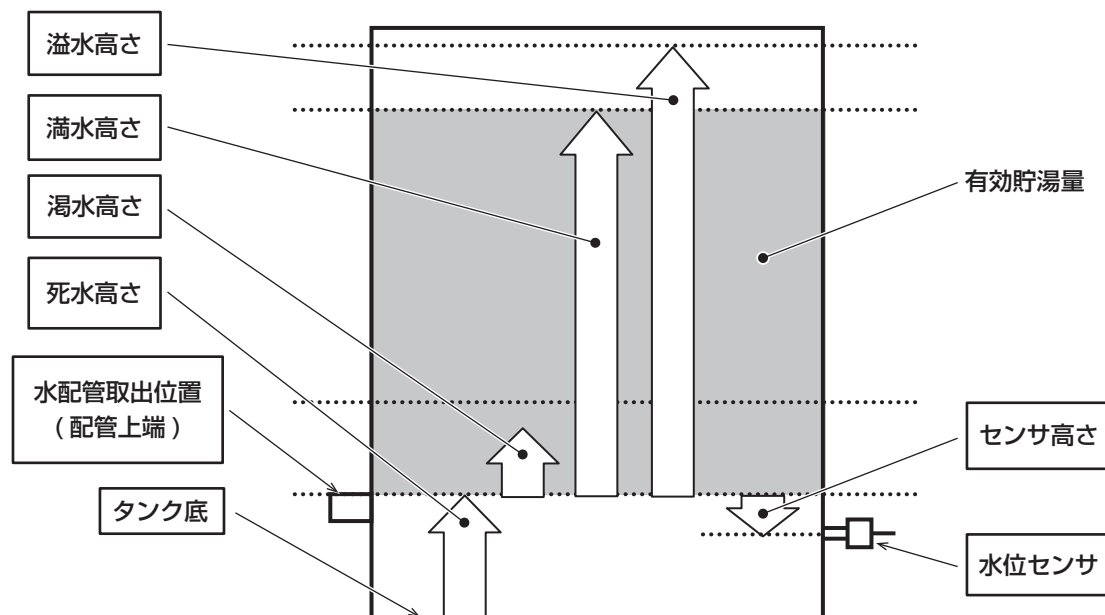
1. 日量係数を変更する場合、[極少]、[少ない] および [多い] をタッチし、それぞれの値を入力する。
各項目に関する詳細な情報については、次ページの表「給湯機（開放型）設定項目」を参照してください。
2. 給湯機制御設定を変更する場合、[日区切り時刻]、[最低確保湯量] および [同時保温運転許可台数] をタッチし、それぞれの内容を入力する。
各項目に関する詳細な情報については、次ページの表「給湯機（開放型）設定項目」を参照してください。

給湯機（開放型）設定項目

項目	内容
タンク形式※ ¹	貯湯槽の形状を表示します。
溢水高さ※ ¹	貯湯槽の水があふれる直前の高さを表示します。 水配管取出位置を基準とした高さです。
満水高さ※ ¹	貯湯槽が満水となった高さを表示します。 水配管取出位置を基準とした高さです。
渴水高さ※ ¹	貯湯槽の渴水と判断する高さを表示します。 水配管取出位置を基準とした高さです。 渴水高さ + 10cm 以下で、渴水防止のためスケジュールに関係なく貯湯運転を行います。
死水高さ※ ¹	貯湯槽の水のうち利用不能な水の高さを表示します。 タンク底から水配管取出位置までの高さです。
センサ高さ※ ¹	貯湯槽に接続された水位センサの高さを表示します。 水配管取出位置を基準とした高さです。 水位センサが水配管取出位置より低い位置にあるときは、マイナス値となります。
有効貯湯量※ ¹	貯湯槽の最大利用可能な湯量を表示します。
加熱能力※ ¹	給湯機 1 台の能力を表示します。
熱源機台数※ ¹	系統に設定されている給湯機の台数を表示します。
日量係数：極少	極少、の係数を表示します。 0.1 ～ 0.4 まで設定可能です。
日量係数：少ない	少ない、の係数を表示します。 0.5 ～ 0.9 まで設定可能です。
日量係数：標準※ ¹	標準を基準値 1.0 を表示します。 基準を表すため設定、変更はできません。
日量係数：多い	多い、の係数を表示します。 1.1 ～ 2.0 まで設定可能です。
日区切り時刻	現在設定中の日区切り時刻を表示します。 00:00、12:00 または 22:00 が設定可能です。 お知らせ ・ 日区切り時刻を変更して保存すると、スケジュール設定が削除されます。
最低確保湯量	貯湯タンクに貯めておく最低限の湯量を表示します。 0 ～ 100% まで設定可能です。
同時保温運転許可台数	給湯機が一度に保温運転できる台数の上限を表示します。 0 ～ ユニット登録台数まで設定可能です。

※¹ AE-200J からの設定はできません。

給湯機（開放型）の貯湯タンクと各高さの位置関係



⑤ 詳細設定（密閉型6センサ）

給湯機詳細設定画面では、系統内の給湯機に設定されている貯湯システム設定の確認（有効貯湯温度を除く）と、日量係数と給湯制御設定の設定を行えます。

貯湯システム設定

給湯機本体で設定した貯湯システム設定の確認ができます。AE-200Jからの設定は有効貯湯温度を除いて行えません。

日量係数

給湯機の貯湯量をスケジュールで設定した量パターンに応じて変化させますが、日量係数によりその割合の変更ができます。

給湯機制御設定

給湯機制御の設定内容の確認、変更ができます。

手順

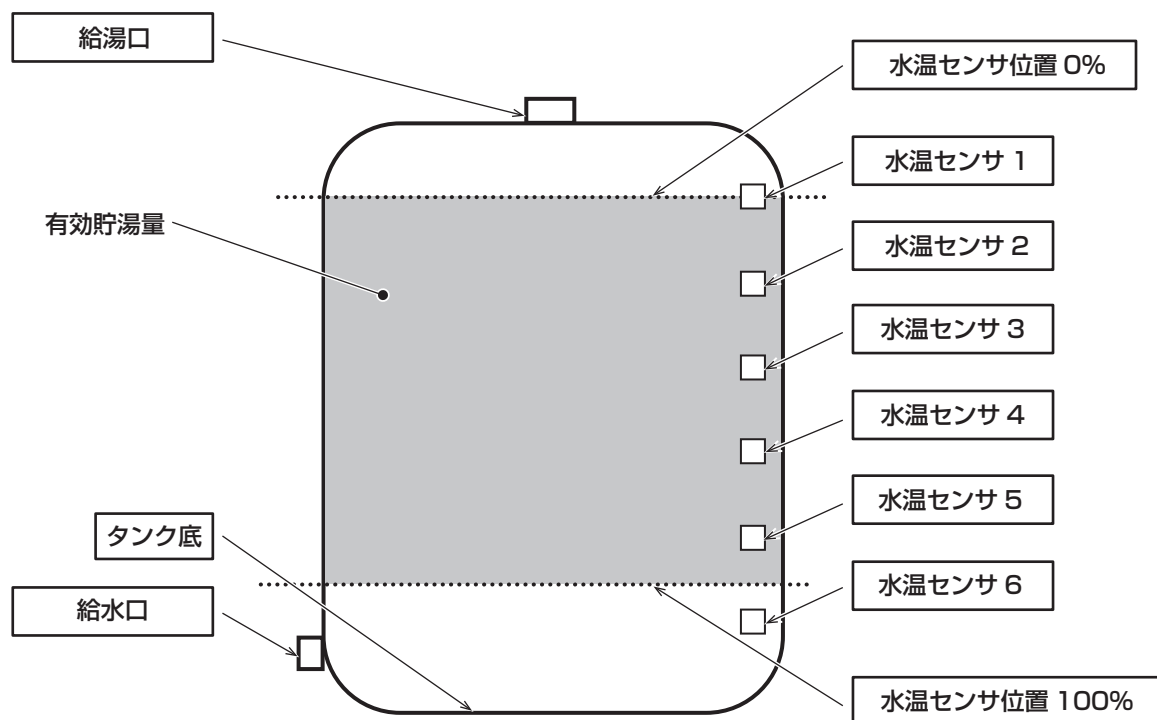
1. 日量係数を変更する場合、[極少]、[少ない] および [多い] をタッチし、それぞれの値を入力する。
各項目に関する詳細な情報については、次ページの表「給湯機（密閉型6センサ）設定項目」を参照してください。
2. 給湯機制御設定を変更する場合、[日区切り時刻]、[最低確保湯量]、[貯湯開始温度]、[貯湯終了温度] をタッチし、それぞれの内容を入力する。
各項目に関する詳細な情報については、次ページの表「給湯機（密閉型6センサ）設定項目」を参照してください。

給湯機（密閉型 6 センサ）設定項目

項目	内容
タンク形式※ ¹	貯湯槽の形状を表示します。
有効貯湯温度	給湯機がこの温度以上の場合を「お湯」、この温度より低い場合を「水」とみなす温度です。なお、スケジュール設定の沸き上げ温度は、この温度以下に設定できません。 40.0 ～ 90.0℃まで設定可能です。 お願い ・有効貯湯温度の設定を変更した場合、スケジュール内容設定画面の沸き上げ温度より低い温度に設定されているかを確認してください。
水温センサ 1 (TH**) ※ ¹	貯湯槽における水温センサの位置 (%) を表示します。 なお、** にはセンサ名称を以下のように表示します。 センサ代表機の TH14 ～ 16 場合：TH14, TH15, TH16 センサ補機の TH14 ～ 16 場合：TH14p, TH15p, TH16p
水温センサ 2 (TH**) ※ ¹	
水温センサ 3 (TH**) ※ ¹	
水温センサ 4 (TH**) ※ ¹	
水温センサ 5 (TH**) ※ ¹	お知らせ ・水温センサの位置は給湯口側を基準 (0%) とする数値です。
水温センサ 6 (TH**) ※ ¹	
有効貯湯量※ ¹	水温センサの位置 0 ～ 100% までの基準の貯湯量を表示します。
加熱能力※ ¹	給湯機 1 台の能力を表示します。
熱源機台数※ ¹	系統に設定されている給湯機の台数を表示します。
日量係数：極少	極少、の係数を表示します。 0.1 ～ 0.4 まで設定可能です。
日量係数：少ない	少ない、の係数を表示します。 0.5 ～ 0.9 まで設定可能です。
日量係数：標準※ ¹	基準値 1.0 を表示します。 基準を表すため設定、変更はできません。
日量係数：多い	多い、の係数を表示します。 1.1 ～ 2.0 まで設定可能です。
日区切り時刻	現在設定中の日区切り時刻を表示します。 00:00、12:00 または 22:00 が設定可能です。 お知らせ ・日区切り時刻を変更して保存すると、スケジュール設定が削除されます。
最低確保湯量	貯湯タンクに貯めておく最低限の湯量を表示します。 0 ～ 100% まで設定可能です。
同時保温運転許可台数	設定はできません。
貯湯開始温度	給湯機が貯湯を開始する温度を表示します。 40.0 ～ 90.0℃まで設定可能です。 貯湯終了温度より高い温度は設定できません。
貯湯終了温度	給湯機が貯湯を終了する温度を表示します。 40.0 ～ 90.0℃まで設定可能です。 貯湯開始温度より低い温度は設定できません。

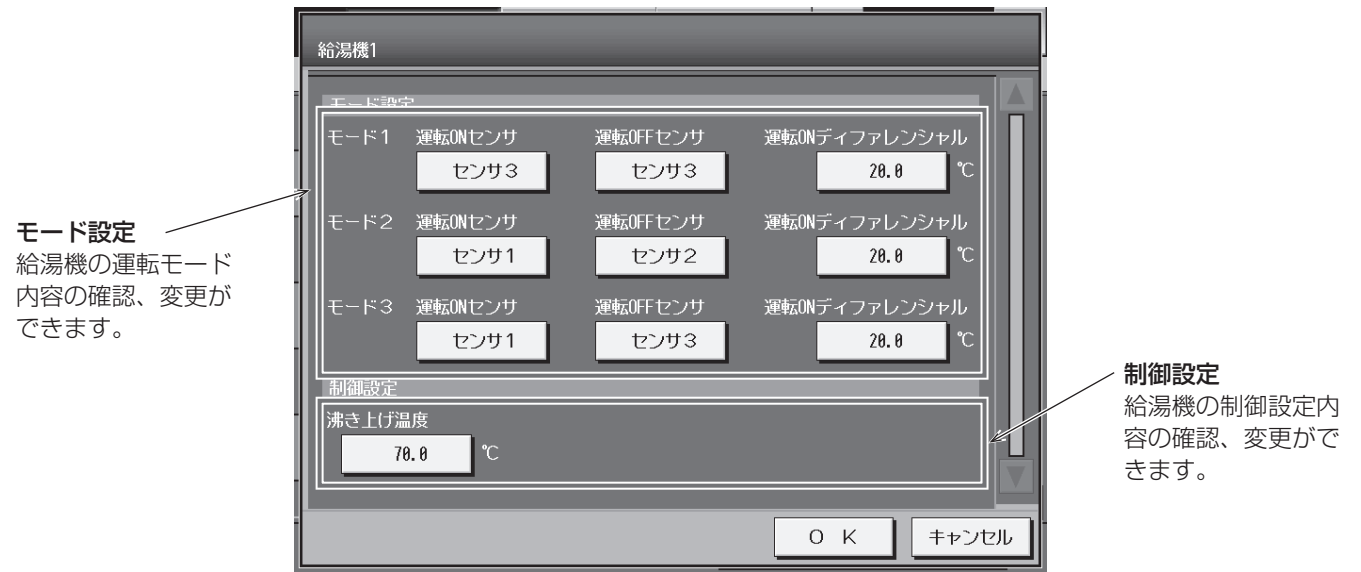
※¹ AE-200J からの設定はできません。

給湯機（密閉型 6 センサ）の貯湯タンクと各水温センサの位置関係



⑥ 詳細設定（密閉型3センサ）

給湯機詳細設定画面では、系統内の給湯機に設定されているモードと制御の設定を行えます。



手順

1. モード設定を変更する場合、各モードの [運転 ON センサ]、[運転 OFF センサ] および [運転 ON ディファレンシャル] をタッチし、それぞれの内容を入力します。各項目に関する詳細な情報については、以下の表「給湯機（密閉型3センサ）設定項目」を参照してください。
2. 制御設定を変更する場合、[沸き上げ温度] をタッチし、値を入力します。[沸き上げ温度] に関する詳細な情報については、以下の表「給湯機（密閉型3センサ）設定項目」を参照してください。

給湯機（密閉型3センサ）設定項目

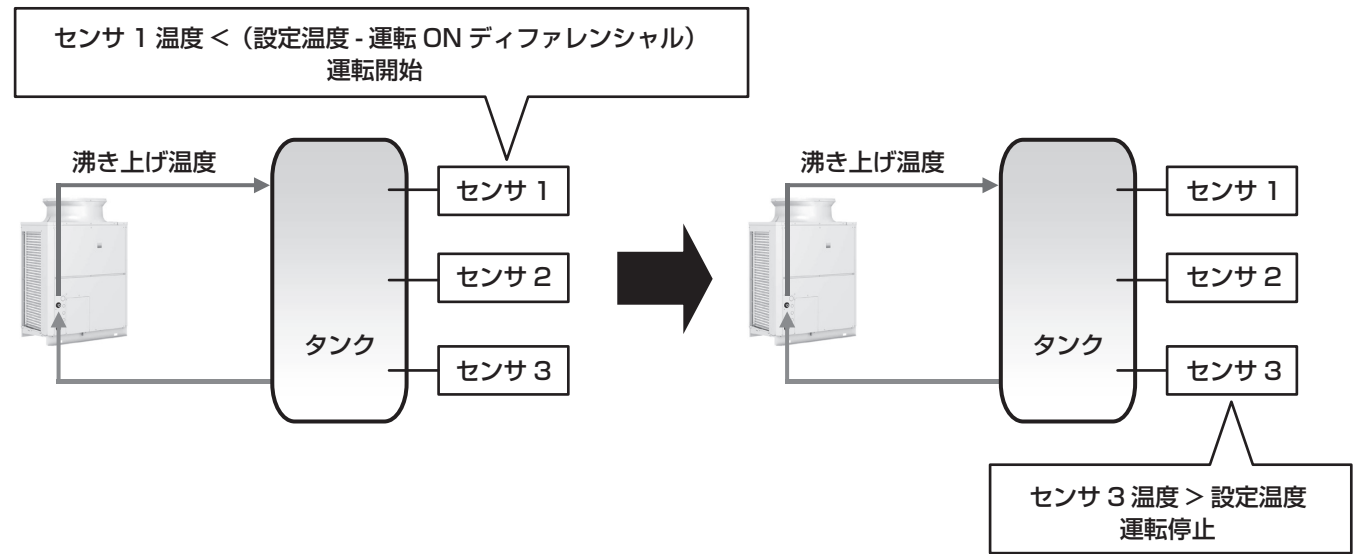
項目	内容
運転 ON センサ	運転開始を判定するセンサ番号を表示します。 センサ 1 ～ 3 まで設定できます。
運転 OFF センサ	運転停止を判定するするセンサ番号を表示します。 センサ 1 ～ 3 まで設定できます。 運転 ON センサより若い番号のセンサ番号を設定することはできません。
運転 ON ディファレンシャル	運転開始に必要な設定温度との差異を表示します。 0.5 ～ 23.0℃まで設定可能です。
沸き上げ温度	貯湯運転時の目標出湯温度を表示します。 40.0 ～ 90.0℃まで設定可能です。 お願い <ul style="list-style-type: none">・ 沸き上げ温度の設定を変更した場合、スケジュール内容設定画面の設定温度より高い温度で設定されているかを確認してください。

・ 運転モードについて
各運転モード（「モード 1」、「モード 2」、「モード 3」）に運転 ON センサ、運転 OFF センサを AE-200J の給湯機詳細設定画面にて設定いただけます。

[モード設定の例]

運転モード	運転 ON/OFF センサ	センサ番号
モード 1	運転 ON センサ	3
	運転 OFF センサ	3
モード 2	運転 ON センサ	1
	運転 OFF センサ	2
モード 3	運転 ON センサ	1
	運転 OFF センサ	3

上記表の「モード 3」で運転を行った場合



(8) 統合管理ブラウザ使用時の環境設定

統合管理ブラウザを使用して監視 / 操作を行うためには、初期設定ツールを使用して設定が必要です。
統合管理ブラウザの動作環境、および設定の手順は、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」および「AE-200J/AE-50J/ EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

<4> ユーザー情報

設定画面のメニューバーより【ユーザー情報】をタッチすると、ユーザー設定画面へ移行します。
ユーザー設定は保守ユーザーとビル管理者の2種類があります。

保守ユーザー	すべての設定・変更が可能です。
ビル管理者	保守ユーザーから許可された項目のみ設定・変更可能です。

(1) 保守ユーザー

保守ユーザーのユーザー名、パスワードの変更を行いたい場合、設定変更画面の【ユーザー情報】－【保守ユーザー】をタッチし、保守ユーザー設定画面を表示します。

お知らせ

- 保守ユーザー以外でログインしている場合は表示できません。

お願い

- 変更したユーザー名・パスワードは忘れないようお気を付けください。
忘れた場合は、ログインすることができません。
万が一忘れた場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保守ユーザー名および
パスワード
ユーザー名とパスワードを
変更できます。

設定保存
変更した設定を
保存します。

手順

1. 保守ユーザー名の変更を行う場合、「ユーザー名」をタッチし、キーボード画面を表示し、最大 20 文字でユーザー名の入力を行う。
2. 保守ユーザーのパスワードの変更を行う場合、「パスワード」をタッチし、キーボード画面を表示し 3 ～ 10 文字でパスワードを入力し、「パスワード (確認用)」をタッチし、再度同じパスワードを入力する。

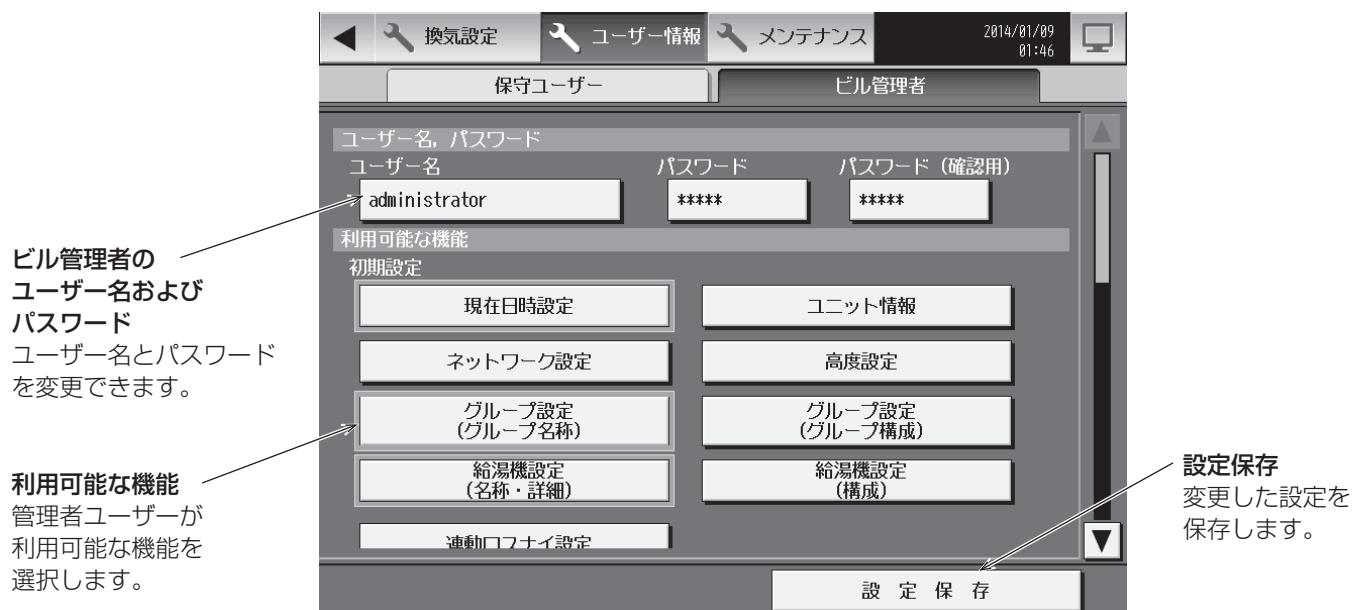
お知らせ

- 画面の表示は、入力文字数分【*】が表示されます。
 - 大小英文字、数字が使用可能です。大文字と小文字は区別されます。
3. ユーザー名、パスワードを入力後、設定保存をタッチすると、入力したユーザー名、パスワードに変更される。

(2) ビル管理者

ビル管理者設定画面では、ビル管理者のユーザー名とパスワードを変更したり、ビル管理者の利用可能な機能を制限できます。給湯機の名称や詳細設定の変更等はビル管理者でも変更できるようにしたいが、本体の設定やネットワーク設定などの基本システム設定は変更されたくない場合などに、このビル管理者設定をご利用ください。

メニューの[ユーザー情報]—[ビル管理者]をタッチしてビル管理者設定画面を開きます。



手順

1. ビル管理者のユーザー名の変更を行う場合、「ユーザー名」をタッチしてキーボード画面を表示し、最大 20 文字でユーザー名の入力を行う。
2. ビル管理者のパスワードの変更を行う場合、「パスワード」をタッチしてキーボード画面を表示し 3 ～ 10 文字でパスワードを入力し、「パスワード（確認用）」をタッチし、再度同じパスワードを入力する。

お知らせ

- ・画面の表示は、入力文字数分【*】が表示されます。
- ・大小英文字、数字が使用可能です。大文字と小文字は区別されます。

ユーザー名、パスワードを入力後、設定保存をタッチすると、入力したユーザー名、パスワードに変更されます。

3. ビル管理者でできるようにしたい機能をタッチして選択する。
選択した機能にはオレンジ枠が表示されます。
選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。
各機能に関する詳しい情報については、次ページの表「機能リスト」を参照してください。

お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合、現在使用できる機能の確認はできますが、変更はできません。
4. [設定保存] をタッチして変更を保存する。

初期設定	
現在日時設定	ユニット情報
ネットワーク設定	高度設定
グループ設定 (グループ名称)	グループ設定 (グループ構成)
給湯機設定 (名称・詳細)	給湯機設定 (構成)
連動ロフナイ設定	
ブロック設定 (ブロック名称)	ブロック設定 (ブロック構成)
フロアレイアウト (フロア名称)	フロアレイアウト (フロア構成)
機能設定1	
ピークカット (設定)	ピークカット (制御内容)
ET制御設定	高断熱制御設定
アドバンスパワーセーブ	サーモOFF時送風設定
計測設定	エネルギー管理設定
機能設定2	
外気温連動制御	セッバック
換気設定	
24時間換気設定	ナイトバージ設定

機能リスト

機能			参照	
初期設定	現在日時設定		「(3) 現在日時設定」 参照	
	ユニット情報※ ¹		「(5) ユニット情報の設定」 参照	
	高度設定※ ¹		「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」 参照	
	ネットワーク設定※ ¹		「(6) ネットワークの設定」 参照	
	グループ設定	グループ名称	「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」 参照	
		グループ構成※ ¹		
	給湯機設定	名称・詳細	「(7) 給湯機設定」 参照	
		構成※ ¹	「(7) 給湯機設定」 参照	
	連動ロスナイ設定※ ¹		「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」 参照	
	ブロック設定	ブロック名称	「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」 参照	
ブロック構成※ ¹				
フロアレイアウト	フロア名称	「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」 参照		
	フロア構成※ ¹			
機能設定 1	ピークカット設定	設定※ ¹	「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」 参照	
		制御内容		
	ET 制御設定			
	高顕熱制御設定			
	アドバンストパワーセーブ			
	サーモ OFF 時送風設定			
	計測設定			
	エネルギー管理設定※ ¹			
機能設定 2	外気温連動制御		「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」 参照	
	セットバック			
換気設定	24時間換気設定		「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」 参照	
	ナイトパージ設定			

※¹ 工場出荷時、ビル管理者によるこれらの設定は禁止されています。

<5> 統合管理ブラウザの環境設定

(1) 動作環境

統合管理ブラウザを使用する PC の対応 OS、ブラウザを示します。

項目		要件
PC	CPU	1GHz 以上 (推奨 2GHz 以上)
	メモリ	2GB 以上
	画面解像度	1024 × 768 以上
	OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10、Windows 8.1 または Windows 7 MacOS X 10.9
	ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 11 Chrome Safari 7 Microsoft Edge

お知らせ

- 動作環境は開発時のものであり、お使いになる環境によってはご使用にできない場合がございます。

(2) システム構成

統合管理ブラウザは、AE-200J 1 台と拡張コントローラ (AE-50J/EW-50J) 最大 4 台を「Web 統合管理ライセンス」なしで管理することができます。

「Web 統合管理ライセンス」を登録することで、AE-200J 複数台を管理できるようになります。

(3) システム設定

統合管理ブラウザを使用するためには、初期設定ツールを使用しての設定が必要です。

初期設定ツールの詳細は「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照ください。

お願い

- 初期設定ツールを使用する際には、必ず「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」に記載の手順通りに行ってください。

① 統合管理ブラウザで管理する集中コントローラの設定

初期設定ツールを使用して、統合管理ブラウザで管理する集中コントローラの設定を行います。

手順

- 初期設定ツールの [基本設定] - [接続構成設定] で統合管理ブラウザで管理する各集中コントローラの IP アドレスを指定する。
- [フロア設定] - [統合管理ブラウザ用フロア階層設定] で統合管理ブラウザのログイン先の集中コントローラと管理対象の集中コントローラを設定する。

お知らせ

- 既設 LAN に AE-200J/AE-50J/EW-50J を接続する場合は、システム管理者に相談し、IP アドレスを決定してください。
- AE-200J/AE-50J/EW-50J 専用 LAN を使用する場合は、AE-200J 本体に "192.168.1.1" ~ "192.168.1.40" の IP アドレス、AE-50J/EW-50J 本体に "192.168.1.211" ~ "192.168.1.249" の IP アドレスを割り当ててを推奨します。

(4) パソコンの IP アドレス設定

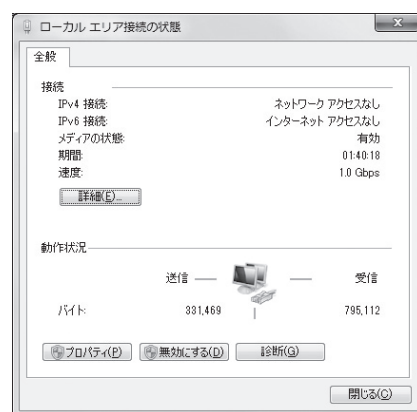
統合管理ブラウザが複数台の集中コントローラに接続できるように、パソコンの IP アドレスを設定します。パソコンの IP アドレスは、集中コントローラ AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスと同一系統のネットワークアドレスを設定します。

手順

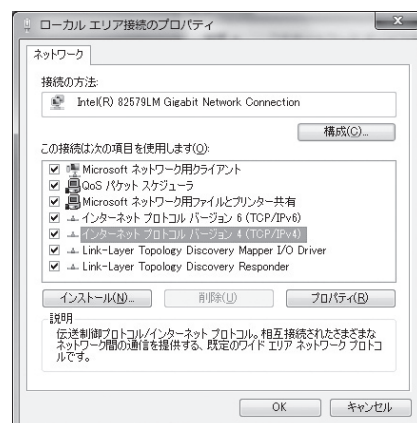
1. スタートメニューの [コントロールパネル] をクリックし、コントロールパネルを開きます。



2. [ネットワークと共有センター] - [ローカルエリア接続] をクリックします。
ローカルエリア接続の状態画面で、[プロパティ] をクリックします。



3. [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] をクリックして選択し、[プロパティ] をクリックします。

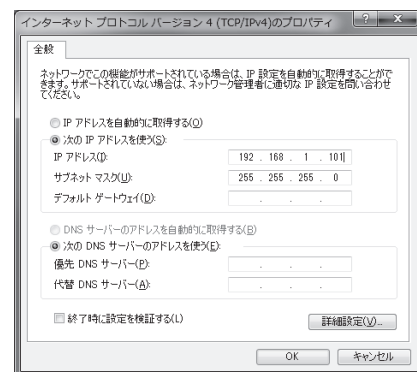


4. インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ画面で、[次の IP アドレスを使う] のラジオボタンをチェックし、「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス（例えば、「192.168.1.101」）を入力します。「サブネットマスク」欄には「255.255.255.0」（特に指定のない場合）を入力します。
「デフォルトゲートウェイ」欄には、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力します。

お願い

- ・ 設定する IP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者にご確認ください。
- ・ 変更前の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはメモしておいてください。

5. [OK] または [閉じる] をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了します。



(5) 統合管理ブラウザへのログイン

手順

1. 統合管理ブラウザのアドレス欄に以下の Web ページアドレス
http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html
を入力します。
2. ログイン画面が表示されます。



お知らせ

- ログイン先の集中コントローラ AE-200J/EW-50J の IP アドレスが "192.168.1.1" の場合、Web ページアドレスは "http://192.168.1.1/control/index.html" となります。
 - AE-200J の工場出荷時の IP アドレスは "192.168.1.1" です。
推奨の IP アドレス
AE-200J : "192.168.1.1" ~ "192.168.1.40"
 - Web ページは、パソコンの OS と同じ言語で表示されます。
以下のように Web ページアドレスを入力して他の言語でも表示できます。
- | | |
|--------|---|
| 中国語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?zh |
| 英語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?en |
| フランス語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?fr |
| ドイツ語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?de |
| イタリア語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?it |
| 日本語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?ja |
| ポルトガル語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?pt |
| ロシア語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?ru |
| スペイン語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?es |
| トルコ語 | http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?tr |
- Web ページアドレスをお気に入りに追加すれば、今後容易にアクセスできます。

IV サービス編

[1] 修理を依頼する前に

現象		原因	処置内容
1	給湯機の監視画面が表示されない。	業務用ヒートポンプ給湯機ライセンスが AE-200J に登録されていない。	業務用ヒートポンプ給湯機ライセンスを登録し、初期設定画面から給湯機設定を行ってください。 詳細は、「(4) ライセンス登録」および「(7) 給湯機設定」を参照してください。
2	貯湯量が目標値になるのが遅い。または目標値にならない。 (開放型または密閉型 6 センサ)	1) パワーセーブスケジュール設定がリモコンで設定されている。 2) 有効貯湯温度がスケジュールで設定した沸き上げ温度より高い (密閉型 6 センサのみ)。 3) ユニットで異常が検知されている。	原因 1) ~ 3) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) リモコンに設定されたパワーセーブスケジュールを確認し、目標貯湯量 (週間、年間スケジュール) を高めに設定するか、スケジュール運用開始時刻を早めに設定してください。 パワーセーブスケジュール設定の詳細は、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。 原因 2) スケジュール設定を行った後に、初期設定画面で有効貯湯温度の設定を行った場合に発生します。有効貯湯温度をスケジュールの沸き上げ温度より低く設定してください。 原因 3) 異常コードを確認してください。異常コードの詳細は、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。
3	緊急沸き増しで沸き増し状態が長時間続く。 (密閉型 6 センサ)	1) パワーセーブスケジュール設定がリモコンで設定されている。 2) 有効貯湯温度がスケジュールで設定した沸き上げ温度より高い。 3) ユニットで異常が検知されている。	原因 1) ~ 3) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) ~ 3) は現象 2 に記載の原因 1) ~ 3) を確認してください。
4	制御水温が設定温度になるのが遅い。または、設定温度にならない。 (密閉型 3 センサ)	1) パワーセーブスケジュール設定がリモコンで設定されている。 2) 沸き上げ温度がスケジュール設定された設定温度より低い。 3) ユニットで異常が検知されている。	原因 1) ~ 3) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) リモコンに設定されたパワーセーブスケジュールを確認して、スケジュール運用開始時刻を早めに設定してください。パワーセーブスケジュール設定の詳細は、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。 原因 2) スケジュール設定を行った後に、初期設定画面で沸き上げ温度の設定を行った場合に発生します。沸き上げ温度をスケジュールの設定温度より高く設定してください。 原因 3) 異常コードを確認してください。異常コードの詳細は、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。
5	スケジュール画面でパワーセーブスケジュールメッセージが表示されない。	1) リモコンでパワーセーブスケジュールが設定されていない。 2) 密閉型 3 センサのスケジュール画面を表示している。	原因 1)、2) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) リモコンのパワーセーブスケジュール設定を確認して下さい。確認は、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 取扱説明書」を参照してください。 原因 2) 密閉型 3 センサのスケジュール画面では、パワーセーブスケジュールメッセージは表示されません。初期設定画面から給湯機設定の機種を確認して下さい。給湯機設定の詳細は、「(7) 給湯機設定」を参照してください。

現象		原因	処置内容
6	給湯機のスケジュール設定が動作しない。 (開放型または密閉型 6 センサ)	1) 間違ったスケジュール設定をしている。 2) AE-200J の時刻または給湯機の時刻が現在時刻とずれている。 3) 年間スケジュールなど、優先度の高いスケジュール設定と重複している。	原因 1) ～ 3) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) スケジュール設定は系統ごとに保持していますので、動作させたい系統のスケジュール設定が間違っていないかを確認してください。 原因 2) AE-200J または給湯機の時刻設定を確認して下さい。 原因 3) スケジュールの優先度は高い方から年間スケジュール>週間スケジュールの順になります。
7	給湯機のスケジュール設定が動作しない。 (密閉型 3 センサ)	1) 間違ったスケジュール設定をしている。 2) AE-200J の時刻または給湯機の時刻が現在時刻とずれている。 3) 年間スケジュールなど、優先度の高いスケジュール設定と重複している。 4) スケジュールの期間設定が間違っている。 5) 当日スケジュールで表示が空白のまま [OK] をタッチしてしまった。 6) 操作画面の「スケジュール」が [無効] になっている。 7) 高度設定の「スケジュール 季節設定」が [無効] に設定されている。 8) 週間スケジュール設定画面で期間設定を [無効] に設定している。	原因 1) ～ 3) を調査します。原因別に対処します。 原因 1)、2) は現象 6 に記載の原因 1)、2) を確認してください。 原因 3) スケジュールの優先度は高い方から当日スケジュール>年間スケジュール>週間スケジュール 1 > . . . > 週間スケジュール 5 の順になります。 原因 4) 週間スケジュールは設定された期間によっていずれか一つのスケジュールが動作しますので、季節設定画面より期間の設定が間違っていないかを確認してください。 原因 5) 当日スケジュール設定画面で表示が空白のまま [OK] をタッチすると、動作しないスケジュールを設定した扱いとなります。当日スケジュール設定画面より、再度動作させるスケジュールを設定してください。 原因 6) [有効] に変更してください。 原因 7) 高度設定の「スケジュール 季節設定」を [有効] に設定してください。 詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。 原因 8) 週間スケジュールの季節設定は、空調機等と同一となります。 [無効] となっている季節設定を [有効] に設定してください。 週間スケジュール 5 のスケジュール設定は必ず、全期間でかつ [有効] となるように設定してください。詳細は、「(2) 週間スケジュールの設定」を参照してください。
8	当日スケジュールや週間スケジュール 2 ～ 5 が設定できない。	給湯機が開放型もしくは密閉型 6 センサである。	開放型もしくは密閉型 6 センサの場合、当日スケジュール設定および週間スケジュール 2 ～ 5 は設定できません。機種の設定を確認して下さい。 機種の設定の詳細は、「(7) 給湯機設定」を参照してください。

現象		原因	処置内容
9	USB メモリに初期設定データの出力ができない。	1) USB メモリが正しくセットできていない。 2) USB メモリに空き容量がない。 3) USB メモリが AE-200J に対応していない。 4) USB メモリを短い時間で抜き差しした。 5) USB メモリが書き込み禁止となっている。	原因 1) ～ 3) を確認してください。 原因 1) USB メモリが正しくセットされているかを確認してください。 原因 2) USB メモリに空き容量があるかをご確認し、必要に応じて空き容量を確保してください。(最大 64MBytes) 原因 3) 「AE-200J/AE-50J 取扱説明書 操作 (詳細) 編」に記載している USB メモリで動作することを確認しています。これらの USB メモリが入手できない場合は、下記条件を満たすものを選定し、運用前に動作確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • USB2.0 対応 • FAT32, FAT (FAT16) 形式でフォーマットされていること。 • セキュリティー機能がないもの。 データ書き込み異常が発生した後、別の USB メモリに変えても正常に書き込めないような場合は、AE-200J を再起動 (電源切→入) してから最初に異常発生したもの以外の USB メモリで改めて確認してください。 原因 4) AE-200J を再起動 (電源切→入) してください。 原因 5) USB メモリの書き込み禁止スイッチを解除してください。詳細は USB メモリの取扱説明書をご確認ください。
10	USB メモリから初期設定データが読み込めない。	1) USB メモリが正しくセットできていない。 2) USB メモリの読み込みフォルダが間違えている。 3) AE-200J が対応している USB メモリを使用していない。	原因 1) ～ 3) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) USB メモリが正しくセットされているかを確認してください。 原因 2) 初期設定データを入れたフォルダ「SetupData」(大文字・小文字も)が正しいか確認してください。詳細は、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」を参照してください。 原因 3) 現象 9 の原因 3 を参照してください。
11	USB メモリに「給湯機データ」または「給湯機トレンドデータ」の出力ができない。	1) USB メモリが正しくセットできていない。 2) USB メモリに空き容量がない。 3) USB メモリが AE-200J に対応していない。 4) USB メモリを短い時間で抜き差しした。 5) USB メモリが書き込み禁止になっている。	原因 1) ～ 5) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) ～ 5) は現象 9 に記載の原因 1) ～ 5) を確認してください。
12	給湯機の運用データの内容が、「」(空白)で出力される。 (開放型または密閉型 6 センサ)	出力時間に対象の給湯機がセンサ異常、または通信異常となっていた。	異常履歴画面から異常の発生有無を確認して下さい。センサ異常や通信異常が発生していた場合、「」(空白)で出力されることがあります。また、系統単位の演算データの場合は、系統内の給湯機でセンサ異常や通信異常が発生している場合に「」(空白)で表示されることがあります。
13	CSV ファイルで出力されていない日付(時刻)がある。	1) 対象の時間に AE-200J が停電していた。 2) AE-200J の時刻を変更した。	原因 1)、2) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) 停電が行われなかったかを確認して下さい。停電している時間はデータが収集されませんので、日付(時刻)自体が出力されません。 原因 2) AE-200J の時刻を変更しなかったかを確認してください。CSV 出力時間帯を跨いで時刻変更した場合、データは収集されていませので、出力されません。
14	初期設定画面にログインしたが、設定ボタンが押した状態になっていて、操作できない。	ビル管理者でログインしているため、設定の権限がない。	保守ユーザのログイン名・パスワードを入力してログインしてください。 管理者ユーザでログインして設定したい場合は、設定の権限を保守ユーザに登録してもらってください。

現象		原因	処置内容
15	停止したはずなのに、勝手に運転している。	週間スケジュール、年間スケジュール、当日スケジュールの設定により、自動で運転される場合がある。	スケジュール設定により、自動で運転する場合があります。週間、年間、当日それぞれのスケジュールを確認してください。
16	AE-200J に異常コード「7106」が表示される。	AE-200J の給湯機設定画面で設定したアドレスに給湯機以外の機器が接続されている。	接続されている機器を確認し、給湯機設定画面で、設定しなおしてください。 詳細は、「(7) 給湯機設定」を参照してください。
17	AE-200J に異常コード「7109」が表示される。	1) A、B、C タイプの給湯機を接続している。 2) AE-200J の給湯機設定内容と給湯機の構成、設定内容が一致していない。 3) 給湯機の基板デジタル設定内容が正しくない。 4) 給湯機設定の詳細設定が完了していない。	原因 1)、2) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) D タイプの AE-200 接続に対応している (2016 年 12 月以降に発売) 給湯機を接続してください。 原因 2) 給湯機設定のアドレス登録と給湯機の機器構成を確認してください。アドレス登録と機器構成が異なる場合は、アドレス登録を見直してください。 原因 1) ～ 2) を対処しても改善されない場合は、原因 3) について対処を行ってください。 原因 3) 「該当する給湯機系統名称」に表示されている給湯機系統の詳細設定画面を開いて設定を行い、[OK] をタッチし、給湯機の設定画面にて [設定保存] をタッチしてください。 詳細は、「(7) ④ 詳細設定 (開放型)」または「(7) ⑤ 詳細設定 (密閉型 6 センサ)」を参照してください。
18	「給湯機と正しく接続されていない、または詳細設定が完了していません。給湯機の設定・接続を確認し、詳細設定を完了させてください。」のメッセージが表示される。	1) AE-200J の給湯機設定画面で設定したアドレスに、給湯機以外の機器が接続されている。 2) A、B、C タイプの給湯機 (QAHV) を接続している。 3) AE-200J の給湯機設定内容と給湯機の構成、設定内容が一致していない。 4) 給湯機の基板デジタル設定内容が正しくない。 5) 給湯機設定の詳細設定が完了していない。	原因 1) ～ 5) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) 現象 16 に記載の原因を確認してください。 原因 2) 現象 17 に記載の原因 1) を確認してください。 原因 3) 現象 17 に記載の原因 2) を確認してください。 原因 4) 基板デジタル設定の項目コード 107 の設定値を 2 に設定してください。 詳細は、「QAHV-N560D(-BS,-BSG)/QAHV-N560D-HWP(-BS,-BSG) 据付工事説明書」を参照してください。 原因 1) ～ 4) を対処しても改善されない場合は、原因 5) について対処を行ってください。 原因 5) 「該当する給湯機系統名称」に表示されている給湯機系統の詳細設定画面を開いて設定を行い、[OK] をタッチし、給湯機の設定画面にて [設定保存] をタッチしてください。 詳細は、「(7) ④ 詳細設定 (開放型)」または「(7) ⑤ 詳細設定 (密閉型 6 センサ)」を参照してください。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、お買上げの販売店、またはメーカー指定のお客様相談窓口にご連絡ください。

[2] 環境関連の表示


このコントローラは、ご使用終了時に再資源化の一助として、主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

[3] お手入れ

<1> ディスプレイのお手入れ方法

- ・ガラス部の表面は乾いた布でふいてください。
- ・ディスプレイ内部は、下記の手順でタッチパネルクリーニングを行ってください。

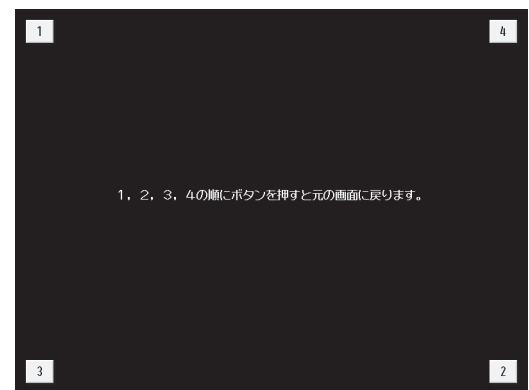
手順

1. 通常画面で、右上の設定変更 [] をタッチする。
ログイン画面が表示されます。
2. [タッチパネルクリーニング] をタッチし、タッチパネル清掃画面を表示する。



—— タッチパネルクリーニング

3. 「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸しよく絞った布」または「エタノールをしみ込ませた柔らかい布」でタッチパネルを清掃する。
有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。



4. 掃除が終わったら、1 から4の数字を順にタッチして元の画面に戻る。

お知らせ

- ・タッチするとタッチしたボタンが濃い灰色に変わります。
- ・規定の順序以外でタッチした場合、すべての押下状態が解除され、再度 [1] から押さないとログイン画面に戻りません。

<2> カバーのお手入れ方法

- ・水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取ってください。

[4] 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

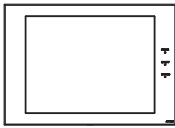
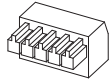
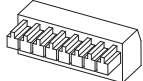
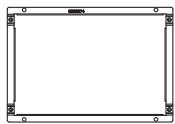




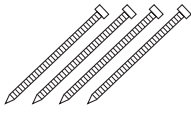

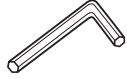
点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」に連絡してください。

V 工事編

[1] 使用部品

<1> 同梱部品

本ユニットには下記部品が同梱されておりますので据付前に確認してください。

NO.	品名	形状	個数	備考
1	AE-200J/AE-50J（製品本体）		1	カバー及び本体の底に六角穴付ボルトを取付けています。
			1	本体の裏面に CN6 コネクタを取付けています。
			1	本体の裏面に CN7（計量用パルス入力用）コネクタを取付けています。
2	A タイプ取付板		1	製品本体を制御盤内取付金具（別売部品）を使用して取付ける場合以外は常に使用します。
3	B タイプ取付板		1	製品本体を直接壁に取付ける場合に A タイプ取付板と共に使用します。
4	サラネジ（M4 × 40）※1		4	A タイプ取付板を B タイプ取付板または埋込ボックス（別売部品）に取付ける場合に使用します。
5	ナベネジ（M4 × 10）		4	製品本体を A タイプ取付板に取付ける場合に使用します。
6	木ネジ（M4.1 × 25）		4	木ネジで固定できる強度のある壁に直接 AE-200J/AE-50J を取付けるときに使います。
7	配線押さえ		4 （予備 2 つ含む）	
8	ゴムブッシュ		2	本体の底面から AC 電源線と M-NET 伝送線を引き込む場合に使います。
9	六角レンチ		1	カバーを取付け、取外すときに使います。
10	据付工事説明書（本書）※2		1	
11	取扱説明書 ※3		1	

※1 付属ネジが壁厚により使用できない場合、現地にて壁厚に合う長さの M4 ナベネジを手配してください。

※2 初期設定は、「V [7] 初期設定」を参照してください。（操作の詳細については取扱説明書（初期設定編）を参照してください。）

※3 ライセンス機能については各ライセンスに同梱の取扱説明書を参照してください。

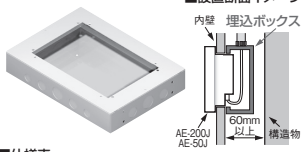
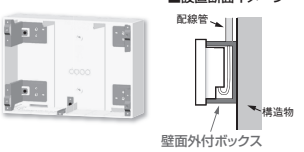
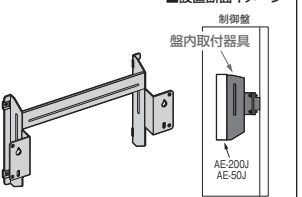

<2> 別売部品

以下の部品は三菱電機指定の純正部品をお使いください。

品名		形名	個数	備考
埋込ボックス		PAC-YE84UTB	1 ※	壁内に埋込み設置する場合に使用します。 据付方法 2 にのみ必要 「(1) 取り付け方法」参照 (154 ページ)
壁面外付ボックス		PAC-YE82TB	1 ※	コンクリート壁等の穴を開けられない壁に使用します。 据付方法 5 にのみ必要 「(1) 取り付け方法」参照 (154 ページ)
制御盤内取付金具	L 型金具	PAC-YE86TK	1 ※	金属制御盤内に本体を据付ける場合に使用します。 据付方法 4 にのみ必要 「(1) 取り付け方法」参照 (154 ページ)
	DIN レール			
USB ドア付カバー		PAC-YE72CWL	1 ※	カバーを USB ドア付とする場合に使用します。
外部入出力アダプタ		PAC-YG10HA	1 ※	外部入出力機能使用時必要

※ 必要な場合のみ

■ AE-200J / AE-50J オプション部品

埋込ボックス	壁面外付ボックス	制御盤内取付金具	USBドア付カバー												
PAC-YE84UTB	PAC-YE82TB	PAC-YE86TK	PAC-YE72CWL												
AE-200JやAE-50Jを壁に埋込んで据付ける場合に、壁内に埋込ボックスを設置して据付けができます。	AE-200JやAE-50Jを壁面に外付けて据付ける場合に、壁面に外付けボックスを設置して据付けることができます。	AE-200JやAE-50Jを盤内に取り付ける場合や、盤内のDINレールに取り付けるための金具です。	AE-200JやAE-50JのUSBポートを、前面パネルを取り外すことなく使用できる前面パネルです。												
<div>■設置断面イメージ</div> 	<div>■設置断面イメージ</div> 	<div>■設置断面イメージ</div> 													
■仕様表	■仕様表	※DINレールアタッチメントも付属しています。	USBポート カバー閉時												
<table><tr><th>項目</th><th>内容</th></tr><tr><td>外形寸法(高さ×幅×奥行)</td><td>249mm×346mm×60mm</td></tr><tr><td>据付方法</td><td>柱等に埋込ボックス側面をネジで固定する。または、壁内構造物に埋込ボックス背面をネジで固定する。</td></tr></table>	項目	内容	外形寸法(高さ×幅×奥行)	249mm×346mm×60mm	据付方法	柱等に埋込ボックス側面をネジで固定する。または、壁内構造物に埋込ボックス背面をネジで固定する。	<table><tr><th>項目</th><th>内容</th></tr><tr><td>外形寸法(高さ×幅×奥行)</td><td>198mm×282mm×77mm</td></tr><tr><td>据付方法</td><td>壁面等に外付ボックスをネジで固定する。</td></tr></table>	項目	内容	外形寸法(高さ×幅×奥行)	198mm×282mm×77mm	据付方法	壁面等に外付ボックスをネジで固定する。		
項目	内容														
外形寸法(高さ×幅×奥行)	249mm×346mm×60mm														
据付方法	柱等に埋込ボックス側面をネジで固定する。または、壁内構造物に埋込ボックス背面をネジで固定する。														
項目	内容														
外形寸法(高さ×幅×奥行)	198mm×282mm×77mm														
据付方法	壁面等に外付ボックスをネジで固定する。														

<3> 一般市販部品

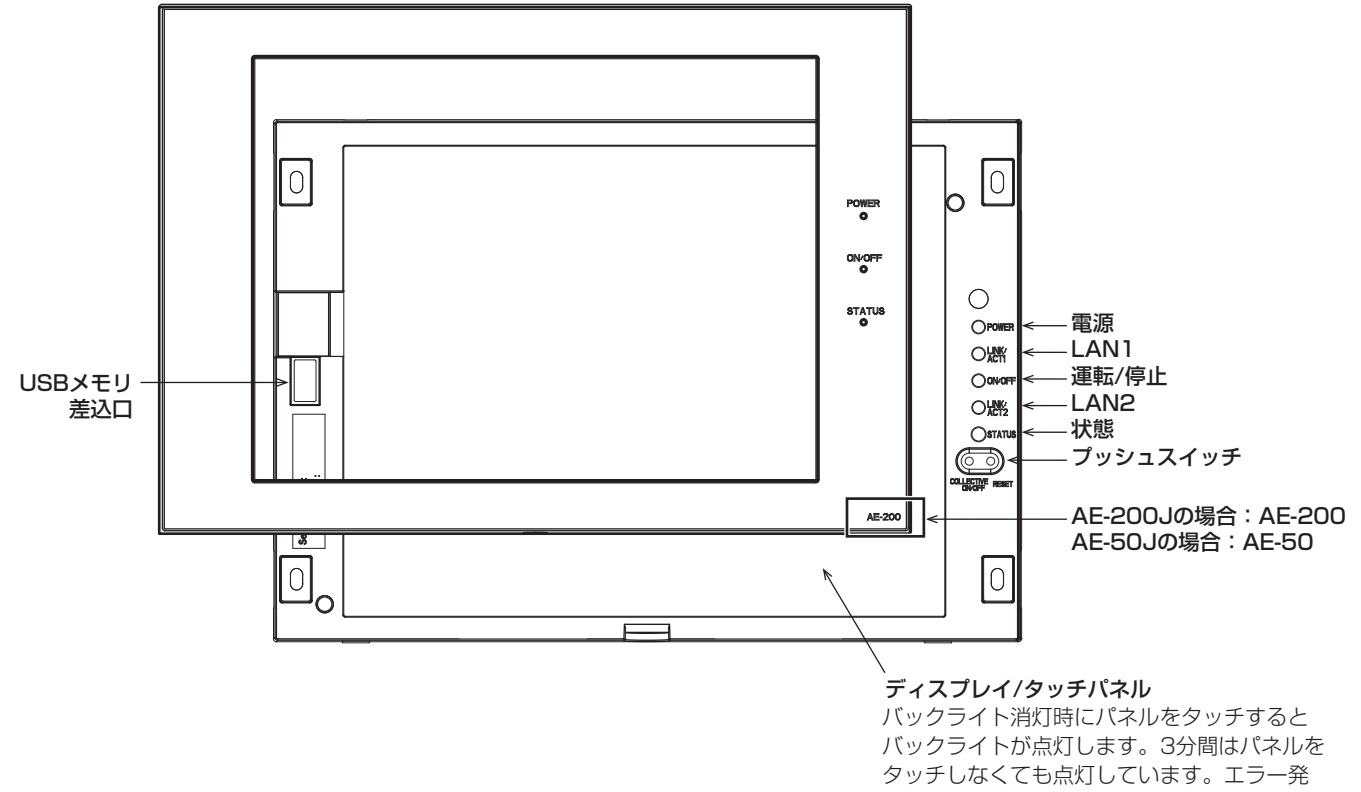
必要に応じて以下の一般市販部品をご準備ください。

部品仕様の詳細は「<2> 一般市販部品の仕様」参照（150 ページ）

	品名	個数	備考
接続配線	AC 電源線	適量	
	M-NET 伝送線	適量	
	スリーブ付き丸端子	必要量	
(必要に応じて) 盤前面に据付ける場合	金属製制御盤	1	金属製制御盤に据付ける場合に使用
	電源ブレーカ	必要量	
	サーキットプロテクタ	必要量	
	電源線用端子台	必要量	
	M-NET 伝送線用端子台	必要量	
(必要に応じて) 外部機器を接続する場合	直流電源装置	必要量	外部入出力用
	延長ケーブル	適量	外部入出力用
	リレー	必要量	外部入出力用
	ダイオード付きリレー	必要量	外部入出力用
	ランプ・ブザー	必要量	外部入出力用
	電力量計	必要量	電力量入力用
(必要に応じて) 通信関連	パソコン	1	
	LAN ケーブル	適量	
	スイッチング HUB	必要量	
	VPN ルータ	必要量	
	無線 LAN ルータ	必要量	タブレット、スマートフォンでの監視 操作作用
	タブレット	必要量	
	スマートフォン	必要量	

<4> 製品概要

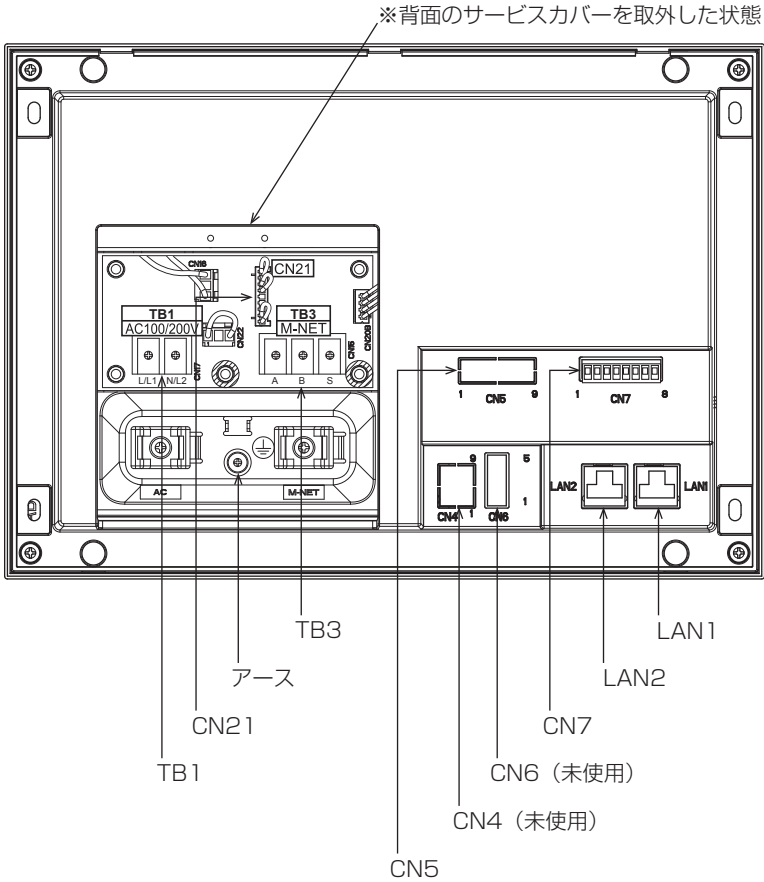
(1) 製品本体の外形（各部の名称）



LED		内容
電源 (POWER)	緑点灯	電源オン
	消灯	電源オフ
運転 / 停止 (ON/OFF) ※ 1	緑点灯	1 台以上の空調機および低温機器が運転中 ※ 2、※ 3
	緑点滅	1 台以上の空調機、低温機器、除湿機、空冷ヒートポンプチラー DT-R、業務用ヒートポンプ給湯機およびその他の関連機器がエラー発生中 ※ 3
	消灯	すべての空調機および低温機器が停止 ※ 2、※ 3
状態 (STATUS)	橙点滅	立ち上げエラー
	青点滅	ソフトウェア アップデート中
	ピンク点滅	ソフトウェア アップデート失敗 1 台以上の低温機器がエラー発生中 ※ 3
LINK/ACT1	橙点滅	データ送信中 (LAN1)
LINK/ACT2	橙点滅	BACnet [®] データ送信中 (LAN2) ※ 4

- ※ 1 AE-200J の場合は AE-50J/EW-50J に接続された機器を含めた、システム全体の表示となります。
AE-50J の場合は AE-50J に接続された機器の表示となります。
- ※ 2 その他の関連機器の状態は表示されません。
- ※ 3 低温機器、除湿機、空冷ヒートポンプチラー DT-R、および業務用ヒートポンプ給湯機を使用する場合は別途ライセンスが必要です。
- ※ 4 BACnet[®] 接続の場合別途ライセンスが必要です。

項目	内容	
プッシュスイッチ	ON/OFF	押すごとに接続している空調機及び、その他の関連機器を一括で ON → OFF → ON…の順に切り替えます。
	リセット	AE-200J/AE-50J を再起動します。(空調機の運転状態には影響しません。)
USB メモリ差込口		設定データのバックアップ、読み込みおよび CSV データの取出しの際に使用します。



項目		内容
LAN1	LAN 接続	スイッチング HUB を経由して他の機器と LAN で接続します。
LAN2	BACnet [®] 用 LAN 接続	スイッチング HUB を経由してビル管理システムと LAN (BACnet [®]) で接続します。
CN7	計量用パルス入力	本体に付属のコネクタを用いて配線を接続します。
CN6		未使用
CN4		未使用
CN5	外部入出力	ロックアウト穴をあけて外部入出力アダプタ (PAC-YG10HA) を接続します。
TB3	M-NET A, B, S (M3.5)	M-NET 伝送線端子台 M-NET 伝送線を使って室外ユニットと接続します。 (A, B : 無極性, S : シールド)
アース	(M4)	アース線を接続します。
CN21	M-NET 給電コネクタ	M-NET に給電する場合、コネクタを接続します。(工場出荷時) ・他のシステムコントローラが同一の M-NET に接続されている場合、コネクタを取外して、別売の給電ユニットから M-NET に給電してください。
TB1	AC 電源 L/L1, N/L2 (M3.5)	AC 電源線を接続します。

(2) 製品仕様

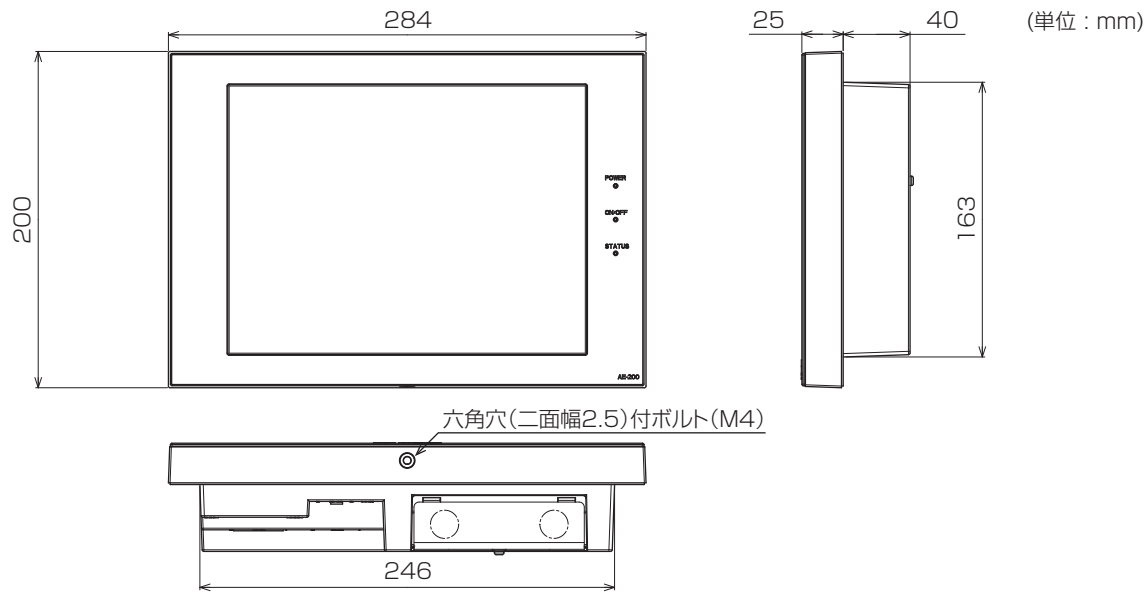
AE-200J/AE-50J は、Web 対応総合管理システムです。接続された業務用ヒートポンプ給湯機、空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器を監視操作できます。

AE-200J/AE-50J 共通仕様

項目		仕様
電源		AC 100/200V ± 10% 50/60Hz 単相
消費電力		12W
M-NET 給電能力係数		3
消費電力係数		0
L 係数		0
環境条件	使用温度範囲	0° C ~ +40° C
	保存温度範囲	-20° C ~ +60° C
	湿度	30% ~ 90% RH (結露なきこと)
質量		2.3kg
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		284 × 200 × 65mm 埋め込み時、AE-200J/AE-50J の壁または金属製制御盤よりの突出は、25.0 mmです。
設置環境		室内のみ ・ この製品はビジネスオフィス環境または同等の環境でご使用ください。

お知らせ

AE-200J と AE-50J の寸法は同じです。



<5> SDカードに関するお知らせ

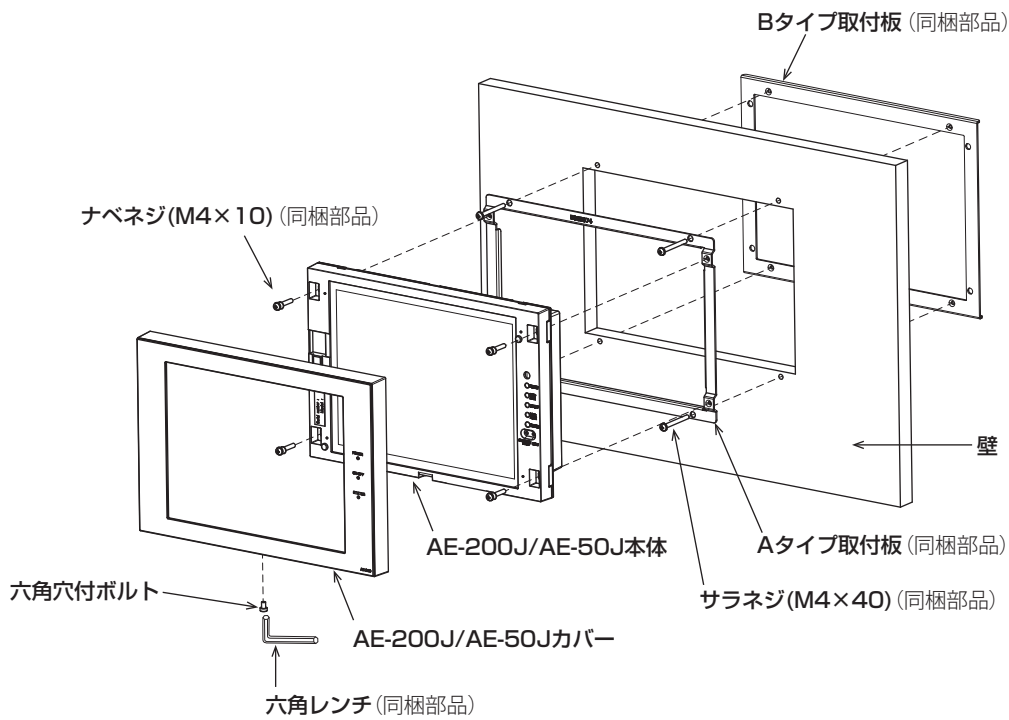
- AE-200J/AE-50J に内蔵されている SD カードは、本機専用です。取り外さないでください。また、他の機器では使用しないでください。
- SD および SDHC のロゴは SD3C、LLC の商標です。

<6> 製品の運搬と開梱

製品を運搬する際は、本体裏側の端子台を握ったり、接続している配線を引っ張ったりせず、本体を持って運んでください。製品に衝撃が加わらないようにしてください。また、梱包材は破棄してください。

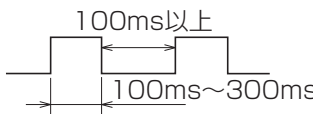
[2] 使用箇所（据付工事の概要）

<1> 使用部品の取付位置



品名		内容
AE-200J/AE-50J 本体		
AE-200J/AE-50J カバー		本体に取付けています。
六角穴付ボルト		本体に取付けています。
A タイプ取付板	同梱部品	
B タイプ取付板		木ネジで固定できる強度のある壁に直接取付けるときは使用しません。
ナベネジ (M4 × 10)		
サラネジ (M4 × 40)		木ネジで固定できる強度のある壁に直接取付けるときは、同梱部品の木ネジを使用します。
六角レンチ		ボルト締めは六角レンチを使用します。

<2> 一般市販部品の仕様

現地手配部品		仕様	
ロックナット、ブッシング		電線管に合うロックナット、ブッシングを使用	
丸端子（スリーブ付）		M3.5 丸端子（AC 電源線用（L/L1、N/L2）および M-NET 伝送線用（A、B、S）） M4 丸端子（保護用アース線用）	
AC 電源線 保護用アース線		種類：シース付ケーブル（60227 IEC 53 指定） （通常の IEC 60227 シース付ケーブルより軽量のものを使用しないでください）	
		電線の種類（推奨）	VCT・VVF・VVR またはこれに相当するもの
		電線サイズ	0.75mm ² ～2mm ² （φ 1.0～φ 1.6mm）
		線外径 10mm を推奨（端子台の下の配線押さえに固定できる適切な線外径） 保護用アース線の配線色：緑／黄	
M-NET 伝送線		種類：シールド線	
		CPEVS φ 1.2mm	シールド付き通信用 PE＊ ¹ 絶縁 PVC＊ ¹ シールド線
		CVVS、MVVS 1.25mm ² ～2mm ²	シールド付き制御用 PVC＊ ¹ 絶縁 PVC＊ ¹ シールド線
LAN ケーブル		カテゴリ 5 以上のストレートケーブル（100m 以内）	
スイッチング HUB		通信速度 100Mbps 以上推奨	
過電流遮断器 （右のいずれか）	ヒューズ	定格電流：3A （ヒューズ使用時は定格電流：3A のスイッチを併用してください）	
	配線用遮断器	種類：2 極遮断器（2P2E） 定格電流：3A	
漏電遮断器		種類：2 極遮断器（2P2E） 定格電流：3A 定格感度電流：30mA 動作時間：0.1 秒以下	
リレー（外部入力用）		接点定格 定格電圧：DC12V または 24V 定格電流：0.1A 以上 最小適用負荷：DC1mA 以下	
リレー（外部出力用）		コイル定格 定格電圧：DC12V または 24V 消費電力：0.9W 以下	
接続配線		本機の端子台にあったサイズの電線（銅線）を使用してください。	
		単線	φ 0.65mm（AWG21）～φ 1.2mm（AWG16）
		撚り線	0.75mm ² （AWG18）～1.25mm ² （AWG16）
		素線径φ 0.18mm 以上	
電力量計		単位パルスごとに無電圧 a 接点パルス出力 出力パルス方式：半導体リレー：オープンコレクタ パルス幅：100ms～300ms（休止期間 100ms 以上）	
			
		出力パルス単位：0.1/1.0/10/100 [kWh/pulse] ※ 1kWh/pulse 以下を推奨	

※1 PE：ポリエチレン、PVC：ポリ塩化ビニル

[3] 据付場所の選定

<1> 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。

<2> 公害・環境汚染への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

<3> 製品の機能性能を発揮するための事項

⚠ 警告

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れ
のおそれがあるところに設置しないこ
と。

- ・可燃性ガスがユニットの周囲にたまった場
合、火災・爆発のおそれあり。



据付禁止

コントローラの質量に耐えられるところ
に据え付けること。

- ・コントローラの落下によるけがのおそれあ
り。



指示を実行

⚠ 注意

コントローラは水のかかるところや高湿
度で結露するところには据え付けないこ
と。

- ・ショート・漏電・感電・故障・発煙・発
火・火災のおそれあり。



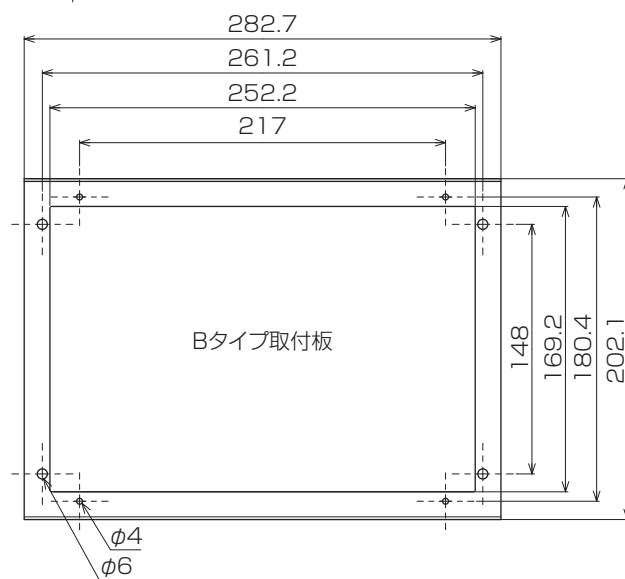
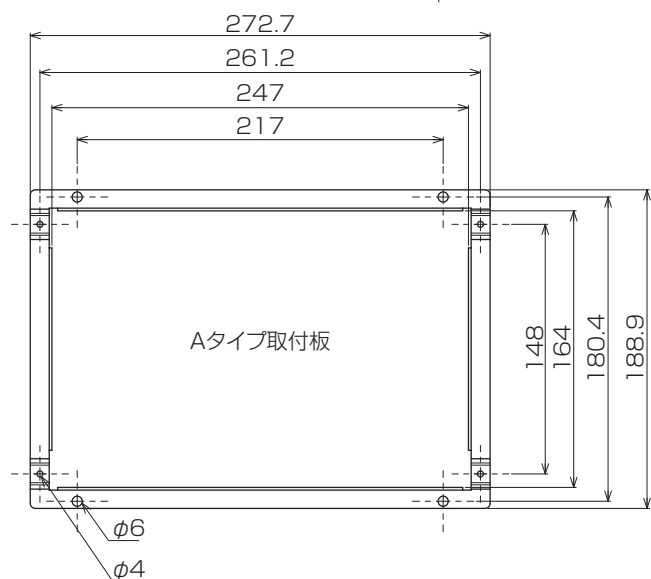
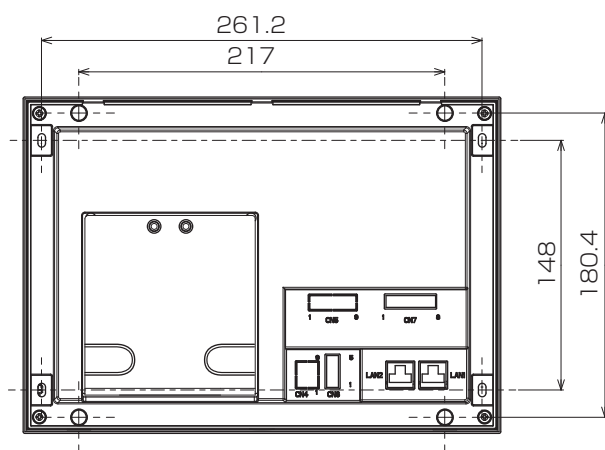
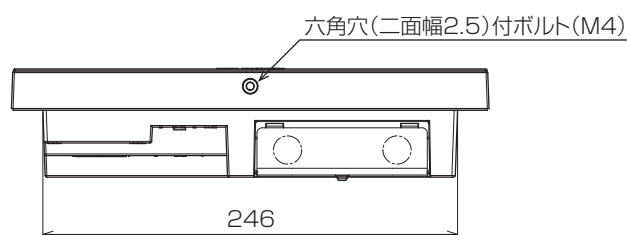
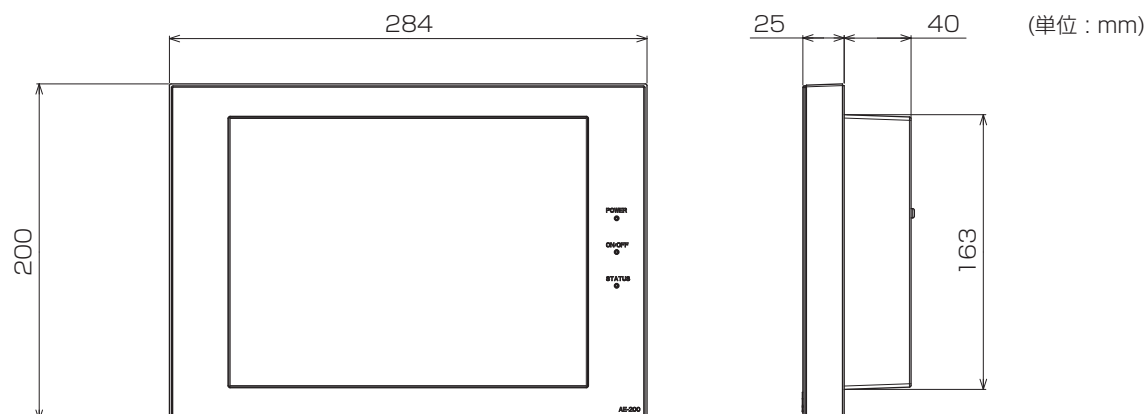
水ぬれ禁止

<4> 取付寸法

(1) 外形寸法

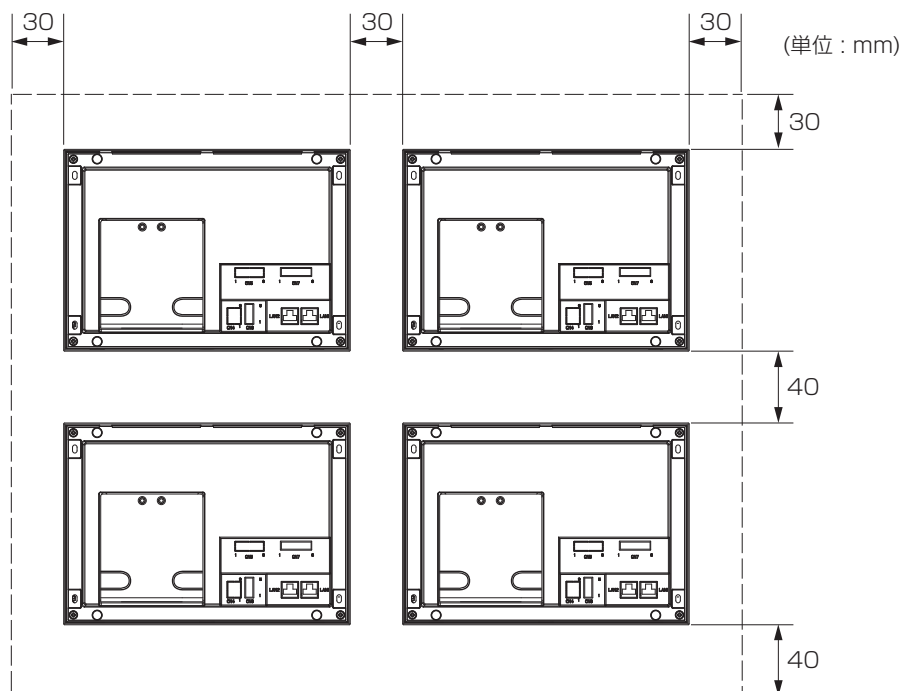
お知らせ

AE-200J と AE-50J の寸法は同じです。



(2) 必要スペース

AE-200J/AE-50J を取付けるとき、周囲に下図で示すスペースを確保してください。

**お願い**

- ・カバーの取外しが困難になりますので、AE-200J/AE-50J を 2 台以上もしくは他の機器と横並びで据付ける場合は、製品間には 30mm 以上の間隔を確保してください。
また、縦方向に据付ける場合は、製品間には 40mm 以上の間隔を確保してください。
- ・据付方法 4 の場合は、別売の取付用部品の据付工事説明書に従ってください。
(「(3) 据付方法」参照 (155 ページ))

<5> 保守・点検に関する事項

- ・運転操作および保守・メンテナンスなどサービスが容易に行えるよう、サービススペースが確保できる場所を選んでください。
工事をされた方は、顧客と保守契約を結び、本製品を含む空調冷熱システムが安全にかつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

[4] 据付工事**⚠ 警告**

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って試運転・点検・サービスを行うこと。

- ・不備がある場合、故障・けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- ・コントローラの落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

<1> 建物工事の進行と施工内容

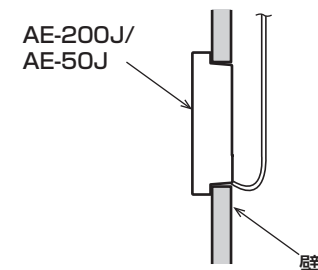
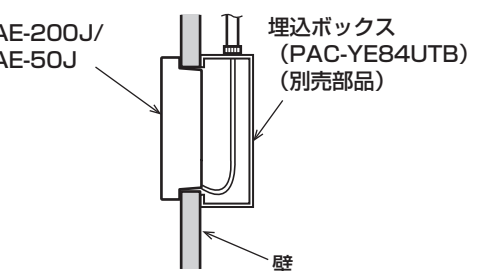
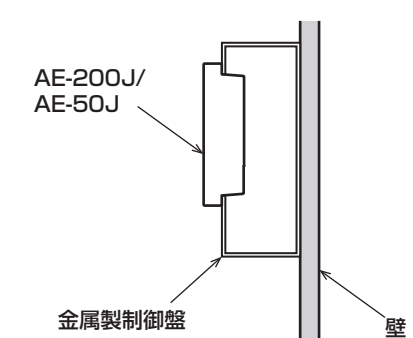
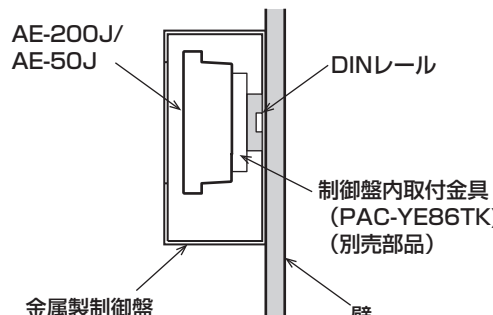
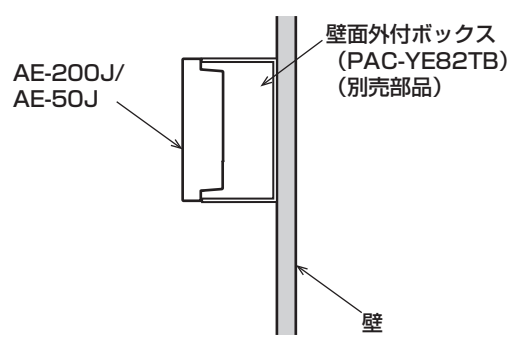
据付場所に据付けられる状態になりましたら、据付工事を行ってください。
AE-200J/AE-50J を設置する前に、必要なケーブルを準備してください。

お願い

- ・継続的に振動が加えられるところには据付けないでください。接続しているコネクタが外れるおそれがあります。

(1) 取り付け方法

AE-200J/AE-50J は以下のいずれかの方法で取付けることができます。

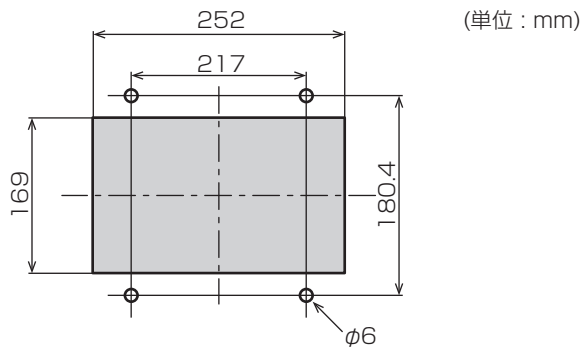
方法 1	壁に据付ける方法 付属の A タイプ取付板および B タイプ取付板を使用します。	 <p>AE-200J/ AE-50J</p> <p>壁</p>
方法 2	埋込ボックスを使用して壁に埋込んで据付ける方法 埋込ボックス (PAC-YE84UTB) (別売部品) が必要です。	 <p>AE-200J/ AE-50J</p> <p>埋込ボックス (PAC-YE84UTB) (別売部品)</p> <p>壁</p>
方法 3	金属製制御盤に据付ける方法	 <p>AE-200J/ AE-50J</p> <p>金属製制御盤</p> <p>壁</p>
方法 4	金属製制御盤の中に AE-200J/AE-50J を設置する場合、制御盤取付金具 (PAC-YE86TK) (別売部品) が必要です。	 <p>AE-200J/ AE-50J</p> <p>DINレール</p> <p>制御盤内取付金具 (PAC-YE86TK) (別売部品)</p> <p>金属製制御盤</p> <p>壁</p>
方法 5	コンクリート壁等の穴を開けられない場所に据付ける場合、壁面外付ボックス (PAC-YE82TB) (別売部品) が必要です。	 <p>AE-200J/ AE-50J</p> <p>壁面外付ボックス (PAC-YE82TB) (別売部品)</p> <p>壁</p>

※「<2> 別売部品」を参照してください。

(2) 事前準備

手順

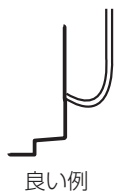
1. 壁に、下図に示す据付穴（169 x 252mm）および取付穴を開ける。



(3) 据付方法

お願い

- ・ ケーブルを上方から沿わせる場合、コントローラに接続する手前で、水がケーブルを伝ってコネクタに入らないように下図の様に、ケーブルに水切りトラップを設けてください。

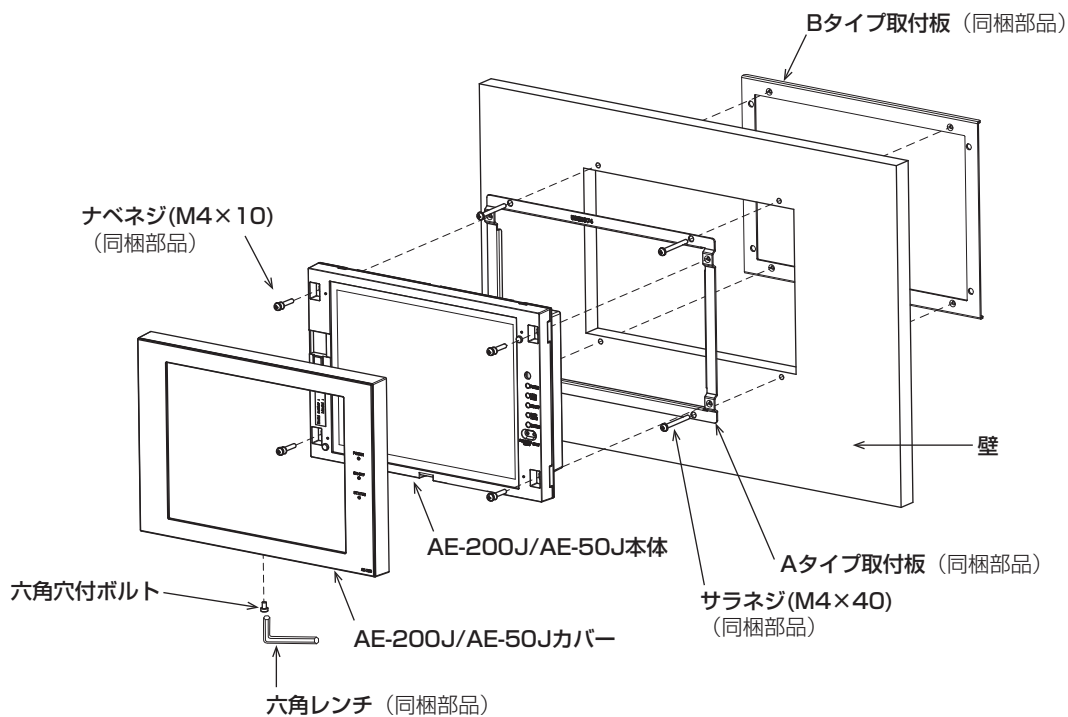


① 壁面への据付け

1) 壁に据付ける場合

下図のように据付けてください。

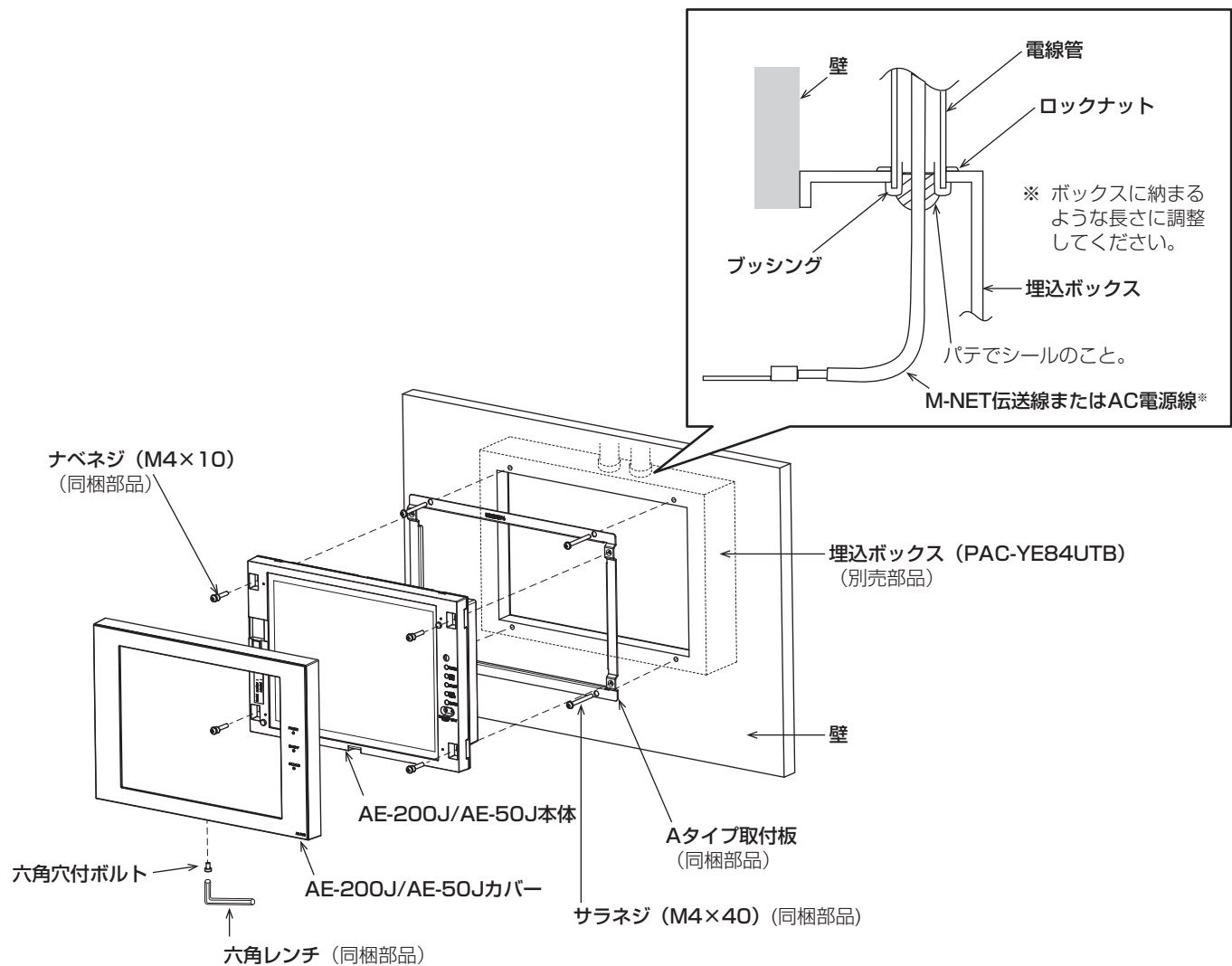
A タイプ取付板と B タイプ取付板を壁に挟み込むようにして固定します。



2) 埋込ボックスを使用して壁に据付ける場合

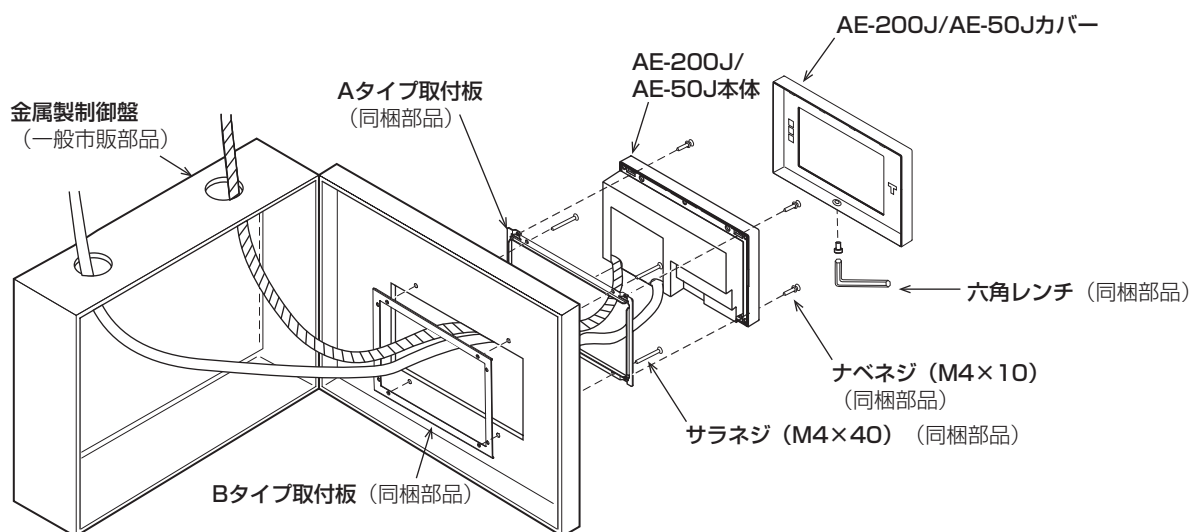
下図のように据付けてください。

A タイプ取付板を使用し、固定します。B タイプ取付板は使用しません。



② 金属製制御盤への据付け

下図のように据付けてください。



<2> 届出・報告事項

特にありません。

[5] 電気工事

⚠ 警告

電源配線は信号端子台に接続しないこと。

- 機器損傷・故障・発煙・火災のおそれあり。



接続禁止

電気工事をする場合、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



感電注意

第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットが故障し、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

お願い

電源線と信号線を結束したり同じ金属管に収納したりしないでください。

- 誤動作のおそれあり。

電源には過電流遮断器、および漏電遮断器を取り付けること。

- 過電流遮断器はユニット1台につき1個設置すること。
- 感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

D 種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある電気工事業者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。
- アースに不備がある場合、ユニットがノイズにより誤動作し、感電・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。



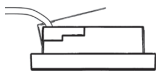
アース接続

<1> サービスカバーの取外し/取付け

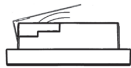
① サービスカバーを取外す場合

手順

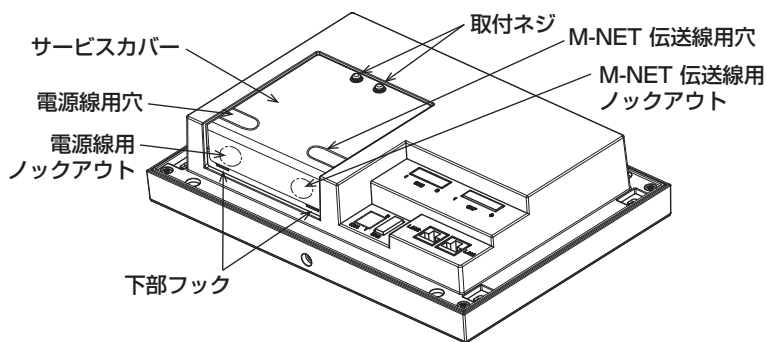
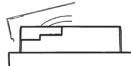
1. 取付けネジ 2 本を外し、カバーを浮かせる。
(底面配線の場合も同様)



2. 配線用穴から配線を外す。
(背面配線の場合のみ)



3. 下部フックを AE-200J/AE-50J 本体から外す。(底面配線の場合も同様)



② サービスカバーを取付ける場合

「<2> 電源線と M-NET 伝送線」の完了後、実施します。

手順

1. 下部フックを本体に引っ掛ける。
2. 取付ネジを取付ける。

③ サービスカバー底面から配線する場合

サービスカバーの底面から取り出す場合は、以下の手順により取り出してください。

手順

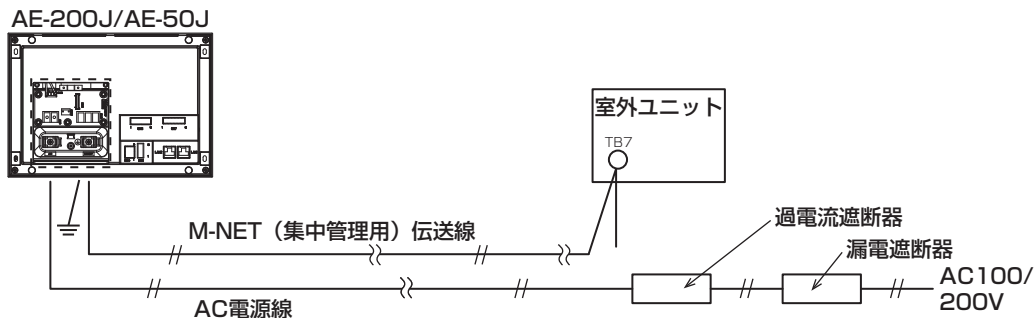
1. サービスカバーを取外す。「<1>. ① サービスカバーを取外す場合」参照 (158 ページ)
2. ノックアウトを外して穴を開ける。
3. ゴムブッシュ (同梱部品) に配線を通す切込みを入れる。
4. ゴムブッシュをノックアウト部に取付ける。
5. ゴムブッシュに通し配線接続する。
6. サービスカバーを取付ける。「<1>. ② サービスカバーを取付ける場合」参照 (158 ページ)

お知らせ

- ・壁厚が 10 mm 以上の壁の場合、電源線用穴及び M-NET 伝送線用穴から配線してください。ゴムブッシュ部が壁の開口部にあたり、配線が引き出せなくなります。

<2> 電源線と M-NET 伝送線

下図にしたがって、電源線・アース線・M-NET 伝送線を接続してください。接地は D 種接地工事を行ってください。

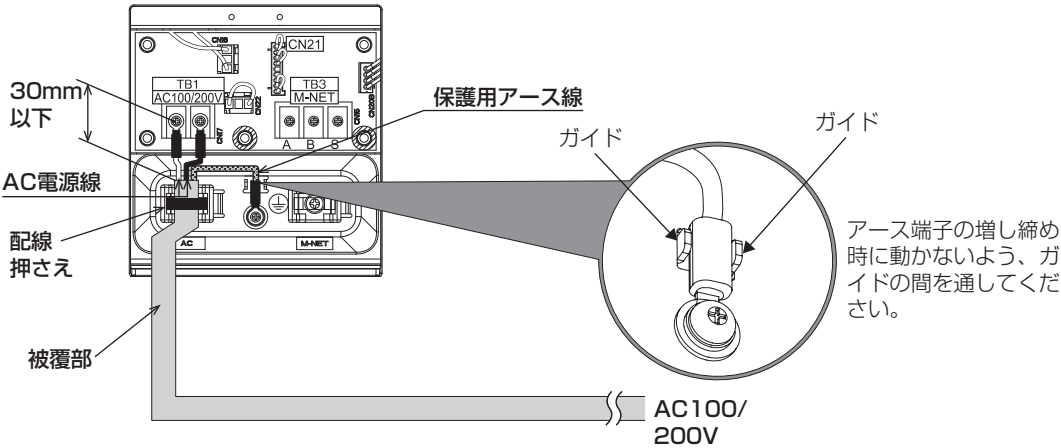


- ※機器ごとに過電流遮断器、漏電遮断器を設置してください。
- ※端子台に接続する配線には、スリーブ付丸端子をご使用ください。

現地手配品		仕様	
AC 電源線 保護用アース線		種類：シース付ケーブル（60227 IEC 53 指定） （通常の IEC 60227 シース付ケーブルより軽量のものを使用しないでください）	
		電線の種類（推奨）	VCT・VVF・VVR またはこれに相当するもの
		電線サイズ	0.75mm ² ～2.00mm ² （φ 1.0～φ 1.6mm）
		線外径 10mm を推奨（端子台の下の配線押さえに固定できる適切な線外径） 保護用アース線の配線色：緑／黄	
M-NET 伝送線		種類：シールド線	
		CPEVS φ 1.2mm	シールド付き通信用 PE ※ ¹ 絶縁 PVC ※ ¹ シールド線
		CVVS、 MVVS 1.25mm ² ～2mm ²	シールド付き制御用 PVC ※ ¹ 絶縁 PVC ※ ¹ シールド線
過電流遮断器 （右のいずれか）	ヒューズ	定格電流：3A （ヒューズ使用時は定格電流：3A のスイッチを併用してください）	
	配線用遮断器	種類：2 極遮断器（2P2E） 定格電流：3A	
漏電遮断器		種類：2 極遮断器（2P2E） 定格電流：3A 定格感度電流：30mA 動作時間：0.1 秒以下	

※¹ PE：ポリエチレン、PVC：ポリ塩化ビニール

(1) 電源線・保護用アース線の接続方法



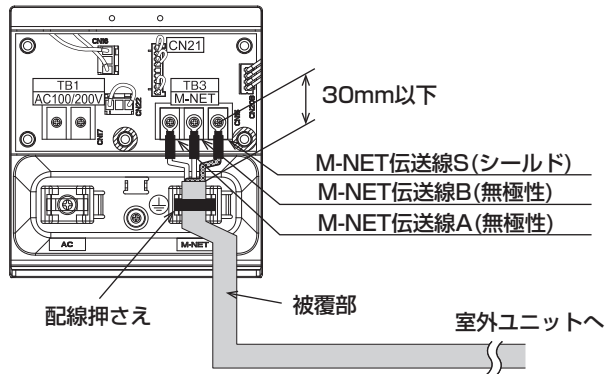
手順

1. 電源線には M3.5、保護用アース線には M4 のネジに対応した丸端子を取付ける。
2. 本体の電源線端子台（TB1）、アース端子台に接続する。保護用アース線は増し締め時に動かないようにガイドの間を通してください。
3. 配線を配線押えで固定する。

お願い

- ・ 保護用アース線は電源線（L/L1、N/L2）より約 25mm 長くなるようにしてください。
配線は被覆端から丸端子までを 30mm 以下にして付属の配線押えで被覆部を固定してください。
（「(3) 配線の固定方法」を参照してください）
- ・ 端子ネジの締め付けトルクは 1.0～1.3N・m を守ってください。

(2) M-NET 集中管理用伝送線の接続方法



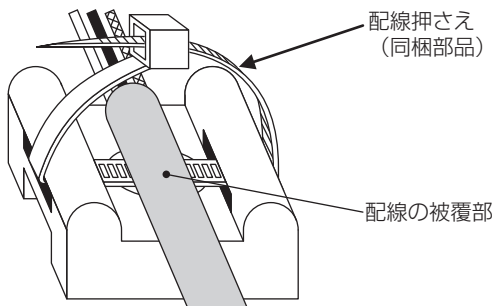
手順

1. M-NET 集中管理用伝送線 (A,B) 及びシールド線に M3.5 のネジに対応した丸端子を取付ける。
2. 本体 M-NET 端子台 (TB3) に接続する。
3. 配線を配線押えで固定する。
4. AE-200J/AE-50J 以外から M-NET 給電する場合は、CN21 コネクタを取り外す。(CN21 の位置については、「(1) 製品本体の外形 (各部の名称)」を参照してください。)

お願い

- ・ M-NET (集中管理用) 伝送線のシールド線を接続してください。
配線は被覆端から丸端子までを 30mm 以下にして付属の配線押えで被覆部を固定してください。
(「(3) 配線の固定方法」を参照してください)
- ・ M-NET 集中管理伝送線のシールドは、一点アース処理が必要です。(D 種接地)
- ・ AE-200J/AE-50J の CN21 コネクタが「有 (工場出荷時)」の場合は、M-NET (TB3) の S (シールド) 端子は本体内でアース端子台に接続され、保護アース線経由でアース処理されます。
- ・ AE-200J/AE-50J の CN21 コネクタが「無」の場合は、『伝送線用給電ユニット』でアース処理を実施してください。
- ・ 端子ネジの締め付けトルクは $1.0 \sim 1.3\text{N}\cdot\text{m}$ を守ってください。

(3) 配線の固定方法



配線押さえ (同梱部品) を使用して、固定してください。
配線固定は被覆部で固定してください。

<3> ネットワーク接続配線

お願い

インターネットに接続する場合、VPN ルータなどのセキュリティ機器を使用してセキュリティを確保してください。

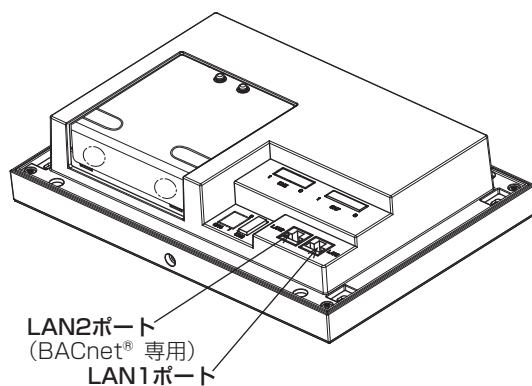
◆ 不正アクセスやいたずら操作のおそれあり。

(1) LAN ケーブルの接続方法

手順

1. AE-200J/AE-50J の LAN1 ポートに LAN ケーブルを接続する。

- LAN2 ポートは BACnet[®] 機能専用です。AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 BACnet[®] 機能編を参照してください。
- LAN ケーブルは現地で手配してください。カテゴリ 5 以上の 100BASE-TX 用のストレートケーブルを使用してください。(最大配線長は 100m)
- LAN ケーブルが 100m を超える場合は、スイッチング HUB にて中継してください。

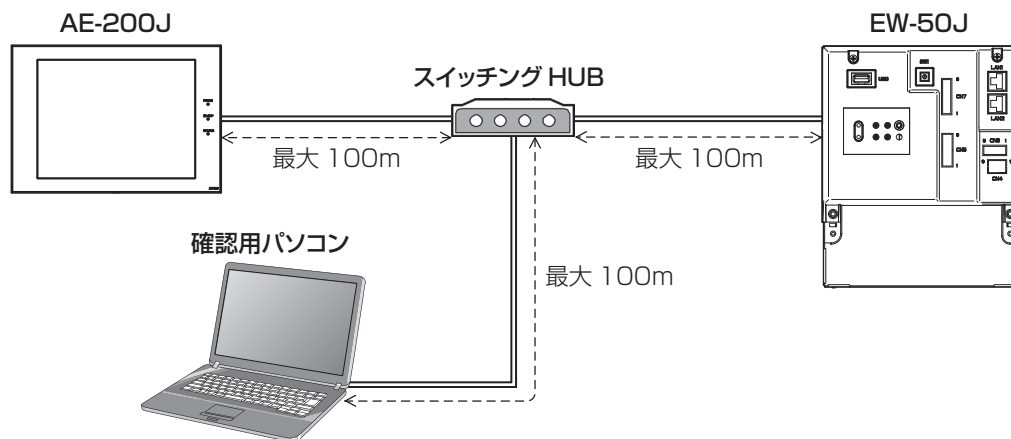


お願い

- LAN 配線は据付前に実施して、本体までの引込みは M-NET 伝送線と同様の方法で配線してください。
- 既存の LAN に AE-200J/AE-50J/EW-50J を接続する場合は、システム管理者に相談のうえ、IP アドレスを決定してください。IP アドレスの変更後、LAN ケーブルを接続してください。

(2) 周辺機器との接続方法

AE-200J/AE-50J/EW-50J 間に接続するゲートウェイ、ルーター、レイヤ 3 スイッチ、ハブなどは 4 段以下を推奨します。(伝送遅延時間は往復 1 秒以下としてください。〔(3) 伝送遅延時間の確認〕を参照してください。伝送遅延時間が長い場合、通信異常を検知する場合があります。)



(3) 伝送遅延時間の確認

各 AE-200J/AE-50J/EW-50J を確認用のパソコンを接続し、確認用のパソコンから各 AE-200J/AE-50J/EW-50J に対してコマンドを送信し、AE-200J/AE-50J/EW-50J からの応答を受信するまでの時間を確認します。

パソコンの IP アドレスの設定については、取扱説明書（初期設定編）を参照してください。

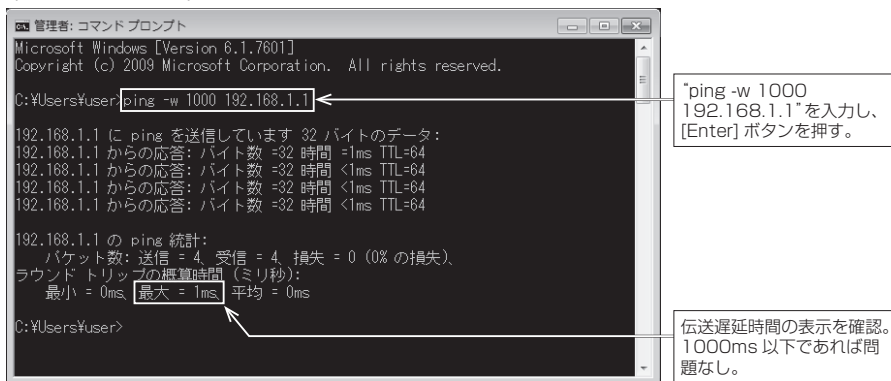
手順

1. 確認用パソコンの [スタート] – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] から [コマンドプロンプト] を起動する。
※ Windows7 での手順となります。OS により手順が異なる場合があります。
2. "ping (AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレス) " を入力し、Enter ボタンを押す。
(下図の例では "ping -w 1000 192.168.1.1" を入力)
3. 画面に表示される時間（下図参照）が 1000ms 以下であることを確認する。
(下図の例では最大 1ms であり伝送遅延時間は問題なし)

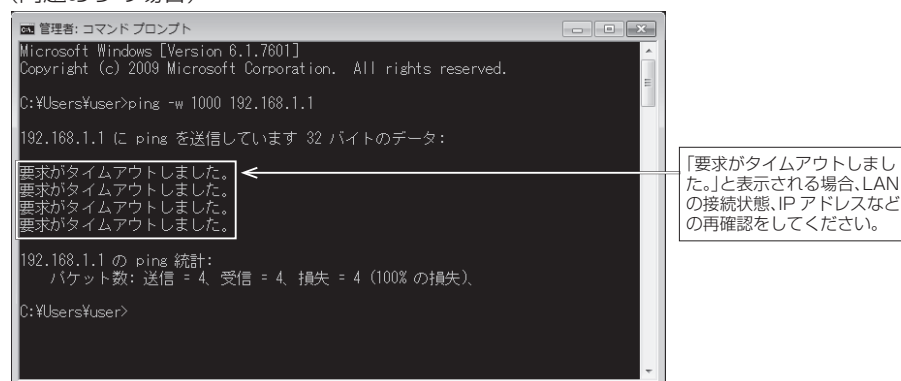
お願い

- ・ 確認用パソコンで使用する IP アドレスは、AE-200J/AE-50J/EW-50J などに使用している IP アドレスと重複して設定しないでください。
- ・ 既設 LAN（専用の LAN を使用していない）に接続している場合、ネットワーク管理者に連絡して、確認用パソコンの接続許可と暫定使用する IP アドレスをもらってください。

(問題なしの場合)



(問題ありの場合)

**お願い**

- ・ 「要求がタイムアウトしました。」が表示される場合や、表示される時間が 1000ms を超える場合にはネットワーク管理者に相談し、ゲートウェイ、ルーター、レイヤ3スイッチ、スイッチング HUB の段数を減らす、ネットワークの変更を行うなどの対応をしてください。

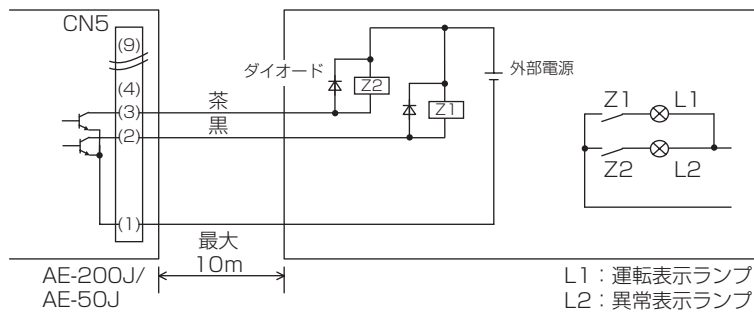
(4) 外部出力

1) 推奨回路例

お願い

- ・ 故障を防止するため、使用するリレーに適した外部電源を選択してください。(DC12V または 24V)
- ・ 故障を防止するため、外部電源は、正しい極性で入出力信号に接続してください。
- ・ 下図の (1) をマイナス側に接続してください。
- ・ リレーを接続しない状態（無負荷）で、外部電源を接続しないでください。
- ・ リレーコイルの両端に必ずダイオードを入れてください。

・ リレー駆動させる場合



リレー Z1 および Z2 は次の仕様のものを使用してください。

操作コイル

定格電圧：DC12V または 24V

消費電力：0.9W 以下

お願い

- ・ 外部信号の入出力には別売の外部入出力アダプタ（形名：PAC-YG10HA）をお買い求めください。
- ・ リレー、ランプ、外部電源、ダイオード、延長ケーブルは現地で手配してください。
- ・ リード線と延長ケーブルの総配線長は 10m 以下にしてください。（0.3mm² 以上のケーブルを使用してください。）
- ・ 使用しないケーブルはコネクタの近くで切断し、切断した部分はテープなどで絶縁処理をしてください。

お知らせ

- ・ 信号出力時に各素子がオンになります。

[6] 据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下記チェックリストに従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

<1> 据付工事のチェックリスト

(1) 配線の確認事項

電源線

- | | |
|--------|--|
| AC 電源線 | <input type="checkbox"/> 端子台 (TB1) に接続する手前で電源線にトラップを設けていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 電源線は端子台 (TB1) と配線押さえで固定していますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 電源線は「L/L1」「N/L2」端子に接続していますか？ |
| | <input type="checkbox"/> アース線は、アース端子台に接続していますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 電源線と伝送線を結束していませんか？ |
| | <input type="checkbox"/> 電源線と伝送線は同一管内に収めず、分離していますか？ |

伝送線

- | | |
|-----------|--|
| M-NET 伝送線 | <input type="checkbox"/> 端子台 (TB3) に接続する手前で伝送線にトラップを設けていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 伝送線は端子台 (TB3) と配線押さえで固定していますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 伝送線は、「A」「B」端子に接続していますか？ |
| | <input type="checkbox"/> シールドは、「S」端子に接続していますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 室外ユニットの伝送線基板 TB7 の「S」端子に、シールドを接続していますか？ |

- | | |
|--------|---|
| LAN 配線 | <input type="checkbox"/> LAN1 に接続していますか？ (LAN2 は BACnet [®] 機能専用です。) |
|--------|---|

- | | |
|--------|---|
| セキュリティ | <input type="checkbox"/> システムはプライベートネットワーク回線、または VPN 機能がついたルータを介してインターネットに接続されていますか？
(インターネットに接続しない場合ルータは不要です) |
|--------|---|

(2) 初期設定前の確認事項

- | | |
|---------------------------------------|---|
| システム環境 | <input type="checkbox"/> グループ設定・ブロック設定・連動設定表を準備する。 |
| | <input type="checkbox"/> AE-200J/AE-50J/EW-50J 名 (建物名称など: 40 文字)、グループ名 (20 文字)、ブロック名 (20 文字) に半角の [< > & " '] が含まれていないことを確認する。 |
| | <input type="checkbox"/> AE-200J/AE-50J/EW-50J 以外の機器の M-NET アドレスを決定する。 |
| AE-200J/AE-50J/
EW-50J を組み込
む場合 | <input type="checkbox"/> AE-50J/EW-50J の IP アドレスを設定し、通信可能な状態にする。※ 1 |
| | <input type="checkbox"/> AE-200J/AE-50J/EW-50J のソフトウェアバージョンの小数点以下 1 桁まで一致していますか？ (例: Ver.7.30 であれば、7.3 まで合わせる必要があります。) |
| 既設 LAN に接続す
る場合 | <input type="checkbox"/> システム管理者と相談し、IP アドレスを決定する。 |
| | <input type="checkbox"/> LAN ケーブルと AE-200J/AE-50J/EW-50J は、IP アドレス設定後に接続する。 |
| 下位システムコン
トローラを使用す
る場合 | <input type="checkbox"/> 下位システムコントローラを手元操作禁止の対象にするかを決定する。 |
| 電力量計を使用す
る場合 | <input type="checkbox"/> 電力量計のパルス仕様を確認する。 |
| 外部入出力を使用
する場合 | <input type="checkbox"/> 信号の種類を確認する。 |

※1 EW-50J の IP アドレス設定は取扱説明書 (初期設定編) または EW-50J の据付工事 / 取扱説明書を参照してください。

[7] 初期設定

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

<1> 初期設定

初期設定は、本機で設定する方法、LAN 経由で初期設定 Web から設定する方法と初期設定ツールから設定する方法の 3 種類があります。本書では、本機からの初期設定操作について記載します。

詳細は、AE-200J/AE-50J/EW-50J の取扱説明書（初期設定編）を参照してください。


AE-200J と AE-50J/EW-50J のソフトウェアバージョンの小数点以下 1 桁目までは合わせる必要があります。（例：Ver.7.30 であれば 7.3 まで合わせる必要があります。）

一致していない場合は一番新しいバージョンにソフトウェアアップデートを行ってください。（ソフトウェアアップデートの手順は <3> 章を参照してください。）

「システム 1」は標準構成（50 台以下のシステム管理の場合）を「システム 2」台数拡張する場合（51 台以上のシステム管理の場合）の手順を表します。

実現するシステムにより、立上げ手順が一部異なります。

下記表に、システムごとの初期設定手順をまとめます。各システムで設定が必要な手順は（1）、（2）…で示します。

初期設定手順	システム		内容
	1	2	
起動		(1)	AE-50J/EW-50J の電源を入れる。
		(2)	AE-50J の場合、「ユニット情報」と「ネットワーク設定」画面で AE-50J の初期設定を行う。 EW-50J の場合、Web ブラウザの「基本システム」画面で EW-50J の初期設定を行う。 ※ AE-50J/EW-50J は再起動します。
	(1)	(3)	AE-200J の電源を入れる。
	(2)	(4)	言語選択画面が表示されるので、言語をタッチする。
	(3)	(5)	初期設定画面が表示される。 (初期設定後は次回電源投入時より、監視画面が表示されるので、画面右上の  アイコンをタッチして初期設定画面を表示させる。)
現在日時設定	(1)	(1)	現在日時を設定する。
	(2)	(2)	設定保存ボタンをタッチする。
ユニット情報設定	(1)	(1)	初期設定画面の「ユニット情報」をタッチする。
	(2)		「台数拡張」を「利用しない」に設定する。
		(2)	「台数拡張」を「利用する」に設定する。
	(3)	(3)	「AE-200 M-NET：利用する／利用しない」を設定する。
	(4)	(4)	その他の必要な設定項目をタッチして設定を変更し、設定保存ボタンをタッチする。
ネットワーク設定	(1)	(1)	初期設定画面の「ネットワーク設定」をタッチする。
	(2)		AE-200J の IP アドレスおよびその他の必要な設定項目を設定し、設定保存ボタンをタッチする。 ※ AE-200J は再起動します。
		(2)	表示機器が「AE200」であることを確認し AE-200J の IP アドレスおよびその他の必要な設定項目を設定し、設定保存ボタンをタッチする。 ※ AE-200J は再起動します。
		(3)	表示機器の「AE200」タッチし「AE (1-4)」に変更し、AE-50J/EW-50J の接続先 IP アドレスおよびその他の必要な設定項目を設定し、設定保存ボタンをタッチする。
グループ設定	(1)	(1)	初期設定画面の「グループ設定」をタッチする。
	(2)		AE-200J のグループ設定をし、設定保存ボタンをタッチする。
		(2)	表示機器が「AE200」であることを確認し、AE-200J のグループ設定をし、設定保存ボタンをタッチする。
		(3)	表示機器の「AE200」をタッチし「AE (1-4)」に変更し、AE-50J のグループ設定をし、設定保存ボタンをタッチする。

[8] 試運転

<1> 試運転の準備

グループ設定、および連動設定立ち上げ終了を確認したうえで試運転を行ってください。電源投入から手元リモコン操作が可能となるまで、5分程かかる場合があります。試運転方法の詳細は、接続されている室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

<2> 試運転の方法

手順

1. AE-200J/AE-50J/EW-50J および全ユニットの電源を投入する。
2. 本機液晶画面上の「しばらくお待ちください」の表示が消えたら、[初期設定]－[ユニット情報 2] 画面で「試運転」の欄を[利用する]に設定する。
本設定を行うと、[監視/操作]メニュー下の操作設定画面で試運転ボタンが表示されます。
3. 試運転ボタンをタッチし、試運転を行う
表示しているグループの試運転が始まります。
4. 試運転中に、各ユニットの運転状態（室内ユニット吹出し口から冷風または温風が吹出すかなど）を確認する。
5. すべてのユニットの確認が終わったら、AE-200J/AE-50J/EW-50J または手元リモコンからユニットを停止させる。

[9] お客様への説明

- ・本書および別冊の取扱説明書に従って、お使いになる方に正しい使い方をご説明ください。
お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様などにご説明ください。
- ・「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ・この据付工事説明書は据付け後、お使いになる方にお渡しください。
- ・お使いになる方が代わる場合、この据付工事説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

[10] 安全に長くお使いいただくために

本製品を含む空調システムは長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上、支障が生じたり、本来の性能が発揮できないおそれがあります。空調システムを良好な状態で長く安心してご利用していただくために、販売会社または認定技術者と保守契約することで、技術者がお客様に代わって定期的に点検いたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処置を行います。

<1> 日常の保守

(1) タッチパネル・カバーの清掃

中性洗剤を柔らかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。ベンジン・シンナー・磨き粉の使用は避けてください。

<2> 点検時の交換部品と保有期間

<参考> 主要部品の交換周期

主要部品名	交換目安周期
製品本体	10 年

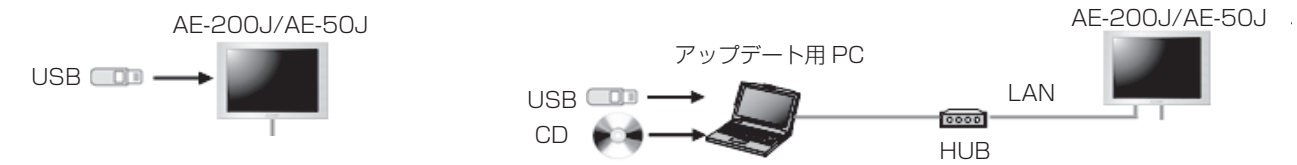
※ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

※ 交換周期は保証期間とは異なります。

※ この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化）のためにお役立てください。

<3> ソフトウェアのアップデート手順

AE-200J/AE-50J のソフトウェアアップデートは、
「① USB メモリを用いた方法」と「② Web ブラウザを用いた方法」の2種類あり、
① USB メモリを用いた方法 ② Web ブラウザを用いた方法



本マニュアルでは、「① USB メモリを用いた方法」について説明します。
「② Web ブラウザを用いた方法」については、AE-200J の初期設定用 Web ブラウザ操作編を参照してください。

(1) 事前準備

アップデートファイル (AExx_FW####_****.dat) を USB メモリのルートフォルダに保存します。

お知らせ (必要により、お客様の承諾をお取りください。)

- #### : ソフトウェアバージョンとなります。
- エネルギー管理データ等の CSV 収集機能を使用する場合は、最大 60 分のデータが消えます。
- 計量用パルス入力の場合、ソフトウェアアップデート中は計量用パルスの入力はできません。
- ソフトウェアのバージョンダウンはできません。
- AE-50J/EW-50J をアップデートした場合、「6920」異常を検知する場合があります。検知した場合は、「III 設定編 [4] 製品の据付け時・移設時の設定 <3> 初期設定 (6) ネットワークの設定」で現在接続されていない AE-200J の IP アドレスを [検知しない] に変更してください。

お願い

- AE-200J と拡張コントローラのバージョンを必ず統一してください。不統一の場合は「7905」異常を検知し、運用ができません。
- アップデートを実施する直前に運転している空調機を記録し、アップデート後に空調機の運転状態を確認し、運転中の空調機が停止になっていた場合、運転の操作など必要に応じて対処してください。
- アップデート中はスケジュール制御・課金データ処理・ピークカット制御・エネルギー管理機能等の各種制御機能が動作できません。
あらかじめこれら機能の設定内容を確認し、機能停止の影響が小さい時間帯にアップデートを実施してください。
- 以下の機能を利用している場合は、下表アップデート禁止時間帯での AE-200J/AE-50J/EW-50J のアップデート作業を避けてください。

利用機能	アップデート禁止時間帯
課金按分機能 (料金計算ツールを使用)	午前 5 : 00 ~ 5 : 10
課金按分機能 (TG-2000 を使用)	午前 4 : 05 ~ 4 : 35
異常履歴自動出力 (日毎) (TG-2000 を使用)	午前 0 : 05 ~ 0 : 15
省エネ日報 (省エネ／ピークカット制御) (TG-2000 を使用)	午前 2 : 00 ~ 2 : 10
計測トレンドモニタ (計量用計測コントローラ、環境用計測コントローラを使用) (TG-2000 を使用)	午前 1 : 05 ~ 1 : 15
低温機器スケジュール機能	午後 10 : 00 ~ 10 : 10

(2) 作業手順

手順

1. アップデートデータファイルを入れた USB メモリ を接続する。

お願い

- USB メモリはアップデートが終了するまで抜かないでください。
- USB メモリを短い時間で抜き差しした場合、本体が USB メモリを認識しなくなる場合があります。その場合、本体をリセットする必要があります。

2. 液晶画面右上のログインアイコンにタッチする。

3. 保守ユーザー でログインする。
(初期ユーザー名 : initial, 初期パスワード : init)

4. [メンテナンス] - [アップデート] にタッチし、アップデート画面で開く。
5. 「ソフトウェアアップデート」 にタッチする。

6. [OK] にタッチする。
アップデートが実行されます。

お知らせ

- アップデートには約4分程度かかります。
- アップデート中は STATUS (状態) LED が青点滅します。

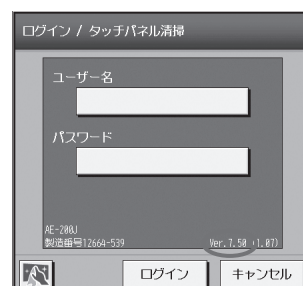
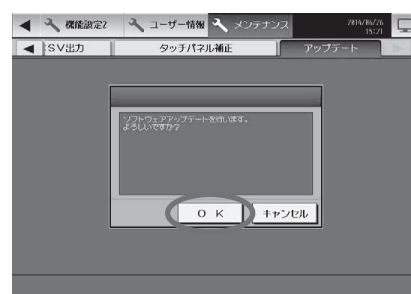
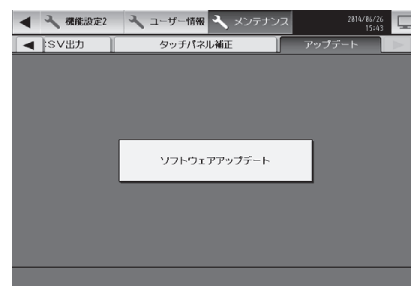
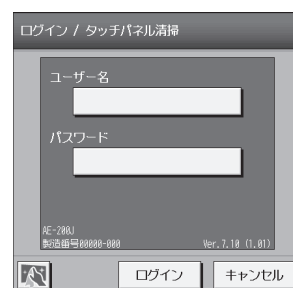
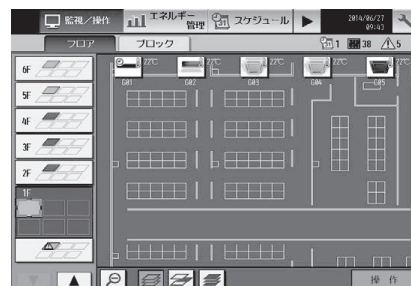
お願い

- アップデート処理中は、AE-200/AE-50 の電源を切らないでください。

アップデートが完了すると AE-200/AE-50 は自動的に再起動されます。
再起動が完了し、監視画面となると、アップデートは完了です。

7. USB メモリを取り外す。
8. 3 と同様に、メンテナンスユーザーにてログイン画面を表示させてください。

※ Ver 表示が USB メモリ内のファイル名 AE_{xx}_FW_{###}****.dat の#### と同じになっていることを確認してください。



<4> ソフトウェア詳細確認手順

本製品に組み込まれたオープンソースの詳細については、下記から確認することができます。
[https://\(AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレス\)/license/](https://(AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレス)/license/)
 メンテナンスユーザーのみ確認できます。

[11] 法令関連の表示

標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合や、経年劣化を進める事情が存在する場合には、設計使用期間よりも早期に安全上支障をきたすおそれがあります。

<1> 標準的な使用条件

(1) 使用範囲

- ・ 下記の環境条件で使用してください。

項目		仕様
環境条件	使用温度範囲	0° C ~ +40° C
	保存温度範囲	-20° C ~ +60° C
	湿度	30% ~ 90% RH (結露なきこと)

(2) 使用条件・環境

下記の項目に適合する環境で使用することはさせていただきます。使用される場合は「保守周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ・ 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合
- ・ 電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません）
- ・ 振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合
- ・ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合

[12] 環境関連の表示

この総合管理システムは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。



SD および SDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

BACnet® は、米国暖房冷凍空調学会（ASHRAE）の登録商標です。